ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# **| ヘルプガイドのおすすめページ**

## 基本操作手順

カメラの基本的な撮影手順です。

#### 推奨メモリーカードについて

本機で使用できるメモリーカードの情報です。

# サポート情報

## PXW-Z200/HXR-NX800: サポート情報

カメラ本体の基本情報やアクセサリーの情報、困ったときのQ&Aなどを説明しています。

### Monitor & Control ヘルプガイド

Monitor & Control は、1台のカメラと接続して、カメラのリモートコントロール、およびカメラのクリップの表示・操作を行うアプリケーションです。

はじめにお読みください

ヘルプガイドの使いかた

使用上のご注意

各部の名称

システム構成例

左側面/前面部

右側面部

背面部/端子部/カードスロット部

上面部/ハンドル部

底面部

マイクホルダーの取り外し

アクセサリーシューの取り付け

タッチパネルの使いかた

画面表示

ステータス画面

準備する
<u>電源の準備</u> 
ACアダプターを使う
<u>電源を入れる/切る</u>
基本的な設定をする
_ <u>日付/時刻</u>
- <u>アクセシビリティ機能の概要</u>
- <u>基本動作の設定</u> - <u> </u>
- <u>撮影モード</u> - <u>撮影モード</u>
_ <u>記録フォーマット</u> 
機器を取り付ける
- <u>マイク (別売) を取り付ける</u>
- <u>LCDフード(付属)を取り付ける</u>
- <u>レンズフード(付属)を取り付ける</u> 
<u>大型アイカップを取り付ける</u>
LCDモニターを調節する
- LCDモニターの角度を調節する         - LCDモニターの角度を調節する
- LCDモニターの明るさを調節する         - LCDモニターの明るさを調節する
LCDモニターの画面表示を拡大する 
ビューファインダーを調節する
- <u>ビューファインダーの角度を調節する</u> 
LCDモニター/ビューファインダーの表示を切り替える 
メモリーカードを使う
- <u>メモリーカードについて</u> 
- <u>推奨メモリーカードについて</u> 
- <u>メモリーカードを入れる</u> 
- <u>メモリーカードを取り出す</u> 
_ <u>メモリーカードを初期化する</u> 
L 残りの記録可能時間を確認する
撮影する
基本操作手順

ズームを調節する	
- <u>ズームレバーでズームする</u>	
- <u>ズームリングでズームする</u>	
フォーカスを調節する	
- <u>フォーカスを手動調節する</u>	
- <u>フォーカスを自動調節する</u>	
- <u>一時的に手動でフォーカスを合わせる</u>	
- <u>人物を検出して追尾する</u>	
- <u>被写体を指定して追尾する</u>	
- <u>リアルタイムトラッキングAFを開始する</u>	
- <u>リアルタイムトラッキングAFを終了する</u>	
- <u>撮影時のご注意</u>	
- <u>フランジバックの調整</u>	
明るさを調節する	
  - <u>アイリスを調節する</u>	
- <u>ゲインを調節する</u>	
- <u>シャッターを調節する</u>	
- <u>光量を調節する</u>	
ホワイトバランスを調節する	
- <u>ホワイトバランスを自動で調節する</u>	
手ブレ補正を設定する	
  - <u>手ブレ補正を使う</u>	
音声を設定する	

- <mark>収録する音声を設定する</mark>
- <u>- 音声入力機器を選ぶ</u> - <u>音声入力機器を選ぶ</u>
- <u>- 録音レベルを自動調節する</u>
- <u>録音レベルを手動調節する</u> - <u>録音レベルを手動調節する</u> - <u> </u>
<u>- オーディオ入力端子を増設する</u>
撮影機能を活用する
- <u>ダイレクトメニュー</u> - <u> </u>
- <u>アサイナブルボタン</u>
- IRISダイヤル
- <u>間欠的に映像を記録する(インターバルレック機能)</u>
- <u>数秒前の映像から記録する(ピクチャーキャッシュレック機能)(PXW-Z200のみ)</u>
- <u>オートフレーミング</u>
- <u>マニュアルフレーミング</u>
- <u>映像信号モニター</u> - <u>映像信号モニター</u>
- <u>ガンマ表示アシスト機能</u> 
プロキシ記録をする
- プロキシ記録 
好みのルックで撮影する
- <u>ルックを選ぶ</u> - <u> </u>
- <u>好みの基本ルックをインポートする</u> 
- 基本ルックを削除する
- <u>ルックをカスタマイズする</u>
- <u>ルックをSceneファイルとして保存する</u>
- Sceneファイルの名称を編集する
- <u>ルックをほかのカメラと共有する</u>
- 内蔵メモリーのSceneファイルをメモリーカードに保存する
メモリーカードに保存されているSceneファイルを内蔵メモリーに読み込む
<u>暗い場所で撮影する</u>

```
ネットワークにつなぐ
ネットワーク機能でできること
Monitor & Controlを使う
└ <u>「Monitor & Control」と接続する</u>
インターネットに接続する
 - <u>無線LANでインターネットに接続する</u>
 - <u>USBテザリングでインターネットに接続する</u>
_____有線LANでインターネットに接続する
Creators' App for enterpriseを使う
L 「C3 Portal」ヘファイルを転送する
ファイルを転送する
ファイルを転送するための準備をする
クリップを選んで転送する
クリップを自動転送する
セキュアなFTP転送を行うには
ストリーミングする
再生する
サムネイル画面の構成
クリップを再生する
クリップを操作する
設定を変更する
メニュー一覧
フルメニューの操作方法
文字列を入力する
メニューをロックする
メニューのロックを解除する
画面を音声で読み上げる
画面を拡大表示する
フルメニューから設定する
 [User] メニュー
 _[Edit User Menu] メニュー
 [Shooting] メニュー
 [Project] メニュー
```

-	[Paint/Look] メニュー
	[TC/Media] メニュー
	[Monitoring] メニュー
	[Audio] メニュー
	[Thumbnail] メニュー
	[Technical] メニュー
	[Network] メニュー
	[Maintenance] メニュー
	[ISO/Gain] メニューの設定値と初期設定値
	「AGC Limit]の設定値と初期設定値
-	[Video Format] / [Quality] / [Bit Rate] の設定値
- 揖	<u>影モードごとの画質に関する設定状態の保存について</u>
	定内容をファイルに保存する。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
外部	M機器を使う
モニ	ターや記録装置を使う
- 설	・ ・部モニター/レコーダーを接続するための準備をする
- <u>S</u>	<u>DI出力の外部機器と接続する(PXW-Z200のみ)</u>
- <u>H</u>	DMI出力の外部機器と接続する
_ <u>5</u>	7イムコードを外部機器と合わせる (PXW-Z200のみ)
リモ	ートコントローラーを使う
- =	モバイル機器やLANCリモコンを使う
_ <u>B</u>	luetoothリモコンを使う
コン	ピューターを使う
- =	1ンピューターにUSBでカメラの映像を送る
L =	]ンピューターでクリップを管理/編集する
出力	フォーマット
SDI/	/HDMI出力端子の出力フォーマット(PXW-Z200のみ)
HDM	MI出力端子の出力フォーマット
付録	<b>{</b>
トラ	ー ブル時の対処
エラ	
ファ	
	ックダイヤグラ <u>ム</u>

# ライセンスについて

# 保証書とアフターサービス

<u>仕様</u>

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# ヘルプガイドの使いかた

このヘルプガイドは、PXW-Z200およびHXR-NX800の機能や使いかたなどを説明している「Web取扱説明書」です。 PXW-Z200にはSDI OUT端子およびTC IN/OUT端子が搭載されています。また、PXW-Z200ではMXFフォーマットに関する機能が使用可能です。それ以外の機能や操作はPXW-Z200とHXR-NX800で共通です。異なる機能の説明やタイトルには対応する機種名を記載しています。

ヘルプガイドで知りたい情報を探して、本機をご活用ください。

TP1001669951

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

### 使用上のご注意

#### 結露について

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。 結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原 因となる場合があります。

#### LCDパネルについて

本機のLCD(液晶)パネルは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり(画素欠け)、常時点灯している輝点(赤、青、緑など)や滅点がある場合があります。また、LCD(液晶)パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。なお、これらの点が記録されることはありません。

# 有機ELパネルについて

- 本機のビューファインダーに使われている有機EUパネルは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり(画素欠け)、常時点灯している輝点(赤、青、緑など)や滅点がある場合があります。また、有機ELパネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。なお、これらの点が記録されることはありません。
- 一般に、有機ELパネルはその特性上、焼き付き、輝度低下などが発生することがあります。これらは故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。ファインダー内で視線を動かした場合などに原色が見えることがありますが、故障ではありません。また、原色が実際にメモリーカードに記録されることはありません。

# タッチパネル利用上のご注意

本製品のLCDモニターはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作を行えます。

タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。

次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- ●爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
- 濡れた指または汗で湿った指での操作

#### 本機搭載のCMOSイメージセンサーの現象

#### ご注意

■ 撮影画面に出る下記の現象は、イメージセンサー特有の現象で、故障ではありません。

# 白点

イメージセンサーは非常に精密な技術で作られていますが、宇宙線などの影響により、まれに画面上に微小な白点が発生する場合があります。

これはイメージセンサーの原理に起因するもので故障ではありません。

また、下記の場合、白点が見えやすくなります。

- ■高温の環境で使用するとき
- ゲイン (感度) を上げたとき

#### フリッカー

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯、LEDによる照明下で撮影すると、画面が明滅したり、色が変化したように見えることがあります。

#### 有寿命部品について

ファン、バッテリーは有寿命部品として定期的な交換が必要です。

常温でのご使用の場合、5年を目安に交換してください。ただし、交換時期は目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。交換の際はお買い上げ店にご相談ください。

● ACアダプターと電解コンデンサの寿命は約5年です。(常温で1日に8時間、1カ月で25日間、通常に使用すると想定した場合)したがって、使用時間が上記より長い場合は、その分寿命は短くなります。

機器に搭載されているバッテリー端子(バッテリーパックやACアダプターとの接点部分)は消耗品です。振動や衝撃によって端子が変形したり、曲がったり、あるいは長期の屋外での使用などによって表面が腐食したりすると、本体に電源が供給されなくなります。

長期間機器を使用していただくために、定期点検を実施することをお願いします。点検につきましては、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

#### 内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。内蔵の充電式電池は、本機の電源の入/切に関わらず、ACアダプターでコンセントにつながっているか、充電されたバッテリーを本機に装着した状態で24時間経過すれば充電されます。ACアダプターで電源につながない、またはバッテリーを入れないままで2か月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、使用時の日時を記録する必要がなければ本機を使えます。

### 使用場所・保管場所について

水平な場所、空調のある場所に保管してください。次のような場所での使用・保管は避けてください。

- 極端に寒い所、暑い所(使用温度は0℃~40℃)。真夏、窓を閉め切った自動車内は50℃を越えることがあります。
- 湿気・ほこりの多い所。
- 雨があたる所
- 激しく振動する所
- 強い磁気を発生するものの近く
- 強力な電波を発生するテレビやラジオの送信所の近く
- 直射日光が長時間当たる場所や暖房器具の近く

#### レーザービームについてのご注意

レーザービームはCMOSイメージセンサーに損傷を与えることがあります。レーザービームを使用した撮影環境では、CMOSイメージセンサー表面にレーザービームが照射されないように充分注意してください。特に医療用などの強力なレーザー光の場合は、反射光や散乱光でも損傷を与えることがあります。

#### 医療機器に近づけない

本製品(付属品を含む)は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。本製品をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本製品のご使用前に担当医師にご相談ください。

# 携帯電話などによる電波障害を防止するために

携帯電話などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。本機の近くでは、 携帯電話などの電源はできるだけ切ってください。

#### インターネット接続時のご注意

- 本機は無線LANを用いて、脆弱性が懸念されるセキュリティ方式であるWEPまたはWPAのみを使用するアクセスポイントとは接続できません。
- 本機はネットワーク機器(例えばルーター、スイッチング・ハブ)ではありません。DoS攻撃(サービス妨害攻撃)などのネットワーク経由での攻撃に対して、適切な設定と管理を行うことができるネットワークに本機を接続することを強く推奨します。
- ●本機のネットワークへの接続には、適切な設定と管理が行われたルーターを介した接続、もしくは同機能を有したLANポートへの接続をしてください。このような接続をしない場合(例えばFree Wi-Fiなど)、セキュリティ上の問題を生じる可能性があります。ルーターは適切な設定をすることにより、ネットワーク内の機器へのDoS攻撃または機器の機能喪失に対する十分な保護を提供します。何か異常を感じた場合は、すぐにカメラをネットワーク接続から遮断してください。

#### セキュリティに関するご注意

- 本機の無線LANの設定で [Security] を [None] にしてアクセスポイントと接続すると、カメラとアクセスポイント間の無線通信が 暗号化されないため、電波の届く範囲にいる第三者に内容を盗み取られる可能性があります。より安全なセキュリティ方式である WPA2またはWPA3を使用してください。
- 通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
- 使用環境によってはネットワーク上の意図せぬ第三者から製品にアクセスされる可能性があります。本機をネットワークに接続する際には、セキュアなネットワークであることをご確認の上ご使用ください。
- 本製品のネットワークへの接続には、ルーターやファイアウォールなどの保護機能を通して接続をしてください。このような接続をしない場合、セキュリティ上の問題が生じる可能性があります。

#### 記録機能についてのご注意

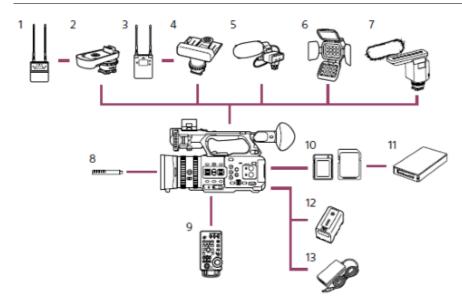
必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。

- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機内、記録メディア、外部のストレージ等に記録されたデータの損失、修復、複製の責任は負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

TP1001669952

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# システム構成例

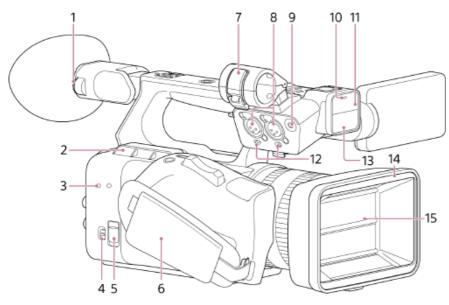


- 1. ワイヤレスマイクロホンパッケージ UWP-D21/UWP-D22
- 2. マルチインターフェースシューアダプター SMAD-P5
- 3. ワイヤレスマイクロホンレシーバー URX-P03D
- 4. マルチインターフェースシューアダプター SMAD-P3D
- 5. XLRアダプターキット XLR-K2M/XLR-K3M
- 6. ビデオライト HVL-LBPC
- 7. ショットガンマイクロホン ECM-B1M
- 8. マイクロホン ECM-VG1/ECM-MS2
- 9. リモートコントロールユニット RM-30BP
- 10. CFexpress Type Aメモリーカード/SDXCメモリーカード
- 11. CFexpress Type Aカードリーダー/SDカードリーダー
- 12. バッテリーパック BP-U35/BP-U70/BP-U100
- 13. ACアダプター(付属)

TP1001669953

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# 左側面/前面部



#### 1. 視度調整ダイヤル

つまみを回してビューファインダーを見やすく調整します。

#### 2. 排気口

# ご注意

- 排気口をふさがないでください。
- 排気口付近は高温になるためご注意ください。

#### 3. アクセサリー取り付け用ネジ穴

ネジ穴のサイズはM3です。8 mm以下のネジをご使用ください。

# 4. TC IN/OUTスイッチ

TC IN/OUT端子の入力/出力を切り替えるスイッチです。PXW-Z200のみ装備されています。

# 5. REMOTE端子

汎用のLANC端子アクセサリーを接続する端子です。

- 6. グリップベルト
- 7. マイクホルダー
- 8. INPUT 1/INPUT 2 (オーディオ入力) 端子

オーディオ入力用端子です。INPUT 1/INPUT 2端子に接続する機器に合わせて、INPUT 1/INPUT 2スイッチを設定します。

#### 9. INPUT 3端子

φ3.5 mmステレオミニジャック (3極) のマイクを接続する端子です。

# 10. 記録/タリーランプ(フロント)

記録が始まると点灯します。メモリーカードやバッテリーの残量が少なくなると点滅します。

#### 11. NIGHTSHOT用IRライト

# 12. INPUT 1/INPUT 2スイッチ(LINE/MIC/MIC+48V)

INPUT 1/INPUT 2端子に接続した音声機器に応じて切り替えます。

LINE:外部音声機器(ミキサーなど)

MIC:ダイナミックマイクや電池内蔵のマイク

MIC+48V: +48V電源(ファンタム電源)対応のマイク

# 13. ハンドル内蔵マイク

14. レンズフード

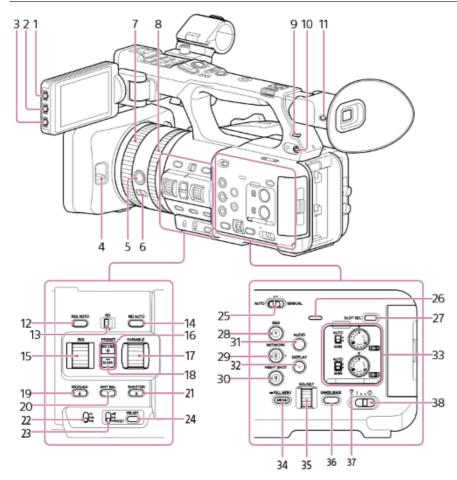
## 関連項目

- ビューファインダーの角度を調節する
- タイムコードを外部機器と合わせる(PXW-Z200のみ)
- モバイル機器やLANCリモコンを使う
- マイクホルダーの取り外し
- 収録する音声を設定する
- ■基本操作手順
- 暗い場所で撮影する
- レンズフード(付属)を取り付ける

TP1001669954

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# 右側面部



# 1. PEAKINGボタン

ピーキングの設定を行います。

# 2. ZEBRAボタン

ゼブラパターン設定を行います。

- 3. ASSIGN(アサイナブル)11ボタン
- 4. レンズフードシャッター開閉スイッチ
- 5. FOCUS PUSH AUTOボタン

マニュアルフォーカスモード時:ボタンを押している間だけオートフォーカスモードになります。オートフォーカスモード時:ボタンを押している間だけマニュアルフォーカスモードになります。

# 6. FOCUSスイッチ

オートフォーカスモードとマニュアルフォーカスモードを切り替えるスイッチです。

# 7. フォーカスリング

ズーム機能を割り当てることもできます。 詳しくは「レンズリング」をご覧ください。

### 8. ズームリング

アイリス機能を割り当てることもできます。 詳しくは「レンズリング」をご覧ください。

# 9. 記録/タリーランプ(リア)

記録が始まると点灯します。

#### 10. ヘッドホン端子

11. VF/LCD切り替えボタン

表示画面をビューファインダー/LCDモニターのいずれかに切り替えます。ボタンを押すたびに、オート  $\to$  LCDモニター  $\to$  LCDモニター常時  $\to$  オートの順に切り替わります。

オート:ビューファインダーの接眼状態を検出し、LCDモニター、ビューファインダーを切り替える。

LCDモニター: ビューファインダーの接眼状態にかかわらず、LCDモニターの表示を優先する。

LCDモニター常時:LCDモニターの格納状態にかかわらず、LCDモニターを常時点灯する。

#### 12. IRIS AUTOボタン

アイリス調節モードを切り替えます。

#### 13. NDスイッチ

NDフィルターの調節モードを切り替えます。左側がプリセットモード、右側がバリアブルモードです。

#### 14. ND AUTOボタン

NDオートモードを設定します。NDバリアブルモード時のみ設定できます。

#### 15. IRISダイヤル

IRISマニュアルモード時にアイリス値を調節します。

他の機能を割り当てることもできます。

詳しくは「IRISダイヤル」をご覧ください。

#### 16. ND FILTER POSITION上下ボタン

#### 17. ND VARIABLEダイヤル

NDマニュアルモード時にNDフィルターの濃度を調節します。

#### 18. ND CLEARランプ

NDフィルターポジションがCLEARのときに点灯します。

- 19. ISO/GAIN / ASSIGN (アサイナブル) 6ボタン
- 20. WHT BAL/ASSIGN (アサイナブル) 7ボタン
- 21. SHUTTER/ASSIGN (アサイナブル) 8ボタン
- 22. ISO/GAINスイッチ

映像アンプのゲイン値を切り替えます。スイッチの各ポジションに対応するゲイン値は、[Camera]ステータス、またはフルメニューで設定します。

#### 23. WHT BAL (ホワイトバランスメモリー切り替え) スイッチ

ホワイトバランスの調節モードを切り替えます。

### 24. WB SETボタン

WHT BALスイッチがAまたはBになっている場合にWB SETボタンを押すと、オートホワイトバランスを実行し、ホワイトバランスデータを内蔵メモリーに保存します。

#### 25. AUTO/MANUALスイッチ

FULL AUTOモードとMANUAL撮影モードを切り替えます。

### 26. 本体内蔵スピーカー

#### 27. SLOT SELECTボタン

メモリーカードが2枚装着されているときに、SLOT SELECTボタンを押してメモリーカードを切り替えます。

# 28. S&Q/ASSIGN (アサイナブル) 1ボタン

スロー&クイックモーションの設定をします。

#### 29. NETWORK/ASSIGN(アサイナブル)2ボタン

- 30. NIGHTSHOT/ASSIGN (アサイナブル) 3ボタン
- 31. AUDIOボタン

[Audio] ステータスが表示されます。

# 32. DISPLAYボタン

本機の状態や設定の表示/非表示を切り替えます。

## 33. オーディオ調節スイッチ

AUTO/MANスイッチ

CH-1/CH-2の録音レベルをオートモードまたはマニュアルモードに切り替えます。

■ AUDIO LEVEL(CH1/CH2)ダイヤル マニュアルモード時にCH-1/CH-2の録音レベルを手動調節します。

#### 34. MENUボタン

短く押すと、ステータス画面が表示されます。長押しすると、フルメニュー画面が表示されます。

#### 35. マルチファンクションダイヤル

LCDモニター/ビューファインダーに映像が表示されているときに押すと、ダイレクトメニューが表示されます。 また、LCDモニター/ビューファインダーに各種メニューが表示されているときに回すと、カーソルが上下に移動して、メニュー項目

メニューを表示していないときは、アサイナブルダイヤルとして機能します。

や設定値を選択できます。押すと選択している項目を確定します。

#### 36. CANCEL/BACKボタン

押すと一つ前の階層に戻ります。設定を変更している場合は、確定前の設定値がキャンセルされます。

- 37. 電源ランプ
- 38. 電源スイッチ

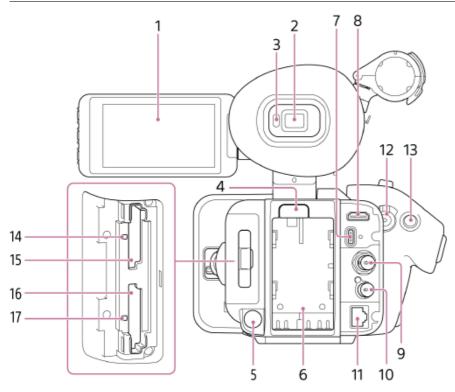
#### 関連項目

- アサイナブルボタン
- レンズリング
- IRISダイヤル
- レンズフード(付属)を取り付ける
- 一時的に自動でフォーカスを合わせる
- フォーカスを手動調節する
- フォーカスを自動調節する
- ズームリングでズームする
- 基本操作手順
- LCDモニター/ビューファインダーの表示を切り替える
- アイリスを調節する
- ・光量を調節する
- ゲインを調節する
- ホワイトバランスを手動で調節する
- シャッターを調節する
- メモリーカードを入れる
- スロー&クイックモーション
- ネットワーク機能でできること
- 無線LANでインターネットに接続する
- 有線LANでインターネットに接続する
- 暗い場所で撮影する
- 収録する音声を設定する
- 画面表示
- 録音レベルを手動調節する
- ステータス画面
- メニュー一覧
- ダイレクトメニュー
- ■電源を入れる/切る

TP1001669955

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# 背面部/端子部/カードスロット部



- 1. LCDモニター/タッチパネル
- 2. ビューファインダー
- 3. 接眼センサー

ビューファインダーへの接眼/非接眼を検知し、LCDモニターとビューファインダーの画面表示を制御します。

#### 4. BATT RELEASE (バッテリー取り出し) ボタン

バッテリーを取り出すときにボタンを押します。

# 5. DC IN (DC電源入力) 端子

標準DCジャックです。

## 6. バッテリー取り付け部

### 7. USB-C™端子

USB Type-C用端子です。USB-C端子右側のネジ穴は、Type-Cケーブル固定用のネジ穴です。

# 8. HDMI出力端子

HDMI信号を出力する端子です。

### 9. SDI OUT端子(BNC型)

SDI信号を出力する端子です。PXW-Z200のみ装備されています。

### 10. TC IN/OUT端子(BNC型)

タイムコードの入力/出力用端子です。PXW-Z200のみ装備されています。

TC IN/OUTスイッチの設定によって、以下の用途に使用します。

IN: 本機のタイムコードを外部ロックさせるとき、基準となるタイムコード信号を入力する端子となります。

OUT:外部機器のタイムコードを、本機のタイムコードでロックさせるとき、本機のタイムコード信号を出力する端子となります。

# ご注意

■ TC IN/OUT端子には、SMPTEデジタル規格準拠した機器を接続してください。規格外の機器(例:0.5~4.5Vの範囲外の電圧を印加する機器など)を接続した場合、本機を破損する可能性がありますのでご注意ください。

# 11. LAN端子

有線LAN用端子です。

#### 12. 録画START/STOPボタン/HOLDスイッチ(グリップ)

録画START/STOPボタンを押すとランプが点灯し記録が開始されます。もう一度押すとランプが消灯し記録が停止します。 HOLDスイッチをHOLD側にしておくと、録画START/STOPボタンが押せなくなります。

#### 13. マルチセレクター

オートフォーカス操作やメニュー操作時等に使用します。8方向にカーソルを移動したり、押すと値の選択や決定ができます。

- 14. アクセスランプA
- 15. CFexpress Type A/SDカードスロット (A)
- 16. CFexpress Type A/SDカードスロット (B)
- 17. アクセスランプB

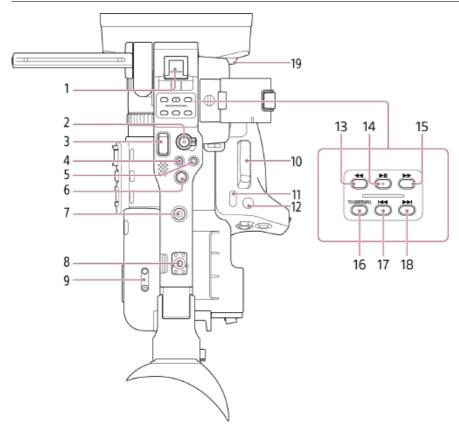
#### 関連項目

- LCDモニターの角度を調節する
- タッチパネルの使いかた
- 大型アイカップを取り付ける
- ビューファインダーの角度を調節する
- ビューファインダーの明るさを調節する
- LCDモニター/ビューファインダーの表示を切り替える
- ●画面表示
- バッテリーパックを使う
- ACアダプターを使う
- 「C3 Portal」へファイルを転送する
- コンピューターでクリップを管理/編集する
- HDMI出力の外部機器と接続する
- SDI/HDMI出力端子の出力フォーマット(PXW-Z200のみ)
- HDMI出力端子の出力フォーマット
- SDI出力の外部機器と接続する (PXW-Z200のみ)
- タイムコードを外部機器と合わせる(PXW-Z200のみ)
- 有線LANでインターネットに接続する
- ■基本操作手順
- ・メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する
- メモリーカードを入れる

TP1001669956

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# 上面部/ハンドル部



#### 1. マルチインターフェースシュー

#### Multi Interface Shoe

マルチインターフェースシュー対応アクセサリーについて、詳しくは販売店にお問い合わせください。

#### 2. 録画START/STOPボタン/HOLDスイッチ(ハンドル)

録画START/STOPボタンを押すとランプが点灯し記録が開始されます。もう一度押すとランプが消灯し記録が停止します。 HOLDスイッチをHOLD側にしておくと、録画START/STOPボタンが押せなくなります。

#### 3. ハンドルズームレバー

広角または望遠のどちらかに動かします。軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームします。

- 4. ASSIGN (アサイナブル) 9ボタン
- 5. ASSIGN (アサイナブル) 10ボタン
- 6. マルチセレクター

オートフォーカス操作やメニュー操作時等に使用します。8方向にカーソルを移動したり、押すと値の選択や決定ができます。

#### 7. アクセサリー取り付け用ネジ穴

ネジ穴1/4インチ、1/4-20UNCのネジ(長さ6 mm以下)に対応しています。

#### ご注意

■ 6 mmより長いネジを使用すると、外装部品が破損するおそれがあります。

# 8. アクセサリーシュー取り付け部/アクセサリー取り付け用ネジ穴

1/4インチのネジに対応しています。

### 9. ボリュームボタン

ヘッドホン/内蔵スピーカーの音量を調節します。

#### 10. ズームレバー(グリップ)

広角または望遠のどちらかに動かします。軽く動かすとゆっくり、さらに動かすと速くズームします。

- 11. DIRECT MENU/ASSIGN (アサイナブル) 5ボタン
- 12. FOCUS MAG/ASSIGN (アサイナブル) 4ボタン
- 13. F REVボタン

逆方向に高速再生します。もう一度押すとさらに高速になります(3段階まで)。

## 14. PLAY/PAUSEボタン

再生を一時停止します。もう一度押すと再生に戻ります。

#### 15. F FWDボタン

順方向に高速再生します。もう一度押すとさらに高速になります(3段階まで)。

#### 16. THUMBNAILボタン

撮像状態または再生状態でボタンを押すと、サムネイル画面が表示されます。もう一度押すと撮像状態に戻ります。

#### 17. PREVボタン

クリップの先頭画にジャンプします。先頭画にいた場合、再生位置の逆方向にクリップジャンプします。PREVボタンを押した状態でFREVボタンを押すと、メモリーカード内の先頭クリップの先頭画にジャンプします。

#### 18. **NEXTボタン**

再生位置の順方向にクリップジャンプします。

最終クリップにいた場合は、最終クリップの最終画にジャンプします。NEXTボタンを押した状態でF FWDボタンを押すと、メモリーカード内の最終クリップの最終画にジャンプします。

## 19. レンズフード取り外しボタン

#### 関連項目

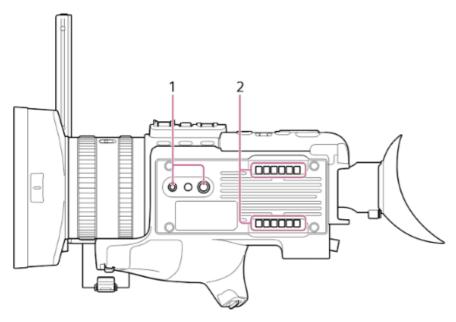
- 収録する音声を設定する
- 音声入力機器を選ぶ
- オーディオ入力端子を増設する
- ■基本操作手順
- メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する
- ズームレバーでズームする
- アサイナブルボタン
- ダイレクトメニュー
- 拡大表示をしてフォーカスを合わせる
- クリップを再生する
- レンズフード(付属)を取り付ける

TP1001669957

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# 底面部



# 1. 三脚用ネジ穴

1/4インチ(1/4-20UNCネジ)、3/8インチ(3/8-16UNCネジ)に対応しています。三脚(別売、ネジの長さ5.5 mm以下)を取り付けます。

# 2. 吸気口

## ご注意

■ 吸気口をふさがないでください。

TP1001669958

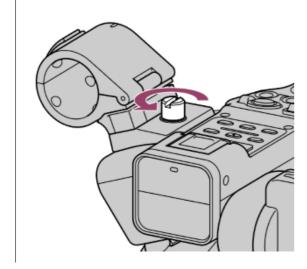
ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# マイクホルダーの取り外し

本機はマイクホルダーを取り外して収納サイズを小さくすることができます。

1 ネジを緩めてマイクホルダーを取り外す。



#### ご注意

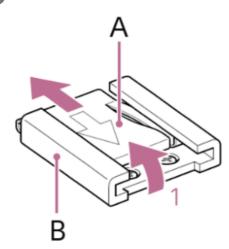
■ マイクホルダーを取り付けるときは、マイクが落下することがあるのでネジを確実に締めてください。

TP1001669959

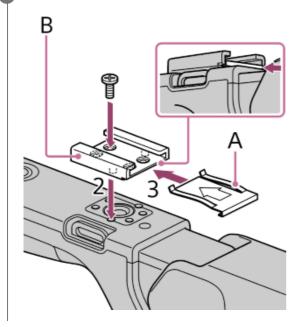
ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# アクセサリーシューの取り付け

① シューバネ(A)の先端を持ち上げ、刻印された矢印の向きと反対方向へ引き抜く。



- **№** アクセサリーシュー(B)の凸部とアクセサリーシュー取り付け部の凹部を合わせて取り付け、4本のネジを締める。
- ③ シューバネ(A)を矢印の方向に挿入し、コの字部分がアクセサリーシューの端部にはまるように取り付ける。



# ヒント

● アクセサリーシューを取り外す場合は、手順1と同様にシューバネを外し、ネジを緩めてアクセサリーシューを外します。

TP1001669960

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# タッチパネルの使いかた

# タッチパネル利用上のご注意

本製品のビューファインダーはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作を行えます。

タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先の尖ったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。

次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- ●爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
- 濡れた指または汗で湿った指での操作

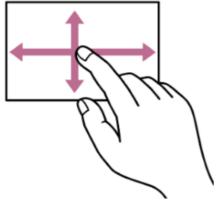
#### タッチパネル上の操作

#### タップ

アイコンやメニューなどの項目に指で軽く触れ、すぐに離します。

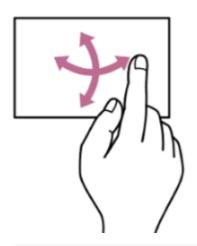
#### ドラッグ

画面に触れたまま目的の位置までなぞって指を離します。



# フリック/スワイプ

画面に触れて上下または左右にはらうように操作します。



# ヒント

● 表示内容が画面の外へ続く場合は、表示内容をドラッグしたりフリックしたりしてスクロールさせることができます。

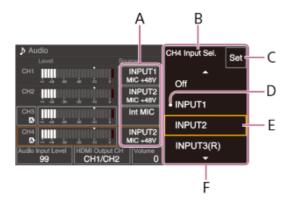
# タッチパネルの設定

タッチパネルを利用するかどうかは、フルメニューの [Technical] – [Touch Operation] で設定できます。

# タッチ操作対応設定画面の使いかた

ステータス画面での操作を例に、タッチ操作での設定方法を説明します。

#### 画面構成



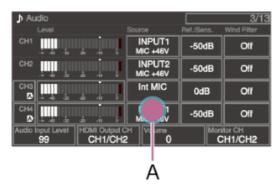
A:設定項目 B:設定項目名

C: [Set] (決定) ボタン D: 直前の設定値を示す印 E: 設定値選択カーソル(橙色枠)

F: 設定値の選択肢

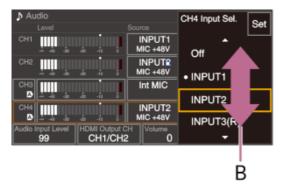
### 操作方法

1. 設定項目をタップ(A) する。

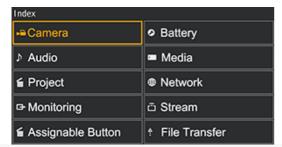


設定値の選択肢が表示されます。

2. 設定値をドラッグまたはフリック(B)して選択する。



- 3. [Set] または設定値選択カーソルをタップする。 設定値を確定し元の画面に戻ります。
- **4. 画面を右にスワイプする。** メニュー階層を移動します。



# ヒント

- CANCEL/BACKボタンを押すと直前の設定値に戻ります。
- マルチファンクションダイヤルやマルチセレクターでも操作できます。
- タッチ操作を無効にすることもできます。

TP1001669961

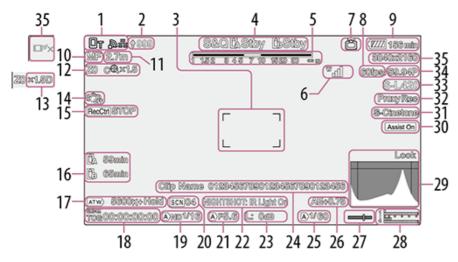
## ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

#### 画面表示

撮影中(記録中/記録待機中)および再生中は、映像に本機の状態や設定が重ねて表示されます。 表示/非表示の切り替えは、DISPLAYボタンで行います。非表示にした場合も、ダイレクトメニューの操作中は表示されます。 また、項目ごとに表示/非表示を選択することもできます。

# 撮影中の画面に表示される情報



### 1. ネットワーク状態

ネットワーク接続の状態がアイコンで表示されます。

### 2. アップロード中表示/転送ファイル残数

#### 3. フォーカスエリア

オートフォーカスでフォーカスを合わせる領域が表示されます。

# 4. スロットA/Bの記録モード/動作状態、インターバルレック記録間隔時間表示

表示	意味
• Rec	記録中
Stby	記録待機中

#### 5. 被写界深度

# 6. UWP-Dシリーズの状態

UWP-DシリーズをMIシューにデジタルオーディオ伝送の設定で接続したとき、電波強度を示すRFレベルなどがアイコンで表示されます。

# 7. ストリーミング状態

SRTの場合、ARCによるビットレートが併せて表示されます。

表示	意味	
â	ストリーミング送信している状態	
å	ストリーミング送信への移行中状態	
Ē.	エラーが発生してストリーミング送信していない状態	
<b>©</b> >USB	USBストリーミング出力していない状態 (「 <b>に</b> >USB」が点滅表示)	
	USBストリーミング出力している状態 (「 <b>に</b> >USB」が表示)	

- 8. スロー&クイックモーション撮像フレームレート
- 9. バッテリー残量/DC IN電圧
- 10. フォーカスモード

表示	<u> </u>	意味
Foo	cus Hold	[Focus Hold] モード
MF	ľ	MFモード
AF	;	AFT-ド
		リアルタイムトラッキングAFモード
被写体認識AF(A		(AF/Q/Only/%/!)
	<u> </u>	人物検出アイコン
	Only	人物限定AFアイコン
	딿	保存された追尾顔ありアイコン
	!	AF一時停止アイコン <sup>1)</sup>

<sup>1)</sup> オートフォーカス動作中にオートフォーカス動作が継続できず、一時的にオートフォーカス動作が停止したときに表示されます。オートフォーカス動作を停止する原因が解消し、オートフォーカス動作を再開すると、非表示になります。

### 11. フォーカスポジション

フォーカスの位置が表示されます。

# 12. ズームポジション

ズームの位置が0(広角端)~99(望遠端)の範囲で表示されます。

バー表示に変えることもできます。

全画素超解像ズームを有効にすると、以下の表示が追加されます。

表示	意味
c <b>e</b>	全画素超解像ズーム機能が有効
倍率数值	全画素超解像ズーム中

### 13. デジタルエクステンダー

デジタルエクステンダー機能の拡大率を表示します。

[Digital Extender] が割り当てられたアサイナブルボタンで、デジタルエクステンダーがオンに設定されている場合に表示されます。

記録解像度がFHDのときのみ使用可能で、画面の中央を1.5倍に拡大することができます。光学ズームと全画素超解像ズームと組み合わせることで、最大60倍までズームすることができます。

#### 14. 手ブレ補正モード

# 15. SDI出力/HDMI出力の [Rec Control] 状態

SDI/HDMI出力信号の出力状態を表示します。

### 16. メモリーカード残量

表示	意味
	マウント処理中/マウント状態( [Media(A)] )
	マウント処理中/マウント状態( [Media(B)] )
	マウント処理中/マウント状態( [Media(B)] ) <sup>1)</sup>
(点滅)	マウント状態(記録不可)( [Media(B)] ) <sup>1)2)</sup>

<sup>1)</sup> プロキシクリップのみを記録する場合

メモリーカードがプロテクトされている場合は、♠(プロテクト)マークが表示されます。

<sup>2)</sup> 記録開始時または記録中にエラーや残量が無くなった場合

#### 17. ホワイトバランスモード

表示	意味
ATW	自動モード
ATW [Hold]	自動モード一時停止
W:P	プリセットモード
W:A	メモリーAモード
W:B	メモリーBモード

## 18. タイムコード外部ロック/タイムデータ

他機のタイムコードにロックさせると「EXT-LK」と表示されます。

### 19. NDフィルター

表示	意味
A	自動モード

#### 20. シーンファイル

### 21. アイリス

アイリスの位置(F値)が表示されます。

#### 22. [NIGHTSHOT] 状態/映像レベル注意

# 23. ゲイン

撮影モードが[Custom]のときはゲイン値またはISO値、ログ撮影のときはISO値を表示します。

表示	意味
A	自動モード
Н	プリセットHモード
М	プリセットMモード
L	プリセットLモード
쌼	一時調節モード

# 24. クリップ名

記録中または次に記録するクリップの名前が表示されます。

- 25. シャッター
- 26. AEモード/AEレベル
- 27. 水準器

本機の水平方向の傾きが±1°刻みで±15°まで表示されます。

# 28. オーディオレベルメーター

CH1~CH4のオーディオレベルを表示します。

#### 29. 映像信号モニター

ウェーブフォーム、ベクトルスコープ、ヒストグラムを表示します。

オレンジの線はゼブラレベルの設定値を表します。

撮影モードがログ撮影のときは、表示の上にモニター対象としているLUTの適用状態を表示します。 [LUT Off] 時は、色域設定が表示されます。 [LUT On] 時は、適用されているLUTの種類に関わらず「Look」が表示されます。

### ネットワーク速度表示

ネットワーク経路ごとに、現在の通信速度を表示します。映像信号表示を表示しているときは表示されません。

#### 30. ガンマ表示アシスト/基本ルック

撮影モードが [Custom] のときは、ガンマ表示アシストの状態を表示します。ガンマ表示アシストの表示/非表示は、 [Gamma Display Assist] が割り当てられたアサイナブルボタンで切り替えることができます。 ログ撮影のときは、基本ルックの設定値を表示します。

### 31. 記録映像表示

メモリーカードに記録される映像信号を表示します。撮影モードが [Custom] のときは、基本ルックの設定値を表示します。ログ撮影のときは、色域の設定を表示します。

#### 32. プロキシ状態

表示	意味
Proxy	プロキシ記録オン
Proxy Rec	プロキシ記録中
Proxy Rec (点滅)	プロキシ記録準備中
PxChunk	プロキシ分割記録オン
PxChunk Rec	プロキシ分割記録中
PxChunk Rec (点滅)	プロキシ分割記録準備中

# 33. 記録フォーマット (コーデック) 表示

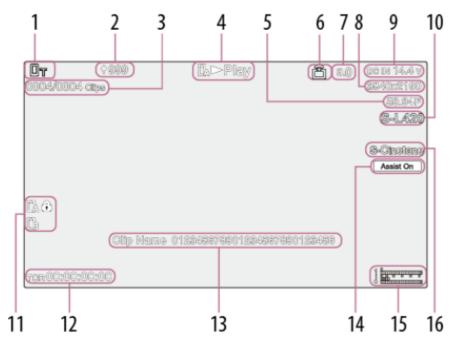
メモリーカードに記録されるフォーマット名称を表示します。

- 34. 記録フォーマット(フレームレートとスキャン方式)
- **35. 記録フォーマット(画サイズ)表示** メモリーカードに記録される画サイズを表示します。

#### 36. リアルタイムトラッキングAF終了ボタン

## 再生中の画面に表示される情報

再生画像には、次のような情報が重ねて表示されます。



- 1. ネットワーク状態
- 2. アップロード中表示/転送ファイル残数
- 3. クリップ番号/クリップ総数
- 4. 再生動作状態
- 5. 再生フォーマット(フレームレートとスキャン方式)
- 6. ストリーミング状態
- 7. ビットレート

SRTストリーミング時に [ARC] が [On] の場合は、ビットレートが表示されます。ビットレートがARC機能によって設定した値より低下すると点滅表示されます。

# 8. 再生フォーマット(画サイズ)

- 9. バッテリー残量/DC IN電圧
- 10. 再生フォーマット(コーデック)
- 11. メモリーカード

メモリーカードがプロテクトされている場合は、♠(プロテクト)マークが表示されます。

- 12. タイムデータ
- 13. クリップ名
- 14. ガンマ表示アシスト

撮影モードが [Custom] のときは、ガンマ表示アシストの状態を表示します。 ログ撮影のときは、適用されたモニターLUTを表示します。

#### 15. オーディオレベルメーター

再生オーディオレベルを表示します。

#### 16. 再生中クリップの記録ガンマ

再生中のクリップが [HLG] または [S-Log3] で記録されていた場合に、それぞれ記録ガンマを表示します。

# **アイコンについて**

# ネットワーク接続のアイコン

アイコンが点滅しているときは、NETWORKボタンを押して [Network] ステータス画面で状態をご確認ください。 併せて「「Monitor & Control」と接続する」「無線LANでインターネットに接続する」「USBテザリングでインターネットに接続する」「有線LANでインターネットに接続する」をご覧ください。

ネットワークモード	接続状態	アイコン
アクセスポイントモード	アクセスポイントとして動作中	AP
	アクセスポイント動作エラー	<b>AR</b> (アイコン点滅)
	Wi-Fi接続中 電波強度によりアイコンが変化(4段階)	
ステーションモード	Wi-Fi接続切断(準備中含む)	🍙 (アイコン点滅)
	Wi-Fi接続エラー	▶ (アイコン点滅)
有線LAN	有線LAN接続中	<del>6</del> 6
	有線LAN切断	<b>船</b> (アイコン点滅)
	有線LANエラー	<b>&amp;</b> (アイコン点滅)
USBテザリング	USBテザリング接続中	Or
	USBテザリング切断	<b>□⊤</b> (アイコン点滅)
	USBテザリングエラー	□☆(アイコン点滅)
Bluetooth	Bluetooth機能がオン	*

# UWP-Dシリーズのアイコン

送信機の状態	受信状態	アイコン
電源オフ	未受信	W
通常送信状態	受信中	<ul><li>™ ~ ₩ (受信レベルを4段階で表示)</li></ul>
ミュート状態	受信中 (ミュート中)	Mal
バッテリー残量警告状態	受信中	<sup>™</sup>
ミュート、かつバッテリー残量警告状態	受信中	<b>※』</b> (アイコン点滅)

# 関連項目

- プロキシクリップを分割記録し、転送する
- 「Monitor & Control」と接続する
- 無線LANでインターネットに接続する
- USBテザリングでインターネットに接続する
- 有線LANでインターネットに接続する
- 基本操作手順
- ゲインを調節する
- ストリーミングする
- スロー&クイックモーション
- 手ブレ補正を使う
- 残りの記録可能時間を確認する
- ホワイトバランスを手動で調節する
- タイムコードを外部機器と合わせる(PXW-Z200のみ)
- ルックを選ぶ
- ルックをSceneファイルとして保存する
- ファイルに保存される項目
- サムネイル画面の構成
- 映像信号モニター
- ガンマ表示アシスト機能
- 。プロキシ記録
- リアルタイムトラッキングAFを終了する

TP1001669962

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## ステータス画面

ステータス画面では、本機の設定や状態を確認することができます。また、\*印が付いている項目については設定を変更できます。

### ステータス画面を表示させるには

MENUボタンを押す。

#### ヒント

● フルメニューの[Technical]-[Menu Settings]-[Menu Page On/Off]で、各ステータス画面の表示/非表示を切り替えることができます。

#### ステータス画面を切り替えるには

- マルチファンクションダイヤルを回す。
- マルチセレクターを上下に操作する。
- ステータス画面を上下にスワイプする。
- ステータス画面を右にスワイプして [Index] 画面を表示させ、見たいページを選択する。



#### ステータス画面を消すには

MENUボタンを押す。

# 設定を変更するには

ステータス画面の表示中にマルチファンクションダイヤルやマルチセレクターを押すと、ページ内の設定項目を選べるようになります。 ページ番号を選んで押すと、ページ切り替えに戻ります。

なお、タッチ操作で直接選ぶこともできます。

# ご注意

■ フルメニューの [Technical] ー [Menu Settings] ー [User Menu Only] を [On] に設定すると、ステータス画面で設定変更できなくなります。

# [Camera] ステータス画面

主に各種プリセットの状態を表示します。

表示項目	説明
[White Switch <b>]</b>	ホワイトバランスのメモリーBの設定値
[White Switch <a>]</a>	ホワイトバランスのメモリーAの設定値
[White Switch <p>]</p>	[Preset White] の設定値
[ND] <preset>*</preset>	NDフィルターの [Preset] の設定値
[ISO/Gain <l>] *</l>	[ISO/Gain <l>] の設定</l>
[ISO/Gain <m>] *</m>	[ISO/Gain <m>] の設定</m>
[ISO/Gain <h>] *</h>	[ISO/Gain <h>] の設定</h>
[Zebra1] *	ゼブラ1のオン/オフとレベルの設定

表示項目	説明
[Zebra2] *	ゼブラ2のオン/オフとレベルの設定
[VF Gamma] / [Gamma]	ガンマカテゴリーとカーブ
[Scene File] *	使用中のSceneファイルとそのファイルID

# [Audio] ステータス画面

各チャンネルの入力設定、オーディオレベルメーターと音声モニターの設定を表示します。

	表示項目	説明
[CH1]	[Level]	自動調節のオン/オフ状態 オーディオレベルメーター
	[Source] *	入力ソース
	[Reference] *	入力リファレンスレベル
	[Wind Filter] *	マイクの風音低減フィルターの設定
	[Level]	自動調節のオン/オフ状態 オーディオレベルメーター
[CH2]	[Source] *	入力ソース
	[Reference] *	入力リファレンスレベル
	[Wind Filter] *	マイクの風音低減フィルターの設定
	[Level] *	自動調節のオン/オフ状態 オーディオレベルメーター
[CH3]	[Source] *	入力ソース
	[Reference] *	入力リファレンスレベル
	[Wind Filter] *	マイクの風音低減フィルターの設定
[CH4]	[Level] *	自動調節のオン/オフ状態 オーディオレベルメーター
	[Source] *	入力ソース
	[Reference] *	入力リファレンスレベル
	[Wind Filter] *	マイクの風音低減フィルターの設定
[Audio I	nput Level] *	音声入力レベル(マスターボリューム)の設定
[HDMI C	Output CH] *	HDMIおよびヘッドホンに出力される音声チャンネルの設定
[Headph	one Out] *	ヘッドホン出力方式の設定
[Monitor	· CH] *	モニターするチャンネルの設定

# [Project] ステータス画面

撮影プロジェクトに関する基本的な設定を表示します。

表示項目	説明
[Frequency/Scan] *	システム周波数と走査方式の設定
[Codec] *	記録するコーデックの設定
[Rec Function] *	特殊な記録機能のオン/オフと主な設定
[Simul Rec] *	2スロット同時記録機能のオン/オフ状態と設定

表示項目	説明
[Title Name] *	クリップ名のタイトル部分
[Video Format] *	メモリーカードに記録する画サイズ
[Picture Cache Rec] * 1)	ピクチャーキャッシュレック機能のオン/オフとキャッシュサイズの設定
[Number]	クリップ名の最後の数値部分
[Shooting Mode] *	撮影モードの設定
[Auto Framing] *	オートフレーミング機能の設定
[Proxy Rec] *	プロキシ記録のオン/オフの設定

<sup>1)</sup> PXW-Z200のみ

# [Monitoring] ステータス画面

SDI/HDMI出力の設定を表示します。

₹	長示項目	説明
	[Signal] *	出力画サイズ
[SDI] 1)	[Info. Disp.] *	画面表示出力オン/オフ
	[Color Gamut] *	色域の設定値/モニターLUTの適用状態
	[Signal] *	出力画サイズ
[HDMI]	[Info. Disp.] *	画面表示出力オン/オフ
	[Color Gamut] *	色域の設定値/モニターLUTの適用状態
	[Signal] *	出力画サイズ / [Stream] ステータス画面への遷移/ [USB Stream] のオン/オフ
[IP/USB]	[Info. Disp.]	画面表示出力([Off]固定)
	[Color Gamut] *	色域の設定値/モニターLUTの適用状態
[LCD/VF]	[Color Gamut] *	ガンマ表示アシストの設定値/色域の設定値/モニターLUTの適用状態
[Base Look/	'LUT] *	[Base Look/LUT] の設定
[Gamma Di	splay Assist] *	[Gamma Display Assist] のオン/オフ状態

<sup>1)</sup> PXW-Z200のみ

# [Assignable Button] ステータス画面

各アサイナブルボタンに割り当てた機能を表示します。

表示項目	説明
1	アサイナブル1ボタンに割り当てられている機能
2	アサイナブル2ボタンに割り当てられている機能
3	アサイナブル3ボタンに割り当てられている機能
4	アサイナブル4ボタンに割り当てられている機能
5	アサイナブル5ボタンに割り当てられている機能
6	アサイナブル6ボタンに割り当てられている機能
7	アサイナブル7ボタンに割り当てられている機能
8	アサイナブル8ボタンに割り当てられている機能

表示項目	説明
9	アサイナブル9ボタンに割り当てられている機能
10	アサイナブル10ボタンに割り当てられている機能
11	アサイナブル11ボタンに割り当てられている機能
[ <push auto="">]</push>	FOCUS PUSH AUTOボタンに割り当てられている機能
[Multi Function Dial]	マルチファンクションダイヤルに割り当てられている機能
[Lens Ring]	レンズリングに割り当てられている機能
[IRIS Dial]	IRISダイヤルに割り当てられている機能

# [Battery] ステータス画面

バッテリーまたはDC IN電源の情報を表示します。

表示項目	説明
[Detected Battery]	バッテリーの種類
[Remaining]	残容量(%)
[Charge Count]	充電を行った回数
[Capacity]	残容量(Ah)
[Voltage]	バッテリー電圧(V)
[Manufacture Date]	バッテリーの製造年月日
[Video Light Remaining]	ビデオライトバッテリー残量表示
[Power Source]	電源供給源
[Supplied Voltage]	供給電源電圧

## [Media] ステータス画面

メモリーカードの残量および残記録可能時間を表示します。

表示項目	説明
メモリーカードAの情報	スロットAにメモリーカードが挿入されているとき、アイコンを表示する
メモリーカードAの残量メー ター	スロットAに挿入されているメモリーカードの残容量を、残比率で表したバーで表示する
メモリーカードAの残時間	現在と同じ状態でスロットAに挿入されているメモリーカードに記録したときの予測残時間を分単位で表示する
メモリーカードAの初期化ボ タン	押すとメモリーカードAを初期化するメニューを表示する
メモリーカードBの情報	スロットBにメモリーカードが挿入されているとき、アイコンを表示する
メモリーカードBの残量メー ター	スロットBに挿入されているメモリーカードの残容量を、残比率で表したバーで表示する
メモリーカードBの残時間	現在と同じ状態でスロットBに挿入されているメモリーカードに記録したときの予測残時間を分単位で表示する
メモリーカードBの初期化ボ タン	押すとメモリーカードBを初期化するメニューを表示する

## [Network] ステータス画面

表示項目	説明
[Wireless LAN] *	無線LANの設定、接続状態
[Wired LAN] *	有線LANの設定、接続状態
[USB] / [USB Stream] / [USB Tethering] *	USB機能の設定、接続状態
[Bluetooth]	Bluetoothの設定、接続状態
[Show Authentication]	押すと本機に接続するためのユーザー名とパスワードを表示する

#### ヒント

● [Status] 欄が点滅している場合、点滅部をタップすると対策のヒントが表示される場合があります。詳しくは、「「Monitor & Control」と接続する」「無線LANでインターネットに接続する」「USBテザリングでインターネットに接続する」「有線LANでインターネットに接続する」をご覧ください。

## [Stream] ステータス画面

ストリーミングの状態を表示します。

表示項目	説明
[RTMP/RTMPS Status] */ [SRT-Caller Status] *	ストリーミング機能のオン/オフの設定 [On] 時はストリーミング機能の状態も表示する
[ARC]	[SRT-Caller 1] ~ [SRT-Caller 3] の自動レート制御機能のオン/オフ状態 [On] 時は自動レート制御の状態も表示する
[Destination] *	ストリーミングの送信先の設定
[Latency] / [TTL]	[SRT-Caller 1] ~ [SRT-Caller 3] のストリーミングのレイテンシー、TTLの表示
[Destination URL]	ストリーミングの送信先URLの表示
[Codec]	コーデックの表示
[Audio Channel]	音声チャンネルの表示
[Resolution] / [Bit Rate]	ストリーミングの解像度、ビットレートの表示

## [File Transfer] ステータス画面

ファイル転送の情報を表示します。

表示項目	説明
[Auto Upload] *	[Auto Upload] のオン/オフ状態
[Auto Upload (Proxy)] *	[Auto Upload (Proxy)] のオン/オフ/分離状態
[Total Transfer Progress]	総ジョブの転送進捗状況
[Default Upload Server] *	[Auto Upload (Proxy)] の転送先サーバーの選択
[Job Status(Remain/Total)]	総ジョブ数と残りのジョブ数
[Current File Transfer Progress]	転送中ファイルの転送進捗状況
[Current Transferring File Name]	転送中のファイル名
[Server Address]	ファイル転送先サーバーのアドレス
[Destination Directory]	ファイル転送先サーバーの転送先ディレクトリー

## 関連項目

- 「Monitor & Control」と接続する
- 無線LANでインターネットに接続する
- USBテザリングでインターネットに接続する
- 有線LANでインターネットに接続する

TP1001669963

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## 電源の準備

バッテリーパック、またはACアダプターを介してAC電源を使用できます。 安全のため、下記ソニー純正以外のバッテリーパックを使用しないでください。

#### リチウムイオンバッテリーパック

BP-U35

BP-U70

BP-U100

バッテリーチャージャー

BC-U1A

BC-U2A

ACアダプター(付属)

# ⚠警告

直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

#### ご注意

- AC電源につないで使うときは、付属のACアダプターをご使用ください。
- バッテリーパックやACアダプターは、必ず本機の電源スイッチを心(スタンバイ)の位置にしてから脱着してください。電源スイッチを【(オン)の位置のまま脱着した場合、まれに起動しなくなることがあります。もし起動しなくなった場合には、電源スイッチを心(スタンバイ)の位置にしてからバッテリーパックおよびACアダプターを一旦取り外し、約30秒放置した後に取り付けてください。(バッテリーパックで動作中の本機にACアダプターを着脱する場合は、電源スイッチは【(オン)の位置のままで問題ありません。)

TP1001669964

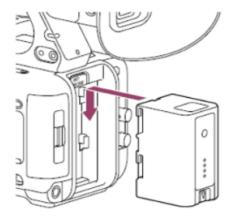
## ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## バッテリーパックを使う

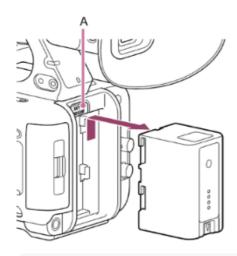
## バッテリーパックを取り付ける

バッテリーパックをバッテリーパック装着部の奥まで差し込んで、下にスライドさせてロックする。



### バッテリーパックを取り外す

BATT RELEASEボタン(A)を押しながらバッテリーパックを上にスライドさせてロックを外し、引き抜く。



#### ご注意

- 装着する前に、専用のバッテリーチャージャーBC-U1A/BC-U2Aを使用して充電してください。
- 使用直後などバッテリーパックの温度が上昇した状態で充電すると、完全に充電されないことがあります。

## 残量を確認する

バッテリーパックを使用して撮影/再生しているときは、LCDモニター/ビューファインダーにバッテリー残量が表示されます。

アイコン	意味
4///	100%~91%
4	90%~71%
4	70%~51%
4	50%~31%
	30%~11%
	10%~0%

残量は、現在の消費電流のペースで本機を継続使用した場合のバッテリーパックの使用可能時間を計算して、分単位で表示されます。

### バッテリーパックの容量が低下すると

使用中にバッテリーパックの容量が一定の値まで低下すると([Low Battery] 状態)、バッテリーパックの残りが少ないことを知らせるメッセージが画面に表示され、記録/タリーランプの点滅で警告します。

さらに容量が減り、動作が継続不可能な状態になると([Battery Empty] 状態)、バッテリーパックの残りがないことを知らせるメッセージに切り替わります。

充電されたバッテリーパックに交換してください。

#### 警告残量を変更する

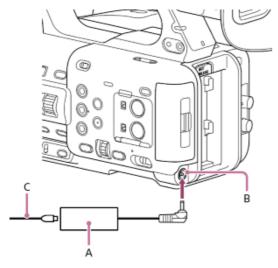
工場出荷時には、 [Low Battery] はフル充電の10%、 [Battery Empty] は3%に設定されています。これらの設定は、フルメニューの [Technical] – [Camera Battery Alarm] で変更することもできます。

TP1001669965

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## ACアダプターを使う

ACアダプターを使うと、バッテリーが切れることを心配しないで使うことができます。



ACアダプター(A)を本体のDC IN端子(B)につなぎ、電源コード(C)(付属)をAC電源に接続します。

### ACアダプターの出力電圧が低下すると

使用中にACアダプターの出力電圧が一定の値まで低下すると([DC Low Voltage1] 状態)、ACアダプターの出力電圧が低下していることを知らせるメッセージが画面に表示され、記録/タリーランプの点滅で警告します。

さらに電圧が低下し、動作が継続不可能な状態になると([DC Low Voltage2] 状態)、ACアダプターの出力電圧が不足していることを知らせるメッセージに切り替わります。

ACアダプターが故障している可能性がありますので、必要に応じて点検を行ってください。

### 警告電圧を変更する

工場出荷時には、 [DC Low Voltage1] は16.5 V、 [DC Low Voltage2] は15.5 Vに設定されています。これらの設定は、フルメニューの [Technical] — [Camera DC IN Alarm] で変更することもできます。

## ACアダプターについて

- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターは手近なAC電源を使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにAC電源からプラグを抜き、電源を 遮断してください。
- ACアダプターのプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターをつないでも本機に装着したバッテリーを充電することはできません。
- ACアダプターを本体から取り外す際はプラグ部分を持って真っすぐ抜いてください。ケーブル部分を引っ張ると故障の原因になります。

TP1001669966

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## 電源を入れる/切る

電源を入れるときは(オン)の位置にします。電源を切るときは心(スタンバイ)の位置にします。

#### ご注意

- 本機は、電源スイッチを() (スタンバイ)にした状態でも、わずかに待機電力を消費します。本機を長時間使用しないときは、バッテリーパックを取り外してください。
- バッテリーパックやACアダプターは、電源スイッチをひ(スタンバイ)にして電源ランプが消えてから取り外してください。電源スイッチが【(オン)のまま取り外すと、本機やメモリーカードの故障の原因となることがあります。

TP1001669967

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

### 日付/時刻

本機を初めて使用するときやバックアップ電池が放電してしまった後に、初めて本機の電源を入れるとLCDモニター/ビューファインダーに初期設定画面が表示されます。

この画面を使用して内蔵時計の日付/時刻を設定してください。

### [Time Zone] について

UTC(協定世界時)からの時差を設定します。必要に応じて変更してください。

マルチセレクターまたはマルチファンクションダイヤルで項目や数値を選び、マルチセレクターまたはマルチファンクションダイヤルを押して決定すると、時計が動き始めます。

設定画面が消えた後は、フルメニューの [Maintenance] – [Clock Set] で [Time Zone] および日時の設定を変更することができます。

#### ご注意

- 電源が供給されていない (バッテリーパックもACアダプターも接続されていない) 状態でバックアップ電池が消耗するなどして現在日時の情報が失われた場合は、次に電源を入れると初期設定画面が表示されます。
- 初期設定画面が表示されている状態では、この画面での設定が完了するまで電源を切る以外の操作はできません。
- 本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。

TP1001669968

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## アクセシビリティ機能の概要

本機には、視覚を補助するためのアクセシビリティ機能が搭載されています。画面上のテキストなどの情報を音声で読み上げる機能と、拡大して表示する機能があります。

アクセシビリティ機能は、初期設定画面またはフルメニューの [Maintenance] - [ 🕆 Accessibility] から設定できます。

#### 音声読み上げ機能

フルメニューの [Maintenance] – [ \*\*Accessibility] – [Screen Reader] で、音声読み上げ機能のオン/オフや読み上げ速度などの詳細な設定ができます。

#### 画面拡大機能

フルメニューの [Maintenance] – [ \* Accessibility] – [Enlarge Screen] で、画面拡大機能のオン/オフや拡大倍率などの詳細な設定ができます。

#### ヒント

■ 記録映像、再生映像のほか、一部の表示物は拡大しません。

#### 関連項目

- 画面を音声で読み上げる
- ■画面を拡大表示する

TP1001669969

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## 基本動作の設定

撮影を始める前に、運用形態に合わせて、 [Project] ステータス画面で基本動作の設定を行います。



### 関連項目

ステータス画面

TP1001671379

#### ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

### 撮影モード

本機では、現場で自在に映像の作り込みができるカスタム撮影と、ポストプロダクション処理を前提とし、現場では絵作りを行わないフィルムカメラと同等の使い方ができるログ撮影を選べます。

[Project] ステータス画面の [Shooting Mode] で切り替えます。

#### ヒント

■ フルメニューの [Project] – [Base Setting] – [Shooting Mode] でも設定できます。

#### ご注意

■ 撮影モードによって、初期値が変わる可能性があります(例: [Noise Suppression] のオン/オフなど)。撮影モードを変更した際は、想定している設定になっていることを再確認してください。

#### カスタム撮影: [Custom]

撮影モードが [Custom] のときは、映像規格を選ぶことができます。 フルメニューの [Project] – [Base Setting] – [Target Display] で切り替えます。

[SDR(BT.709)]: HD放送の規格に準じた撮影

■ [HDR(HLG)] :次世代の4K放送の規格に準じた撮影

#### ログ撮影: [Flexible ISO]

撮影シーンに合わせたISO感度による露出設定でS-Log3の素材を記録します。

まず、記録信号および出力信号のベースとなる色域を選択します。ここで選択した色域が、記録映像、および [LUT] を [Off] に設定した映像出力の色域となります。

フルメニューの [Project] – [Flexible ISO Setting] – [Color Gamut] で切り替えます。

- [S-Gamut3.Cine/SLog3] : デジタルシネマの色域 (DCI-P3) への調整がしやすい色域
- [S-Gamut3/SLog3]: ソニー独自のITU-R BT.2020をカバーする広い色域

撮影モードごとの機能制約は以下のようになります。

✓:使用可能×:使用不可

項目	[Custom]	[Flexible ISO]
[ISO/Gain]	V	v (ISOのみ)
[LUT On/Off]	×	V
[Paint/Look] ([Base Look] 以外)	V	×
[Paint/Look] ([Base Look] のみ)	√ <sup>1)</sup>	<sub>√</sub> 2)

- 1) 基本Lookとして適用
- 2) LUTとして適用

### 関連項目

- ガンマ表示アシスト機能
- 映像信号モニター

TP1001669970

### ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

### 記録フォーマット

### システム周波数

撮影する映像のシステム周波数を切り替えます。

[Project] ステータス画面の [Frequency/Scan] で切り替えます。設定値によっては、切り替えを実行すると本機が自動的に再起動します。

#### ヒント

■ フルメニューの [Project] – [Rec Format] – [Frequency] でも設定できます。

#### ご注意

● 記録/再生中にシステム周波数を切り替えることはできません。

## コーデックカテゴリー(PXW-Z200のみ)

撮影する映像のコーデックカテゴリーを切り替えます。

[Project] ステータス画面の [Codec] – [Codec Category] で切り替えます。コーデックカテゴリーを切り替えると、本機は自動的に再起動します。

#### ヒント

• フルメニューの [Project] – [Rec Format] – [Codec Category] でも設定できます。

## ご注意

■ 撮影中・再生中にコーデックカテゴリーを切り替えることはできません。

## コーデック

撮影する映像のコーデックを切り替えます。

[Project] ステータス画面の [Codec] - [Codec] で切り替えます。

### ヒント

● フルメニューの [Project] – [Rec Format] – [Codec] でも設定できます。

## ご注意

● 撮影中/再生中にコーデックを切り替えることはできません。

## ビデオフォーマット

撮影する映像のビデオフォーマットの設定を行います。

[Project] ステータス画面の [Video Format] で切り替えます。

#### ヒント

■ フルメニューの [Project] – [Rec Format] – [Video Format] でも設定できます。

### ご注意

- 撮影中/再生中にビデオフォーマットを切り替えることはできません。
- ビデオフォーマットの設定によって、SDI OUT端子(PXW-Z200のみ) およびHDMI出力端子からの信号も制限されます。

● 記録フォーマットが3840×2160で、スロー&クイックモーションのフレームレートが100fpsまたは120fpsの場合、画角が狭くなります(クロップされます)。

TP1001669971

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

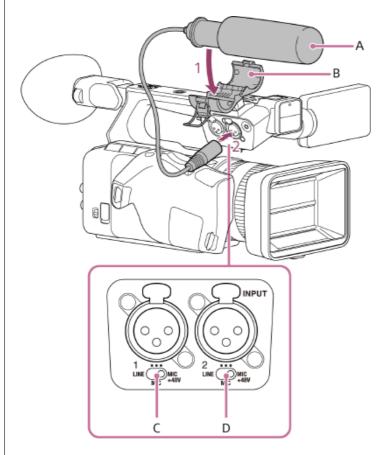
## マイク(別売)を取り付ける

マイク(別売)を取り付けることができます。

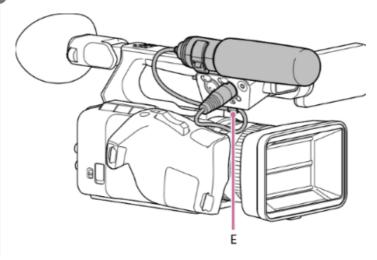
- マイク(A)をマイクホルダー(B)に取り付ける。
- **2** マイクケーブルをINPUT 1端子またはINPUT 2端子に接続する。
- ③ マイクの種類に応じてINPUT 1/INPUT 2スイッチ(C/D)を設定する。

MIC: ダイナミックマイクや電池内蔵のマイク

MIC+48V: +48V電源(ファンタム電源)対応のマイク



マイクケーブルをケーブルホルダー(E)に取り付ける。



## ヒント

- マイクがしっかりと固定できないときは、マイクに付属のスペーサーを使ってください。
- 取り付けるレンズの種類によってはマイクの先端が写り込んでしまう場合があります。マイクの位置を調整してください。

## 関連項目

- 収録する音声を設定する
- 音声入力機器を選ぶ
- 録音レベルを自動調節する
- 録音レベルを手動調節する

TP1001669972

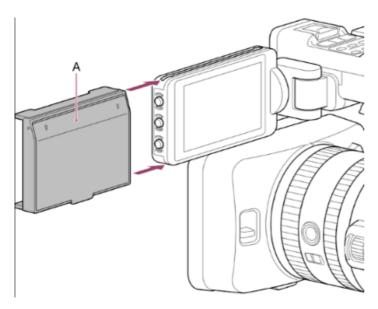
## ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## LCDフード(付属)を取り付ける

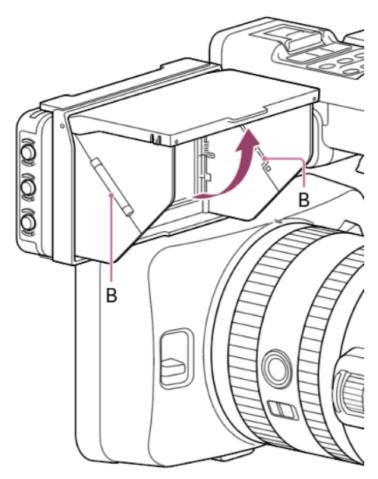
LCDモニターにLCDフード(付属)を取り付けることができます。

LCDフード(A)を、LCDモニターの上下の溝に左から右へスライドさせて取り付ける。



## LCDフードカバーを開く

LCDフードカバーの中央下部を手前に引き、上方に開く。



LCDフードカバーを閉じるときは、左右の(B)を内側へ折りたたんで閉めてください。

ご注意

LCDモニターを動かすときは、LCDモニター本体を持って動かしてください。LCDフードを持って動かさないでください。

## LCDフードを取り外す

LCDフードを取り付けたときと逆の方向に抜き取ります。

TP1001669973

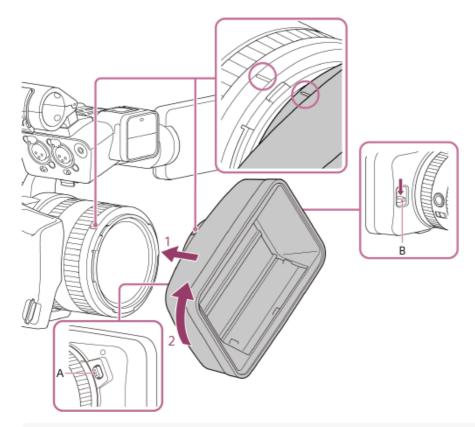
ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## レンズフード(付属)を取り付ける

レンズフード(付属)を取り付けることができます。

レンズとレンズフードの印を合わせて取り付け(1)、矢印(2)の方向にロックされるまで回す。



## ご注意

● 運搬時などご使用にならないときは、レンズフードシャッター開閉スイッチ(B)を下に押し、レンズフードシャッターを閉じてレンズを保護してください。

## レンズフードを取り外す

レンズフード取り外しボタン(A)を押しながら、取り付けた方向(2)と反対方向に回す。

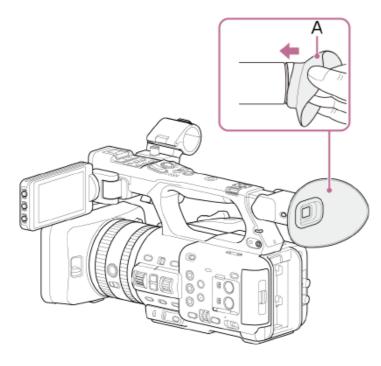
TP1001669974

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## 大型アイカップを取り付ける

ビューファインダーに大型アイカップを取り付けることができます。 大型アイカップ(A)(付属)を少し伸ばしてビューファインダーにはめ、縁を水平の溝に合わせてはめ込む。

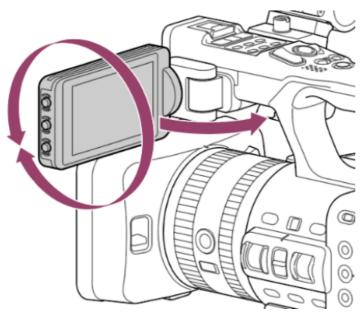


TP1001669975

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## LCDモニターの角度を調節する

LCDモニターは上下および後方に回して、見やすい角度に調節することができます。



LCDモニターを上に180度、下に90度、または後方に105度回すことで、下図のように配置することができます。

## ヒント

■ 通常、LCDモニターを折りたたむと画面が消灯しますが、VF/LCD切り替えボタンで、常時点灯させることもできます。

LCDモニターの向き	説明
LCDモニターがレンズと反対方向を向い た状態	
	通常の撮影に適した表示です。



TP1001669976

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## LCDモニターの明るさを調節する

フルメニューの [Monitoring] – [LCD Monitor/VF] – [LCD Monitor Brightness] で調節できます。明るさを変えても、記録される映像に影響はありません。

### ヒント

■ [LCD/VF Adjust] を割り当てたアサイナブルボタンでも調節できます。

TP1001669977

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## LCDモニターの画面表示を拡大する

フルメニューの [Maintenance] – [ \*\* Accessibility] – [Enlarge Screen] – [Setting] を [Enable] に設定し、 [Enlarge Screen Button] で設定したアサイナブルボタンを押すと画面が拡大表示されます。押すたびに倍率が上がり、最後に拡大を解除します。

拡大位置の移動は、LCDモニターのタッチ操作、またはマルチセレクターで行います。メニュー操作はマルチファンクションダイヤルで行います。

#### ヒント

[ \*\* Accessibility ] - [Enlarge Screen] - [Setting] を [Disable] に設定すると、 [Enlarge Screen] に設定していたアサイナブルボタンの機能は工場出荷時の割り当てに戻ります。

## ご注意

■ タッチ操作で画面拡大倍率を変えることはできません。

#### 関連項目

■ 画面を拡大表示する

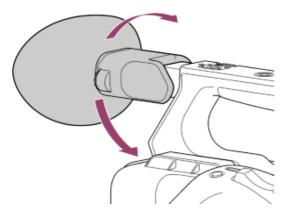
TP1001669978

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

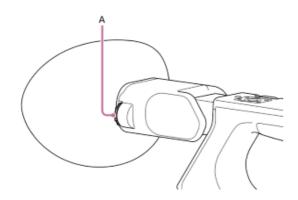
## ビューファインダーの角度を調節する

ビューファインダーで見るときは、ビューファインダーに目を近づけます。

ビューファインダーは撮影スタイルに合わせて、角度を変えることができます。使用しないときは、下にさげて折り畳むことができます。折り畳むと消灯します。



ビューファインダーの画面表示がぼやけているときは、ビューファインダーの横の視度調整ダイヤル(A)で調節します。画像がはっきり見えるように動かします。



TP1001669979

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## ビューファインダーの明るさを調節する

フルメニューの [Monitoring] – [LCD Monitor/VF] – [VF Brightness] で調節できます。明るさを変えても、記録される映像に影響はありません。

### ヒント

■ [LCD/VF Adjust] を割り当てたアサイナブルボタンでも調節できます。

TP1001669980

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## LCDモニター/ビューファインダーの表示を切り替える

ビューファインダーを下に折り畳むと消灯します。折り畳んでいないときはビューファインダーを覗きこむことで接眼センサーが反応し自動的に点灯します。

ビューファインダーが点灯するとLCDモニターは消灯します(LCDモニターとビューファインダーは同時点灯しません)。 カメラを構えたときの姿勢などにより接眼センサーが誤反応すると、ビューファインダーが点灯し、LCDモニターが消灯してしまうことがあります。

このようなときに、VF/LCD切り替えボタンで接眼センサーを無効化することができます。接眼センサーが無効化設定されていると、ビューファインダーを覗いても点灯しません。

TP1001669981

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## メモリーカードについて

本機では、撮影した映像/音声を、カードスロット内のCFexpress Type Aメモリーカード(別売)またはSDXCメモリーカード(別売)に記録します。また、プロキシ記録、設定内容の保存/読み出しと、将来のバージョンアップ(ソフトウェアアップデート)時にもこれらのメモリーカードを使用します。

## CFexpress Type Aメモリーカードについて

本機に対応のCFexpress Type Aメモリーカード $^*$ についての詳細は、下記をご覧ください。 推奨メモリーカードについて

他社製メディアの動作については、各社メディアの取扱説明書やメーカー情報をご確認ください。

\* 本書では「CFexpressカード」と表現しています。

### SDXCメモリーカードについて

本機に対応のSDXCメモリーカード $^*$ についての詳細は、下記をご覧ください。 推奨メモリーカードについて

\* 本書では「SDカード」と表現しています。

TP1001669982

## ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# 推奨メモリーカードについて

動作保証条件は [Rec Format] や記録設定によって異なります。

## MP4フォーマット時

## ■通常記録

✓:動作を保証x:保証しない

	記録フォーマ	'ット				CFexpress Type A						
システム周波数	[Codec]	解像度	[Quality]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
			[High]	Х	х	x	Х	х	V	V	V	~
	XAVC HS Long 422	3840×2160P	[Mid]	х	х	x	Х	Х	V	V	V	~
			[Low]	Х	x	×	Х	х	V	V	V	V
			[High]	х	х	x	Х	Х	V	V	V	~
	XAVC HS Long 420	3840×2160P	[Mid]	х	х	х	Х	Х	V	V	V	~
			[Low]	х	х	х	Х	Х	V	V	V	~
	XAVC S Long 422	3840×2160P	[High]	х	х	x	Х	Х	V	V	V	~
119.88 Hz			[Mid]	х	х	x	х	х	V	V	V	V
			[Low]	Х	х	x	Х	х	V	V	V	~
		3840×2160P	[High]	Х	х	x	Х	х	V	V	V	~
			[Mid]	Х	x	x	Х	х	V	V	V	V
	XAVC S		[Low]	Х	x	x	Х	х	V	V	V	V
	Long 420		[High]	Х	х	V	х	V	V	V	V	V
		1920×1080P	[Mid]	V	V	V	V	V	V	V	V	V
			[Low]	V	V	V	V	V	V	V	V	V

	記録フォーマ	'ット				CFexpress Type A						
システム周波数	[Codec]	解像度	[Quality]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
			[High]	Х	x	×	х	х	V	V	V	V
	XAVC HS Long 422	3840×2160P	[Mid]	Х	x	×	х	х	V	V	V	V
			[Low]	х	x	×	х	х	V	V	V	V
			[High]	Х	х	х	х	х	V	V	V	V
	XAVC HS Long 420	3840×2160P	[Mid]	х	x	×	х	х	V	V	V	V
			[Low]	х	x	x	Х	Х	V	V	V	~
	XAVC S Long 422	3840×2160P	[High]	Х	x	×	х	х	V	V	V	V
100 Hz			[Mid]	Х	x	x	х	х	V	V	V	~
			[Low]	Х	x	×	х	х	V	V	V	V
		3840×2160P	[High]	Х	x	×	х	х	V	V	V	V
			[Mid]	х	x	×	х	х	V	V	V	V
	XAVC S		[Low]	х	x	×	х	х	V	V	V	V
	Long 420		[High]	х	х	V	х	V	V	V	V	V
		1920×1080P	[Mid]	V	V	V	V	V	V	V	V	V
			[Low]	V	~	V	V	~	V	V	V	V

	記録フォーマ	<b>?</b> ット				CFexpress Type A						
システム周波数	[Codec]	解像度	[Quality]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
			[High]	х	х	V	х	V	V	V	V	V
	XAVC HS Long 422	3840×2160P	[Mid]	Х	х	~	х	V	V	V	V	V
			[Low]	х	х	~	х	V	V	V	V	V
			[High]	х	x	V	х	V	V	V	V	V
	XAVC HS Long 420	3840×2160P	[Mid]	х	х	~	х	V	V	V	V	V
			[Low]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
			[High]	Х	x	V	х	V	V	V	V	V
	XAVC S Long 422	3840×2160P	[Mid]	Х	x	V	х	V	V	V	V	V
			[Low]	Х	x	V	х	V	V	V	V	V
		1920×1080P	[High]	V	V	V	V	V	V	V	V	V
			[Mid]	V	V	V	V	V	V	V	V	V
59.94			[Low]	V	~	V	V	V	V	V	V	V
Hz		3840×2160P	[High]	х	x	V	х	V	V	V	V	V
			[Mid]	Х	x	V	х	V	V	V	V	V
	XAVC S		[Low]	Х	x	~	х	V	V	V	V	V
	Long 420		[High]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
		1920×1080P	[Mid]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
			[Low]	V	V	V	V	V	V	V	V	V
			[High]	Х	x	×	х	х	х	V	V	V
		3840×2160P*1	[Mid]	Х	x	×	х	х	х	V	V	V
	XAVC S		[Low]	Х	х	х	х	х	х	V	V	V
	Intra 422		[High]	х	х	х	х	х	х	V	V	V
		1920×1080P*2	[Mid]	Х	х	х	х	х	х	V	V	V
			[Low]	Х	Х	х	х	х	х	V	V	V

	記録フォーマ				CFexpress Type A							
システム周波数	[Codec]	解像度	[Quality]  [High]  [Mid]  [Low]  [High]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
			[High]	х	х	V	Х	V	V	V	V	V
	XAVC HS Long 422	3840×2160P	[Mid]	х	х	~	Х	V	V	V	V	V
	Long TZZ		[Low]	х	х	~	Х	V	V	V	V	V
			[High]	х	х	~	Х	V	V	V	V	V
	XAVC HS Long 420	3840×2160P	[Mid]	х	х	~	Х	V	V	V	V	V
			[Low]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
			[High]	х	x	V	х	V	V	V	V	V
	XAVC S Long 422	3840×2160P	[Mid]	х	x	V	х	V	V	V	V	V
			[Low]	х	x	V	х	V	V	V	V	V
		1920×1080P	[High]	V	V	V	V	V	V	V	V	V
			[Mid]	V	V	V	V	V	V	V	V	V
50 Hz			[Low]	V	~	V	V	V	V	V	C VPG200  V V V  V V  V V  V V  V V  V V  V V	V
50 HZ			[High]	х	x	V	Х	V	V	V		V
		3840×2160P	[Mid]	Х	x	V	х	V	V	V		V
	XAVC S		[Low]	х	x	~	х	V	V	V	V	V
	Long 420		[High]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
		1920×1080P	[Mid]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
			[Low]	V	V	V	V	V	V	V	V	V
			[High]	x	x	x	х	х	x	V	V	V
		3840×2160P*1	[Mid]	х	x	×	х	х	х	V	V	V
	XAVC S		[Low]	х	х	х	х	х	х	V	V	V
	Intra 422		[High]	х	х	х	х	х	х	V	V	V
		1920×1080P*2	[Mid]	х	х	х	х	х	х	V	V	V
			[Low]	х	Х	х	х	х	х	V	V	V

	記録フォーマ	<b>ツト</b>				CFexpress Type A						
システム周波数	[Codec]	解像度	[Quality]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
			[High]	х	х	~	х	~	V	V	V	V
		3840×2160P	[Mid]	Х	x	~	х	V	V	V	V	V
	XAVC S		[Low]	х	x	~	х	~	V	V	V	V
	Long 422	1920×1080P	[High]	V	~	~	V	~	V	V	V	V
			[Mid]	V	~	~	V	~	V	V	V	V
			[Low]	V	~	~	V	~	V	V	V	V
	XAVC S Long 420	3840×2160P	[High]	x	x	~	х	V	V	V	V	V
29.97 Hz			[Mid]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
			[Low]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
Hz		1920×1080P [I]  3840×2160P [I]  1920×1080P [I]  1920×1080P [I]  [I]  3840×2160P*1 [I]	[High]	V	~	~	V	V	V	V	V	~
			[Mid]	V	~	~	V	~	V	V	V	V
			[Low]	V	V	~	V	V	V	V	V	~
		3840×2160P*1	[High]	х	x	x	х	х	Х	V	V	V
			[Mid]	х	х	x	Х	х	х	V	V	V
	XAVC S		[Low]	х	х	x	Х	х	х	V	V	V
	Intra 422		[High]	х	х	х	х	х	х	~	V	V
		1920×1080P*2	[Mid]	х	х	х	х	х	х	~	V	V
			[Low]	х	х	х	х	х	х	~		V

	記録フォーマ	<b>ツト</b>				CFexpress Type A						
システム周波数	[Codec]	解像度	[Quality]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
	I COMPCI		[High]	х	х	~	х	~	~	~	V	V
		3840×2160P	[Mid]	Х	×	~	х	V	V	V	V	V
			[Low]	х	х	V	х	~	V	V	V	V
		1920×1080P	[High]	V	~	~	V	~	V	V	V	V
			[Mid]	V	~	~	V	~	V	V	V	V
			[Low]	V	~	V	V	V	V	V	V	V
		3840×2160P	[High]	Х	×	~	х	V	V	V	V	V
) 5 H2			[Mid]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
		[Low]	V	~	~	V	~	V	V	V	V	
25 112	Long 420		[High]	gh]	V	~	V	V	V	~		
		1920×1080P	[Mid]	V	V	V	V	V	V	VSC V90 VPG200  V V V  V V V  V V V  V V V  V V V  V V V  V V V  V V V  V V V  V V V  V V V  V V V  V V V  V V V  V V V  V V V V  V V V V  V V V V  V V V V  V V V V V  V V V V V  V V V V V V V  V V V V V V V V  V	~	
			[Low]	V	V	~	V	V	V	V	V	V
		3840×2160P*1	[High]	х	х	x	х	х	х	V	V	~
			[Mid]	х	х	x	Х	х	х	V	V	V
	XAVC S		[Low]	х	х	х	Х	х	х	V	V	V
	Intra 422	1920×1080P*2	[High]	х	х	х	Х	х	х	~	V	V
			[Mid]	х	Х	Х	Х	х	х	V	V	V
			[Low]	х	х	х	х	х	х	~		V

	記録フォーマ	<b>ツト</b>				CFexpress Type A						
システム周波数	[Codec]	解像度	[High] [Mid] [Low]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
			[High]	х	×	~	х	V	V	V	V	V
	XAVC HS Long 422	3840×2160P	[Mid]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
			[Low]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
			[High]	х	x	~	х	~	V	V	V	V
	XAVC HS Long 420	3840×2160P	[Mid]	V	~	V	V	V	V	V	VPG200	V
			[Low]	V	~	V	V	V	V	V	V	V
			[High]	х	×	~	х	V	V	V	V	V
		3840×2160P	[Mid]	х	×	~	х	V	V	V	V	V
	XAVC S Long 422		[Low]	х	x	~	х	V	V	V	V	V
		1920×1080P	[High]	V	~	~	V	~	V	V	V	V
			[Mid]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
23.98			[Low]	V	V	V	V	V	V	V	VPG200  V V V V V V V V V V V V V V V V V V	V
Hz			[High]	х	х	~	х	V	V	V		V
		3840×2160P	[Mid]	V	~	V	V	V	V	VSC   VPG200	V	
	XAVC S		[Low]	V	~	V	V	V	~	~	V	V
	Long 420		[High]	V	V	~	V	V	V	V	V	V
		1920×1080P	[Mid]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
			[Low]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
			[High]	Х	х	х	х	х	Х	V	V	V
		3840×2160P*1	[Mid]	х	х	х	Х	х	х	~	V	V
	XAVC S		[Low]	х	х	х	х	х	х	V	V	V
	Intra 422		[High]	х	х	х	х	х	х	V	V	V
		1920×1080P*2	[Mid]	х	Х	Х	х	х	х	~	V	V
			[Low]	Х	Х	х	х	х	х	~	V	V

<sup>\*1</sup> Class300

# ■S&Q

✓:動作を保証 x:保証しない

<sup>\*2</sup> Class100

	記録フォーマット		S&Q 撮像					CFexpress Type A					
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度	フレームレート	フレ -ム シー	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
59.94 Hz	XAVC HS	3840×2160P		[High]	x	х	x	х	х	V	V	V	V
П			1-60	[Mid] , [Low]	x	x	X	x	x	V	V	V	~
	Long 422	3040 \ 2100 F	100,	[High]	x	х	x	х	х	х	V	V	V
			120	[Mid] , [Low]	x	x	х	x	x	V	V	~	V
		3840×2160P		[High]	X	х	х	х	х	V	V	V	V
	XAVC HS Long 420		1-60	[Mid]	x	х	×	х	х	V	V	V	V
				[Low]	x	х	×	х	х	V	V	V	V
			100, 120	[High]	x	х	x	х	х	V	V	V	V
				[Mid]	x	Х	x	Х	Х	V	V	V	<b>V</b>
				[Low]	X	х	×	х	х	V	V	V	V
	XAVC S Long 422	3840×2160P	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	V	V	V	V
			100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	х	x	V	V	V
		1920×1080P	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	~	x	V	V	~	V	V
			100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	~	х	V	V	V	V	V
			150, 180, 200, 240	[High] , [Mid] , [Low]	x	х	х	x	x	V	~	V	V

	記録フォー	-マット	S&Q 撮像				;	SDXC				CFexpres	ss Type A
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度	フレームレート	[Quality]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
		3840×2160P	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	V	V	V	V
		3040 \ 2100 F	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	V	V	V	V
				[High]	х	×	~	х	V	V	V	V	V
	XAVC S Long 420	1020 v 1090 D	1-60	[Mid] , [Low]	x	х	V	x	~	V	V	~	~
			100,	[High]	х	х	~	х	V	V	V	V	V
		1920×1080P	120	[Mid] , [Low]	x	х	V	x	~	V	V	~	~
			150, 180,	[High]	х	х	х	х	х	V	V	V	V
			200, 240	[Mid] , [Low]	x	х	~	x	~	V	V	V	V
		3840×2160P*1	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	х	х	x	~	V	V
	XAVC S Intra 422	3840×2160P	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	x	x	V	V
			1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	x	V	V	V
		1920×1080P*2	100, 120, 150, 180, 200, 240	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	x	V	V	V

	記録フォー	-マット	S&Q 撮像				;	SDXC				CFexpres	ss Type A
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度	フレーム レート	[Quality]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
50 Hz				[High]	x	х	x	х	х	V	V	V	V
	XAVC HS	3840×2160P	1-60	[Mid] , [Low]	x	x	X	x	x	V	V	V	~
	Long 422	3040 \ 2100 F	100,	[High]	x	х	x	х	х	х	V	V	V
			120	[Mid] , [Low]	x	x	х	x	x	V	V	~	V
				[High]	x	х	х	х	х	V	V	V	V
			1-60	[Mid]	x	Х	x	х	х	V	V	V	V
	XAVC HS	420 3840×2160P		[Low]	x	х	x	Х	Х	V	~	V	V
	Long 420			[High]	x	х	х	х	Х	V	~	V	V
			100, 120	[Mid]	X	х	×	х	х	V	V	V	<b>V</b>
				[Low]	X	х	x	Х	Х	V	V	V	<b>V</b>
		3840×2160P	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	V	V	V	V
		3040 \ 2100 F	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	х	х	х	V	V	V
	XAVC S Long 422		1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	~	x	V	V	V	V	V
		1920×1080P	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	х	x	~	х	V	V	V	V	V
			150, 180, 200, 240	[High] , [Mid] , [Low]	x	х	x	x	x	V	~	V	V

	記録フォー	-マット	S&Q 撮像				;	SDXC				CFexpres	ss Type A
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度	フレームレート	[Quality]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
		3840×2160P	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	V	V	V	V
		3040 \ 2100 F	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	V	~	V	V
				[High]	х	×	~	х	V	V	~	V	V
	XAVC S Long 420		1-60	[Mid] , [Low]	x	х	V	x	~	V	V	~	~
			100,	[High]	х	х	~	х	V	V	~	V	V
		1920×1080P	120	[Mid] , [Low]	x	х	V	x	~	V	V	V	~
			150,	[High]	х	х	х	х	х	V	~	V	V
			180, 200, 240	[Mid] , [Low]	x	х	х	x	x	V	V	V	V
		3840×2160P*1	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	х	x	x	x	x	x	V	V	V
	XAVC S Intra 422	3840×2160P	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	x	х	V	V
			1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	х	x	x	x	~	V	V
		1920×1080P*2	100, 120, 150, 180, 200, 240	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	x	V	V	V

	記録フォー	-マット	S&Q 撮像				;	SDXC				CFexpres	ss Type A
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度	カロ ト	[Quality]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
29.97 Hz		3840×2160P	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	V	V	V	V
		3040 \ 2100 F	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	х	~	V	V
	XAVC S Long 422		1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	~	х	V	V	V	V	V
		1920×1080P	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	х	x	V	V	V	V
			150, 180, 200, 240	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	х	x	x	x	V	V	V
				[High]	х	х	х	х	х	V	V	V	V
		3840×2160P	1-60	[Mid] , [Low]	x	х	х	x	x	V	V	V	~
		3040 \ 2100 F	100,	[High]	х	Х	x	х	х	х	V	V	V
			120	[Mid] , [Low]	×	x	X	x	x	V	V	~	~
	VANC 6			[High]	Х	х	~	х	V	V	V	V	V
	XAVC S Long 420		1-60	[Mid] , [Low]	×	х	~	x	V	V	V	~	~
			100,	[High]	х	Х	x	х	х	V	V	V	V
		1920×1080P	120	[Mid] , [Low]	x	x	~	x	V	V	V	~	~
			150,	[High]	х	х	х	х	х	х	~	V	V
			180, 200, 240	[Mid] , [Low]	х	x	x	x	x	V	V	V	V

	記録フォー	-マット	S&Q 撮像				:	SDXC				CFexpres	ss Type A
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度	フレームレート	[Quality]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
		3840×2160P*1	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	x	V	V	V
	XAVC S Intra 422	384U×216UP	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	х	х	х	x	V	V
			1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	х	х	х	~	V	V
		1920×1080P*2	100, 120, 150, 180, 200, 240	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	x	V	V	V

	記録フォー	-マット	S&Q 撮像				;	SDXC				CFexpres	ss Type A
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度	カロ ト	[Quality]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
25 Hz		3840×2160P	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	V	V	V	V
		3040 \ 2100 F	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	х	~	V	V
	XAVC S Long 422		1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	~	х	V	V	V	V	V
		1920×1080P	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	×	x	x	х	x	V	V	V	V
			150, 180, 200, 240	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	x	V	V	V
				[High]	x	х	х	х	х	V	V	V	V
		3840×2160P	1-60	[Mid] , [Low]	x	х	х	x	x	V	V	V	~
		3040 \ 2100 F	100,	[High]	x	х	x	х	х	х	V	V	V
			120	[Mid] , [Low]	x	x	X	x	x	V	V	~	~
	VANC 6			[High]	Х	×	~	х	V	V	V	V	V
	XAVC S Long 420		1-60	[Mid] , [Low]	x	х	~	x	V	V	V	~	~
			100,	[High]	х	х	x	х	х	V	V	V	V
		1920×1080P	120	[Mid] , [Low]	x	x	~	x	V	V	V	~	~
			150,	[High]	х	х	х	х	х	х	~	V	V
			180, 200, 240	[Mid] , [Low]	х	x	x	x	x	V	V	V	V

	記録フォー	-マット	S&Q 撮像				:	SDXC				CFexpres	ss Type A
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度	フレームレート	[Quality]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
		3840×2160P*1	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	x	V	V	V
	XAVC S Intra 422	384U×216UP	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	х	х	х	x	V	V
			1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	х	х	х	~	V	V
		1920×1080P*2	100, 120, 150, 180, 200, 240	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	x	V	V	V

	記録フォー	-マット	S&Q 撮像				;	SDXC				CFexpres	ss Type A
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度	フレームレート	[Quality]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
23.98 Hz				[High]	х	Х	Х	x	х	V	V	V	V
	XAVC HS	3840×2160P	1-60	[Mid] , [Low]	×	x	x	x	x	V	V	~	~
	Long 422	3040 \ 2100 F	100,	[High]	x	Х	х	х	х	х	V	V	V
			120	[Mid] , [Low]	x	X	x	x	x	V	V	V	~
				[High]	Х	х	х	х	х	V	V	V	V
			1-60	[Mid]	x	х	x	х	х	V	V	V	V
	XAVC HS	3840×3160P		[Low]	x	Х	x	Х	Х	V	V	V	V
	Long 420 3840	3040 / 21001		[High]	x	Х	x	Х	Х	Х	V	V	V
			100, 120	[Mid]	x	x	x	Х	Х	V	V	V	V
				[Low]	X	х	x	х	х	V	V	V	V
		3840×2160P	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	V	V	V	V
		3040 \ 2100 F	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	х	х	х	~	V	V
	XAVC S Long 422		1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	~	x	V	~	V	V	V
		1920×1080P	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	~	V	V	V
			150, 180, 200, 240	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	x	~	V	V

	記録フォー	-マット	S&Q 撮像				:	SDXC				CFexpres	ss Type A
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度	フレームレート	[Quality]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
				[High]	X	x	x	Х	Х	V	V	V	<b>V</b>
		3840×2160P	1-60	[Mid] , [Low]	x	х	x	x	x	V	V	~	V
		3040^2100F	100,	[High]	x	×	x	х	х	х	V	V	V
			120	[Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	V	V	~	V
	XAVC S Long 420		1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	~	x	V	V	~	V	V
		1920×1080P	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	~	~	V	V
			150, 180, 200, 240	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	x	~	V	V
		3840×2160P*1	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	х	x	~	V	V
	XAVC S Intra 422	3640×2160P	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	х	x	V	V
			1-60	[High] , [Mid] , [Low]	х	x	x	x	x	x	V	V	V
		1920×1080P*2	100, 120, 150, 180, 200, 240	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	x	V	V	V

# MXFフォーマット時(PXW-Z200のみ)

## ■通常記録

✓:動作を保証 x:保証しない

<sup>\*1</sup> Class300 \*2 Class100

	記録フォーマ	ット					SDXC				CFexpres	ss Type A
システム周波数	[Codec]	解像度	[Quality]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
			[High]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
		1920×1080P	[Mid]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
			[Low]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
			[High]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
	XAVC-L 422	1920×1080i	[Mid]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
			[Low]	V	~	V	V	V	V	V	V	V
			[High]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
		1280×720P	[Mid]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
			[Low]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
			[High]	х	x	~	х	V	V	V	V	V
	XAVC-L 420	3840×2160P	[Mid]	Х	x	V	х	V	V	V	V	V
			[Low]	Х	x	V	х	V	V	V	V	V
			[High]	Х	x	х	х	х	х	х	V	V
		3840×2160P*1	[Mid]	Х	x	х	х	х	х	х	V	V
FO 04 H-			[Low]	Х	x	x	х	х	х	х	V	V
59.94 Hz			[High]	Х	x	x	х	х	V	V	V	V
		1920×1080P*2	[Mid]	Х	х	x	Х	х	V	V	V	V
	VAVC 1 422		[Low]	Х	х	x	Х	х	V	V	V	V
	XAVC-I 422		[High]	х	х	~	Х	V	V	V	V	V
		1920×1080i <sup>*2</sup>	[Mid]	х	х	~	Х	V	V	V	V	V
			[Low]	Х	х	~	Х	V	V	V	V	V
			[High]	х	х	~	Х	V	V	V	V	V
		1280×720P*2	[Mid]	Х	x	V	х	V	V	V	V	V
			[Low]	Х	x	V	х	V	V	V	V	V
	1 MPEG-HD 422		[High]	V	V	V	V	V	V	V	V	V
		1920×1080i	[Mid]	V	V	V	V	V	V	V	V	V
			[Low]	V	V	V	V	V	V	V	V	V
			[High]	V	V	V	V	V	V	V	V	V
		1280×720P	[Mid]	V	V	V	V	V	V	V	V	V
			[Low]	V	V	V	V	V	V	V	V	V

	記録フォーマ	ット					SDXC				CFexpres	ss Type A
システム 周波数	[Codec]	解像度	[Quality]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
			[High]	V	~	V	V	V	V	V	V	V
		1920×1080P	[Mid]	V	~	V	V	V	V	V	V	V
			[Low]	V	~	V	V	V	V	V	V	V
			[High]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
	XAVC-L 422	1920×1080i	[Mid]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
			[Low]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
			[High]	V	V	V	V	V	V	V	V	V
		1280×720P	[Mid]	V	V	V	V	V	V	V	V	V
			[Low]	V	V	V	V	V	V	V	V	V
			[High]	Х	x	V	х	V	V	V	V	V
	XAVC-L 420	3840×2160P	[Mid]	Х	x	V	х	V	V	V	V	V
			[Low]	Х	x	V	х	V	V	V	V	V
			[High]	Х	x	×	х	х	х	х	V	V
		3840×2160P*1	[Mid]	Х	x	x	х	х	х	x	V	V
50 Hz			[Low]	Х	x	x	х	х	х	х	V	V
30 112			[High]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
		1920×1080P*2	[Mid]	<b>V</b>	~	V	V	V	V	V	V	<b>V</b>
	XAVC-I 422		[Low]	V	~	~	V	V	V	V	V	<b>V</b>
	XAVC 1 122		[High]	<b>V</b>	~	~	V	V	V	V	V	<b>V</b>
		1920×1080i <sup>*2</sup>	[Mid]	<b>V</b>	~	~	V	V	V	V	V	<b>V</b>
			[Low]	<b>V</b>	~	~	V	V	V	V	V	<b>V</b>
			[High]	X	x	~	Х	V	V	V	V	<b>V</b>
		1280×720P*2	[Mid]	X	x	~	х	V	V	V	V	<b>V</b>
			[Low]	X	x	~	х	V	V	V	V	<b>V</b>
			[High]	<b>V</b>	~	~	<b>V</b>	V	V	V	V	<b>V</b>
	MPEG-HD	1920×1080i	[Mid]	V	V	V	V	V	V	V	V	<b>V</b>
			[Low]	V	V	V	V	V	V	V	V	V
	422		[High]	V	х	V	х	V	V	V	V	V
		1280×720P	[Mid]	V	х	V	х	V	V	V	V	V
			[Low]	<b>V</b>	х	V	Х	V	V	V	V	V

	記録フォーマ	ット					SDXC				CFexpres	ss Type A
システム 周波数	[Codec]	解像度	[Quality]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
			[High]	V	~	V	V	V	V	V	V	V
	XAVC-L 422	1920×1080P	[Mid]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
			[Low]	V	V	V	V	V	V	V	V	V
			[High]	Х	x	V	х	V	V	V	V	V
	XAVC-L 420	3840×2160P	[Mid]	х	x	~	х	V	V	V	V	V
			[Low]	х	x	~	х	V	V	V	V	V
			[High]	х	х	х	Х	Х	V	V	V	V
29.97 Hz		3840×2160P*1	[Mid]	Х	x	Х	Х	х	V	V	V	V
	XAVC-I 422		[Low]	Х	x	Х	Х	х	V	V	V	V
	XAVC-1 422		[High]	Х	x	~	Х	V	V	V	V	V
		1920×1080P*2	[Mid]	х	х	~	х	V	V	V	V	V
	MPEG-HD 422		[Low]	х	х	~	х	V	V	V	V	V
			[High]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
		1920×1080P	[Mid]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
			[Low]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
			[High]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
	XAVC-L 422	1920×1080P	[Mid]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
			[Low]	V	~	~	V	V	V	V	V	V
			[High]	X	x	~	х	V	V	V	V	V
	XAVC-L 420	3840×2160P	[Mid]	X	x	~	х	V	V	V	V	V
			[Low]	X	x	~	х	V	V	V	V	V
			[High]	X	x	x	х	х	V	V	V	V
25 Hz		3840×2160P*1	[Mid]	X	x	x	Х	Х	V	V	V	<b>V</b>
	XAVC-I 422		[Low]	X	x	x	X	Х	V	V	V	<b>V</b>
	7,110		[High]	X	x	V	Х	V	V	V	V	<b>V</b>
		1920×1080P*2	[Mid]	X	x	V	Х	V	V	V	V	<b>V</b>
			[Low]	х	х	V	Х	V	V	V	V	<b>V</b>
	MDEC LID		[High]	V	V	V	V	V	V	V	V	<b>V</b>
	MPEG-HD 422	1920×1080P	[Mid]	<b>V</b>	V	V	V	V	~	V	V	<b>V</b>
			[Low]	<b>V</b>	V	V	V	V	V	V	V	V

記録フォーマット						:	SDXC				CFexpress Type A					
システム周波数	[Codec]	解像度	[Quality]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400				
			[High]	V	~	~	V	V	V	V	V	~				
	XAVC-L 422	1920×1080P	[Mid]	V	~	~	V	V	V	V	V	~				
			[Low]	V	~	~	V	V	V	V	V	~				
			[High]	х	x	~	х	V	V	V	V	~				
	XAVC-L 420	3840×2160P	[Mid]	х	x	~	х	V	V	V	V	~				
			[Low]	х	x	~	х	V	V	V	V	~				
			[High]	x	x	×	х	х	V	V	V	~				
23.98 Hz		3840×2160P*1	[Mid]	x	x	×	х	х	V	V	V	~				
	XAVC-I 422		[Low]	x	x	×	х	х	V	V	V	~				
	XAVC-1 422		[High]	x	x	~	х	V	V	V	V	~				
		1920×1080P*2	[Mid]	x	x	~	х	V	V	V	V	V				
			[Low]	х	x	~	х	V	V	V	V	~				
			[High]	V	~	~	V	V	V	V	V	~				
	MPEG-HD 422	1920×1080P	[Mid]	V	V	V	V	V	V	V	V	V				
			[Low]	V	<b>V</b>	V	V	V	V	~	V	V				

<sup>\*1</sup> Class300

## ■S&Q

✓:動作を保証x:保証しない

## ご注意

S&Qモードは、インターレースに対応していません。

<sup>\*2</sup> Class100

	記録フォー	マット	S&Q 撮像				;	SDXC				CFexpress Type A		
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度	カマント	[Quality]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400	
				[High]	V	V	V	V	~	~	V	V	V	
			1-60	[Mid] , [Low]	V	~	V	V	V	V	V	~	V	
			100,	[High]	x	x	~	х	V	V	V	V	V	
	XAVC-L	1920×1080P	120	[Mid] , [Low]	х	х	V	x	V	V	V	~	V	
	422		150, 180,	[High]	x	х	Х	х	х	V	V	V	V	
			200, 240	[Mid] , [Low]	x	x	V	x	V	V	~	<b>~</b>	V	
		1280×720P	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	V	~	V	V	~	V	V	V	V	
	XAVC-L 420	3840×2160P	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	~	x	~	V	V	V	V	
		3040×2100F	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	х	x	V	V	V	v v v v	
59.94 Hz		3840×2160P	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	х	x	x	x	x	х	x	V	V	
		3040 \ 21001	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	х	х	х	х	V	V	
	XAVC-I		1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	V	V	V	V	
	422	1920×1080P	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	х	x	х	х	V	V	V	
			150, 180, 200, 240	[High] , [Mid] , [Low]	x	х	х	x	x	x	x	V	~	
		1280×720P	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	х	x	V	x	V	~	~	V	V	
	MPEG-HD 422	1280×720P	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	V	V	V	V	~	V	V	V	V	

	記録フォー	マット	S&Q 撮像				;	SDXC				CFexpress Type A		
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度	カマン フレーム レート	[Quality]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400	
				[High]	х	х	V	х	~	~	V	V	V	
			1-60	[Mid] , [Low]	V	V	V	V	V	V	V	V	V	
			100,	[High]	x	x	~	х	V	V	V	V	V	
	XAVC-L	1920×1080P	120	[Mid] , [Low]	x	х	V	x	V	V	V	V	V	
	422		150, 180,	[High]	x	х	х	Х	х	V	V	V	<b>V</b>	
			200, 240	[Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	V	~	V	V	
		1280×720P	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	V	x	~	V	V	V	V	
	XAVC-L 420	3840×2160P	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	~	x	~	V	V	V	V	
		3040 × 2100F	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	х	x	V	V	V	V	
50 Hz		3840×2160P	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	х	x	x	x	~	V	
		3040 \ 21001	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	х	х	х	х	V	V	
	XAVC-I		1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	V	V	V	V	
	422	1920×1080P	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	х	~	~	V	
			150, 180, 200, 240	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	х	x	x	x	x	V	V	
		1280×720P	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	х	x	~	х	~	~	~	V	V	
	MPEG-HD 422	1280×720P	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	х	x	V	х	~	~	~	V	V	

	記録フォー	マット	S&Q 撮像				;	SDXC				CFexpress Type A		
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度	フレ ーム レー ト	[Quality]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400	
				[High]	х	х	V	х	V	V	V	V	V	
			1-60	[Mid] , [Low]	x	x	V	x	V	V	V	~	~	
	XAVC-L		100,	[High]	X	x	х	Х	х	V	V	V	V	
	422	1920×1080P	120	[Mid] , [Low]	x	x	~	x	V	V	V	V	~	
			150, 180,	[High]	х	х	х	х	х	х	~	V	V	
			200, 240	[Mid] , [Low]	x	х	х	x	x	V	V	V	V	
	XAVC-L 420	3840×2160P	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	х	x	~	V	V	V	
		3840×2160P	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	×	x	x	х	x	x	V	V	V	
29.97 Hz		3840×2160P	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	х	x	x	x	V	V	
		3840×2160P	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	х	x	x	x	V	V	
	XAVC-I 422		1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	х	х	~	V	V	V	
		1920×1080P	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	x	V	V	V	
			150, 180, 200, 240	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	x	x	V	~	
	MPEG-HD 422	1920×1080P	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	V	x	~	V	V	V	V	

	記録フォー	マット	S&Q 撮像				:	SDXC				CFexpress Type A		
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度	フレ ーム レー ト	[Quality]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400	
				[High]	х	х	V	х	~	~	~	V	~	
			1-60	[Mid] , [Low]	×	x	~	x	V	V	V	V	~	
	XAVC-L		100,	[High]	Х	х	х	Х	Х	V	V	V	V	
	422	1920×1080P	120	[Mid] , [Low]	×	x	x	x	x	V	V	V	~	
			150, 180,	[High]	Х	х	х	х	х	х	~	V		
			200, 240	[Mid] , [Low]	x	х	х	x	x	V	V	V	~	
	XAVC-L 420	3840×2160P	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	V	V	V	V	
		3040×2100P	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	x	V	V	V	
25 Hz		3840×2160P	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	x	x	V	V	
		3040 × 2100F	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	х	x	x	х	x	V	V	
	XAVC-I 422		1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	х	х	х	х	V	V	V	V	
		1920×1080P	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	х	V	V	V	
			150, 180, 200, 240	[High] , [Mid] , [Low]	x	х	х	x	x	x	x	V	V	
	MPEG-HD 422	1920×1080P	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	х	х	V	x	V	V	V	V	V	

	記録フォーマット		S&Q 撮像					CFexpress Type A					
シス テム 周波 数	[Codec]	解像度	フレームレート	[Quality]	Class10	U1	U3	VSC V10	VSC V30	VSC V60	VSC V90	VPG200	VPG400
				[High]	х	х	V	х	~	~	~	V	V
			1-60	[Mid] , [Low]	x	х	V	x	~	V	V	V	V
	XAVC-L		100,	[High]	x	Х	Х	х	х	V	V	V	V
	422	1920×1080P	120	[Mid] , [Low]	x	x	х	x	x	V	V	V	~
			150, 180,	[High]	x	х	х	х	x	х	V	V	V
			200, 240	[Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	V	V	V	V
	XAVC-L 420	204021600	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	х	x	V	V	V	V
		3840×2160P	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	×	x	x	х	x	x	V	V	V
23.98 Hz		2040×21600	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	х	x	x	x	x	x	x	V	V
		3840×2160P	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	х	x	x	х	x	x	x	V	V
	XAVC-I 422		1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	х	x	V	V	V	V
		1920×1080P	100, 120	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	х	V	~	V
			150, 180, 200, 240	[High] , [Mid] , [Low]	x	x	x	x	x	x	x	V	V
	MPEG-HD 422	1920×1080P	1-60	[High] , [Mid] , [Low]	x	х	V	x	V	~	V	V	V

<sup>\*1</sup> Class300

TP1001669983

<sup>\*2</sup> Class100

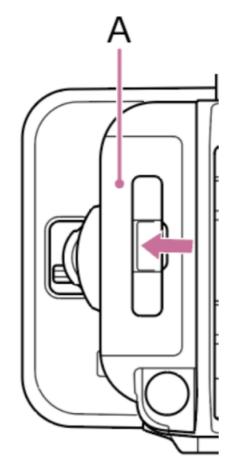
## ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## メモリーカードを入れる

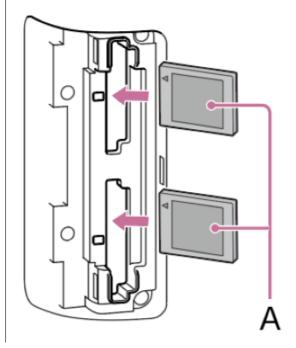
メモリーカードの入れ方を説明します。

カードスロットカバー(A)中央のレバーを矢印の方向に押して開ける。

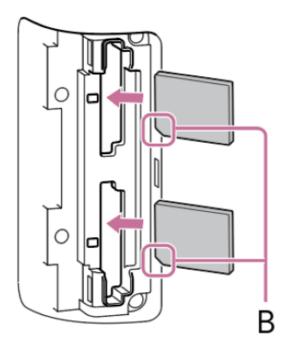


2 メモリーカードを差し込む。

CFexpressカードの場合はラベル(A)を左にする。



■ SDカードの場合はラベルを右にして切り欠き部(B)を下にする。



アクセスランプが赤く点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。

### ご注意

- アクセスランプの赤い点滅が長く続き緑点灯にならない場合は、一度電源を切りメモリーカードを抜き差しすることで、緑点灯になる可能性があります。
- カードスロットカバーを閉める。

## ご注意

- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。
- CFexpress Type A/SDカードスロット(A)/(B)の両方にメモリーカードを挿入して記録を行う際には、どちらのスロットにも、記録するフォーマットに対して動作が推奨されているメモリーカードを挿入してください。

#### 関連項目

• メモリーカードについて

TP1001669984

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## メモリーカードを取り出す

カードスロットのカードスロットカバーを開け、メモリーカードを軽く1回押して取り出します。

#### ご注意

- メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず使用するメモリーカードのアクセスランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。
- 記録終了後にメモリーカードを取り出した際、メモリーカードが熱くなっている場合がありますが故障ではありません。

TP1001669985

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## メモリーカードを初期化する

フォーマットされていないメモリーカード、または別の仕様でフォーマットされたメモリーカードを装着すると、メッセージがLCDモニター/ビューファインダーに表示されます。

下記の手順に従ってフォーマットしてください。

1. [Media] ステータスで初期化したいメモリーカードの [Format] を選択し、 [Full Format] または [Quick Format] を選択する。

確認メッセージが表示されます。

- [Full Format]:メモリーカードのデータ管理情報だけでなくデータ領域を含む全体を初期化します。
- [Quick Format]:メモリーカードのデータ管理情報を初期化します。

#### ご注意

■ フォーマット対象のメモリーカードに転送対象ファイルが存在する場合は、確認メッセージの下に補足メッセージ(表示例: [A transfer target file exists.]) が表示されます。この場合は、メモリーカードを初期化してよいかどうかを確認してから、初期化を実行またはキャンセルしてください。

#### 2. [OK] を選択する。

実行中はメッセージが表示され、アクセスランプが赤く点灯します。 フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されますので、マルチファンクションダイヤルを押して消します。

#### ヒント

● フルメニューの [TC/Media] – [Format Media] でも実行できます。

## ご注意

- メモリーカードをフォーマットすると、記録された映像データ、セットアップファイルなどを含む、すべてのデータが消去されます。
- フォーマットの処理時間によっては、実行中のメッセージが表示されない場合があります。

#### フォーマットできなかったときは

本機で使用できないメモリーカードはフォーマットできません。 警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、使用できるメモリーカードに交換してください。

## 本機でフォーマットしたメモリーカードを他の機器で使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

TP1001669986

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## 残りの記録可能時間を確認する

撮影中(記録中/記録待機中)は、撮影画面のメディア残量表示で、各スロットに装着したメモリーカードの残量を確認することができます。

現在設定されている記録フォーマットで撮影した場合に記録可能な時間を、それぞれのスロット内のメモリーカードの残量から計算して 分単位で表示します。

#### メモリーカードの交換時期

- 記録中に2枚のメモリーカードの残記録可能時間の合計が5分を切ると、 [Media Near Full] が表示され、記録/タリーランプの点滅とブザー音(ヘッドホン出力)で警告します。空きのあるメモリーカードに交換してください。
- 記録を継続して、残記録可能時間の合計が0になると、 [Media Full] の表示に変わり記録が停止します。

#### ヒント

● 1枚のメモリーカードに、XAVC S時は約9999個、XAVC時(PXW-Z200のみ)は約600個までのクリップを記録できます。

TP1001669987

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## 基本操作手順

基本的な撮影は次の手順で行います。

- 1. 必要な機器が取り付けられ、電源が供給されていることを確認する。
- 2. 必要なメモリーカードを入れる。

メモリーカードはA/B両方のカードスロットに入れておくと、1枚目の残量がなくなった時点で自動的に2枚目に切り替わります。

3. 電源スイッチをオンにする。

電源ランプが点灯して、LCDモニターまたはビューファインダーに撮影画面が表示されます。

4. グリップまたはハンドルの録画START/STOPボタンを押す。

記録/タリーランプが点灯して、撮影が始まります。

5. 撮影を終了するときは、もう一度録画START/STOPボタンを押す。

撮影が停止し、本機は [Stby] (記録待機) モードになります。

#### ご注意

■ 電源を入れてから数秒以内に録画START/STOPボタンを押すと、記録/タリーランプが点灯し録画状態になりますが、選択している記録フォーマットによっては最初の数秒間はメモリーカードに記録されない場合があります。

### FULL AUTOモードで撮影する

AUTO/MANUALスイッチをAUTOにすると、オートNDフィルター/オートアイリス/オートゲインコントロール/オートシャッター/ATWモードが有効になり、明るさとホワイトバランスが常に自動調整されます。

それぞれをマニュアルで調節したいときは、AUTO/MANUALスイッチをMANUALにしてください。

#### ご注意

[Auto ND Filter] は、NDバリアブルモードで [ND Filter Position] を [On] にしたときに働きます。ND PRESET/VARIABLEスイッチを VARIABLEにしておき、被写体の明るさに応じてND FILTER POSITION上下ボタンを押して、 [On] / [Clear] を手動で切り替えてください。

### メモリーカードを入れ換えながら、中断することなく撮影する

カードスロットA/Bの両方にメモリーカードを入れておけば、撮影中にメモリーカードA(またはメモリーカードB)の残量がなくなる直前に、自動的にもう一方のメモリーカードへの記録に切り替わります(リレー記録)。

メモリーカードが切り替わるたびに、記録済みのメモリーカードを新しいメモリーカードに交換することで、中断することなく撮影を続けられます。

### ヒント

記録中にSLOT SELECTボタンを押すと、記録先をもう一方のメモリーカードへ手動で切り替えることができます。

#### ご注意

- 記録中のメモリーカードを取り出さないでください。記録中にメモリーカードを入れ換えるときは、アクセスランプが消灯しているカードスロットのみ行ってください。
- 記録中のメモリーカードの残量が1分未満のときに、もう一方のカードスロットに記録可能なメモリーカードが入っていると、メッセージが表示されます。メモリーカードが切り替わると消えます。
- メモリーカードの残量が1分未満のときに記録を始めると、続けて撮影ができない場合があります。正しく行うには、撮影開始時にメモリーカードの残量が1分以上あることを確認してください。
- 本機を使ってリレー記録した動画は、本機上ではシームレス再生できません。
- 本機を使ってリレー記録した動画を結合するには、ソフトウェア「Catalyst Browse」を使用してください。ご使用の前には、「Catalyst Browse」の動作環境を確認してください。
- SDカードを使ってリレー記録を行う場合は、同じ種類のSDカードを使用してください。

### クリップについて

#### クリップ

撮影を停止すると、開始から停止までの映像/音声/付随データが、ひとつの「クリップ」としてメモリーカードに記録されます。

#### クリップ名について

本機で記録されるクリップには、フルメニューの[TC/Media] – [Clip Name Format] で設定された形式でクリップ名がつけられます。

### クリップの最大記録時間

クリップの最大記録時間は、XAVC S時は、最大13時間で自動停止します。XAVC時(PXW-Z200のみ)は、最大24時間で自動停止します。

#### 音声を聞く

記録される音声をヘッドホンでモニターできます。

ヘッドホン端子にヘッドホンをつなぐと、記録される音声をモニターできます。また、再生時は内蔵スピーカーまたはヘッドホンでモニターできます。

モニターするチャンネルの選択は、 [Audio] ステータス― [Monitor CH] またはフルメニューの [Audio] – [Audio Output] – [Monitor CH] で行います。

#### ヒント

● 本機は画面表示やメニューの音声読み上げに対応しています。

### |タイムデータ

### タイムコードを設定する

記録されるタイムコードは、フルメニューの [TC/Media] – [Timecode] で設定します。

#### ユーザービットを設定する

8桁の16進数をユーザービットとしてクリップに付加できます。ユーザービットを現在時刻に設定することも可能です。[TC/Media] – [Users Bit] で設定します。

### タイムデータを表示する

表示するタイムコードは、フルメニューの[TC/Media] – [TC Display] – [Display Select]で設定します。

[DURATION/TC/U-BIT] 機能が割り当てられたアサイナブルボタンを押すと、表示がタイムコード、ユーザービット、経過時間の順に切り替わります。

#### タイムコードの入力/出力を切り替える(PXW-Z200のみ)

TC IN/OUTスイッチで、タイムコードの入力/出力を切り替えることができます。

#### 記録内容を確認する

レックレビューモードを使うと、直前に記録したクリップの映像を画面で確認することができます。

#### ご注意

■ 記録後にビデオフォーマットを変更したときは、レックレビューはできません。

### レックレビューの方法

事前にアサイナブルボタンのいずれかに [Rec Review] を割り当てておきます。

記録を停止したら、 [Rec Review] が割り当てられたアサイナブルボタンを押します。すると、直前に記録したクリップの再生が始まります。

クリップの終わりまで再生すると、レックレビューは終了し、[Stby] (記録待機) モードに戻ります。

### レックレビューを中止するには

[Rec Review] が割り当てられたアサイナブルボタンまたはCANCEL/BACKボタンを押します。

#### レックレビューの設定

フルメニューの [Technical] - [Rec Review] の設定により、再生開始位置を次のいずれかに設定できます。

• クリップの最後の3秒

- クリップの最後の10秒
- クリップの先頭から

### ヒント

■ 撮影した複数のクリップから任意のクリップを確認したい場合は、THUMBNAILボタンを押してサムネイル画面からクリップを選択して再生を開始することができます。

#### 関連項目

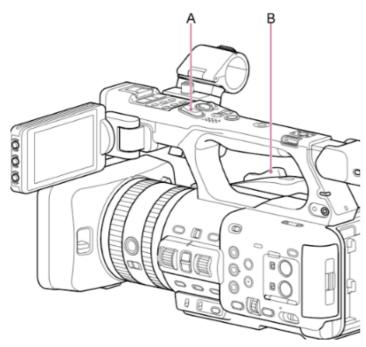
- 画面を音声で読み上げる
- クリップを再生する
- タイムコードを外部機器と合わせる(PXW-Z200のみ)

TP1001669989

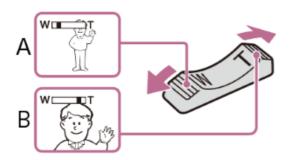
ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## ズームレバーでズームする

ハンドルズームレバー(A)またはグリップズームレバー(B)でズーム操作ができます。レバーを押し込む量に応じてズームスピードが変化します。



ズームレバーを浅く押し込むとゆっくり、深く押し込むと速くズームします。



A: Wへ押すと広角になる B: Tへ押すと望遠になる

### ヒント

- ピント合わせに必要な被写体との距離は、広角は約1cm以上、望遠は約100cm以上です。
- 被写体との距離が100cm以内の被写体は、ズーム位置によってはピントが合わないことがあります。
- ズームレバーから指を離さずに操作してください。指を離すとズームレバーの操作音が記録されることがあります。
- フルメニューの [Technical] [Zoom] [Zoom Type] で、ズームレバー操作時のズームタイプを選ぶことができます。
- フルメニューの [Technical] [Speed Zoom] で、ズームレバーのズーム駆動速度を速くすることもできます。

TP1001669990

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## ズームの種類を選ぶ

フルメニューの [Technical] – [Zoom] – [Zoom Type] でズームの種類を設定します。

[Zoom Type]の設定								
[Optical Zoom Only]	[On(Clear Image Zoom)]							
光学ズームのみできる。	光学ズームと全画素超解像ズームができる。							

### 全画素超解像ズーム

本機は、全画素超解像という画像処理技術によるズーム機能を搭載しています。全画素超解像ズームを有効にすると、光学望遠端からさらに寄ることができます。

全画素超解像ズームの最大倍率は、記録解像度により異なります。

記録解像度がQFHDのとき: 1.5倍記録解像度がHDのとき: 2倍

### デジタルエクステンダー

本機は1.5倍のデジタルエクステンダー機能を搭載しています。全画素超解像ズームとは異なり、非連続な切り替えとなります。アサイナブルボタンに [Digital Extender] を割り当ててください。電源を切ると1倍に戻ります。

TP1001669991

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## ハンドルズームレバーでズームする

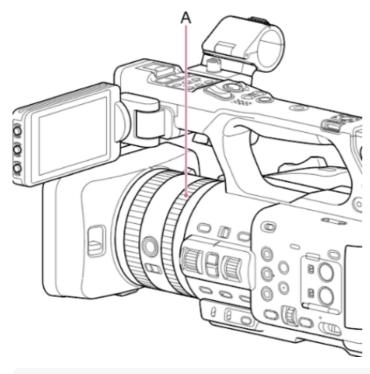
フルメニューの [Technical] – [Handle Zoom] でハンドル部のズームレバーの設定を行います。

TP1001669992

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## ズームリングでズームする

ズームリング(A)を回して好みの速さでズームすることができます。微調整も可能です。



### ご注意

- ▼ スームリングは適度な速さで回してください。速すぎると、ズームリングの回転に追いつかないことがあります。また、ズームの駆動音が記録されることがあります。
- ズームが動作しない場合は、レンズリングに割り当てられている機能を確認してください。詳しくは「レンズリング」をご覧ください。

## 関連項目

• レンズリング

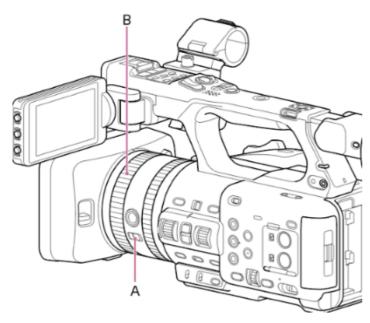
TP1001669993

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## フォーカスを手動調節する

フォーカスを手動調整するには、FOCUSスイッチ(A)をMFの位置にします。 撮影状況に応じて、フォーカスリング(B)を回して手動でフォーカス合わせができます。



以下のようなときに使います。

- 水滴の多い被写体
- 背景とコントラストの弱い被写体
- 意図的にフォーカスを手前の被写体から奥の被写体に送るとき
- 外気温の大きな変化により、フォーカスのピントが外れたとき(レンズの温度特性による変化時)

### ヒント

- 手動調節を基本オペレーションとして、オートフォーカスを補助的に効かせることもできます。
  - AF乗り移り感度設定を [1(Locked On)] にする
  - FOCUSスイッチをAFに設定する
  - フォーカスリングを操作する([AF Assist])

### ご注意

フォーカスリングでフォーカスが動作しない場合は、レンズリングに割り当てられている機能を確認してください。詳しくは「レンズリング」をご覧ください。

### 関連項目

- 手動でフォーカス対象を変更する
- ・レンズリング

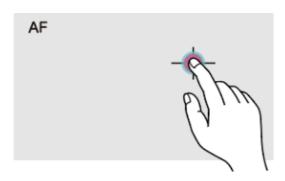
TP1001669994

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## タッチ操作でフォーカスを合わせる

マニュアルフォーカス時、ピントを合わせたい位置をタッチ操作で指定すると、フォーカスを合わせることができます。 スポットフォーカスを使用するには、 [Shooting] – [Focus] – [Touch Function in MF] を [Spot Focus] に設定します。 ピントを合わせたい位置をタップすると、スポットフォーカスマークが表示されます。



#### ご注意

- スポットフォーカス中にFOCUS PUSH AUTOボタンを押すとスポットフォーカスを終了し、そのボタンを押している間はオートフォーカスになります。ボタンから指を離すと、マニュアルフォーカスに戻ります。 [Push AF/Push MF] を割り当てたアサイナブルボタンでも同様の操作ができます。
- ピント拡大中、またはフルメニューの [Technical] [Touch Operation] を [Off] に設定しているときは、スポットフォーカスの位置指定操作はできません。

### 関連項目

タッチパネルの使いかた

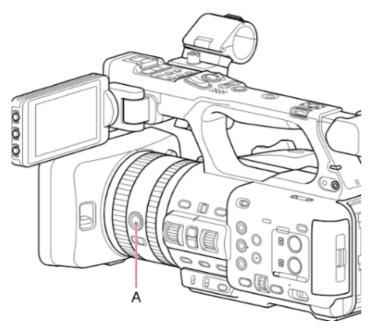
TP1001669995

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## 一時的に自動でフォーカスを合わせる

マニュアルフォーカス中に、FOCUS PUSH AUTOボタン(A)または [Push AF/Push MF] が割り当てられたアサイナブルボタンを押すと、そのボタンを押している間はオートフォーカスになります。



フルメニューの [Shooting] – [Focus Area] で設定したフォーカスエリア内でフォーカスを合わせます。ボタンから指を離すと、マニュアルフォーカスに戻ります。マニュアルフォーカス中に、ある被写体から別の被写体にゆっくりとフォーカス送りするような場合に有効です。

TP1001669996

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## 拡大表示をしてフォーカスを合わせる

工場出荷時はグリップのASSIGN(アサイナブル)4ボタンとハンドルのASSIGN(アサイナブル)9ボタンに[Focus Magnifier ×3/×6]が割り当てられています。

ASSIGN (アサイナブル) 4ボタンまたはASSIGN (アサイナブル) 9ボタンを押すと、LCDモニター/ビューファインダー画面がピント拡大画面に切り替わり、画面中央が約3倍に拡大されます。もう一度押すと約6倍に拡大されます。フォーカスが合っているかを確認するときに便利です。

もう一度押すと元に戻ります。

ピント拡大中にマルチセレクターで拡大位置を移動できます。マルチセレクターを押すと中央に戻ります。

#### ご注意

- ピント拡大で表示されていても、記録される画像やSDI出力、HDMI出力の画像は拡大されません。
- 拡大位置は本機の電源をオフにすると画面中央に戻ります。

TP1001669997

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## フォーカスを自動調節する

本機は、高速性に優れる位相差AF方式と、高い精度でフォーカスを合わせることに優れるコントラストAF方式を採用しています。 これらの2つのAF方式を組み合わせることで、高速性/高精度を両立したオートフォーカスを実現しています。 フォーカスを自動調整するには、FOCUSスイッチをAFの位置にします。

### ヒント

● フルメニューの [Shooting] – [Focus] – [AF Assist] を [On] に設定すると、オートフォーカス中でもフォーカスリングでフォーカスを動か すことができます。フォーカスリング操作を止めると、 [Subject Recognition AF] の設定に従って、その時点のフォーカスポジションに近い被写 体にピントを合わせます。

### ご注意

■ 撮影状況により精度が出ない場合があります。

TP1001669998

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

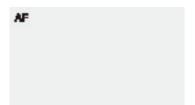
ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## オートフォーカスの対象領域/位置を設定する

フルメニューの [Shooting] – [Focus] – [Focus Area] でオートフォーカスの対象とする領域を設定できます。

#### [Wide]

映像全域からフォーカスを合わせる位置を探します。枠は表示されません。



### [Zone]

指定したゾーン内から自動でフォーカスを合わせる位置を探します。 選択後、マルチセレクターで位置を指定します。 マルチセレクターを長押しすると中央の位置に戻ります。



### [Flexible Spot]

映像の指定した位置にフォーカスを合わせます。 選択後、マルチセレクターで位置を指定します。 マルチセレクターを長押しすると中央の位置に戻ります。



#### ヒント

● フルメニューの [Monitoring] – [Display On/Off] – [Focus Area Indicator] で、フォーカス領域の枠を表示/非表示にすることができます。

### ご注意

■ フォーカス領域の枠はDISPLAYボタンでは非表示になりません。

TP1001669999

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# フォーカスエリアをすばやく変更する

アサイナブルボタンに [Focus Setting] を割り当てると、撮影中などにオートフォーカスの対象領域(フォーカスエリア)の位置や大きさをすばやく変更することができます。

[Focus Area] の設定により動作が変わります。

## [Focus Area] - [Wide] の場合:

[Focus Setting] を割り当てたアサイナブルボタンの長押しによるフォーカスエリアの大きさ変更のみ可能です。 [Focus Area] を [Flexible Spot] または [Zone] に設定すれば、続けて位置変更も可能です。

## [Focus Area] - [Zone] または [Flexible Spot] の場合:

[Focus Setting] を割り当てたアサイナブルボタンを押すと、マルチセレクターでフォーカスエリアの位置を変更することができます。 位置変更中にマルチセレクターを押すと、フォーカスエリアの位置が中央に戻ります。

[Focus Setting] を割り当てたアサイナブルボタンを長押しするとフォーカスエリアの大きさを変更することができます。 大きさを変更後、マルチセレクターを押すとフォーカスエリアの位置を設定します。

設定の変更が終了したら、 [Focus Setting] を割り当てたアサイナブルボタンを押して元の画面に戻ります。

### ヒント

● フォーカスエリアの位置変更が可能な場合は、フォーカスエリア枠がオレンジ色で表示されます。

TP1001670000

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

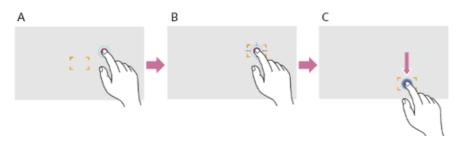
# フォーカスエリア枠をタッチ操作で移動する

[Focus Setting] を割り当てたアサイナブルボタンを押すなどしてフォーカスエリアの表示をオレンジにしたとき、タッチ操作で移動できます。

タップした場所をフォーカスエリアの中心とし、フォーカスエリアの位置を移動します。ドラッグすると、フォーカスエリアの位置は指 の動きに追従して移動します。

### ヒント

● 撮影画面では[Focus Setting]を割り当てたアサイナブルボタンの操作で、タッチフォーカス操作の有効/無効を切り替えることができます。



A: 任意の位置をタップする

B: タップした位置をフォーカスエリアの中心として位置を移動する C: ドラッグで指先を追従し、フォーカスエリアの位置を移動する

### ご注意

- タップまたはドラッグした位置がフォーカスエリアの位置の設定範囲を超えた場合、フォーカスエリアの位置は設定範囲内の上下左右端に設定されます。
- 以下の場合、この機能は使えません。
  - ■フルメニューの [Technical] [Touch Operation] を [Off] に設定した場合
  - フォーカスエリア枠がグレーまたは非表示の場合

#### 関連項目

タッチパネルの使いかた

TP1001670001

## ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

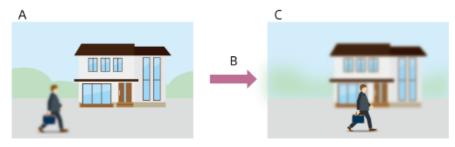
## オートフォーカスの動作の調節をする

# AFトランジション速度

フルメニューの [Shooting] – [Focus] – [AF Transition Speed] で被写体が移り変わる際のフォーカス駆動の速さを設定することができます。

[1(Slow)] を選択すると被写体の移り変わり時にゆっくりとフォーカス送りし、印象的な映像表現を可能にします。

[7(Fast)] を選択すると被写体間のフォーカス送りがすばやくなります。フレームに入った被写体にすぐにフォーカスが合うので、すばやいフォーカス合わせが要求されるドキュメンタリー撮影などに効果的です。



A: 奥の被写体に合焦している

B:乗り移り中

[1(Slow)]:フォーカスがゆっくり動く

[7(Fast)]: フォーカスがすばやく動く

C: 手前の被写体に合焦

### AF乗り移り感度

フルメニューの [Shooting] – [Focus] – [AF Subj. Shift Sens.] で、被写体の乗り移り感度を設定することができます。 [1(Locked On)] を選択するとフォーカスの合っている被写体の前に別の被写体が来てもフォーカスが移りにくくなり、 [5(Responsive)] を選択すると手前に来た被写体を優先してフォーカスが移りやすくなります。

### ヒント

[AF Speed/Sens.] を割り当てたアサイナブルボタンを押すたびに、調節用のレベルバーが以下の順で表示され、 [AF Transition Speed] と [AF Subj. Shift Sens.] の設定を変更できます。AFトランジション速度→AF乗り移り感度→非表示・・・

## [AF Subj. Shift Sens.] : [1(Locked On)]



別の被写体にフォーカスが移りにくい

[AF Subj. Shift Sens.] : [5(Responsive)]



別の被写体にフォーカスが移りやすい

TP1001670002

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# 手動でフォーカス対象を変更する

フルメニューの [Shooting] – [Focus] – [AF Assist] を [On] に設定すると、オートフォーカス中でもフォーカスリングを操作して任意の被写体にフォーカスを合わせることができます。

フォーカスリングの操作を止めると、フォーカスリングで合わせた被写体にオートフォーカスします(AFアシスト状態)。 フルメニューの[Shooting] – [Focus] – [AF Subj. Shift Sens.]の設定に関わらず、フォーカスリング操作後はフォーカスが乗り 移りにくくなります。

以下の場合、AFアシスト状態は解除されます。

- フォーカスリングで合わせた被写体を見失ったとき
- マニュアルフォーカスにしたとき
- リアルタイムトラッキングAFを開始したとき

### ヒント

- FOCUS PUSH AUTOボタンまたは [Push AF/Push MF] が割り当てられたアサイナブルボタンを使うと、AFアシスト状態を素早く解除できます。
- フォーカスリングを操作すると、リアルタイムトラッキングAFは終了します。
- 人物限定AFの場合、フォーカスリングを操作すると一番近い顔にオートフォーカスします。

TP1001670003

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# 一時的に手動でフォーカスを合わせる

オートフォーカス中に、FOCUS PUSH AUTOボタンを押すと、そのボタンを押している間はマニュアルフォーカスになります。ボタンから指を離すと、オートフォーカスに戻ります。

被写体の手前を撮影対象でないものが横切るときなどに、一時的にオートフォーカスを止めて手動でフォーカスを合わせることができます。

## ヒント

- [Push AF/Push MF] が割り当てられたアサイナブルボタンでも同様の動作が可能です。
- リアルタイムトラッキングAF中の場合、リアルタイムトラッキングAFを終了します。

TP1001670004

## ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# 人物を検出して追尾する

人物を追尾対象として検出し、フォーカスエリア内にある顔や瞳、頭、体にフォーカスを合わせ続けることができます。 フォーカスモードがオートフォーカスモードまたはプッシュオートフォーカス中のみ使用できます。

人物を検出すると灰色の被写体認識枠が表示されます。オートフォーカスの対象と判断されると、枠が白色になり、追尾が開始されます。

よりピンポイントな認識部位(瞳など)が認識された場合は、その部位が自動的に優先されて認識枠が表示されます。 複数の人物を検出したときは、主な被写体は自動的に決定します。

#### ヒント

フォーカスエリアが [Zone] または [Flexible Spot] に設定されているときは、設定したフォーカスエリアの範囲に人物が重なっているときに、 認識した被写体の部位(顔や瞳/頭/体)に認識枠が表示されます。

フルメニューの [Shooting] – [Focus] – [Subject Recognition AF] で、被写体認識AFの動作を設定します。

### [Human Only AF]:

カメラが被写体(人物)を検出したとき、人の顔/瞳/頭/体にフォーカスを合わせて追尾します。

顔/瞳/頭/体を検出しない間は、オートフォーカスモードが一時停止し、人物限定AF中の!! (オートフォーカス一時停止アイコン) が表示されます。顔/瞳/頭/体だけにフォーカスを合わせて追尾したいときに有効なモードです。

#### [Human Priority AF]:

カメラが被写体(人物)の顔/瞳/頭/体を検出したとき、人の顔/瞳/頭/体に優先的にフォーカスを合わせて追尾します。顔/瞳/頭/体を検出しないときは、映像のどこかにフォーカスがあった状態にします(初期設定)。

#### [Off] :

被写体認識AF機能を無効にします。

### ご注意

- [Human Only AF] に設定しているときでも、プッシュオートフォーカス実行中は、 [Human Priority AF] になります。
- FOCUSスイッチがMFのときは、被写体認識枠を表示しません(プッシュオートフォーカス実行中、リアルタイムトラッキングAF実行中を除く)。
- [Human Only AF] に設定した状態で本機の電源を切った場合、次に電源を入れると自動的に [Human Priority AF] になります。

### 被写体認識枠を消す

被写体認識枠の表示/非表示は、フルメニューの [Monitoring] – [Display On/Off] – [Subject Recognition Frame] で設定できます。

# アサイナブルボタンで被写体認識AFの動作を切り替える

アサイナブルボタンに [Subject Recognition AF] を割り当てると、そのボタンを押すたびに、被写体認識AFの動作が [Human Priority AF] → [Human Only AF] → [Off] の順に切り替わります。

## ダイレクトメニューで設定する

被写体認識AFの動作は、ダイレクトメニューでも切り替えることができます。

#### 関連項目

- アサイナブルボタン
- ダイレクトメニュー

TP1001670005

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# 被写体を指定して追尾する

タッチ操作や被写体認識枠の選択操作で指定した被写体にフォーカスを合わせ続けることができます。 被写体を選択すると白色の追尾枠が表示され、追尾が開始されます。

#### ヒント

■ フォーカスエリアの設定に関わらず、映像領域全体で追尾します。

フルメニューの [Shooting] – [Focus] – [Touch Function in MF] を [Tracking AF] に設定すると、フォーカスモードがマニュアルフォーカスモードの場合でもリアルタイムトラッキングAFが可能です。

被写体認識AFの動作モードの設定によって、追尾対象に対して次のように動作します。

### [Human Only AF] / [Human Priority AF] :

指定した被写体にフォーカスを合わせ追尾します。

追尾対象が人物で、顔/瞳/頭/体を検出した場合は、顔/瞳/頭/体にフォーカスを合わせます。

追尾対象の顔/瞳/頭/体を検出した場合、追尾対象の顔を保存します。保存が完了すると**袋**(保存された追尾顔ありアイコン)が表示されます。

#### [Off] :

指定した被写体にフォーカスを合わせ追尾します。

追尾対象が人物であっても、顔/瞳/頭/体の検出は行いません。

TP1001670006

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## リアルタイムトラッキングAFを開始する

特定の被写体を追尾対象に指定すると、その被写体に対して追尾が開始されます。

### タッチ操作で指定する

次のいずれかの状態のときに、追尾対象とする被写体をタップします。

- フォーカスモードがマニュアルフォーカスモード、またはプッシュマニュアルフォーカス中で、フルメニューの [Shooting] ー [Focus] [Touch Function in MF] が [Tracking AF] のとき
- フォーカスモードがオートフォーカスモード、またはプッシュオートフォーカス(AF)中のとき

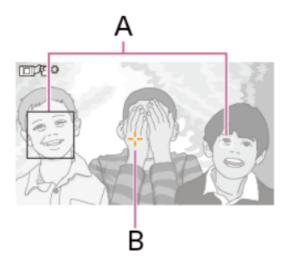
### ご注意

■ フルメニューの [Technical] – [Touch Operation] を [Off] に設定した場合はタッチ操作での指定はできません。

### トラッキングAFポインターで指定する

フルメニューの [Shooting] – [Focus] – [Multi Selector Function] を [Pointer] に設定すると、タッチ操作の代わりにマルチセレクターで画面上の被写体を自由に選ぶことができます。

マルチセレクターで被写体にトラッキングAFポインターを追尾対象にする被写体に移動して、マルチセレクターを押し込みます。



A:瞳顔枠

B:トラッキングAFポインター

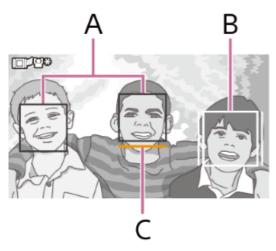
ビューファインダーを使用している場合やタッチパネル操作を無効にしている場合に便利です。

トラッキングAFポインターは、ポインターの色や縁取りを変えることで見やすくしたり、撮影を邪魔しすぎないようにすることができます。

#### 被写体認識枠の選択操作で指定する

フルメニューの [Shooting] – [Focus] – [Multi Selector Function] を [Subject Sel. Cursor] に設定すると、被写体認識枠をマルチセレクターで選ぶことができます。

マルチセレクターで被写体選択カーソル(オレンジ色の下線)を追尾対象にする被写体に移動して、マルチセレクターを押し込みます。



A:他の顔検出枠(灰色)

B:追尾枠

C: 顔選択カーソル (オレンジ)

## ヒント

■ リアルタイムトラッキングAF中に追尾対象を変更することもできます。

## ご注意

■ マニュアルフォーカス中は、被写体認識枠の選択操作でトラッキングを開始できません。

TP1001670007

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# リアルタイムトラッキングAFを終了する

# タッチ操作で終了する

### ヒント

- 以下の場合もリアルタイムトラッキングAFが終了します。
  - FOCUS PUSH AUTOボタンまたは [Push AF/Push MF] を割り当てたアサイナブルボタンを押したとき
  - FOCUSスイッチでAUTO/MANを切り替えたとき
  - フォーカスモードを変更したとき
  - オートフォーカスアシストを実行したとき
  - フォーカスエリアの設定や被写体認識AFの動作を変更したとき
  - 撮影画面内から追尾対象がなくなり、フォーカスがどこにも合っていない状態が数秒経過したとき

TP1001670008

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## 撮影時のご注意

以下の場合は、状況によってはうまく被写体にピントが合わないことがあります。

- 低照度、逆光時
- 影がかかった状態
- ピントが大きくずれた状態

また、被写体の動きが大きいときなど、瞳を認識していても、以下の場合は、状況によってはうまく瞳にピントが合わないことがあります。

- 目を閉じた状態
- 瞳に毛などがかかった状態
- メガネ (サングラス) をかけた状態

ほかにも、状況によって被写体にピントを合わせられない場合があります。

- 被写体の瞳などの優先したい部位にピントを合わせることができないときは、被写体の頭部や体などの認識されたほかの部位に自動でピントを合わせることがあります。
- 被写体の顔などに白色の被写体認識枠が表示されていても、自動的に被写体の瞳などの優先したい部位にピントを合わせることがあります。
- 被写体の一部しか画角に入っていないときは認識しない場合があります。
  - 人物や動物の手や足のみが見えている場合
  - 被写体の一部が隠れて見えない場合など
- 状況によっては、被写体以外のものや部位などを被写体と誤認識することがあります。

ズーム操作をしたときにマニュアルフォーカスがずれる場合は、「フランジバックの調整」の内容に沿って、調整を行ってください。

## 関連項目

フランジバックの調整

TP1001670009

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## フランジバックの調整

レンズの取り付け面と撮像素子面までの距離(フランジバック)を自動調整します。

光学ズームの広角端と望遠端でフォーカスが正しく合わない場合に実施します。正しく調整されると、フォーカス調整後にズーム位置を変更しても、フォーカスが合ったまま保持されます。

#### 調整前の準備

調整前に次の準備を必ず行ってください。

1. フランジバック調整用チャートを、専用URLからダウンロードし、A3サイズで印刷する。 https://helpguide.sony.net/pro/fb\_adj/v1/h\_zz/

#### 2. カメラを水平な場所に置く。

コンバージョンレンズなどが装着されている場合は取り外してください。

3. フランジバック調整用チャート(A3サイズ推奨)を、約2 m離れた位置に置き、ズームを望遠端にして、フランジバック調整用チャートの中心が画面中央になるように映す。

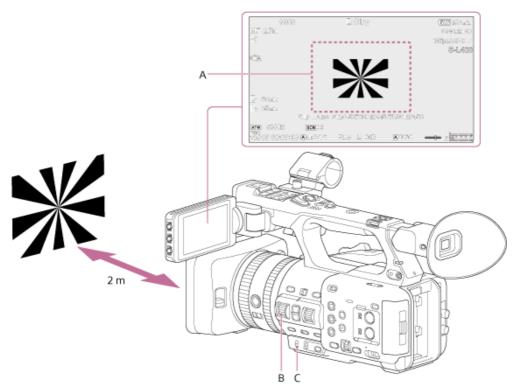
ズームを広角端にしたときの画面の中央付近(下図の点線部分内)に、チャートと異なる距離の被写体が入らないようにしてください。

A: 点線内は専用チャートのみを映す

4. ズームを広角端にしたあと、以下の設定を行う。

#### スイッチ類の設定

B: IRISダイヤル: F2.8 (開放) C: ISO/GAINスイッチ: 0 dB



# フルメニューの設定

[Project] - [Rec Format] - [Frequency] : 59.94または50 [Project] - [Rec Format] - [Video Format] : 3840×2160P

[Shooting] - [S&Q Motion] - [Setting] : [Off] [Shooting] - [SteadyShot] - [Setting] : [Off]

5. ズーム範囲全体で画が適切な明るさになるように、照明やNDフィルターで明るさを調整する。

### 自動調整を実行する

- 1. フルメニューの [Technical] [Lens] [Auto FB Adjust] [Execute] を選択する。
- 2. 確認画面の内容を確認したあと、 [Execute] を選択する。

## フランジバックの自動調整を中断するには

実行中に表示される [Cancel] を選択します。

# 自動調整後に調整値を工場出荷状態に戻すには

- 1. フルメニューの [Technical] [Lens] [Auto FB Adjust] [Reset] を選択する。
- 2. 確認画面の内容を確認したあと、 [Execute] を選択する。

#### ご注意

- 調整実行中はカメラには触れないでください。
- 調整が失敗した場合、メッセージが表示されます。調整ができない場合は以下を確認してください。
  - フランジバック調整チャートの明るさは適切か。
  - 明るさが不適切だとメッセージが表示されて調整が中断します。
  - フランジバック調整チャートが近すぎたり、遠すぎたりしていないか。
  - 「調整前の準備」の操作を正しく行ったか。
  - カメラ画面の中にライトなど高輝度被写体が映っていないか。

TP1002005409

## ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# アイリスを調節する

アイリスを調節して、明るさを調節できます。

### アイリスを自動調節する

被写体に応じて明るさを調節します。

IRIS AUTOボタンを長押ししてAUTOにする。

### ヒント

- [Auto Iris] のダイレクトメニューで [Auto] を選んでも同様の操作ができます。
- アサイナブルボタンに [Auto Iris] を割り当てることもできます。

## アイリスを手動調節する

- 1. IRIS AUTOボタンを長押ししてMANUALにする。
- 2. IRISダイヤルを回して調節する。

### ヒント

- ダイレクトメニューでF値を選択し、マルチセレクターを上下させることで同様の操作ができます。
- フルメニューの [Project] [Lens Ring] [Lens Ring] で、アイリス調節操作をズームリングに割り当てることができます。詳しくは「レンズリング」をご覧ください。

#### ご注意

● アイリスダイヤルでアイリスの操作ができない場合は、フルメニューの [Project] - [IRIS Dial] - [IRIS Dial] の設定を確認してください。詳しくは「IRISダイヤル」をご覧ください。

### 一時的に自動調節する

[Push Auto Iris] を割り当てたアサイナブルボタンを押している間、アイリスを自動調節します。 指を離すと手動アイリスに戻ります。

### 関連項目

- IRISダイヤル
- レンズリング

TP1001670010

## ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# ゲインを調節する

ゲインを調節して、明るさを調節できます。

### ゲインを自動調節する

[ISO/Gain] が割り当てられたアサイナブルボタンを長押しして [AGC] のダイレクトメニューを表示させ、 [Auto] を選ぶ。

### ヒント

- フルメニューの [Shooting] [Auto Exposure] [AGC] を [On] に設定しても同様の調節が可能です。
- アサイナブルボタンに [AGC] を割り当てることもできます。

#### ゲインを手動調節する

アイリスを固定したまま露出調整したいときや、AGCによるゲインアップを行いたくないときなどに使用します。

- 1. [ISO/Gain] が割り当てられたアサイナブルボタンを長押しして [AGC] のダイレクトメニューを表示させ、 [Manual] を選ぶ。
- 2. ISO/GAINスイッチでL/M/Hを選ぶ。

### ヒント

- [Camera] ステータス [ISO/Gain<L>] / [ISO/Gain<M>] / [ISO/Gain<H>] 、またはフルメニューの [Shooting] [ISO/Gain] [ISO/Gain<L>] / [ISO/Gain<M>] / [ISO/Gain<H>] で各スイッチポジションのプリセット値を変更できます。
- アサイナブルボタンに [Push AGC] を割り当てると、そのボタンを押している間だけ [AGC] を [On] にできます。

## ゲインを微調整する

- 1. [ISO/Gain] が割り当てられたアサイナブルボタンを押して、ゲイン値が白背景で表示された状態にする。
- 2. マルチファンクションダイヤルを回して調節する。

#### ヒント

■ ISO/GAINスイッチの設定に応じたゲインプリセット値を変更します。

#### ゲインを一時的に微調整する

マルチファンクションダイヤルに[ISO/Gain]を割り当てると、ISO/GAINスイッチで設定した値からダイヤルで調整することができます。

被写界深度を変えずにもう一歩露出を追い込みたいときに便利です。

一時的に微調整した結果は、ISO/GAINスイッチの切り替えや [AGC] を [On] 、電源をオフにすると無効になります。

## ヒント

● アサイナブルボタンに [Push AGC] を割り当てると、そのボタンを押している間だけ [AGC] を [On] にできます。

TP1001670011

## ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# シャッターを調節する

シャッターを調節して、明るさを調節できます。

## シャッターを自動調節する

[Shutter] が割り当てられたアサイナブルボタンを長押ししてダイレクトメニューを表示させ、 [Auto] を選ぶと、映像の明るさに応じて自動でシャッター速度または開角度を調節できます。

## ヒント

● フルメニューの [Shooting] – [Auto Exposure] – [Auto Shutter] を [On] に設定しても同様の調節が可能です。

### シャッターを手動調節する

- 1. [Shutter] が割り当てられたアサイナブルボタンを長押ししてダイレクトメニューを表示させ、 [Speed] または [Angle] を選ぶ。
- 2. [Shutter] が割り当てられたアサイナブルボタンを押して、シャッター値が白背景で表示された状態にする。
- 3. マルチファンクションダイヤルを回してシャッター速度を調節する。

#### ヒント

- 露光時間をフレーム周期に合わせる場合は、手順1で [Off] を選択します。
- 角度で設定したり、光源の周波数に応じてシャッター速度を細かく設定することもできます。

TP1001670012

### ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## 光量を調節する

撮影状況が明るすぎるときは、NDフィルターを変更して適切な明るさにすることができます。 本機は2つのNDフィルターモードを備えています。2つのモードはND PRESET/VARIABLEスイッチで切り替えます。

#### プリセットモードで調節する

ND PRESET/VARIABLEスイッチをPRESETの位置にして、ND FILTER POSITION上下ボタンで切り替えます。

[Clear]: NDなし

[1] : フルメニューの [Shooting] – [ND Filter] – [Preset1] で設定した透過率。 [2] : フルメニューの [Shooting] – [ND Filter] – [Preset2] で設定した透過率。 [3] : フルメニューの [Shooting] – [ND Filter] – [Preset3] で設定した透過率。

### バリアブルモードで調節する

ND PRESET/VARIABLEスイッチをVARIABLEの位置にします。ND FILTER POSITION上下ボタンで [Clear] と [On] を切り替えます。

#### 光量を自動調節する

[Auto ND Filter] を [On] にして、NDフィルターを使った自動露出調節を行います。

- 1. ND FILTER POSITION上下ボタンの+を押して、NDフィルターを [On] にする。
- 2. ND AUTOボタンを [Auto] になるまで長押しする。

## 光量を手動調節する

- 1. ND FILTER POSITION上下ボタンの+を押して、NDフィルターを [On] にする。
- 2. ND AUTOボタンを [Manual] になるまで長押しする。
- 3. ND VARIABLEダイヤルを回してフィルターの透過率を調節する。

#### 一時的に自動調節する

[Push Auto ND] が割り当てられたアサイナブルボタンを押している間、 [Auto ND Filter] が [On] になります。指を離すと [Off] に戻ります。

ND FILTER POSITION上下ボタンの+を押して、NDフィルターを[On] にしておいてください。

#### ご注意

■ 撮影中に [Clear] をまたいでNDフィルターを切り替えたとき、画像内にNDフィルターの枠が入り、音声に動作音が入ります。

## ヒント

- ND VARIABLEダイヤルをND1/4からさらに下に回すと、 [Clear] にすることができます。また、 [Clear] からある程度上に回すと、ND1/4にすることができます。フルメニューの [Technical] [ND Dial] [CLEAR with Dial] で、この動作を無効にすることができます。
- ND FILTER POSITION上下ボタンの代わりに、 [ND Filter Position] が割り当てられたアサイナブルボタンを押して設定を変更することもできます。

```
プリセットモード: [Clear] \rightarrow [Preset1] \rightarrow [Preset2] \rightarrow [Preset3] \rightarrow [Clear] \cdot \cdot \cdot バリアブルモード: [Clear] \rightarrow [On] \rightarrow [Clear] \cdot \cdot \cdot
```

- [Auto ND Filter] が割り当てられたアサイナブルボタンを押して [Auto ND Filter] を [On] / [Off] にすることもできます。
- 明るい被写体を撮影するとき、アイリスを極端に絞ると回折現象が生じフォーカスが甘くなることがあります(ビデオカメラでは一般的に起こる現象です)。NDフィルターを使うことでこの現象を抑え、より良好な撮影結果を得ることができます。

TP1001670013

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# ホワイトバランスを自動で調節する

常に適切なホワイトバランスになるように自動的に調節します。

光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスを自動的に調節し直します。

[White Balance] が割り当てられたアサイナブルボタンを長押しして、ダイレクトメニューから [ATW] を設定します。フルメニューの [Shooting] – [White Setting] – [ATW Speed] で調節速度を選択します。

### ヒント

● アサイナブルボタンに [ATW Hold] 機能を割り当てておくと、このボタンを押すことによって、ATWモードでも一時的にATWを停止させ、ホワイトバランスを固定することができます。

### ご注意

- 照明や被写体の条件によっては、ATWを使用しても適切な色に調節できないことがあります。例:
  - 空/海/地面/草花など単一色の被写体が大部分を占める場合
  - 色温度が非常に高い/非常に低い光源下の被写体
  - ATWの自動追従の時間が遅い場合や、適切な効果が得られない場合は、オートホワイトバランスを実行してください。

TP1001670014

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# ホワイトバランスを手動で調節する

- 1. ホワイトバランスがATWモードになっているときは、 [White Balance] が割り当てられたアサイナブルボタンを長押しして、ダイレクトメニューから [W:P] / [W:A] / [W:B] を選ぶ。
- 2. WHT BALスイッチでB/A/PRESETを選択する。

B: メモリーBモード

A: メモリーAモード

PRESET: プリセットモード

#### ヒント

フルメニューの [Shooting] - [White Setting] - [White Switch<B>] を [ATW] に設定すると、メモリーBに [ATW] が割り当てられます。

### メモリーA/メモリーBモード

メモリーAまたはメモリーBに保存されたホワイトバランスに調節します。

## プリセットモード

色温度をプリセット値(工場出荷時: [3200K]) に調節するモードです。

#### 既定のプリセット値に変更する

プリセットモードでは既定のプリセット値に直接変更することができます。

[White Balance] が割り当てられたアサイナブルボタンを長押しして、ダイレクトメニューで以下から選択する。

カスタム撮影:→ [3200K] → [4300K] → [5600K] → [6300K]

□グ撮影:→ [3200K] → [4300K] → [5500K]

#### ヒント

■ [Preset White Select] が割り当てられたアサイナブルボタンを押して設定を変更することもできます。

カスタム撮影:

[→3200K]

[→4300K]

[→5600K]

[→6300K]

ログ撮影:

[→3200K]

[→4300K]

[→5500K]

# 任意の色温度に変更する

- 1. [White Balance] が割り当てられたアサイナブルボタンを押して、色温度が白背景で表示された状態にする。
- 2. マルチファンクションダイヤルを回して調節する。

## ヒント

- プリセットモードでは100K単位で設定できます。
- メモリーモードでは、[2000K] ~ [5600K] は20K単位で設定できます。 [5600K] より上の値は、 [5580K] から [5600K] の色変化量と等しくなる間隔で設定できます。また、フルメニューの [Shooting] [White] [Tint] の調節ができます。

### オートホワイトバランスを実行する

メモリーA/メモリーBモードで保存するホワイトバランスを自動で設定します。

- 1. メモリーAモードまたはメモリーBモードを選択する。
- 2. 被写体の照明光源と同じ条件のところに白い紙などを置き、ズームアップして画面に白を映す。
- 3. 明るさを調節する。

アイリスを手動調節してください。詳細は下記をご覧ください。

アイリスを調節する

- 4. WB SETボタンを押す。
  - メモリーモードで実行した場合、自動で調節した結果は手順1で選択したメモリー(AまたはB)に保存されます。

■ ATWモードで実行した場合、自動調節が終わると、結果を引き継いでATWを再開します。 [ATW Speed] の設定に関わらず、最速でホワイトバランスをあわせたいときに使用できます。

### ご注意

正常に終了しなかったときは画面に約3秒間エラーメッセージが表示されます。繰り返し調整を試みてもエラーメッセージが表示されるときは、ソニーのサービス担当者にご相談ください。

TP1001670015

## ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# 手ブレ補正を使う

手ブレ補正機能を有効にすると、撮影時の細かな動きによる画像のぶれを抑えることができます。

1. フルメニューの [Shooting] – [SteadyShot] – [Setting] を [Active] / [Standard] に設定する。

[Standard]: 手ブレによって生じる撮像映像のぶれを抑えます。

[Active]: [Standard] より強力な補正を行うことで、歩きながらの撮影など、より強い手ブレを補正します。画角が少し望遠側にシフトします。

[Off]: 手ブレ補正モードをオフにします。

アサイナブルボタンに [SteadyShot] 、 [SteadyShot Active] または [SteadyShot Standard] を割り当てておくと、そのボタンを押すたびに、 [Standard] 、 [Active] 、 [Off] が切り替わります。切り替え順序については、フルメニューの [Project] – [Assignable Button] をご覧ください。

[Project] メニュー

設定は、撮影画面に表示されます。

また、ダイレクトメニューで、手ブレ補正の[Standard]、[Active]、[Off]の切り替えができます。

### ヒント

- スロー&クイックモーションで撮影しているときは [Active] に設定できません。
- 三脚に載せて安定した状態で使用するときは、手ブレ補正を [Off] にしてください。手振れ補正を [Standard] または [Active] にした状態で、 ゆっくりとしたパンチルト動作を行うと映像が乱れる場合があります。
- 手持ち撮影時も、ゆっくりとしたパンチルト動作を行うと映像が乱れる可能性がありますので、気になる場合は、手振れ補正の設定を変更して調節してください。

TP1001670016

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# 収録する音声を設定する

本機の入力端子やスイッチ、ダイヤルなどを使い、収録する音声を設定します。

### 外部音声の入力端子と切り替えスイッチ

INPUT 1端子

INPUT 2端子

INPUT 3端子(外部マイク接続用)

マルチインターフェースシュー

INPUT 1スイッチ (LINE/MIC/MIC+48V)

INPUT 2スイッチ(LINE/MIC/MIC+48V)

# 録音レベルの設定用スイッチ/ダイヤル

CH1 (AUTO/MAN) スイッチ

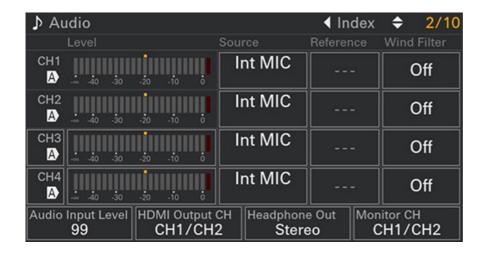
CH2 (AUTO/MAN) スイッチ

AUDIO LEVELダイヤル (CH1)

AUDIO LEVELダイヤル (CH2)

## [Audio] ステータス画面

AUDIOボタンを押すと、[Audio]ステータス画面が表示されます。MENUボタンを押して、画面を上下にスクロールして表示させることもできます。



TP1001670017

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# 音声入力機器を選ぶ

[Audio] ステータスの [CH1] / [CH2] / [CH3] / [CH4] - [Source] 、またはフルメニューの [Audio] - [Audio Input] - [CH1 Input Select] / [CH2 Input Select] / [CH3 Input Select] / [CH4 Input Select] で音声入力を切り替える。

マルチインターフェースシューに接続されたマイクやXLRアダプターを使う場合は、 [Shoe CH1] または [Shoe CH2] もしくは [Shoe CH3] または [Shoe CH4] を設定します。XLRアダプターについて、詳細は下記をご覧ください。 オーディオ入力端子を増設する

#### ご注意

- スロー&クイックモーション撮影では、音声は記録されません。
- [CH1 Input Select] と [CH2 Input Select] が [Internal MIC] に設定されている場合、CH1とCH2の録音レベルは共にAUDIO LEVELダイヤル(CH1)に連動して調節されます。 [CH3 Input Select] と [CH4 Input Select] が [Internal MIC] に設定されている場合、CH3とCH4の録音レベルは共に [CH3 Input Level] に連動して調節されます。

## 2 入力する音源を選ぶ。

INPUT 1/INPUT 2端子に接続する機器に合わせて、INPUT 1/INPUT 2 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチを設定します。

接続機器	スイッチの位置
外部音声機器(ミキサーなど)	LINE
ダイナミックマイクや電池内蔵のマイク	MIC
+48V電源(ファンタム電源)対応のマイク	MIC+48V

- MIC+48Vにしたままで+48V電源に対応していない機器を接続すると、接続した機器の故障の原因になります。接続前にご確認ください。
- 接続しない端子の雑音が気になるときは、INPUT 1/INPUT 2 (LINE/MIC+48V) スイッチをLINEにしてください。

TP1001670018

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# 録音レベルを自動調節する

自動調節するチャンネルのCH1/CH2(AUTO/MAN)スイッチをAUTOの位置にします。 CH3/CH4の場合は、[Audio]ステータス、またはフルメニューの[Audio] – [Audio Input] – [CH3 Level Control]/[CH4 Level Control]を[Auto]に設定します。

### 関連項目

• ブロックダイヤグラム

TP1001670019

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# 録音レベルを手動調節する

CH1/CH2の録音レベルを手動調節する場合は、以下の手順で行います。

- 調節するチャンネルのCH1/CH2(AUTO/MAN)スイッチをMANの位置にする。
- **②** 撮影中またはスタンバイ中に、調節するチャンネルのAUDIO LEVELダイヤル(CH1)/(CH2)を回して、音量を調節する。
  - CH3/CH4の場合は、 [Audio] ステータスの [CH3] / [CH4] 、またはフルメニューの [Audio] [Audio Input] [CH3 Level Control] / [CH4 Level Control] を [Manual] に設定し、 [CH3 Input Level] / [CH4 Input Level] で録音レベルを調節します。
  - CH1~CH4を一括してレベル調節することもできます。 [Audio Input Level] が割り当てられたマルチファンクションダイヤルや、 [Audio] ステータス、またはフルメニューの [Audio] [Audio Input] [Audio Input Level] で調節します。

## ヒント

● 音声入力レベルの確認には、 [Audio] ステータス画面が便利です。

### ご注意

- [Audio] メニューの設定の組み合わせにより [Audio Input Level] の設定が無効になる場合があります。
- 本機では組み合わせによりさまざまな設定ができます。
- 設定の組み合わせについて、詳細は下記をご覧ください。 ブロックダイヤグラム

TP1001670020

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# オーディオ入力端子を増設する

XLRアダプターXLR-K2M(別売)、XLR-K3M(別売)を使うと、同時に4系統のXLR音声機器を本機に接続することができます。

#### XLR-K2Mの場合

マルチインターフェースシューにXLRアダプターを装着して、 [Audio] ステータスの [CH3] – [Source] を [Shoe CH1] に設定し、 [CH4] – [Source] を [Shoe CH2] に設定してください。

または、フルメニューの [Audio] - [Audio Input] - [CH3 Input Select] を [Shoe CH1] に設定し、 [CH4 Input Select] を [Shoe CH2] に設定してください。

XLR-K2Mは、2ch対応のアダプターです。マルチインターフェースシューのCH3/CH4には対応していないため、カメラ本体で [Shoe CH3] または [Shoe CH4] に設定されたチャンネルは無音になります。

## XLR-K3Mの場合

マルチインターフェースシューにXLRアダプターを装着して、 [Audio] ステータスの [CH3] – [Source] を [Shoe CH1] または [Shoe CH3] に設定し、 [CH4] – [Source] を [Shoe CH2] または [Shoe CH4] に設定してください。 または、フルメニューの [Audio] – [Audio Input] – [CH3 Input Select] を [Shoe CH1] または [Shoe CH3] に設定し、 [CH4 Input Select] を [Shoe CH2] または [Shoe CH4] に設定してください。

#### ご注意

- 本機はXLR-K3Mのデジタル4chオーディオインターフェースに対応しています。
- [Audio] [Audio Input] [CH3 Level] / [CH4 Level] を [Audio Input Level] に設定した場合は、XLRアダプターで調節したレベルに本機の [Audio Input Level] が掛け合わされます。XLRアダプターのスイッチをAUTOに設定した場合も [Audio Input Level] が有効になります。 [Through] に設定した場合は、XLRアダプターで調節したレベルで記録されます。
- 入力にXLRアダプターを選択したチャンネルでは、重複する本機の機能は無効になります。XLRアダプターのスイッチやダイヤルで調節してください。

TP1001670021

## ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# ダイレクトメニュー

撮影画面に表示される本機の状態や設定を、直接選択して変更することができます。 設定できる項目は、以下のとおりです。

- [Subject Recognition AF]
- [SteadyShot]
- [White Mode]
- [Color Temp]
- [Scene File]
- [ND Filter Position] / [Auto ND Filter]
- [ND Filter Value]
- [Auto Iris]
- Iris value
- [AGC]
- ISO value
- Gain value
- [Auto Shutter] / [ECS]
- [Shutter Value]
- [Auto Exposure Mode]
- [Auto Exposure Level]
- S&Q motion frame rate
- 1. マルチファンクションダイヤル、または [Direct Menu] が割り当てられたアサイナブルボタンを押す。

ダイレクトメニューで設定できる項目のいずれかにオレンジのカーソルが表示されます。

- 2. マルチファンクションダイヤルを回して操作したい項目にカーソルを合わせ、マルチファンクションダイヤルを押す。 メニューが表示されるか、または項目が白背景で表示されます。
- 3. マルチファンクションダイヤルで設定値を選び、マルチファンクションダイヤルを押す。

メニューまたは白背景が消えて、新しい設定値がオレンジのカーソルで表示されます。 再び [Direct Menu] が割り当てられたアサイナブルボタンを押すか、何も操作しないで3秒経過すると、ダイレクトメニューが終了します。

#### ヒント

- 各種ファンクションボタンを短押しまたは長押しして、直接設定をする状態にすることもできます。
- 白背景で表示された状態では、マルチファンクションダイヤルをアサイナブルダイヤルのように使うことができます。
- 選択操作はマルチセレクターでも行えます。
- ダイレクトメニューはタッチ操作できません。

TP1001670022

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# アサイナブルボタン

本機には、機能を割り当てて使用できるアサイナブルボタンが12個あります。

### ボタンの機能を変更する

フルメニューの [Project] – [Assignable Button] で設定します。 割り当てられた機能は、 [Assignable Button] ステータス画面で確認することができます。

## 工場出荷時にアサイナブルボタンに割り当てられている機能

アサイナブルボタン	機能
ASSIGN(アサイナブル)1ボタン	[S&Q Motion]
ASSIGN(アサイナブル)2ボタン	[Network Status]
ASSIGN(アサイナブル)3ボタン	[NIGHTSHOT]
ASSIGN(アサイナブル)4ボタン	[Focus Magnifier ×3/×6]
ASSIGN(アサイナブル)5ボタン	[Direct Menu]
ASSIGN(アサイナブル)6ボタン	[ISO/Gain]
ASSIGN(アサイナブル)7ボタン	[White Balance]
ASSIGN(アサイナブル)8ボタン	[Shutter]
ASSIGN(アサイナブル)9ボタン	[Focus Magnifier ×3/×6]
ASSIGN(アサイナブル)10ボタン	[Direct Menu]
ASSIGN(アサイナブル)11ボタン	[Video Signal Monitor]
FOCUS PUSH AUTOボタン	[Push AF/Push MF]

# 割り当てられる機能

- [Off]
- [ISO/Gain]
- [AGC]
- [Push AGC]
- [ND Filter Position]
- [Auto ND Filter]
- [Push Auto ND]
- [Auto Iris]
- [Push Auto Iris]
- [Shutter]
- [Auto Shutter]
- [AE Level/Mode]
- [Backlight]
- [Spotlight]
- [Preset White Select]
- [White Balance]
- [ATW]
- [ATW Hold]
- [AF Speed/Sens.]
- [Focus Setting]
- [Subject Recognition AF]
- [Push AF/Push MF]
- [Focus Hold]
- [Focus Magnifier ×3/×6]

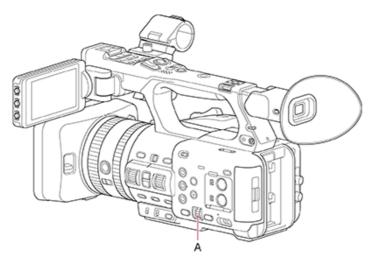
- [Focus Magnifier ×3]
- [Focus Magnifier ×6]
- [Digital Extender]
- [S&Q Motion]
- [LUT On/Off 1]
- [LUT On/Off 2]
- [NIGHTSHOT]
- [Soft Skin Effect]
- [SteadyShot]
- [SteadyShot Active]
- [SteadyShot Standard]
- [Rec]
- [Picture Cache Rec]
- [AFR Tracking Stop]
- [AFR/MFR Stop (Full)]
- [AFR Restart]
- [AFR Settings]
- [Rec Review]
- [Last Clip Del.]
- [Shot Mark1]
- [Shot Mark2]
- [Clip Flag OK]
- [Clip Flag NG]
- [Clip Flag Keep]
- [Color Bars]
- [Tally [Front]]
- [DURATION/TC/U-BIT]
- [Display]
- [Lens Info]
- [Video Signal Monitor]
- [Marker]
- [LCD/VF Adjust]
- [Gamma Display Assist]
- [Peaking]
- [Zebra]
- [Thumbnail]
- [Touch Operation]
- [Handle Zoom]
- [Stream]
- [Auto Upload (Proxy)]
- [Enlarge Screen]
- [Direct Menu]
- [Network Status]
- [User Menu]
- [Menu]

TP1001670023

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# マルチファンクションダイヤル

本体のマルチファンクションダイヤルの機能を変更することができます。



### A: マルチファンクションダイヤル

フルメニューの [Project] – [Multi Function Dial] – [Default Function] でマルチファンクションダイヤルに機能を割り当てます。

設定	内容
[Off] (初期値)	マルチファンクションダイヤルの操作を無効にします。
[ISO/Gain]	ゲインを調節できます。
[Auto Exposure Level]	自動露出レベルを調節できます。
[Audio Input Level]	録音レベルを調節できます。

## ご注意

■ メニューなどを表示しているときは、本設定は無効になります。

TP1002011989

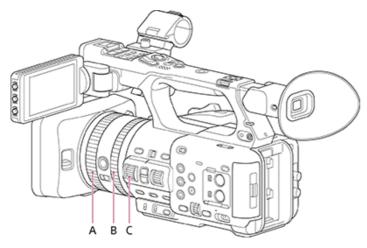
ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# レンズリング

レンズリング(フォーカスリング、ズームリング)の機能を変更することができます。

アイリスの調節はIRISダイヤルで行いますが、レンズリングにアイリス調節の機能を割り当てると、ズームリングでアイリスの調節ができるようになります。



A: フォーカスリング B: ズームリング C: IRISダイヤル

フルメニューの [Project] – [Lens Ring] でレンズリングに機能を割り当てます。

設定	内容
[Focus, Zoom](初期 值)	フォーカスリング(A)でフォーカスを手動調節できます。ズームリング(B)でズームすることができます。
[Focus, IRIS]	フォーカスリング (A) でフォーカスを手動調節できます。ズームリング (B) でアイリスを調節できます。
[Zoom, IRIS]	フォーカスリング(A)でズームすることができます。ズームリング(B)でアイリスを調節できます。

## ヒント

- フルメニューの [Project] [IRIS Dial] でIRISダイヤルに [IRIS] が割り当てられている場合でも、レンズリングに [Focus, IRIS] / [Zoom, IRIS] を割り当てることができます。
- レンズリングに割り当てられている機能を確認するには、 [Assignable Button] ステータス画面が便利です。

## ご注意

■ 再生中、サムネイル表示中、マスストレージモード使用中は、設定を変更できません。また、オートホワイトバランスなど、カメラが機能を実行しているときは、設定を変更できません。

## 関連項目

IRISダイヤル

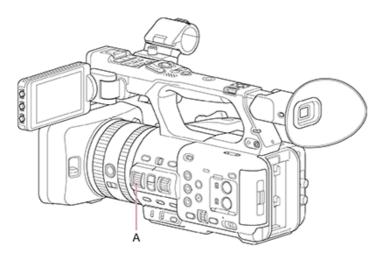
TP1002005410

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# IRISダイヤル

IRISダイヤルにゲインや自動露出レベル、録音レベルの調節機能を割り当てることができます。



A: IRISダイヤル

フルメニューの [Project] – [IRIS Dial] でIRISダイヤルに機能を割り当てます。

設定	内容
[Off]	IRISダイヤルの操作を無効にします。
[ISO/Gain]	ゲインを調節できます。
[IRIS] (初期値)	アイリスを調節できます。
[Auto Exposure Level]	自動露出レベルを調節できます。
[Audio Input Level]	録音レベルを調節できます。

## ヒント

- フルメニューの [Project] [Lens Ring] でレンズリングに [Focus, IRIS] / [Zoom, IRIS] が割り当てられている場合でも、IRISダイヤルに [IRIS] を割り当てることができます。
- IRISダイヤルに割り当てられている機能を確認するには、[Assignable Button]ステータス画面が便利です。

## ご注意

■ 再生中、サムネイル表示中、マスストレージモード使用中は、設定を変更できません。また、オートホワイトバランスなど、カメラが機能を実行しているときは、設定を変更できません。

### 関連項目

・レンズリング

TP1002005411

## ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# スロー&クイックモーション

記録フォーマットが下記に設定されているときは、撮像時のフレームレートを再生時のフレームレートと異なる値に設定することができます。

## ■MP4フォーマット時

記録フォーマット			
システム周波数	コーデック	ビデオフォーマッ ト	フレームレート
59.94/50/23.98	XAVC HS-L 422	3840×2160P	1-60、100、120
	XAVC HS-L 420	3840×2160P	1-60、100、120
59.94/50/29.97/25/23.98	XAVC S-L 422 / XAVC S-L 420 / XAVC S-I	3840×2160P	1-60、100、120
		1920×1080P	1-60、100、120、150、180、 200、240

## ■MXFフォーマット時(PXW-Z200のみ)

記録フォーマット		フレームレート		
システム周波数	コーデック	ビデオフォーマット	プレームレード	
59.94/50 XA	XAVC-L 422 XAVC-L 420	1920×1080P	1-60、100、120、150、180、200、240	
		1280×720P	1-60	
		3840×2160P	1-60、100、120	
	XAVC-I 422	3840×2160P	1-60、100、120	
		1920×1080P	1-60、100、120、150、180、200、240	
		1280×720P	1-60	
	MPEG-HD 422	1280×720P	1-60	
	XAVC-L 422	1920×1080P	1-60、100、120、150、180、200、240	
29.97/25/23.98 XAVC-I 422	XAVC-L 420	3840×2160P	1-60、100、120	
		3840×2160P	1-60、100、120	
		1920×1080P	1-60、100、120、150、180、200、240	
	MPEG-HD 422	1920×1080P	1-60	

[S&Q Motion] が割り当てられたアサイナブルボタンを押すと、スロー&クイックモーションモードをオン/オフできます。ボタンを長押しすると、撮像時のフレームレートを設定できます。

## ヒント

[Project] ステータスの [Rec Function] またはフルメニューの [Shooting] - [S&Q Motion] でも設定することができます。

### ご注意

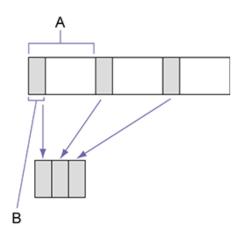
- 記録中、再生中、サムネイル表示中は、スロー&クイックモーションモードにできません。
- スロー&クイックモーションモードでは、音声は記録できません。

TP1001670024

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# 間欠的に映像を記録する(インターバルレック機能)

本機のメモリーを利用して間欠的に映像を取り込み、記録するインターバルレック機能は、主に動きの少ない被写体を撮影するときに有効です。記録を開始すると、設定したフレーム数([Number of Frames])分の映像を、任意のインターバル([Interval Time])で自動記録できます。



A:撮影の間隔([Interval Time])

B:1回に記録する画像フレーム数(「Number of Frames」)

インターバルレックを有効にしているときは、撮影開始前にビデオライトHVL-LBPC(別売)を自動的に点灯させ、光量、色温度を安定させた状態で撮影を行うことができます(プリライティング機能)。

#### ご注意

- インターバルレックなどの特殊記録機能を複数同時に使用できません。
- インターバルレック使用中に他の特殊記録機能を有効にすると、インターバルレックは自動的に解除されます。
- ビデオフォーマットなどのシステム設定を変更すると、インターバルレックモードは自動的に解除されます。
- 記録中や再生中、サムネイル画面表示中にインターバルレックの設定を変更することはできません。

## 設定するには

[Project] ステータス画面の [Rec Function] で [Interval Rec] を選択し、 [Number of Frames] と [Interval Time] を設定してください。

ビデオライトHVL-LBPC (別売) を使用する場合は、必要に応じて、フルメニューの [Project] - [Interval Rec] の [Pre-Lighting] で記録開始前のビデオライト点灯時間を設定してください。

### ヒント

• [Number of Frames] と [Interval Time] は、フルメニューの [Project] – [Interval Rec] でも設定できます。

#### ご注意

- ビデオライトを記録前に点灯させる場合は、ビデオライトのスイッチをAUTOに設定してください。このときフルメニューの [Technical] [Video Light Set] の設定に従ってビデオライトが自動点灯/消灯します。
- ビデオライトのスイッチをONに設定すると、ビデオライトは常時点灯します。(ビデオライトは自動点灯/消灯しません。)
- 各設定により消灯時間が5秒以下になる場合は、ビデオライトは消灯しません。

本機の電源を切るとインターバルレックモー ドは解除されますが、 [Number of Frames] 、 [Interval Time] 、 [Pre-Lighting] の設定は保持されます。次回インターバルレックモードで撮影するときに再設定する必要はありません。

#### 撮影するには

録画START/STOPボタンを押すと記録が開始され、ビューファインダー画面上に「Int●Rec」と「Int●Stby」が交互に表示されます。 プリライティング機能を使用する場合は、記録が始まる前にビデオライトが点灯します。

#### 撮影を終了するには

記録停止の操作を行います。

撮影を終了すると、その瞬間までメモリーに蓄えられていた映像がメディアに記録されます。

#### インターバルレックモードを解除するには

次のいずれかを実行します。

- 電源スイッチをオフにする。
- 記録待機中に、[Project]ステータス画面の[Rec Function]を[Interval Rec]以外に設定する。

また、本機が再起動した場合もインターバルレックモードは解除されます。

## 記録中の動作制限

- 音声は記録されません。
- ・レックレビュー操作は行えません。

## 本機の電源が切れた場合

- 本機の電源スイッチをオフにした場合は、その瞬間までメモリーに蓄えられていた映像を記録するため、メディアにアクセスしてから、自動的に電源が切れます。
- 記録中にバッテリーを取り外したり、DC電源コードを引き抜いたり、ACアダプター側の電源を切ったりした場合は、その瞬間以前に撮影したショット(最大10秒)が記録されないことがあります。バッテリー交換の際は充分ご注意ください。

TP1002014172

## ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## 数秒前の映像から記録する(ピクチャーキャッシュレック機能) (PXW-Z200のみ)

ピクチャーキャッシュレック機能を使用すると、カメラが捉えた映像を、指定した時間内蔵キャッシュメモリーに蓄えておくことによって、記録開始操作以前にさかのぼって記録することができます。 [Project] ステータス画面の [Picture Cache Rec] で [On] を選択し、キャッシュサイズを設定します。

[Cache Size] の設定	蓄積時間(目安)
[Short]	5秒
[Medium]	10秒
[Long]	20秒
[Max]	各記録フォーマットでの最大値

#### ヒント

- 蓄積時間は、撮影フレームレートや記録フォーマットにより短くなる場合があります。 [Project] ステータス画面の [Picture Cache Rec] 欄、またはキャッシュサイズ設定画面右下の表示でご確認ください。
- フルメニューの [Project] [Picture Cache Rec] でも設定できます。
- アサイナブルボタンで [Picture Cache Rec] のオン/オフを切り替えることもできます。

#### ご注意

- ピクチャーキャッシュレックは、インターバルレック、2 スロット同時記録、プロキシ記録との併用はできません。ピクチャーキャッシュレックをオンにすると、これらの機能は強制的にオフになります。
- 記録中、レックレビュー中は、ピクチャーキャッシュレックモードにできません。
- ピクチャーキャッシュレックがオンのときは、タイムコードが [Regen] や [Rec Run] に設定されていても [Free Run] モードで記録されます。
- ピクチャーキャッシュレック中は [Output Format] の設定を変更できない場合があります。この場合、一度ピクチャーキャッシュレックをオフにしてから変更操作を行ってくだい。

#### ピクチャーキャッシュレックを実行する

[Picture Cache Rec] がオンのとき、ビューファインダー画面上に「● Cache」(●は緑)が点灯します。 録画START/STOPボタンを押すと記録が開始され、キャッシュメモリーに蓄積されている映像からメモリーカードに書き込まれます。

## ピクチャーキャッシュレック機能を解除するには

[Project] ステータス画面の [Picture Cache Rec] をオフにするか、ピクチャーキャッシュレック機能を割り当てたアサイナブルボタンを押します。

### ご注意

- 記録フォーマットや基本ルックが変更されると、それまで蓄えていた映像をクリアし、新たに蓄積を開始します。したがって、変更直後に記録を開始しても、フォーマット変更前の映像はピクチャーキャッシュレックできません。
- メモリーカード挿入直後にピクチャーキャッシュレックの開始/終了操作を行った場合は、データがカードに記録されないことがあります。
- 映像の蓄積は、ピクチャーキャッシュレック機能をオンにしてから開始されます。したがって、オンにする前の映像はピクチャーキャッシュレックできません。
- 再生、レックレビュー、サムネイル画面表示など、メモリーカードにアクセスしている間は映像を蓄えないため、この間の映像はピクチャーキャッシュレックできません。

TP1002014173

## ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録する

[Project] – [Simul Rec] 、またはフルメニューの [Project] – [Simul Rec] – [Setting] を [On] に設定すると、メモリーカードAとメモリーカードBの両方に同時に記録できます。

#### メモリーカードAとメモリーカードBの記録操作を別々に行う

録画START/STOPボタンとハンドルの録画START/STOPボタンで、それぞれ別のメモリーカードを記録開始/停止することができます。 工場出荷時は、どちらのボタンもメモリーカードAとメモリーカードBの両方に同時に記録するように設定されています。

[Rec Button: 🗓 🖺 Handle Rec Button: 🗓 🖺 ]

それぞれのボタンで別のメモリーカードへ記録するように設定したとき、以下の記録開始/停止制御は、スロットAの記録状態に従います。

PXW-Z200 : [SDI/HDMI Rec Control] HXR-NX800 : [HDMI Rec Control]

## 設定を変えるには

フルメニューの [Project] – [Simul Rec] を [Rec Button Set] に設定します。

[Rec Button Set] の設定	ボタンとメモリーカード
[Rec Button: 🖟 🔓 Handle Rec Button: 🖟 🔠 ]	どちらのボタンを押しても、メモリーカードAとメモリーカードBに同時に記録を開始/停止する。
[Rec Button: 例 Handle Rec Button: 例 ]	録画START/STOPボタンを押したときはメモリーカードAに、ハンドルの録画START/STOPボタンを押したときはメモリーカードBに、記録を開始/停止する。
[Rec Button: 🖺 Handle Rec Button: 🗓 ]	録画START/STOPボタンを押したときはメモリーカードBに、ハンドルの録画START/STOPボタンを押したときはメモリーカードAに、記録を開始/停止する。

### ヒント

■ LANCリモコンやスマートフォンアプリのリモコンの録画ボタンは、本機のグリップ部の録画START/STOPボタンと同じ動作をします。

#### 録画START/STOPボタンの誤操作を防止するには

録画START/STOPボタンに付属するHOLDスイッチをHOLDの位置にします。

#### ファイル名について

2スロット同時記録の場合は、生成されるクリップはどちらのメディアも同じクリップ名になります。

## 関連項目

- 上面部/ハンドル部
- 背面部/端子部/カードスロット部

TP1001670026

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## オートフレーミング

オートフレーミングとは、カメラが人物を認識して、あらかじめ設定された構図になるように映像を切り出して記録・出力する機能です。

ライブ撮影において、オートフレーミングで切り出された映像をライブ配信に利用しつつ、切り出す前の映像をクリップに残してパッケージメディアの素材にする、などの使い方ができます。

[Project] ステータスの [Auto Framing] 、またはフルメニューの [Project] – [Auto Framing] – [Setting] を [On] に設定し、以下の設定を行います。

## 切り出した映像の出力先

- 記録映像とストリーミング出力される映像:フルメニューの [Project] [Auto Framing] [Rec/Stream] で設定します。
- HDMIに出力される映像:フルメニューの [Project] [Auto Framing] [HDMI] で設定します。

### 追尾対象の指定方法

フルメニューの [Project] – [Auto Framing] – [Tracking Start Mode] で設定します。

[Manual]: 追尾対象の人物を手動で指定します。任意のタイミングでズームインしたい場合や、複数の人物から選びたい場合などに設定します。

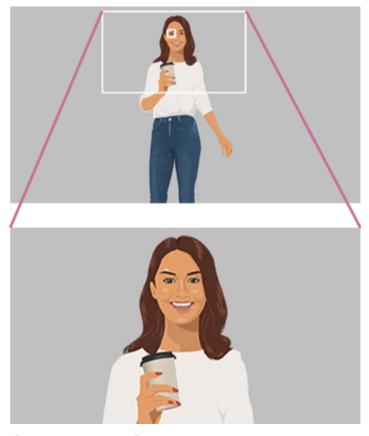
[Auto]:映像内の中央付近にいる人物を優先的に追尾対象とみなします。

## 人物の大きさ

[Project] ステータスまたはフルメニューの [Project] – [Auto Framing] – [Crop Level] で設定します。 [Crop Level] の設定によって、構図が以下のように変わります。

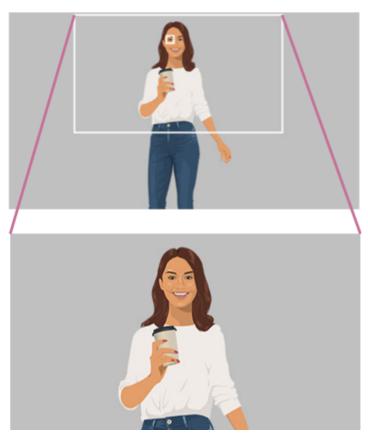
#### [Large Crop Level]:

人物が大きく表示される構図にします。

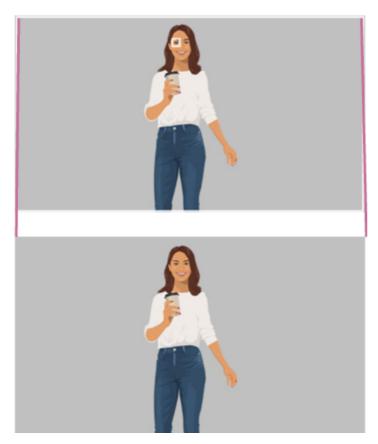


## [Medium Crop Level]:

人物が中程度の大きさに表示される構図にします。



[Small Crop Level]: 人物が小さく表示される構図にします。



# 人物を追尾する速度

[Project] ステータスまたはフルメニューの [Project] – [Auto Framing] – [Tracking Speed] で設定します。

# 演出効果

人物がほとんど動かないなど映像に変化が乏しい場合でも、構図をゆっくりズームイン・アウトさせることで、映像に変化を持たせることができます。

フルメニューの [Project] – [Auto Framing] – [Production Effect] で設定します。

## ヒント

- [AFR Tracking Stop] を割り当てたアサイナブルボタンを押すと、クロップ位置を維持したままオートフレーミングを停止できます。
- [AFR/MFR Stop (Full)] を割り当てたアサイナブルボタンを押すと、フレーミングを停止し全画角にできます。 [Auto Framing] [Tracking Start Mode] が [Auto] の場合にもう一度押すと、追尾対象をリセットしオートフレーミングをやり直すことができます。意図した構図から外れた場合の対処にご利用いただけます。
- [AFR Restart] を割り当てたアサイナブルボタンを押すと、 [Auto Framing] [Tracking Start Mode] が [Auto] の場合に、追尾対象をリセットし最初からやり直すことができます。
- [AFR Settings] を割り当てたアサイナブルボタンを押すと、 [Crop Level] と [Tracking Speed] を設定できます。

## ご注意

- 撮影状況によっては最適な構図で切り出しされない場合があります。
- 本機能が有効なとき、SDI出力はできません。

TP1001670025

## ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# マニュアルフレーミング

指定した構図で切り出された映像を撮影できます。撮影する被写体や切り出す大きさなどは手動で設定します。 複数台の固定カメラを使ったワンマンオペレーション撮影でも、飽きのこないカメラワークを実現できます。

本機能は、モバイル機器のアプリケーション「Monitor & Control」を使用することで利用できます。
[Project] ステータスの [Auto Framing] 、またはフルメニューの [Project] – [Auto Framing] – [Setting] を [On] に設定し、本機と「Monitor & Control」を接続してください。詳しくは「Monitor & Control」のヘルプガイドをご覧ください。

#### 切り出した映像の出力先

- 記録映像とストリーミング出力される映像:フルメニューの [Project] [Auto Framing] [Rec/Stream] で設定します。
- HDMIに出力される映像:フルメニューの [Project] [Auto Framing] [HDMI] で設定します。

#### ヒント

- [AFR/MFR Stop (Full)] を割り当てたアサイナブルボタンを押すと、フレーミングを停止し全画角にできます。
- 本機とモバイル機器との接続方法や「Monitor & Control」の操作については、「Monitor & Control」のヘルプガイドをご覧ください。

#### ご注意

- 撮影状況によっては指定した構図で切り出しされない場合があります。
- 本機能が有効なとき、SDI出力はできません。

#### 関連項目

「Monitor & Control」と接続する

TP1002005412

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## 映像信号モニター

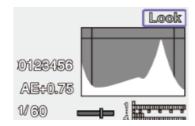
フルメニューの [Monitoring] – [Display On/Off] – [Video Signal Monitor] で、ビューファインダー画面に表示する映像信号の種類をウェーブフォーム/ベクトルスコープ/ヒストグラムのいずれかに設定できます。

オレンジの線はゼブラレベルの設定値を表します。

[Video Signal Monitor] を割り当てたアサイナブルボタンでも設定できます。

## モニター対象の表示

ログ撮影のときは、モニター対象を示す情報として、LUTを適用している場合は「Look」、LUTを適用していない場合は「SG3/SLog3」または「SG3C/SLog3」が映像信号モニターの右上に表示されます。



TP1001670027

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# ガンマ表示アシスト機能

カスタム撮影で、フルメニューの [Project] - [Base Setting] - [Target Display] を [HDR(HLG)] に設定したとき、 [Monitoring] ステータスの [Gamma Display Assist] を [On] に設定すると、ビューファインダーをHDR撮影しやすい表示にすることができます。フルメニューの [Monitoring] - [Gamma Display Assist] - [Setting] でも設定することができます。

# ガンマ表示アシスト機能有効時にビューファインダーの表示を選択する

ガンマ表示アシスト機能が有効なときにビューファインダーのHDR映像の表示方法を次の2種類から選択できます。

#### HDRの低輝度部分や高輝度部分のコントラストを保持して表示する

HDRの表現力を活かし、明るめの露出、または暗めの露出で撮影した場合にも、黒つぶれや白飛びを起こさずに映像をビューファインダーに表示できます。その反面、全体のコントラストは少し低くなります。

この表示方法を使用するには、フルメニューの [Project] – [HDR Setting] – [LCD/VF SDR Preview] を [Off] に設定します。

#### HDRからSDRへの変換を想定して簡易変換されたSDRを表示

いままでのSDRと同様の感覚でのカメラオペレーションが可能です。

HDRとSDRのゲイン差を [SDR Gain] で設定することで、HDR映像の明るさを設定できます。

この表示方法を使用するには次の設定を行います。

- 1. フルメニューの [Project] [HDR Setting] [LCD/VF SDR Preview] を [On] に設定する。
- 2. フルメニューの[Project] [HDR Setting] [SDR Gain]でHDRモード時のSDRゲイン値を調節する。

#### ヒント

撮影後、SR Live Metadataを使用してHDR映像からSDRに変換する場合、変換に [SDR Gain] が適用され、撮影時にビューファインダーで確認していた露出のSDR映像に変換されます。

TP1001670028

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# クリップフラグ

[Clip Flag OK] が割り当てられたアサイナブルボタンを押すと、 [Add OK] が実行され記録中または直前に記録したクリップに [OK] のクリップフラグが付けられます。再生中のクリップにもクリップフラグを付けることができます。 2回続けて押すと [Delete Clip Flag] が実行され、 [OK] のクリップフラグが消えます。

## ヒント

- フルメニューの [Thumbnail] [Set Clip Flag] でクリップフラグを付けることもできます。
- サムネイル画面をクリップフラグの種類別に表示することができます(フィルタードクリップサムネイル画面)。詳細は下記をご覧ください。 クリップを操作する

TP1001670029

#### ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## プロキシ記録

本機は高解像度のオリジナルクリップの動画をメモリーカードに記録しながら、低解像度のプロキシクリップを同時に記録できます。 プロキシクリップは短時間で自動分割して、記録終了前でもファイルの転送を行うことができます。

使用可能なメモリーカードや、メモリーカードのフォーマット方法、残容量の確認方法について、詳細は下記をご覧ください。

推奨メモリーカードについて

メモリーカードを初期化する

残りの記録可能時間を確認する

## 記録されるファイルについて

拡張子は「.mp4」です。

タイムコードも同時に記録されます。

#### ファイルの保存先について

記録したファイルは、以下のディレクトリーに保存されます。

#### MP4フォーマット時

メモリーカード	フォルダパス	
メモジーガード	通常記録	分割記録
SDXC	/PRIVATE/M4ROOT/SUB	/PRIVATE/M4ROOT/GENERAL/SONY/PXTMP
CFexpress Type A	/M4ROOT/SUB	/PRIVATE/M4ROOT/GENERAL/SONY/PXTMP

### MXFフォーマット時 (PXW-Z200のみ)

メモリーカード	フォルダパス	
<b>メモジーガード</b>	通常記録	分割記録
SDXC	/PRIVATE/XDROOT/SUB	/PRIVATE/XDROOT/GENERAL/SONY/PXTMP
CFexpress Type A	/XDROOT/SUB	/PRIVATE/XDROOT/GENERAL/SONY/PXTMP

#### ファイル名について

メモリーカードに記録されるクリップ名+S03となります。ただし、プロキシクリップ分割記録し、転送する場合には、オリジナルクリップ名+分割番号+S03となります。

## プロキシ記録で撮影する

以下の手順でプロキシ記録の撮影を行います。

- 1. [Project] ステータス [Proxy Rec] またはフルメニューの [Project] [Proxy Rec] [Setting] を [On] に設定する。
- 2. メモリーカードをCFexpress Type A/SDカードスロットに差し込む。
  - CFexpressカードの場合はラベルを左にする。
  - SDカードの場合はラベルを右にして切り欠き部を下にする。

#### ご注意

- プロキシ記録は、スロー&クイックモーションと同時に [On] にすることはできません。プロキシ記録が [On] の状態で、スロー&クイックモーションを [On] にすると、プロキシ記録は一時的に [Off] になります。
- 3. 録画START/STOPボタンを押す。

プロキシ記録で撮影が開始されます。

## ご注意

- メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。メモリーカードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、メモリーカードを抜くときは、必ず使用するメモリーカードのアクセスランプが消灯していることを確認してから操作してください。
- 出し入れ時にはメモリーカードの飛び出しにご注意ください。

#### 撮影を終了するには

記録停止の操作を行います。

## プロキシ記録時のオーディオチャンネルを設定するには

フルメニューの [Project] - [Proxy Rec] - [Audio Channel] で、プロキシデータに記録するオーディオチャンネルを設定できます。

TP1001670030

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## プロキシクリップを分割記録し、転送する

自動転送の設定を [Chunk] にしてプロキシクリップを分割記録すると、本線記録中でもプロキシクリップを転送することが可能になります。

分割記録したプロキシクリップの転送について、詳細は下記をご覧ください。 クリップを自動転送する

1. フルメニューの [Project] - [Proxy Rec] - [Chunk] で分割記録時間を選択する。

[30s]:30秒単位でプロキシクリップを分割して記録します(初期設定値)。

[1min] : 1分単位でプロキシクリップを分割して記録します。 [2min] : 2分単位でプロキシクリップを分割して記録します。

2. フルメニューの [Network] - [File Transfer] - [Auto Upload (Proxy)] を [Chunk] に設定する。 オリジナルクリップはスロットAのメディアに記録され、分割記録したプロキシクリップはスロットBのメディアに記録されます。

3. プロキシ記録を開始する。

設定した分割記録時間ごとにプロキシクリップが転送ジョブとしてジョブリストに登録されます。

#### ご注意

- [Auto Upload (Proxy)] を [Chunk] に設定しない場合、プロキシの分割記録は行われません。
- スロットBのメディアは分割したプロキシクリップの記録専用となるため、リレー記録や2スロット同時記録はできません。

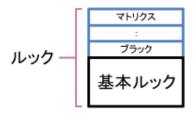
TP1001670031

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## ルックを選ぶ

本機の撮影モードが [Custom] のときは、基本ルックをベースにブラックやマトリクスなどの調節を加えてルックを構成します。



これらの設定をSceneファイルに保存することで、内容の異なるルックを簡単に選ぶことができます。 本機は、計6個のプリセットのルックを用意しています。

- 1. 撮影画面でマルチファンクションダイヤルを押す。
- 2. SCN 1 (Sceneファイル) アイコンを選ぶ。
- 3. マルチファンクションダイヤルを押す。
- 4. メニューから好みのルックを選択し、マルチファンクションダイヤルを押す。

#### ヒント

■ 工場出荷時は、以下がプリセットされています。

[Shooting Mode]	Shooting Mode] [Custom]	
[Target Display]	[SDR(BT.709)]	[HDR(HLG)]
Sceneファイル1	[S-Cinetone]	[HLG Live]
Sceneファイル2	[ITU709]	[HLG Mild]
Sceneファイル3	[709tone]	[HLG Natural]
Sceneファイル4	未登録	未登録
Sceneファイル5~16	未登録	未登録

● フルメニューの [Paint/Look] – [Scene File] – [Recall Internal Memory] でもルックを選択することができます。なお、プリセットのルックは [Scene File] – [Preset Recall] でも呼び出せます。

TP1001670032

#### ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# 好みの基本ルックをインポートする

PCなどで作成した3D LUTファイルを、基本ルックとしてメモリーカードまたはクラウドサービスから最大16個までインポートすることができます。

- ファイル形式: Catalyst BrowseやRAW Viewerで生成される17格子または33格子のCUBEファイル(\*.cube)
- 入力色域/ガンマ: S-Gamut3.Cine/S-Log3またはS-Gamut3/S-Log3

## メモリーカードからインポートする

3D LUTファイルをメモリーカードからインポートします。

1. PCなどでメモリーカードの所定のフォルダに、3D LUTファイルを保存する。

メモリーカード	フォルダパス
SDXC	/PRIVATE/SONY/PRO/LUT/
CFexpress Type A	/SONY/PRO/LUT/

- 2. 3D LUTファイルを保存したメモリーカードを、CFexpress Type A/SDカードスロット(B) に差し込む。
- 3. フルメニューの [Paint/Look] [Base Look] [Import from Media(B)] を実行する。
- 4. インポート先を選択する。
- 5. インポートする3D LUTファイルを選択する。

画面の指示に従ってください。本機は3D LUTファイルを基本ルックとして取り扱います。

- 6. フルメニューの [Paint/Look] [Base Look] [Select] でインポートした3D LUTファイルを選択する。
- 7. インポートした3D LUTファイルの属性に合わせて、フルメニューの [Paint/Look] [Base Look] [Input] と [Output] を設定する。

## クラウドサービスからインポートする

3D LUTファイルをクラウドサービスからインポートします。

- 1. 本機をスマートフォンアプリ「Creators' App for enterprise」に接続する。
- 2. フルメニューの[Paint/Look] [Base Look] [Import from Cloud(Private)] / [Import from Cloud(Share)]を実行する。
- 3. インポート先を選択する。
- 4. インポートする3D LUTファイルを選択する。

画面の指示に従ってください。本機は3D LUTファイルを基本ルックとして取り扱います。

- 5. フルメニューの [Paint/Look] [Base Look] [Select] でインポートした3D LUTファイルを選択する。
- 6. インポートした3D LUTファイルの属性に合わせて、フルメニューの [Paint/Look] [Base Look] [Input] と [Output] を設定する。

### 露出不足を調節する

インポートした基本ルックを使って自動露出をしたときに露出不足の傾向がある場合は、フルメニューの [Paint/Look] – [Base Look] – [AE Level Offset] で調節してください。

### ご注意

- 3D LUTファイルをインポートしただけでは映像に反映されません。フルメニューの [Paint/Look] [Base Look] [Select] でインポートした3D LUTファイルを読み出してください。
- [Input] を正しく設定しないと、本来のルックになりません。
- 設定項目 [Input] / [Output] / [AE Level Offset] は、 [Select] で選択された基本ルックに適用されます。複数の3D LUTファイルをインポートした場合は、各3D LUTファイルを [Select] で選択し、 [Input] / [Output] / [AE Level Offset] をそれぞれ設定してください。
- 設定した [Input] / [Output] / [AE Level Offset] は、3D LUTファイルごとに保存されます。

- インポートした3D LUTファイルは、[SDR(BT.709)] / [HDR(HLG)] /ログ撮影共通の基本ルック/LUT選択肢となりますが、これらのモードに応じた色域/ガンマ変換は行いません。
  - フルメニューの [Maintenance] [All Reset] [Reset] を実行しても3D LUTファイルは削除されません。
  - ユーザーの基本ルックを使っているSceneファイルで、ユーザー基本ルックのオリジナルのCubeデータがカメラに保存されていない場合、その Sceneファイルをメモリーカードに保存することはできません。この場合は、SceneファイルリストのSceneファイル名称の先頭に[!]アイコンが表示されます。
  - ルックによって、初期値が変わる可能性があります(例: [Noise Suppression] のオン/オフなど)。ルックを変更した際は、想定している設定になっていることを再確認してください。

TP1001670033

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# 基本ルックを削除する

フルメニューの [Paint/Look] - [Base Look] - [Delete] でインポートした3D LUTファイルを削除できます。 フルメニューの [Paint/Look] - [Base Look] - [Delete All] ですべての3D LUTファイルを削除できます。

#### ご注意

- 削除する前に、その基本ルックがSceneファイルで使用されていないことをご確認ください。使用されている基本ルックを削除した場合、該当する Sceneファイルのルックは不適切なものになります。
- インポートした3D LUTファイルは、フルメニューの [Maintenance] [All Reset] [Reset] を実行しても削除されません。
- 削除した基本ルックは、ログ撮影でもLUTとして使えなくなります。

TP1001670036

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# ルックをカスタマイズする

フルメニューの [Paint/Look] - [Matrix] などの各設定項目で、基本ルックを基にルックをカスタマイズすることができます。 設定するときは、本機をテレビやモニターにつないで、画像を確認しながら調節してください。

## ご注意

■ 3D LUTファイルをインポートして映像に適用したとき、フルメニューの[Paint/Look] – [Matrix] などの基本ルック以外の各設定が変更されていると、3D LUTファイルに定義された通りのルックになりません。フルメニューの[Paint/Look] – [Reset Paint Settings] – [Reset without Base Look] でカスタマイズされた設定値をまとめてリセットできます。

TP1001670034

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## ルックをSceneファイルとして保存する

フルメニューの [Paint/Look] – [Scene File] – [Store Internal Memory] で、現在のルックをSceneファイルとして内蔵メモリーに保存できます。

撮影画面からダイレクトメニューの操作で簡単に呼び出せるようになります。

## ヒント

- プリセットのSceneファイルも上書きできます。
- プリセットのSceneファイルを復元するには、フルメニューの [Paint/Look] [Scene File] [Preset Recall] で復元したいルックを読み出したあと、 [Scene File] [Store Internal Memory] でSceneファイルに保存してください。

#### ご注意

- ルックを保存せずにほかのルックを選択すると、保存前のルックは破棄されます。
- フルメニューの [Maintenance] [All Reset] [Reset] を実行しても、Sceneファイルは削除されません。

### 保存したルックを削除する

フルメニューの [Paint/Look] - [Scene File] - [Delete Internal Memory] で内蔵メモリーに保存されているSceneファイルを削除できます。

#### ヒント

■ 削除すると、ダイレクトメニューに表示されなくなります。

TP1001670035

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## Sceneファイルの名称を編集する

フルメニューの [Paint/Look] - [Scene File] - [File Name] を実行すると、Sceneファイルの名称を編集できます。 [Store Internal Memory] を実行して内蔵メモリーにSceneファイルを保存するときに、編集した名称で保存されます。

#### ヒント

■ [Recall Internal Memory] を実行してカメラにSceneファイルを読み込むと、そのSceneファイルの名称が [File Name] の初期値になります。 フルメニューの [Paint/Look] – [Base Look] – [Select] で基本ルックを選択した場合は、その基本ルックの名称が [File Name] の初期値になります。

## ご注意

■ [Save to Media(B)] を実行してSceneファイルをメモリーカードに保存する場合は、内蔵メモリーに保存されているSceneファイルの名称と同じになります。メモリーカード上でファイル名の重複がある場合は、コピーカウンターが自動で付与されます。

TP1002005415

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## ルックをほかのカメラと共有する

ルックをSceneファイルとして、Sceneファイルの保存・読み込み機能に対応している他のカメラと共有することができます。フルメニューの [Paint/Look] の設定項目が本機能の対象です。

フルメニューの [Paint/Look] - [Scene File] で、Sceneファイルの保存・読み込みを行います。

- 1. [Paint/Look] メニューの各設定項目でお好みのルックにする。
- 2. [File Name] でルックに名称を設定する。 詳しくは「Sceneファイルの名称を編集する」をご覧ください。
- 3. **[Store Internal Memory] を実行し、現在のルックをSceneファイルとして内蔵メモリーに保存する。** 詳しくは「ルックをSceneファイルとして保存する」をご覧ください。
- **4.** [Save to Media(B)] を実行し、内蔵メモリーのSceneファイルをメモリーカードに保存する。 詳しくは「内蔵メモリーのSceneファイルをメモリーカードに保存する」をご覧ください。
- 5. 手順4でSceneファイルを保存したメモリーカードを、本機能に対応している共有先のカメラのスロットBに挿入する。
- 6. 共有先のカメラで [Load from Media(B)] を実行し、Sceneファイルを内蔵メモリーに読み込む。 詳しくは「メモリーカードに保存されているSceneファイルを内蔵メモリーに読み込む」をご覧ください。
- 7. 共有先のカメラで [Recall Internal Memory] を実行し、内蔵メモリーに保存されているSceneファイルを呼び出す。 手順3で保存した共有元のカメラのルックが、このカメラの画質設定に適用されます。

#### ファイルの保存先について

Sceneファイルは、メモリーカード内の以下のディレクトリーに保存されます。

#### フォルダパス

/PRIVATE/SONY/PRO/SCENE

### ご注意

- メモリーカード上でファイル名の重複がある場合は、コピーカウンターが自動で付与されます。
- 読み込んだSceneファイルの設定画質を完全に再現することはできません。
- メモリーカードから読み込んだSceneファイルには存在するが、読み込みを行ったカメラにはない設定項目は、読み込まれません。
- 読み込みを行ったカメラには存在するが、メモリーカードから読み込んだSceneファイルにはない設定項目については、読み込みを行ったカメラでは初期値が設定されます。
- 設定項目が同じでも、メニュー上の設定値範囲が違う場合は、対応する設定値範囲内で読み込みを行います。
- 設定値が読み込めても、センサーやカメラ信号処理の機種ごとの違いにより、同じ画質にはならないことがあります。読み込みを行った後、画質の確認をしてください。
- Sceneファイルの保存数は、SDR用とHDR用で各60個以内にしてください。これを超えると、保存しているすべてのファイルがカメラで参照できなくなります。

### 関連項目

- ・ルックをSceneファイルとして保存する
- 内蔵メモリーのSceneファイルをメモリーカードに保存する
- メモリーカードに保存されているSceneファイルを内蔵メモリーに読み込む

TP1002005983

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## 内蔵メモリーのSceneファイルをメモリーカードに保存する

フルメニューの [Paint/Look] – [Scene File] – [Save to Media(B)] で、カメラの内蔵メモリーに保存されているSceneファイルをメモリーカードに保存します。

#### ヒント

- メモリーカードに保存したSceneファイルは、本機能に対応している他のカメラで読み込むことができます。
- Sceneファイルに含まれる本機の設定項目は、カメラの内蔵メモリーに保存する項目と同じです。以下のペイント機能に含まれる各設定項目です。 [Black] / [Knee] / [Detail] / [User Matrix] / [Multi Matrix] / [Base Look]

#### ご注意

ユーザーの基本ルックを使っているSceneファイルで、ユーザー基本ルックのオリジナルのCubeデータがカメラに保存されていない場合、その Sceneファイルをメモリーカードに保存することはできません。この場合は、SceneファイルリストのSceneファイル名称の先頭に!アイコンが表示されます。

TP1002005413

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# メモリーカードに保存されているSceneファイルを内蔵メモリーに読み込む

フルメニューの [Paint/Look] - [Scene File] - [Load from Media(B)] で、メモリーカードに保存されているSceneファイルを、カメラの内蔵メモリーに読み込みます。

#### ヒント

メモリーカードのSceneファイルを内蔵メモリーに読み込んだあと、フルメニューの [Paint/Look] – [Scene File] – [Recall Internal Memory] からそのSceneファイルを選択することで現在の画質設定に適用できます。

## ご注意

- 異なる機種や、ファームウェアバージョンが違う同一機種でSceneファイルを読み込んだ場合、共通する設定項目の設定値のみ内蔵メモリーに読み込まれます。
- 設定値が読み込めた設定項目でも、センサーやカメラ信号処理の機種ごとの違いがあるため、同じ画質にはならないことがあります。

TP1002005414

## ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## 暗い場所で撮影する

NIGHTSHOT用IRライトを点灯することで、真っ暗な場所でも撮影することができます。 フルメニューの [Shooting] - [NIGHTSHOT] - [Setting] を [On] に設定します。

## 赤外線ライトの点灯設定をする

フルメニューの [Shooting] – [NIGHTSHOT] – [IR Light] で設定します。

#### 撮影色の設定をする

フルメニューの [Shooting] – [NIGHTSHOT] – [Image Color] で設定します。

#### ヒント

● [NIGHTSHOT] を割り当てたアサイナブルボタンでもナイトショットをオンにできます。

#### ご注意

- ナイトショットモードは赤外線を利用するため、NIGHTSHOT用IRライトを指などで覆わないでください。
- レンズフードは取り外してください。
- 明るい場所で使うと、故障の原因になります。

TP1001670037

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# ネットワーク機能でできること

本機とスマートフォン/タブレットなどのモバイル機器を接続すると、モバイル機器をリモコンとして利用することができます。また、本機をインターネットに接続すると、ファイル転送や様々なサービスを利用することができます。

リモート操作

モバイル機器で、本機の撮影映像や再生映像を見ながら、本機をリモート操作することができます。

#### ご注意

- 不正なアクセスが検出された場合、カメラが通信を受け付けない状態になることがあります。その際は再度初めから接続し直してください。
- ファイル転送

本機のメモリーカードに記録したプロキシクリップやオリジナルクリップを、インターネット経由でクラウドサーバーに転送することができます。

• ストリーミング

本機の撮影映像をRTMP/RTMPSやSRTでストリーミングすることができます。

# 「Monitor & Control」アプリケーション

モバイル機器の画面で本機の映像をモニタリングしながら、ホワイトバランスや露出の設定、フォーカス操作などを行えるアプリケーションです。

## 「Creators' App for enterprise」アプリケーション

「Creators' App for enterprise」アプリケーションを使うと、クラウドサービス「C3 Portal」へのファイル転送を簡単に行うことができます。

あらかじめ「C3 Portal」のアカウントを取得し、モバイル機器に「Creators' App for enterprise」をインストールしてください。「C3 Portal」のアカウントの取得については、所属組織の管理者にお問い合わせください。

#### ご注意

● お住まいの地域によってはクラウドサービスを提供していない場合があります。

#### 「Camera Remote SDK」

ソニーが提供する、ソフトウエア開発者自身がソニーのカメラを使ったソリューションやアプリケーションを開発する環境です。開発者はこのSDKを使うことにより、ホストPCからソニーのカメラのリモート制御を行ない、撮影やモニタリングといった独自のアプリケーションを開発することが可能となります。

各アプリケーションやSDKについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。操作方法については、それぞれのヘルプまたはヘルプガイドをご覧ください。

TP1001670038

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## 「Monitor & Control」と接続する

本機とモバイル機器を接続して「Monitor & Control」を使ってモバイル機器で本機の映像をモニタリングしながら操作できます。

接続方式
BluetoothペアリングでのWi-Fi接続/Bluetooth pairing(Wi-Fi)
カメラをAP <sup>1)</sup> としたWi-Fi接続(Wi-Fi Direct接続)/Wi-Fi
無線LANルーターをAP <sup>1)</sup> としたWi-Fi接続/Wi-Fi
ルーター経由での有線LAN接続/Wired LAN
モバイル機器をAP <sup>1)</sup> としたWi-Fiテザリング <sup>2)</sup> /Tethering(Wi-Fi)
モバイル機器をAP <sup>1)</sup> としたUSBテザリング <sup>2)</sup> /Tethering (USB)

- 1) アクセスポイント (AP) : Wi-Fi接続するためのSSIDを提供する機器
- 2) テザリング(インターネット共有): モバイル端末のSIMカードを利用して、モバイル回線のデータ通信により、インターネット接続を可能にする機能

本機とモバイル機器との接続方法や「Monitor & Control」の操作については、「Monitor & Control」のヘルプガイドをご覧ください。

[Network] ステータス画面の [Status] 欄の表示で、動作状態を確認できます。

本機をAPモードに設定した場合の状態表示については、以下をご覧ください。その他の場合は、関連するトピックをご覧ください。

状態表示	想定原因	対策
[Non Active]	(状態遷移中)	処理中です。しばらくお待ちください。
(SSID名)	モバイル機器の接続を待ち受けている。	SSID名をタップすると、本機のSSIDとパスワードを表示します。モ バイル機器の無線LAN機能に設定してください。
[Connected]	複数の機器を接続することはできない。	複数の機器を接続することはできません。
[IP Address Error]	ネットワーク内に同じIPアドレスを割り 当てられた機器が存在する。	IPアドレスが競合しています。ネットワークの設定を確認してください。

## 関連項目

- 無線LANでインターネットに接続する
- USBテザリングでインターネットに接続する
- 有線LANでインターネットに接続する

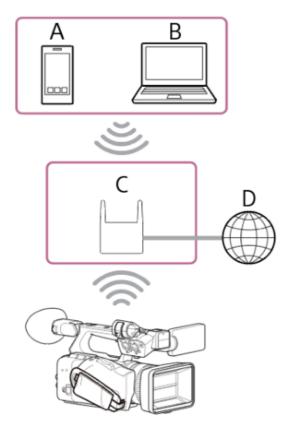
TP1001670039

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# 無線LANでインターネットに接続する

本機を既存の無線LANのアクセスポイントに接続します。操作用のモバイル機器とはアクセスポイント経由で接続します。接続したアクセスポイントの履歴は、過去10件まで記憶されます。接続履歴はAllファイルに保存されますが、アクセスポイントのパスワードは保存されないため、Allファイル読み込み後の再接続の際にはパスワードの入力が必要となります。



A: スマートフォン/タブレット

B: コンピューター C: アクセスポイント D: インターネット

#### ヒント

- アクセスポイントに接続するとき、本機はステーション(ST)モードにします。
- モバイル機器をアクセスポイントに設定できる場合があります(Wi-Fiテザリング)。詳しくは、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

## アクセスポイント自動検出機能を使って接続する

1. NETWORKボタンを押す。

[Network] ステータスが表示されます。

## ヒント

- MENUボタンを押して、画面を上下にスクロールして表示させることもできます。
- 2. [Wireless LAN] [Setting] を [Wireless LAN ST] に設定する。

### ご注意

- 本機は、無線LANと有線LANを同時に使用できません。
- 本機はネットワーク機器(例えばルーター、スイッチング・ハブ)ではありません。DoS攻撃(サービス妨害攻撃)などのネットワーク経由での攻撃に対して、適切な設定と管理を行うことができるネットワークに本機を接続することを強く推奨します。

- 本機のネットワークへの接続には、適切な設定と管理が行われたルーターを介した接続、もしくは同機能を有したLANポートへの接続をしてください。このような接続をしない場合(例えばFree Wi-Fiなど)、セキュリティ上の問題を生じる可能性があります。ルーターは適切な設定をすることにより、ネットワーク内の機器へのDoS攻撃または機器の機能喪失に対する十分な保護を提供します。何か異常を感じた場合は、すぐにカメラをネットワーク接続から遮断してください。
- 3. [Wireless LAN] の [Status] を押す。

[Scan Networks] 画面が表示されます。

- 4. 接続するネットワークのアクセスポイントを選択し、パスワードを入力する。
- 5. 必要に応じて以下の接続設定を行う。

設定項目	説明
[DHCP]	DHCPを設定します。 [On]に設定すると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、[Off]に設定します。
[IP Address]	本機のIPアドレスを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。
[Subnet Mask]	本機のサブネットマスクを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。
[Gateway]	アクセスポイントのゲートウェイを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。
[DNS Auto]	DNS自動取得設定をします。 [On] に設定すると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。 [DHCP] を [On] に設定したときに有効です。
[Primary DNS Server]	アクセスポイントのプライマリーDNSサーバーを入力します。 [DNS Auto] を [Off] に設定したときに有効です。
[Secondary DNS Server]	アクセスポイントのセカンダリーDNSサーバーを入力します。 [DNS Auto] を [Off] に設定したときに有効です。

#### 6. 設定が完了したら [Connect] ボタンを押す。

本機がインターネットに接続されます。

#### ヒント

- 「Monitor & Control」や「Camera Remote SDK」を使用する場合など、外部からの操作を許可する場合は、 [Network] ステータスー [Wireless LAN] - [Remote] を [Enable] に設定してください。
- [Network] ステータス画面の [Show Authentication] ボタンを押すと、本機に接続するための認証情報が表示されます。画面を盗み見られたり QRコードの画像を流出させないようにご注意ください。

#### アクセスポイントの情報を手動で入力して接続する

- 1. [Network] ステータスの [Wireless LAN] [Setting] を [Wireless LAN ST] に設定する。
- 2. フルメニューの [Network] [Wireless LAN] の [Manual Register] を設定する。 [Wireless LAN] – [Manual Register] 画面が表示されます。
- 3. 以下の設定を行う。

設定項目	説明
	無線LANアクセスポイントのSSIDを入力します。
[SSID]	<ul><li>ご注意</li><li>● 入力可能文字数は1文字~32文字以下です。また、入力可能な文字は以下です。</li><li>英字(大文字・小文字)、数字、記号(@_()!"#\$%&amp;'*+,/:;&lt;=&gt;?[【]^`{ }~`&lt; }~)</li></ul>

設定項目	説明
[Security]	<ul> <li>暗号化方式を選択します。</li> <li>ご注意         <ul> <li>本書では、LAN接続を中継する無線LANアクセスポイントや無線LANルーターなどを「アクセスポイント」と表記しています。</li> <li>本機は、セキュリティ設定がWPA3-SAE、WPA2-PSK、または、セキュリティ設定なしのアクセスポイントに接続することが可能です。セキュアな無線LAN接続を実現するために、セキュリティ設定がWPA3またはWPA2のアクセスポイントを使用することを、強く推奨します。</li> <li>セキュリティ方式は初期状態でWPA2が選択されています。</li> <li>セキュリティ設定なしのアクセスポイントに接続すると、ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、脆弱性への攻撃を受ける可能性があります。特別な理由がある場合以外は、セキュリティ設定なしでの使用は推奨しません。</li> <li>無線LANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。セキュリティ対策を施さなかった場合、あるいは無線LANの使用上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。</li> </ul> </li> </ul>
[Password]	無線LANアクセスポイントのパスワードを入力します。 <b>ご注意</b> 入力可能文字数は以下です。
[DHCP]	DHCPを設定します。 [On] に設定すると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。 手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、 [Off] に設定します。
[IP Address]	本機のIPアドレスを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。 <b>ご注意</b>
[Subnet Mask]	本機のサブネットマスクを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。 <b>ご注意</b>
[Gateway]	ゲートウェイのアドレスを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。 <b>ご注意</b>
[DNS Auto]	DNS自動取得設定をします。 [On] に設定すると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。 [DHCP] を [On] に設定したときに有効です。

設定項目	説明
[Primary DNS Server]	プライマリーDNSサーバーのアドレスを入力します。 [DNS Auto] を [Off] に設定したときに有効です。
	<b>ご注意</b> <ul><li>▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。</li></ul>
	セカンダリーDNSサーバーのアドレスを入力します。 [DNS Auto]を[Off]に設定したときに有効です。
[Secondary DNS Server]	<b>ご注意</b> <ul><li>▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。</li></ul>

# 4. 設定が完了したら [Connect] ボタンを押す。

本機がインターネットに接続されます。

#### ヒント

- 「Monitor & Control」や「Camera Remote SDK」を使用する場合など、外部からの操作を許可する場合は、 [Network] ステータスー [Wireless LAN] - [Remote] を [Enable] に設定してください。
- [Network] ステータス画面の [Show Authentication] ボタンを押すと、本機に接続するための認証情報が表示されます。画面を盗み見られたり QRコードの画像を流出させないようにご注意ください。

#### ご注意

- [Security] (暗号化方式)は [None] 、 [WPA2] 、 [WPA3] から選択できます。セキュリティの観点から、暗号化される [WPA2] または [WPA3] の利用を推奨します。セキュアな無線LAN接続を実現するために、セキュリティ設定がWPA2またはWPA3のアクセスポイントを使用することを、強く推奨します。
- セキュリティ設定なしのアクセスポイントに接続すると、ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、脆弱性への攻撃を受ける可能性があります。特別な理由がある場合以外は、セキュリティ設定なしでの使用は推奨しません。
- [Manual Register] 画面でアクセスポイントを設定するとき、入力可能な文字数と文字の種類は以下のとおりです。
  - SSIDを入力する場合:

入力可能文字数は1文字~32文字です。また、入力可能な文字は以下です。 英字(大文字・小文字)、数字、記号(- . @ \_ ( )! " # \$ % & ' \* + , / : ; < = > ? [ \ ] ^ ` { | } ~)

= パスワードを入力する場合:

WPA2の入力可能文字数は8文字~63文字です。WPA3の入力可能文字数は8文字~128文字です。また、入力可能な文字は以下です。 英字(大文字・小文字)、数字、記号(- . @ \_ ( ) ! " # \$ % & ' \* + , / : ; < = > ? [ \ ] ^ ` { | } ~)

[Network] ステータス画面の [Status] 欄の表示で、動作状態を確認できます。

状態表示	想定原因	対策
[Non Active]	(状態遷移中)	処理中です。しばらくお待ちください。
[Disconnected]	接続するアクセスポイントが選択されていない。	[Disconnected] をタップして、アクセスポイントの一覧から接続 先を選択してください。
[Searching]	前回接続したアクセスポイントを探索し ている。	接続先を変更する場合は、 [Searching] をタップしてアクセスポイントの一覧から接続先を選択してください。
[Connecting]	<ul> <li>アクセスポイントから遠い。</li> <li>IPアドレスの取得中または取得に失敗した。</li> <li>WPS実行中。</li> <li>アクセスポイントから切断された。</li> </ul>	以下を確認してください。 <ul><li>接続するアクセスポイントが近くにある。</li><li>アクセスポイントが本機を信頼する機器と認めている。</li><li>アクセスポイントの同時接続数上限を超えていない。</li><li>アクセスポイントまたはネットワークのDHCPサーバーが有効になっている。</li></ul>
(SSID名)	(正常に動作中)	本機は表示のアクセスポイントに接続しています。

状態表示	想定原因	対策
[IP Address Error]	ネットワーク内に同じIPアドレスを割り 当てられた機器が存在する。	IPアドレスが競合しています。ネットワークの設定を確認してください。

TP1001670040

## ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# USBテザリングでインターネットに接続する

USBケーブルで本機とスマートフォンを接続し、スマートフォンの回線を使用してインターネットに接続します。

- 1. 本機の電源を入れる。
- 2. NETWORKボタンを押す。

[Network] ステータスが表示されます。

#### ヒント

- MENUボタンを押して、画面を上下にスクロールして表示させることもできます。
- [USB] [Setting] を [USB Tethering] に設定する。
   USBテザリングがオンになります。
- 4. USBケーブルで本機とスマートフォンを接続する。

本機がインターネットに接続されます。

**5. スマートフォンのテザリング通信を有効に設定する。** 詳しくは、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

[Network] ステータス画面の [Status] 欄の表示で、動作状態を確認できます。

状態表示	想定原因	対策
[Non Active]	(状態遷移中)	処理中です。しばらくお待ちください。
[No Device]	USBケーブルが抜けている。	以下を確認してください。 <ul><li>USBケーブルを挿しなおす。</li><li>対向機器の電源が入っている。</li></ul>
[Unsp. Cnct. Dev.]	<ul><li>対向機器がUSBテザリングに設定されていない。</li><li>対向機器がUSBテザリングに対応していない。</li></ul>	対向機器のUSBテザリングがオンに設定されていること を確認してください。
[Disconnected]	(状態遷移中)	処理中です。しばらくお待ちください。
[Connecting]	<ul><li>対向機器がUSBテザリングに設定されていない。</li><li>対向機器が本機を信頼する機器と認めていない。</li><li>IPアドレスの取得中または取得に失敗した。</li></ul>	以下を確認してください。   対向機器のUSBテザリングがオンに設定されている。  対向機器が本機を信頼する機器と認めている。  対向機器またはネットワークのDHCPサーバーが有効 になっている。  DHCPサーバーがない場合は、手動でIPアドレスを設定してください。
[Connected]	(正常に動作中)	本機は正常に動作しています。
[IP Address Error]	ネットワーク内に同じIPアドレスを割り当てられ た機器が存在する。	IPアドレスが競合しています。ネットワークの設定を確認してください。

## ヒント

「Monitor & Control」や「Creators' App for enterprise」、「Camera Remote SDK」を使用する場合など、外部からの操作を許可する場合は、 [Network] ステータス – [USB Tethering] – [Remote] を [Enable] に設定してください。

- [Network] ステータス画面の [Show Authentication] ボタンを押すと、本機に接続するための認証情報が表示されます。画面を盗み見られたり QRコードの画像を流出させないようにご注意ください。
  - [USB Tethering] と [USB Stream] の両方が [Off] のときに、本機とスマートフォンをUSB接続すると、有効にするUSB機能を選択する画面が表示されます。この場合は、ドロップダウンリストボックスで [USB Tethering] を選択し、 [Execute] を選択すると、USBテザリングがオンになります。

#### ご注意

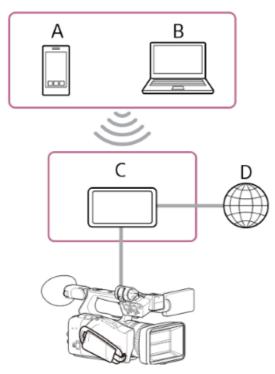
- 黒い画面に「USB接続中」と表示されている場合は、USBケーブルを抜いて撮影画面に戻り、[USB]を[USB Tethering] にしてからUSBケーブルを接続してください。
- USBハブを介してスマートフォンを接続した場合、USBテザリングは使用できません。
- テザリングを行うスマートフォンは、信頼できるデバイスのみを使用してください。セキュリティ上安全ではないため、素性が不明なデバイスとの接続は推奨しません。

TP1001670041

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## 有線LANでインターネットに接続する

本機と無線LANルーターを有線LAN接続してインターネットに接続します。



- A: スマートフォン/タブレット
- B: コンピューター
- C:無線LANルーター
- D: インターネット
- 1. 本機のネットワーク端子と無線LANルーターをLANケーブルで接続する。
- 2. 本機の電源を入れる。
- 3. NETWORKボタンを押す。

[Network] ステータスが表示されます。

#### ヒント

- MENUボタンを押して、画面を上下にスクロールして表示させることもできます。
- 4. [Wired LAN] [Setting] を [Wired LAN] に設定する。

#### ご注意

- 本機は、無線LANと有線LANを同時に使用できません。
- 本機はネットワーク機器(例えばルーター、スイッチング・ハブ)ではありません。DoS攻撃(サービス妨害攻撃)などのネットワーク経由での攻撃に対して、適切な設定と管理を行うことができるネットワークに本機を接続することを強く推奨します。
- 本機のネットワークへの接続には、適切な設定と管理が行われたルーターを介した接続、もしくは同機能を有したLANポートへの接続をしてください。このような接続をしない場合、セキュリティ上の問題を生じる可能性があります。ルーターは適切な設定をすることにより、ネットワーク内の機器へのDoS攻撃または機器の機能喪失に対する十分な保護を提供します。何か異常を感じた場合は、すぐにカメラをネットワーク接続から遮断してください。
- 5. 必要に応じて、フルメニューの [Network] [Wired LAN] [Detail Settings] で以下の設定を行い、 [Set] を選択する。

設定項目	説明
[DHCP]	DHCPを設定します。 [On] に設定すると、自動的に本機にIPアドレスを割り当てます。 手動で本機のIPアドレスを入力する場合は、 [Off] に設定します。
[TD Adduses]	本機のIPアドレスを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。
[IP Address]	<ul><li>▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。</li></ul>
	本機のサブネットマスクを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。
[Subnet Mask]	<ul><li>ご注意</li><li>▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。</li></ul>
	ゲートウェイのアドレスを入力します。 [DHCP] を [Off] に設定したときに有効です。
[Gateway]	<b>ご注意</b> <ul><li>▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。</li></ul>
[DNS Auto]	DNS自動取得設定をします。 [On] に設定すると、自動的にDNSサーバーのアドレスを取得します。 [DHCP] を [On] に設定したときに有効です。
	プライマリーDNSサーバーのアドレスを入力します。 [DNS Auto] を [Off] に設定したときに有効です。
[Primary DNS Server]	<ul><li>ご注意</li><li>▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。</li></ul>
[Secondary DNS Server]	セカンダリーDNSサーバーのアドレスを入力します。 [DNS Auto] を [Off] に設定したときに有効です。
	<ul><li>ご注意</li><li>▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。</li></ul>

[Network] ステータス画面の [Status] 欄の表示で、動作状態を確認できます。

状態表示	想定原因	対策
[Non Active]	(状態遷移中)	処理中です。しばらくお待ちください。
[Disconnected]	<ul><li>イーサーネットケーブルが抜けている。</li><li>イーサーネットケーブルで接続した対向機器の電源が入っていない。</li><li>イーサーネットケーブルが損傷している。</li></ul>	以下を確認してください。      イーサーネットケーブルの両端が正しく挿されている。     イーサーネットケーブルで接続した対向機器の電源が入っている。     イーサーネットケーブルが損傷していない。

状態表示	想定原因	対策
[Connecting]	IPアドレスの取得中または取得に失敗した。 (DHCPサーバーが存在しない)	しばらく待っても変わらない場合は、ネットワークのDHCPサーバーが有効になっていることを確認してください。 DHCPサーバーがない場合は、手動でIPアドレスを設定してください。
[Connected]	(正常に動作中)	本機は正常に動作しています。
[IP Address Error]	ネットワーク内に同じIPアドレスを割り当て られた機器が存在する。	IPアドレスが競合しています。ネットワークの設定を確認してください。

### ヒント

- 「Monitor & Control」や「Camera Remote SDK」を使用する場合など、外部からの操作を許可する場合は、 [Network] ステータス [Wired LAN] [Remote] を [Enable] に設定してください。
- [Network] ステータス画面の [Show Authentication] ボタンを押すと、本機に接続するための認証情報が表示されます。画面を盗み見られたり QRコードの画像を流出させないようにご注意ください。

### ご注意

● 接続設定を変更した場合、必ず [Set] を選択してください。 [Set] を選択しなかった場合は設定した内容が反映されません。

TP1001670042

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

### 「C3 Portal」 ヘファイルを転送する

「Creators' App for enterprise」を使って、クラウドサービス「C3 Portal」へファイルを転送することができます。

1. フルメニューの [Network] - [Network Setup] - [Setup for Mobile App] を実行する。

自動変更される項目の確認画面が表示されます。

[Network] メニューの設定が次のように自動変更されます。

- [USB Tethering] [Setting] [On]
- [USB Tethering] [Camera Remote Control] [Enable]
- 2. 設定内容を確認して [OK] を選択する。

設定が開始されます。

設定中はメッセージが表示されます。

設定が正常に終了すると、LCDモニターまたはビューファインダーにアクセス認証の画面が表示されます。



画面には以下の情報が表示されます。

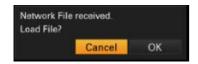
ユーザー名/パスワード/フィンガープリント/カメラのモデル名/シリアル番号

### ヒント

■ 本画面は映像出力へ出力されません。

### ご注意

- パスワードを盗み見られたり、QRコードの画像を流出させないように注意してください。
- 3. スマートフォンの「Creators' App for enterprise」を起動し、クラウドサービス「C3 Potal」にサインインする。
- 4. 本機のUSB-C端子にUSBケーブルを接続し、スマートフォンを接続する。
- **5. スマートフォンのUSBテザリング機能を有効にする。** 詳しくは、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
- 6. 「Creators' App for enterprise」の画面の指示に従って、本機のLCDモニターに表示されたQRコードを撮影する。 スマートフォンから本機へファイル転送の設定情報が送られ、本機に次の画面が表示されます。



7. [OK] を選択する。

設定の読み込みが開始されます。

設定の読み込みが正常に終了すると、メッセージが表示されます。

ご注意

- 「Creators' App for enterprise」は、本機の[Network] [File Transfer]の設定を書き換えます。
  - [Root Certificate] は自動では設定できません。手動で設定してください。

### オリジナルクリップを転送する

[File Transfer] ステータスまたはフルメニューの [Network] – [File Transfer] – [Auto Upload] を [On] に設定すると、オリジナルクリップを「C3 Portal」へ転送できます。

記録を終了するたびに、「C3 Portal」のアカウントに紐づけされた場所へクリップが転送されます。

#### プロキシクリップを転送する

[File Transfer] ステータスまたはフルメニューの [Network] – [File Transfer] – [Auto Upload (Proxy)] を [On] に設定すると、プロキシクリップを「C3 Portal」へ転送できます。

記録を終了するたびに、「C3 Portal」のアカウントに紐づけされた場所ヘクリップが転送されます。

### ヒント

- 本機から転送されたファイルは、「Creators' App for enterprise」でキャッシュされながら「C3 Portal」へ転送されます。本機のファイル転送状態の表示は、「Creators' App for enterprise」への転送状況を示しています。
- 本機から「Creators' App for enterprise」へファイル転送が終了した後は、本機の電源をオフにすることができますが、スマートフォンからのファイル転送は継続している場合があります。スマートフォンの電池残量にはご注意ください。
- ■「C3 Portal」へ任意のクリップを転送することができます。詳細は下記をご覧ください。 クリップを選んで転送する
- 「C3 Portal」で保存された3D LUTファイルを本機にインポートすることがきます。
- 本機で作成したAIIファイルを「C3 Portal」に保存したり、読み出したりして利用することができます。

### 「C3 Portal」を使用したその他の機能

#### 3D LUTファイルを管理する

「C3 Portal」側で保存された3D LUTファイルを本機にインポートできます。

### Allファイルを管理する

本機で作成したAllファイルを「C3 Portal」に保存したり、読み出したりして利用できます。

### 関連項目

- 好みの基本ルックをインポートする
- 設定内容をファイルに保存する

TP1001670043

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

### ファイルを転送するための準備をする

記録したプロキシクリップやオリジナルクリップを、インターネット上のサーバーやローカルネット上のサーバーへ転送することができます。

以下の手順に従って、本機をインターネットまたはローカルネットワークに接続します。

無線LANでインターネットに接続する

USBテザリングでインターネットに接続する

有線LANでインターネットに接続する

### ファイルの転送先を登録する

あらかじめクリップを構成するファイルを転送するサーバーを登録しておきます。

- 1. フルメニューの[Network] [File Transfer] [Server Settings1] / [Server Settings2] / [Server Settings3]を選択する。
- 2. 転送先設定画面が表示されます。
- 3. 転送先設定画面の各項目を設定する。

設定項目	説明
[Display Name]	転送先のリストに表示されるサーバー名を入力します。 <b>ご注意</b> A 入力可能文字数は1文字~16文字です。 また、入力可能な文字は以下です。 英字(大文字・小文字)、数字、記号(! # \$ % & '( ) * + , / : ; < = > ? @ [ ] ~)
[Service]	サーバーの種類を表示します。 [FTP]:FTP サーバー
[Host Name]	サーバーのアドレスを入力します。 ご注意 <ul> <li>入力可能文字数は1文字~255文字です。 また、入力可能な文字は以下です。</li></ul>
[Port]	サーバーに接続する際のポート番号を入力します。 <ul><li>ご注意</li><li>入力可能文字数は1文字~5文字です。 また、入力可能な文字は数字のみです。</li></ul>
[User Name]	ユーザー名を入力します。 <b>ご注意</b> ■ 入力可能文字数は0文字~255文字です。 また、入力可能な文字は以下です。 英字(大文字・小文字)、数字、記号( @ _ ( )! " # \$ % & ' * + , /:; < = >?[ <b>\</b> ] ^ ` {   } ~)
[Password]	パスワードを入力します。 <b>ご注意</b> • 入力可能文字数は0文字~255文字です。 また、入力可能な文字は以下です。 英字(大文字・小文字)、数字、記号( @_()!"#\$%&'*+,/:;<=>?[\]^`{ }~`

設定項目	説明
[Passive Mode]	パッシブモードのオン/オフを行います。
	転送先ディレクトリー名を入力します。
[Destination Directory]	<ul> <li>ご注意</li> <li>オリジナルクリップは、転送先として指定したディレクトリー内の「Main」フォルダーに転送されます。</li> <li>編集時、編集不可能な文字は"□"で表示されます。この文字を含むディレクトリー名を編集した場合の動作は保証されません。もし編集してしまった場合は、すべての文字を削除して入力し直してください。</li> </ul>
	転送先サーバーで使用できない文字を [Destination Directory] に入力した場合、ファイルはユーザーのホームディレクトリーに転送されます。使用できない文字はサーバーによって異なります。
	<ul><li>入力可能文字数は0文字~128文字です。 また、入力可能な文字は以下です。</li><li>英字(大文字・小文字)、数字、記号(! # \$ % &amp; '() * + , / : ; &lt; = &gt; ? @ [] ~)</li></ul>
[Using Secure Protocol]	セキュアなFTP転送を行うかどうかを設定します。
[Root Certificate]	証明書の読み込みや消去を行います。
	<ul><li>[Load] : 手順3で [Set] を選択すると、CA証明書を読み込みます。</li></ul>
	ご注意  ■ 読み込む証明書はPEM形式で、カードスロットBに挿入したメモリーカードのルートディレクトリーに 「certification.pem」のファイル名で書き込んでおいてください。
	<ul><li>[Clear]:手順3で[Set]を選択すると、CA証明書をクリアします。</li><li>[None]:読み込み/消去を行いません。</li></ul>
	ご注意 ■ CA証明書を読み込む際は、本機の時刻を正しく設定してください。
	■ 記録フォーマットにより、記録動作が優先されるため証明書を [Load] / [Clear] できない場合があります。
	● 低電圧時には、CA証明書を [Load] / [Clear] することはできません。
[Root Certificate Status]	証明書の読み込み状態を表示します。
[Reset]	[Server Settings1] / [Server Settings2] / [Server Settings3] の設定を初期値に戻します。

# 4. 設定が完了したら [Set] を選択し、設定内容を確定する。

## ご注意

■ 設定完了後は、必ず [Set] を選択してください。 [Set] を選択しなかった場合、設定した内容が反映されません。

TP1001670044

### ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# クリップを選んで転送する

メモリーカードに記録したプロキシクリップやオリジナルクリップをサーバーに転送します。

#### ご注意

● 分割記録したプロキシクリップは自動転送専用ファイルになるため、そのファイルを選んで転送することはできません。

#### プロキシクリップを転送する

1. フルメニューの [Thumbnail] - [Transfer Clip (Proxy)] - [Select Clip] を選択する。 画面がフルメニューからサムネイル画面に変わります。 クリップの転送は、サムネイル画面またはフィルタードクリップサムネイル画面で操作することができます。

2. 転送したいクリップを選択し、最後にMENUボタンを押す。

転送を実行する確認画面が表示されます。

3. [Execute] を選択する。

選択したオリジナルクリップに対応するプロキシクリップが転送ジョブとして登録され、転送が開始されます。 転送ジョブへの登録が完了すると、登録結果画面が表示されます。

4. [OK] を選択する。

#### ヒント

● 手順1で [Select Clip] ではなく、 [All Clips] を選択するとオリジナルクリップに対応するプロキシクリップが一括転送されます。

#### ご注意

■ 転送ジョブの上限は200件です。

### オリジナルクリップを転送する

1. フルメニューの [Thumbnail] - [Transfer Clip] - [Select Clip] を選択する。 画面がフルメニューからサムネイル画面に変わります。 ファイルの転送は、サムネイル画面またはフィルタードクリップサムネイル画面で操作することができます。

2. 転送したいクリップを選択し、最後にMENUボタンを押す。

転送を実行する確認画面が表示されます。

3. [Execute] を選択する。

選択したクリップが転送ジョブとして登録され、転送が開始されます。 転送ジョブへの登録が完了すると、登録結果画面が表示されます。

4. [OK] を選択する。

#### ヒント

● 手順1で [Select Clip] ではなく、 [All Clips] を選択するとクリップが一括転送されます。

### ご注意

- オリジナルクリップは、転送先として指定したディレクトリー内の「Main」フォルダーに転送されます。
- 転送ジョブの上限は200件です。

#### 転送状態を確認する

フルメニューの [Network] – [File Transfer] – [View Job List] を選択すると、ファイルの転送状態を確認することができます。 モバイル機器と接続すると「Catalyst Browse」アプリケーションでファイルの転送状態を確認することもできます。

### ヒント

● [File Transfer] ステータスまたはフルメニューの [Network] - [File Transfer] - [Auto Upload] / [Auto Upload (Proxy)] を [On] に設定し、ネットワークに接続している場合、記録終了時に [Default Upload Server] で設定されたサーバーに対して、自動的にオリジナルクリップやプロキシクリップを転送します。オリジナルクリップとプロキシクリップの両方を自動転送に設定している場合には、プロキシクリップが優先して自動転送されます。

### ご注意

- ジョブリストは本機の電源をオフにしても保持されますが、電源スイッチを○(スタンバイ)にせずにバッテリーパックを取り外した場合には、最大で10分間分程度の進捗情報が喪失する可能性があります。
- バッテリー電圧低下状態に陥った後に追加されたジョブについては、ジョブリストに保存されません。
- ファイル転送中に転送がエラーになると、転送先サーバーの設定や状態によっては、同じ名前のクリップが転送できなくなることがあります。その場合は転送先サーバーの設定や状態を確認してください。

#### 関連項目

- サムネイル画面の構成
- クリップを操作する

TP1001670045

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# クリップを自動転送する

クリップを自動転送することができます。

### オリジナルクリップを自動転送する

記録終了時にオリジナルクリップを指定したサーバーに自動で転送します。

自動転送を有効にするには、 [File Transfer] ステータスまたはフルメニューの [Network] – [File Transfer] – [Auto Upload] を [On] に設定します。

### プロキシクリップを自動転送する

記録終了時にプロキシクリップを指定したサーバーに自動で転送します。

自動転送を有効にするには、 [File Transfer] ステータスまたはフルメニューの [Network] – [File Transfer] – [Auto Upload (Proxy)] を [On] に設定します。

また、[Auto Upload (Proxy)]を[Chunk]に設定すると、プロキシクリップを分割記録して、記録継続中でも指定したサーバーに順次転送することができます。分割記録したプロキシクリップの自動転送は、他のファイル転送ジョブよりも優先されて行われます。

### 関連項目

- プロキシ記録
- プロキシクリップを分割記録し、転送する

TP1001670046

### ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

### セキュアなFTP転送を行うには

ファイルの転送先サーバーとの接続にFTPSのExplicitモード(FTPES)を使用することで、ファイルを暗号化して転送することができます。

#### セキュアなFTP転送の設定

セキュアなFTP転送を行うには、ファイル転送先サーバーの設定で、 [Using Secure Protocol] を [On] に設定し、証明書の読み込みを行います。

#### FTP機能に関するご注意

FTPはコンテンツ、ユーザー名、パスワードが暗号化されていません。セキュアな転送を確保するため、FTPES(FTPS)を使用してください。

#### FTPS機能について

FTPS機能は、安全なファイル転送を実現するために様々な暗号化アルゴリズムをサポートしています。幅広いサーバーとの互換性を確保するため、複数の暗号化アルゴリズムに対応していますが、その中には現在のセキュリティベストプラクティスに適合しないものも含まれています。

### FTPS機能がサポートする暗号化アルゴリズム

以下の暗号化アルゴリズムをサポートしています。

- TLS\_RSA\_WITH\_AES\_256\_GCM\_SHA384
- TLS\_RSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA256
- TLS\_RSA\_WITH\_AES\_128\_CBC\_SHA256
- TLS\_RSA\_WITH\_AES\_128\_CBC\_SHA
- TLS\_ECDHE\_RSA\_WITH\_AES\_256\_GCM\_SHA384
- TLS\_ECDHE\_RSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA384
- TLS\_ECDHE\_RSA\_WITH\_AES\_128\_GCM\_SHA256
- TLS\_ECDHE\_RSA\_WITH\_AES\_128\_CBC\_SHA256
- TLS\_ECDHE\_ECDSA\_WITH\_AES\_256\_GCM\_SHA384
- TLS\_ECDHE\_ECDSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA384
- TLS\_ECDHE\_ECDSA\_WITH\_AES\_128\_CBC\_SHA256
- TLS\_DHE\_RSA\_WITH\_AES\_256\_GCM\_SHA384
- TLS\_DHE\_RSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA256
- TLS\_DHE\_RSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA
- TLS\_DHE\_RSA\_WITH\_AES\_128\_CBC\_SHA256

### 推奨される暗号化アルゴリズムについて

NIST勧告 (NIST SP 800-57 Part 1 Revision 5) および関連するセキュリティ標準に基づき、以下の暗号化アルゴリズムが推奨されています。

- TLS\_ECDHE\_RSA\_WITH\_AES\_256\_GCM\_SHA384
- TLS\_ECDHE\_RSA\_WITH\_AES\_128\_GCM\_SHA256
- TLS\_ECDHE\_ECDSA\_WITH\_AES\_256\_GCM\_SHA384

#### 非推奨アルゴリズムについて

FTPS機能は互換性のため以下のアルゴリズムもサポートしていますが、NIST勧告(NIST SP 800-57 Part 1 Revision 5)および関連するセキュリティ標準に基づき非推奨とされており、将来のバージョンでは削除される可能性があります。

- TLS\_RSA\_WITH\_AES\_256\_GCM\_SHA384
- TLS\_RSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA256
- TLS\_RSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA
- TLS RSA WITH AES 128 CBC SHA256
- TLS\_RSA\_WITH\_AES\_128\_CBC\_SHA
- TLS\_ECDHE\_RSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA384
- TLS\_ECDHE\_RSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA
- TLS\_ECDHE\_RSA\_WITH\_AES\_128\_CBC\_SHA256
- TLS\_ECDHE\_RSA\_WITH\_AES\_128\_CBC\_SHA

- TLS\_ECDHE\_ECDSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA384
- TLS ECDHE ECDSA WITH AES 256 CBC SHA
- TLS\_ECDHE\_ECDSA\_WITH\_AES\_128\_CBC\_SHA256
- TLS\_ECDHE\_ECDSA\_WITH\_AES\_128\_CBC\_SHA
- TLS\_DHE\_RSA\_WITH\_AES\_256\_GCM\_SHA384
- TLS\_DHE\_RSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA256
- TLS\_DHE\_RSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA
- TLS\_DHE\_RSA\_WITH\_AES\_128\_CBC\_SHA256
- TLS\_DHE\_RSA\_WITH\_AES\_128\_CBC\_SHA

### 接続互換性について

弊社のFTPS機能は、セキュリティと互換性のバランスを考慮して設計されています。現時点では、以下の理由から非推奨アルゴリズムもサポートしていますが、将来のバージョンではセキュリティ強化のためこれらのアルゴリズムを削除する可能性があります。

- フリーランスのフォトグラファーやビデオグラファーは、様々なクライアントが運用するサーバーに接続する必要があります。
- 古いシステムやレガシーサーバーとの互換性を維持する必要があります。
- サーバー側での暗号化アルゴリズムの設定変更は複雑であり、すべてのユーザーが安全な設定に変更できるとは限りません。
- FTPS設定はSSHの設定と共有されることが多く、他のサービスへの影響を考慮する必要があります。
- 様々な環境での相互運用性を確保するため、幅広い暗号化アルゴリズムのサポートが必要です。

FTPS接続時に使用される暗号化アルゴリズムは接続先サーバーとの自動ネゴシエーションによって決定されるため、サーバー側の設定に依存します。セキュリティリスクを認識しつつも、ユーザーの多様なニーズに応えるため、現時点では幅広い互換性を優先しています。

#### セキュリティリスク

CBC/DHE/RSA/SHA-1を含む非推奨アルゴリズムを使用すると、暗号化されたデータが攻撃者によって解読または改ざんされるリスクが高まり、転送中のデータが漏洩する危険性があります。

### 安全な接続のための推奨事項

FTPS機能を使用する際は、接続先サーバーが推奨暗号化アルゴリズムをサポートしているか事前に確認してください。サーバー側では推奨アルゴリズムのみを有効にし、非推奨アルゴリズムを無効化することをお勧めします。

#### 参考資料

- Recommendation for Key Management, Special Publication 800-57 Part 1 Revision 5, NIST, 2020.
- Transitioning the Use of Cryptographic Algorithms and Key Lengths, Special Publication 800-131A Revision 2, NIST, 2019.
- Recommendation for Block Cipher Modes of Operation: The CMAC Mode for Authentication, Special Publication 800-38B, NIST, 2005 (includes updates as of 10/06/2016).

#### 関連項目

ファイルを転送するための準備をする

TP1001670047

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

### ストリーミングする

本機で撮影/再生している映像と音声を低遅延でストリーミングすることができます。 ストリーミングには二種類あります。

RTMP/RTMPSストリーミング

Adobe Inc.が開発したRTMP (Real Time Messaging Protocol) で、本機で撮影映像と音声を低遅延でストリーミングすることができます。SSLで暗号化したRTMPSにも対応しています。

SRTストリーミング

Haivision社が開発したSRT(Secure Reliable Transport)で、本機で撮影映像と音声を低遅延でストリーミング伝送することができます。SRTストリーミングにはListenerとCallerがあり、ListenerがIPアドレスやドメインなど接続先情報を持ち、CallerがListenerに接続します。本機はCallerに該当します。

#### ご注意

- セキュアなストリーミング配信を行うためには、配信URLに「rtmps://」が含まれている必要があります。RTMPは、一般的なストリーミング配信 に使用されますが、セキュリティが十分ではありません。一方でRTMPSは、SSL/TLSを使用してデータを暗号化し、安全な配信を実現します。
- SRTでは、暗号化の設定項目としてAES-128またはAES-256を選択することができます。これにより、ストリーミングデータが暗号化され、安全に配信されます。無線LANの[Security] (暗号化方式)を[None]に設定することも可能ですが、この場合、データは暗号化されず、通信がセキュアでなくなります。この設定をする場合は、ネットワーク環境や配信先のセキュリティ要件を十分に考慮してください。
- SRTの暗号化設定は、配信先と一致させる必要があります。配信先が使用する暗号化方式と同じ設定を行うことで、正常な通信が確保されます。
- SRTを利用する場合、パスフレーズ、共通鍵の入力可能な文字の種類は、アルファベット、数字、記号です。文字数は16文字以上に設定することを強く推奨します。

ストリーミングのビットレートの範囲と初期値は、システム周波数と解像度によって以下のように異なります。

システム周波数	ストリーミング		
ンヘナム同原数	解像度	ビットレート範囲(Mbps)	初期値(Mbps)
	3840×2160	38のみ	_
59.94/50	1920×1080	4.5 ∼ 27	9
	1280×720	2.3~13.5	6
	3840×2160	13 ~ 38	34
29.97/25/23.98	1920×1080	3 ~ 18	6
	1280×720	1.5 ~ 9	4

#### ご注意

- 保存した動画を使った再生ストリーミングには対応していません。
- 映像の出力方式がインターレース方式のときでも、ストリーミングではプログレッシブ方式で出力されます。

### RTMPS機能について

RTMPS機能は、安全なRTMPSストリーミング配信を実現するために様々な暗号化アルゴリズムをサポートしています。幅広い配信先のサーバーとの互換性を確保するため、複数の暗号化アルゴリズムに対応していますが、その中には現在のセキュリティベストプラクティスに適合しないものも含まれています。

### RTMPS機能がサポートする暗号化アルゴリズム

以下の暗号化アルゴリズムをサポートしています。

- TLS AES 256 GCM SHA384
- TLS\_AES\_128\_GCM\_SHA256

- TLS\_AES\_128\_CCM\_SHA256
- TLS ECDHE ECDSA WITH AES 256 GCM SHA384
- TLS\_ECDHE\_ECDSA\_WITH\_AES\_256\_CCM
- TLS\_ECDHE\_ECDSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA384
- TLS\_ECDHE\_RSA\_WITH\_AES\_256\_GCM\_SHA384
- TLS\_ECDHE\_RSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA384
- TLS\_DHE\_RSA\_WITH\_AES\_256\_GCM\_SHA384
- TLS\_DHE\_RSA\_WITH\_AES\_256\_CCM
- TLS\_DHE\_RSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA256
- TLS ECDHE ECDSA WITH AES 128 GCM SHA256
- TLS ECDHE ECDSA WITH AES 128 CCM
- TLS\_ECDHE\_ECDSA\_WITH\_AES\_128\_CBC\_SHA256
- TLS ECDHE RSA WITH AES 128 GCM SHA256
- TLS ECDHE RSA WITH AES 128 CBC SHA256
- TLS\_DHE\_RSA\_WITH\_AES\_128\_GCM\_SHA256
- TLS\_DHE\_RSA\_WITH\_AES\_128\_CCM
- TLS\_DHE\_RSA\_WITH\_AES\_128\_CBC\_SHA256

### 推奨される暗号化アルゴリズムについて

NIST勧告 (NIST SP 800-57 Part 1 Revision 5) および関連するセキュリティ標準に基づき、以下の暗号化アルゴリズムが推奨されています。

- TLS AES 256 GCM SHA384
- TLS AES 128 GCM SHA256
- TLS\_AES\_128\_CCM\_SHA256
- TLS\_ECDHE\_ECDSA\_WITH\_AES\_256\_GCM\_SHA384
- TLS\_ECDHE\_ECDSA\_WITH\_AES\_256\_CCM
- TLS\_ECDHE\_RSA\_WITH\_AES\_256\_GCM\_SHA384
- TLS\_ECDHE\_ECDSA\_WITH\_AES\_128\_GCM\_SHA256
- TLS ECDHE ECDSA WITH AES 128 CCM
- TLS\_ECDHE\_RSA\_WITH\_AES\_128\_GCM\_SHA256

#### 非推奨アルゴリズムについて

RTMPS機能は互換性のため以下のアルゴリズムもサポートしていますが、NIST勧告(NIST SP 800-57 Part 1 Revision 5)および関連するセキュリティ標準に基づき非推奨とされており、将来のバージョンでは削除される可能性があります。

### Key exchange algorithms

- TLS\_ECDHE\_ECDSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA384
- TLS\_ECDHE\_RSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA384
- TLS DHE RSA WITH AES 256 GCM SHA384
- TLS\_DHE\_RSA\_WITH\_AES\_256\_CCM
- TLS\_DHE\_RSA\_WITH\_AES\_256\_CBC\_SHA256
- TLS ECDHE ECDSA WITH AES 128 CBC SHA256
- TLS\_ECDHE\_RSA\_WITH\_AES\_128\_CBC\_SHA256
- TLS\_DHE\_RSA\_WITH\_AES\_128\_GCM\_SHA256
- TLS DHE RSA WITH AES 128 CCM
- TLS\_DHE\_RSA\_WITH\_AES\_128\_CBC\_SHA256

#### 接続互換性について

弊社のRTMPS機能は、セキュリティと互換性のバランスを考慮して設計されています。現時点では、以下の理由から非推奨アルゴリズムもサポートしていますが、将来のバージョンではセキュリティ強化のためこれらのアルゴリズムを削除する可能性があります。

- RTMPSのストリーミング機能を使用するには、RTMPS配信に対応した様々なサーバーに接続する必要があります。
- 古いシステムやレガシーサーバーとの互換性を維持する必要があります。
- サーバー側での暗号化アルゴリズムの設定変更は複雑であり、すべてのユーザーが安全な設定に変更できるとは限りません。
- RTMPS設定はSSHの設定と共有されることが多く、他のサービスへの影響を考慮する必要があります。
- 様々な環境での相互運用性を確保するため、幅広い暗号化アルゴリズムのサポートが必要です。

RTMPS接続時に使用される暗号化アルゴリズムは接続先サーバーとの自動ネゴシエーションによって決定されるため、サーバー側の設定に依存します。セキュリティリスクを認識しつつも、ユーザーの多様なニーズに応えるため、現時点では幅広い互換性を優先しています。

### セキュリティリスク

CBCおよびDHEを含む非推奨アルゴリズムを使用すると、暗号化されたデータが攻撃者によって解読されるリスクが高まり、ストリーミング配信中のデータが漏洩する危険性があります。

#### 安全な接続のための推奨事項

RTMPSのストリーミング配信機能を使用する際は、接続先サーバーが推奨暗号化アルゴリズムをサポートしているか事前に確認してください。サーバー側では推奨アルゴリズムのみを有効にし、非推奨アルゴリズムを無効化することをお勧めします。

#### 参考資料

- Recommendation for Key Management, Special Publication 800-57 Part 1 Revision 5, NIST, 2020.
- Transitioning the Use of Cryptographic Algorithms and Key Lengths, Special Publication 800-131A Revision 2, NIST, 2019.
- Recommendation for Block Cipher Modes of Operation: The CMAC Mode for Authentication, Special Publication 800-38B, NIST, 2005 (includes updates as of 10/06/2016).

### RTMP/RTMPSストリーミングの設定をする

### 接続先とフォーマットを設定する

- 1. フルメニューの [Network] [Stream] を [RTMP/RTMPS 1] / [RTMP/RTMPS 2] / [RTMP/RTMPS 3] に設定する。 接続先設定画面が表示されます。
- 2. 接続先設定画面の各項目を設定する。

設定項目	説明	
[Display Name]	[Destination Select] のメニュー上の表示名を設定します。	
[Codec]	ストリーミングする映像のコーデックが表示されます。	
[Resolution]	ストリーミングする映像の解像度を設定します。  3840×2160P 1920×1080P 1280×720P	
[Bit Rate]	ストリーミングする映像のビットレートを設定します。	
[Destination URL]	接続するサーバーのURLを設定します。 「rtmps://」で始まるURLは、RTMPSストリーミングと認識され、ストリーミングデータは暗号化されます。この場合、RTMPS接続用の証明書が必要になります。	
[Stream Key]	ストリーミング接続で使用するストリームキーを設定します。	
	RTMPSストリーミング用の証明書の読み込みや消去について設定します。  • [Load] : 証明書を読み込みます。	
[RTMPS Certificate]	<b>ご注意</b> <ul><li>■ 読み込む証明書はPEM形式で、メモリーカードのルートディレクトリーに「RTMPS_certification.pem」のファイル名で書き込んでおいてください。</li></ul>	
	[Clear]:証明書をクリアします。     [None]:読み込み/消去を行いません。     ここで証明書を読み込まない場合は、本機に内蔵の既定証明書が使用されます。	

#### 3. 設定が完了したら [Set] を選択し、設定内容を確定する。

#### ご注意

- 設定完了後は、必ず [Set] を選択してください。 [Set] を選択しなかった場合、設定した内容が反映されません。
- RTMPS接続用の証明書を読み込む際は、本機の時刻を正しく設定してください。
- 記録フォーマットにより、記録動作が優先されるため証明書を [Load] / [Clear] を実行できない場合があります。
- 低電圧時には、RTMPS接続用の証明書を [Load] / [Clear] することはできません。[RTMPS Certificate Status] : RTMPS接続用の証明書の読み込み状態を表示します。[Reset] : 設定を初期値に戻します。

#### 本機に内蔵の既定証明書を任意の既定証明書に変更する

- 1. カードスロットBに任意の既定証明書が保存されているメモリーカードを挿入する。 読み込まれるファイル:メモリーカードのルートディレクトリー直下の「RTMPS DefaultCertificates.pem」
- 2. フルメニューの [Network] [Stream] [RTMPS Default Certificates] [Replace] で [Execute] を選択する。 メモリーカードに既定証明書が書き込まれていることを確認するメッセージが表示されます。なお、既定証明書は、ユーザー任意の 既定証明書に変更することも可能です。
- 3. [OK] を選択する。

任意の既定証明書が本機に読み込まれます。 読み込みが正常に終了すると、メッセージが表示されます。

### 本機に内蔵の既定証明書に戻す

フルメニューの [Network] - [Stream] - [RTMPS Default Certificates] - [Reset] で [Execute] を選択します。 操作が正常に終了すると、メッセージが表示されます。 任意に登録した既定証明書が削除され、本機に内蔵の既定証明書が有効になります。

#### 既定証明書の状態を確認する

フルメニューの [Network] - [Stream] - [RTMPS Default Certificates] - [Status] で既定証明書の状態が表示されます。 本機に内蔵の既定証明書が使用されている場合は、 [Preinstall] と表示されます。

任意の既定証明書が使用されている場合は、証明書の変更が行われた日時が表示されます。

表示形式:年4桁(西曆)+月2桁+日2桁+時2桁(24時間)+分2桁+秒2桁

表示例:2024年12月1日12時34分56秒→20241201123456

### SRTストリーミングの設定をする

### 接続先とフォーマットを設定する

- 1. フルメニューの [Network] [Stream] を [SRT-Caller 1] / [SRT-Caller 2] / [SRT-Caller 3] に設定する。 接続先設定画面が表示されます。
- 2. 接続先設定画面の各項目を設定する。

設定項目	説明	
[Display Name]	[Destination Select] のメニュー上の表示名を設定します。	
[Codec]	ストリーミングする映像のコーデックを設定します。	
[Resolution]	ストリーミングする映像の解像度を設定します。 <ul><li>1920×1080P</li><li>1280×720P</li></ul>	
[Bit Rate]	ストリーミングする映像のビットレートを設定します。	
[Destination URL]	接続するサーバーのURLを設定します。	
[Port]	ストリーミングの送信先のポートを設定します。	
[Latency]	ストリーミングの配信遅延時間を設定します。	
[TTL]	ストリーミングのTTL値を設定します。	
[Encryption]	ストリーミングの暗号化方式を設定します。	
[Passphrase]	ストリーミングの暗号化に使用するパスフレーズを設定します。	
[ARC]	ストリーミング時のAdaptive Rate Control機能を有効にするか無効にするか設定します。	

#### ご注意

- [Codec] で [H.265/HEVC] を使用する場合、一部の受信機では正常に再生されない場合があります。再生に問題が発生した場合には [H.264/AVC] をお試しください。
- 3. 設定が完了したら [Set] を選択し、設定内容を確定する。

設定完了後は、必ず[Set]を選択してください。[Set]を選択しなかった場合、設定した内容が反映されません。

[Reset]:設定を初期値に戻します。

### ストリーミングを開始する

1. 本機をインターネットまたはローカルネットワークに接続する。

#### ご注意

- ストリーミングは継続的に大量の通信を行うため、有線LANの使用をお勧めします。とくに無線LAN2.4GHz帯の使用は、モバイル機器からのリモート操作やBluetoothリモコンの動作に支障が出る場合があります。やむを得ず無線接続を使用する場合は、事前に本番同等の電波環境で十分なテストを行ってください。
- 本機はネットワーク機器(例えばルーター、スイッチング・ハブ)ではありません。DoS攻撃(サービス妨害攻撃)などのネットワーク経由での攻撃に対して、適切な設定と管理を行うことができるネットワークに本機を接続することを強く推奨します。
- 本機のネットワークへの接続には、適切な設定と管理が行われたルーターを介した接続、もしくは同機能を有したLANポートへの接続をしてください。このような接続をしない場合(例えばFree Wi-Fiなど)、セキュリティ上の問題を生じる可能性があります。ルーターは適切な設定をすることにより、ネットワーク内の機器へのDoS攻撃または機器の機能喪失に対する十分な保護を提供します。何か異常を感じた場合は、すぐにカメラをネットワーク接続から遮断してください。
- 2. [Stream] ステータス、またはフルメニューの [Network] [Stream] [Destination Select] で、事前に設定した伝送設定を選択する。
- 3. [Stream] ステータスの [RTMP/RTMPS Status] / [SRT-Caller Status] 、またはフルメニューの [Network] [Stream] [Setting] を [On] に設定する。

設定に応じてストリーミングが開始されます。

### ご注意

- 以下の場合、ストリーミングを開始できません。
  - フルメニューの [Shooting] [S&Q Motion] [Setting] を [On] に設定しているとき
  - フルメニューの [Project] [Simul Rec] [Setting] を [On] に設定しているとき
  - = フルメニューの [Project] [Interval Rec] [Setting] を [On] に設定しているとき
  - フルメニューの [Project] [Picture Cache Rec] [Setting] を [On] に設定しているとき
  - フルメニューの [Project] [Rec Format] [Frequency] を119.88 / 100に設定しているとき
- ストリーミング中に、フルメニューの [Project] [Picture Cache Rec] [Cache Size] の設定を変更することはできません。
- ストリーミングを開始してから実際に映像/音声がストリーミングされるまでに数十秒かかる場合があります。
- ストリーミングの接続先の設定が不正な場合やネットワークに接続できていない場合には、ストリーミング状態表示に ★ が表示されます。
- インターネット経由で映像/音声データをそのまま送信します。そのためデータが漏えいする可能性があります。接続先がストリーミングデータを受信できていることを確認してください。アドレスの設定ミスなどにより意図しない相手にデータを送信してしまう可能性があります。
- お使いのインターネット回線やネットワークの状況によっては、配信が中断される場合があります。その場合は、再度ストリーミングを開始してください。
- 動きの激しいシーンの場合は、画質が悪くなります。
- ストリーミングを大きな解像度で小さいビットレートに設定した場合、すべてのフレームが再生できない場合があります。この現象を軽減させるためには、 [Resolution] でより小さい解像度を選んでください。
- ストリーミング中は、Monitor & Controlで映像を見ることはできません。
- ストリーミング中は、ファイルを転送できません。ストリーミングを停止するとファイルを転送できます。
- ファイル転送中にストリーミングを開始すると、ファイル転送は停止します。ストリーミングを停止するとファイル転送を再開します。
- ストリーミング中は画面情報の更新頻度が低下しますが、操作には影響しません。
- ストリーミング中は、記録設定は変更できません。
- ストリーミング可能な配信フォーマットは、本線の [Rec Format] によって変わります。

# ストリーミングを停止する

[Stream] ステータスの [RTMP/RTMPS Status] / [SRT-Caller Status] 、またはフルメニューの [Network] – [Stream] – [Setting] を [Off] に設定するとストリーミングが停止します。

TP1001670048

### ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## サムネイル画面の構成

THUMBNAILボタンを押すと、メモリーカードに収録されているクリップが、サムネイル画面に表示されます。

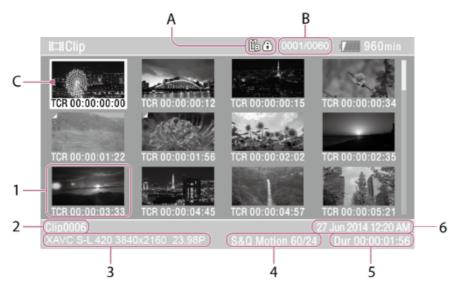
サムネイル画面で選択したクリップから再生を開始することができます。再生映像は、LCDモニター/ビューファインダー/外部モニターに表示されます。

THUMBNAILボタンを押すと、サムネイル画面を終了し、撮影画面に戻ります。

#### ご注意

● サムネイル画面には、現在選択している記録フォーマットで記録されたクリップのみが表示されます。記録したはずのクリップが表示されないときは、記録フォーマットをご確認ください。また、メモリーカードを初期化する場合は、メモリーカードのすべてのデータが消去されますのでご注意ください。

画面下部には、カーソル位置のクリップの情報が表示されます。



- A: 現在選択されているメモリーカード(プロテクトされている場合は右にロックマーク表示)
- B: クリップ番号/クリップ総数
- C:カーソル(黄色)

### 1. サムネイル

各クリップの代表画像です。記録時にはクリップの先頭フレームが自動的に代表画像に設定されます。 サムネイルの下にはクリップ/フレーム情報が表示されます。フルメニューの[Thumbnail] – [Customize View] – [Thumbnail Caption]で表示内容を変更できます。

### 2. クリップ名

選択されているクリップのクリップ名が表示されます。

### 3. 記録時の記録フォーマット

選択したクリップのファイルフォーマットが表示されます。

#### 4. 特殊記録撮影情報

特殊記録モードで記録されたクリップの場合のみ、そのモードが表示されます。 スロー&クイックモーションモードで撮影されたクリップの場合は、右側にフレームレートが表示されます。

### 5. クリップの記録時間

6. 作成日時

TP1001670049

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

### クリップを再生する

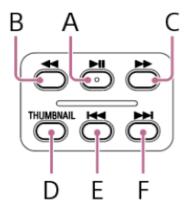
本機が記録停止中のときは、記録したクリップを再生することができます。

- 1. 再生するメモリーカードを入れる。
- 2. 再生操作ボタンのPLAY/PAUSEボタンを押す。
- 3. PREVボタンまたはNEXTボタンを押して、再生したいクリップの頭出しをする。
- 4. PLAY/PAUSEボタンを押す。

再生画が表示されます。

再生操作は次のボタンやダイヤルで行います。

### ハンドルの再生操作ボタン



A: PLAY/PAUSEボタン

再生を一時停止します。もう一度押すと再生モードに戻ります。

B:FREVボタン C:FFWDボタン

高速再生します。PLAY/PAUSEボタンを押すと標準再生に戻ります。

D: THUMBNAILボタン

再生状態で押すと、サムネイル画面が表示されます。もう一度押すと撮像状態に戻ります。

E:PREVボタン

現在のクリップの先頭に移動します。クリップの先頭で押すと前のクリップに移動します。PREVボタンを押した状態でFREVボタンを押すと、先頭のクリップに移動します。

F: NEXTボタン

次のクリップの先頭に移動します。NEXTボタンを押した状態でF FWDボタンを押すと、最終のクリップに移動します。

## マルチセレクター/マルチファンクションダイヤル

### マルチセレクターまたはマルチファンクションダイヤル押し、再生映像のタップ:

再生を一時停止します。

もう一度押すと再生に戻ります。

### マルチセレクターの左ボタン/右ボタン押し、再生映像の右フリック/左フリック:

クリップの先頭または前後のクリップに移動します。

### マルチセレクターの左ボタン/右ボタン長押し:

高速再生します。

長押しをやめると標準再生に戻ります。

#### CANCEL/BACKボタン:

再生を停止し、撮影画面に戻ります。

### ヒント

● 撮影モードをログ撮影にした状態で収録したクリップを再生すると、撮影時に使用したLUTを適用します。適用するLUTは、メタデータ保存された 3D LUTファイルの情報から判断されます。

撮影時に、フルメニューの [Project] – [Flexible ISO Setting] – [Embed LUT File] を [On] に設定して記録したクリップの場合で、撮影時に使用した3D LUTファイルが本機にインストールされていたら、そのLUTを適用して再生します。

撮影時に、フルメニューの [Project] – [Flexible ISO Setting] – [Embed LUT File] を [Off] に設定して記録したクリップを再生した場合

は、フルメニューの [Paint/Look] – [Base Look] – [Select] で選択されているLUTを適用します。 撮影時に使用された3D LUTファイルが本機にインストールされていない場合も同様です。

# 選択したクリップ以降のクリップを連続再生する

- 1. 再生するメモリーカードを入れる。
- 2. THUMBNAILボタンを押す。
- 3. マルチセレクターまたはマルチファンクションダイヤルを操作して、再生を開始したいクリップのサムネイルにカーソルを合わせる。

サムネイル画面を上下にドラッグすると、スクロールさせることができます。

4. マルチセレクターまたはマルチファンクションダイヤルを押す。

選択したクリップの先頭から再生が始まります。 サムネイルをタップした場合も再生が始まります。

### ご注意

- クリップとクリップの境界では、一時的に画像が乱れたり、静止画になる場合があります。またこの間は操作ができません。
- サムネイル画面でクリップを選択して再生を開始すると、クリップの先頭部分の再生映像が乱れる場合があります。クリップの先頭から乱れのない映像で再生するには、一度再生モードにした後で一時停止にし、マルチセレクターの左ボタンを押してクリップの先頭に戻して再生を行ってください。

TP1001670050

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# クリップを操作する

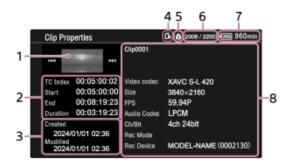
サムネイル画面では、フルメニューの [Thumbnail] メニューを使用してクリップの操作や詳細情報の確認などができます。

### クリップ操作メニュー

- [Display Clip Properties]
- [Set Clip Flag]
- [Lock/Unlock Clip]
- [Delete Clip]
- [Copy Clip]
- [Transfer Clip]
- [Transfer Clip (Proxy)]
- [Filter Clips]
- [Customize View]

### クリップの詳細情報を表示する

フルメニューの [Thumbnail] – [Display Clip Properties] を選択します。 マルチセレクターを左右へ押すと、前後のクリップへ移動することができます。



### 1. 現在のクリップの画像

### 2. タイムコード表示

[TC Index] : クリップのタイムコード [Start] : 記録開始点のタイムコード [End] : 記録終了点のタイムコード

[Duration]: 収録時間

- 3. 収録日時と変更日時
- 4. 現在選択されているメモリーカード
- 5. メモリーカードのプロテクトアイコン
- 6. クリップ番号/クリップ総数
- 7. バッテリーアイコン
- 8. クリップの情報

クリップ名/記録フォーマット/特殊記録撮影情報/収録機器名

### クリップフラグを付ける

クリップにクリップフラグ( [OK] / [NG] / [KP] マーク)を付けると、クリップフラグを基準にクリップを絞り込んで表示することができます。

クリップフラグを付けたいクリップのサムネイルを選択し、フルメニューの[Thumbnail] – [Set Clip Flag]からクリップフラグを選びます。

設定値	付加されるクリップフラグ
[Add OK]	OK
[Add NG]	NG
[Add KEEP]	KP

### ヒント

クリップフラグ機能を割り当てたアサイナブルボタン使用してクリップフラグを付けることもできます。

### クリップをフィルターで表示する

フルメニューの [Thumbnail] - [Filter Clips] で表示したいフラグを選ぶと、指定したフラグの付いているクリップのみを表示することができます。

すべてのクリップを表示するには、 [All] を選んでください。

#### ヒント

■ DISPLAYボタンでフィルターを順に切り替えることもできます。

### クリップを削除する

メモリーカードからクリップを削除することができます。

フルメニューの [Thumbnail] - [Delete Clip] - [Select Clip] / [All Clips] を選択します。 **[Select Clip] :** 任意のクリップを削除します。1度に複数のクリップを選択することもできます。

[All Clips]:表示されているすべてのクリップを削除します。

#### クリップをコピーする

クリップを別のメモリーカードにコピーすることができます。

コピー先のメモリーカードには同じクリップ名でコピーされます。

フルメニューの [Thumbnail] - [Copy Clip] - [Select Clip] / [All Clips] を選択します。 [Select Clip] : 任意のクリップをコピーします。複数のクリップを選択することもできます。

[All Clips]: 同じメモリーカードに記録されているクリップを、別のメモリーカードにまとめてコピーします。

#### ご注意

- MP4フォーマットのクリップコピー時、コピー先のクリップ番号は、フルメニューの [TC/Media] [Clip Name Format] [Clip Number] の 設定に従って発番されます。
- MXFフォーマットのクリップコピー時、コピー先のメモリーカードに同名のクリップが存在している場合は、オリジナルのクリップ名に1桁の括弧数字を付加したクリップ名でコピーされます。括弧数字は、コピー先に存在しない最小値になります。

 $ABCD0002 \rightarrow ABCD0002(1)$ 

 $ABCD0002(1) \rightarrow ABCD0002(2)$ 

 $ABCD0005(3) \rightarrow ABCD0005(4)$ 

- コピー先のメモリーカードの残量が不足しているときはメッセージが表示されます。コピー先のメモリーカードを交換してください。
- 複数のクリップが記録されたメモリーカードをコピーする場合は、容量が同じメモリーカードであっても、使用条件やメモリーの特性などにより、 すべてのクリップをコピーできない場合があります。

### クリップをインターネット上のサーバーやローカルネット上のサーバーへ転送する

詳細は下記をご覧ください。

ファイルを転送するための準備をする

クリップを選んで転送する

### サムネイル画面の情報を変更する

サムネイルの下に表示されるクリップ/フレーム情報を変更します。

フルメニューの [Thumbnail] - [Customize View] - [Thumbnail Caption] から、表示したい内容を選びます。

[Date Time]: 作成日時または最終変更日時

[Time Code]: タイムコード [Duration]: 収録時間

[Sequential Number]: サムネイル番号

#### 関連項目

• [TC/Media] メニュー

TP1001670051

### ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# メニュー一覧

MENUボタンを長押しすると、撮影や再生に必要な各種設定を行うフルメニューがLCDモニター/ビューファインダーに表示されます。外部ビデオモニターに表示させることもできます。

#### [User]

任意の設定を集めたメニュー

[Edit User Menu] から編集できます。

#### [Edit User Menu]

[User] メニューの編集に関する設定

### [Shooting]

撮影に関する設定

### [Project]

プロジェクトの基本的な設定

### [Paint/Look]

画質に関する設定

### [TC/Media]

タイムコードとメモリーカードに関する設定

### [Monitoring]

ビデオ出力やビューファインダー出力に関する設定

### [Audio]

音声に関する設定

#### [Thumbnail]

サムネイル表示に関する設定

#### [Technical]

技術的な内容の設定

### [Network]

ネットワークに関する設定

### [Maintenance]

時計や言語設定などの機器設定

# フルメニューの階層

	[Base Setting]
	[HDR Setting]
	[Focus]
	[NIGHTSHOT]
	[Auto Framing]
	[Assignable Button]
	[Multi Function Dial]
[User]	[All File]
(工場出荷時の設定)	[LCD Monitor/VF]
	[Peaking]
	[Delete Clip]
	[Copy Clip]
	[Transfer Clip]
	[Bluetooth]
	[Touch Operation]
	[Menu Settings]
	[Edit User Menu]
[Edit User Menu]	[Add Item]
[Edit Oser Mend]	[Customize Reset]
	[ISO/Gain]
	[ND Filter]
	[Shutter]
	[Auto Exposure]
	[White]
	[White Setting]
	[Offset White]
[Shooting]	[Focus]
	[S&Q Motion]
	[LUT On/Off]
	[NIGHTSHOT]
	[Soft Skin Effect]
	[Noise Suppression]
	[Flicker Reduce]
	[SteadyShot]
	1

	[Base Setting]
	[Rec Format]
	[Flexible ISO Setting]
	[HDR Setting]
	[Simul Rec]
	[Proxy Rec]
	[Interval Rec]
	[Picture Cache Rec] (PXW-Z200のみ)
[Project]	[SDI/HDMI Rec Control]
•	PXW-Z200 : [SDI/HDMI Rec Control] HXR-NX800 : [HDMI Rec Control]
	[Auto Framing]
	[Assignable Button]
	[Lens Ring]
	[IRIS Dial]
	[Multi Function Dial]
	[User File]
	[All File]
	[Scene File]
	[Base Look]
	[Reset Paint Settings]
[Paint/Look]	[Black]
[Failit/LOOK]	[Knee]
	[Detail]
	[Matrix]
	[Multi Matrix]
	[Timecode]
	[TC Display]
	[Users Bit]
[TC/Media]	[HDMI TC Out]
	[Clip Name Format]
	[Update Media]
	[Format Media]

[Output Format]  [USB Stream]  [Output Display]  [Display On/Off]  [Marker]  [LCD Monitor/VF]  [Gamma Display Assist]  [Peaking]  [Zebra]  [Audio Input]		[Output On/Off]
[Output Display]  [Display On/Off]  [Marker]  [LCD Monitor/VF]  [Gamma Display Assist]  [Peaking]  [Zebra]		[Output Format]
[Monitoring]  [Marker]  [LCD Monitor/VF]  [Gamma Display Assist]  [Peaking]  [Zebra]		[USB Stream]
[Monitoring]  [Marker]  [LCD Monitor/VF]  [Gamma Display Assist]  [Peaking]  [Zebra]		[Output Display]
[Marker]  [LCD Monitor/VF]  [Gamma Display Assist]  [Peaking]  [Zebra]		[Display On/Off]
[Gamma Display Assist]  [Peaking]  [Zebra]	[Monitoring]	[Marker]
[Peaking] [Zebra]		[LCD Monitor/VF]
[Zebra]		[Gamma Display Assist]
		[Peaking]
[Audio Input]		[Zebra]
	[Adi-]	[Audio Input]
[Audio] [Audio Output]	[Audio]	[Audio Output]
[Display Clip Properties]		[Display Clip Properties]
[Set Clip Flag]		[Set Clip Flag]
[Lock/Unlock Clip]		[Lock/Unlock Clip]
[Delete Clip]		[Delete Clip]
[Thumbnail] [Copy Clip]	[Thumbnail]	[Copy Clip]
[Transfer Clip]		[Transfer Clip]
[Transfer Clip (Proxy)]		[Transfer Clip (Proxy)]
[Filter Clips]		[Filter Clips]
[Customize View]		[Customize View]
[Color Bars]		[Color Bars]
[ND Dial]		[ND Dial]
[Tally]		[Tally]
[Touch Operation]		[Touch Operation]
[Rec Review]		[Rec Review]
[Zoom]		[Zoom]
[Handle Zoom]	F= 1 : 13	[Handle Zoom]
[Speed Zoom]	[ recrimical]	[Speed Zoom]
[Menu Settings]		[Menu Settings]
[Fan Control]		[Fan Control]
[Lens]		[Lens]
[Video Light Set]		[Video Light Set]
[Camera Battery Alarm]		[Camera Battery Alarm]
[Camera DC IN Alarm]		[Camera DC IN Alarm]

F
[Network Setup]
[Wireless LAN]
[Wired LAN]
[USB Tethering]
[Bluetooth]
[File Transfer]
[Stream]
[Network Reset]
[Language]
[
[Clock Set]
[All Reset]
[Hours Meter]
[License Options] (PXW-Z200のみ)
[Device Information]
[Version]

TP1001670052

### ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# フルメニューの操作方法

フルメニュー画面の表示や操作は以下の方法で行います。

### MENUボタン

長押しするとフルメニューを表示します。フルメニューの表示中に押すと元の画面に戻ります。

#### マルチセレクター

ボタンを8方向へ押すと、カーソルが上下左右に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。 マルチセレクターを押すと、選択している項目を決定します。

#### マルチファンクションダイヤル

マルチファンクションダイヤルを回すとカーソルが上下に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。マルチファンクションダイヤルを押すと、選択している項目を決定します。

### CANCEL/BACKボタン

1つ前の階層に戻ります。確定前の変更はキャンセルされます。

#### タッチ操作

タッチ操作でメニュー項目や設定値を選択できます。

#### ご注意

- メニューを表示させたときの状態によって選択できない項目があります。
- フルメニューの [Technical] [Touch Operation] [Setting] を [Off] に設定している場合、タッチ操作はできません。

### メニューを設定する

マルチセレクターを8方向へ押すか、またはマルチファンクションダイヤルを回して設定したい項目にカーソルを合わせ、マルチセレクターまたはマルチファンクションダイヤルを押して決定します。タッチ操作の場合は、設定したい項目をタップします。

- 選択項目が表示される選択肢エリアは最大8行まで表示します。選択肢が一度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。タッチ操作の場合は、上下にフリックして選択項目を表示させます。
- 選択肢の設定値の範囲が大きい項目の場合(例: −99 ~ +99)は、選択肢エリアは表示されません。文字がハイライト表示になり設定の変更が可能な状態であることを示します。
- 項目を実行する [Execute] を選択した場合は、対応する機能が実行されます。
- 実行前に確認が必要な項目を選択すると、一旦メニューが消え、確認メッセージが表示されます。メッセージに従って、実行または キャンセルを選択してください。

TP1001670053

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

### 文字列を入力する

ファイル名など、文字列を設定する項目を選択した場合は、文字列の入力画面が表示されます。



タップまたは左右にドラッグしてカーソルを移動できます。

[ABC] : 英大文字 [abc] : 英小文字 [123] : 数字 [!#\$] : 特殊文字

選んだ文字タイプから文字を選択し、決定する。

カーソルが次の欄に移動します。

: カーソルの位置にスペースを入力します。

←/→:カーソル位置を移動します。(▼):カーソルの左の文字を削除します。

3 入力が終わったら、 [Done] を選択し、決定する。

文字列を確定して、入力画面が消えます。 キャンセルする場合は、 [Cancel] を選択します。

#### ご注意

● パスワード入力時には伏字切り替えボタンが表示されます。アスタリスク表示と通常の文字表示を切り替えることができます。

TP1001670054

### ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

### メニューをロックする

フルメニューの表示をロックして、 [User] メニューだけを表示させることができます。 ステータス画面では設定変更できなくなります。

- マルチファンクションダイヤルを押しながらMENUボタンを長押しする。
- ② フルメニューの [Technical] [Menu Settings] [User Menu with Lock] を選択する。

#### ご注意

- マルチファンクションダイヤルを押さずにMENUボタンを長押ししてフルメニューを表示した場合は、 [Menu Settings] [User Menu Only] が表示され、ロックを設定することができません。必ずマルチファンクションダイヤルを押しながらMENUボタンを長押ししてください。
- 3 [On] を選択して決定ボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押す。

ビューファインダーの画面が、暗証番号入力画面に切り替わります。

4 任意の暗証番号を入力する。

0000~9999の4桁の数値が入力できます。初期値は0000となっています。 数値を入力し、決定ボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押すと、カーソルが次の桁に移動します。 すべての桁を入力したら、カーソルが [Set] に移動します。

決定ボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押す。

入力が確定します。

設定が完了したメッセージが表示され、画面が [User] メニューに切り替わります。

TP1001670055

### ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

### メニューのロックを解除する

フルメニューの表示ロックを解除します。

- マルチファンクションダイヤルを押しながらMENUボタンを長押しする。
- フルメニューの [User] [Menu Settings] [User Menu with Lock] を選択する。

### ご注意

- マルチファンクションダイヤルを押さずにMENUボタンを長押ししてフルメニューを表示した場合は、 [Menu Settings] [User Menu Only] が表示され、ロックを解除することができません。必ずマルチファンクションダイヤルを押しながらMENUボタンを長押ししてください。
- (3) [Off] を選択して決定ボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押す。

ビューファインダーの画面が、暗証番号入力画面に切り替わります。

メニューをロックしたときの番号を入力する。

数値を入力し、決定ボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押すと、カーソルが次の桁に移動します。 すべての桁を入力したら、カーソルが [Set] に移動します。

**⑤** 決定ボタンまたはマルチファンクションダイヤルを押す。

入力が確定します。

メニューをロックしたときの暗証番号と入力した番号が一致した場合、ロックが解除できたことのメニュー表示に切り替わります。

### ご注意

- メニューをロックしたときの暗証番号と入力した番号が不一致の場合は、ロックを解除できません。
- 暗証番号は、忘れたときのため、手元に記録を残すことをお勧めします。忘れたときはサービス窓口にお問い合わせください。
- 下表のフルメニューのメニュー項目を [User] メニューに登録せずにロックした場合、同機能をアサイナブルボタンに設定することはできません。
- 下表の機能をアサイナブルボタンに割り当てていた場合は、メニューをロックした時点でアサイナブル機能が無効になります。

フルメニューの項目	アサイナブルボタンの選択肢
[Shooting] - [Auto Exposure] - [AGC]	[AGC]
[Shooting] - [Auto Exposure] - [Auto Shutter]	[Auto Shutter]
[Shooting] - [Auto Exposure] - [Mode]	[Backlight]
[Shooting] - [Auto Exposure] - [Mode]	[Spotlight]
[Shooting] - [White] - [Preset White]	[Preset White Select]
[Shooting] - [Focus] - [AF Transition Speed] / [AF Subj. Shift Sens.]	[AF Speed/Sens.]
[Shooting] - [Focus] - [Subject Recognition AF]	[Subject Recognition AF]
[Shooting] - [S&Q Motion] - [Setting]	[S&Q Motion]
[Shooting] - [LUT On/Off] - [	[LUT On/Off 1 ]
[Shooting] - [LUT On/Off] - [ 2 LCD/VF/Proxy/Stream]	[LUT On/Off 2 ]
[Shooting] - [NIGHTSHOT] - [Setting]	[NIGHTSHOT]

フルメニューの項目	アサイナブルボタンの選択肢
[Shooting] - [SteadyShot] - [Setting]	[SteadyShot] [SteadyShot Active] [SteadyShot Standard]
[Project] - [Auto Framing] - [Crop Level] / [Framing Tracking Speed]	[Auto Framing Settings]
[Thumbnail] — [Set Clip Flag] — [Add OK]	[Clip Flag OK]
[Thumbnail] — [Set Clip Flag] — [Add NG]	[Clip Flag NG]
[Thumbnail] — [Set Clip Flag] — [Add KEEP]	[Clip Flag Keep]
[Technical] – [Color Bars] – [Setting]	[Color Bars]
[Monitoring] – [Display On/Off] – [Tally]	[Tally [Front]]
[TC/Media] – [TC Display] – [Display Select]	[DURATION/TC/U-BIT]
[Monitoring] – [Display On/Off] – [Lens Info]	[Lens Info]
[Monitoring] — [Display On/Off] — [Video Signal Monitor]	[Video Signal Monitor]
[Monitoring] – [Marker] – [Setting]	[Marker]
[Monitoring] – [Gamma Display Assist] – [Setting]	[Gamma Display Assist]
[Monitoring] – [Peaking] – [Setting]	[Peaking]
[Monitoring] - [Zebra] - [Setting]	[Zebra]
[Technical] – [Touch Operation] – [Setting]	[Touch Operation]
[Technical] – [Handle Zoom] – [Setting]	[Handle Zoom]
[Network] - [Stream] - [Setting]	[Stream]
[Network] - [File Transfer] - [Auto Upload (Proxy)]	[Auto Upload (Proxy)]

TP1001670056

### ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

### 画面を音声で読み上げる

画面上のテキストなどの情報を音声で読み上げることができます。

### 読み上げ設定をする

フルメニューの [Maintenance] – [ \*\* Accessibility ] – [Screen Reader ] – [Setting] を [On] に設定します。

### ヒント

■ 読み上げ音声の出力先は、本体スピーカーとヘッドホンです。

### 読み上げ速度の設定をする

フルメニューの [Maintenance] – [ 🕆 Accessibility] – [Screen Reader] – [Speed] で 速度を設定します。

### 読み上げ音量の設定をする

### 起動時の読み上げのオン/オフの設定をする

フルメニューの [Maintenance] – [ 常 Accessibility] – [Screen Reader] – [Read Out when Power On] を [Enable] / [Disable] に設定します。

[Enable]: MENUボタンを押しながら本機の電源をオンにすることで音声読み上げをオンにすることができます。

[Disable]:起動時の音声読み上げはオフです。

### ご注意

- 実際に音声読み上げが行われるまで、MENUボタンを押し続けてください。
- お買い上げ状態では [Read Out when Power On] は [Enable] に設定されています。初期設定画面で音声読み上げ機能を使用しなかった場合は、初期設定画面終了時に自動的に [Disable] に設定されます。

TP1001670057

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

### 画面を拡大表示する

撮影画面や再生画面、メニュー画面などを拡大して表示することができます。 拡大表示が割り当てられたボタンを押すと、拡大倍率の設定に従って画面が拡大表示されます。

#### ご注意

- 一部の画面や表示物は、拡大表示に対応していません。
- 撮影映像や再生映像は拡大しません。撮影映像の拡大にはピント拡大機能をご使用ください。

#### 拡大表示を有効に設定する

- 1. フルメニューの [Maintenance] [ Accessibility] [Enlarge Screen] [Setting] を [Enable] に設定する。 確認メッセージが表示されます。
- 2. [Execute] を選択する。

画面拡大機能が有効になり、ASSIGN 11ボタンに画面拡大機能が割り当てられます。

### 拡大倍率の設定をする

フルメニューの [Maintenance] – [ \*\* Accessibility] – [Enlarge Screen] – [Magnification] で拡大倍率を設定します。 撮影環境や表示内容に応じて、複数の倍率を選択できます。

### 拡大表示に使うボタンの設定をする

拡大表示を割り当てたボタンを変更したい場合に設定します。

フルメニューの [Maintenance] – [ \*\* Accessibility] – [Enlarge Screen] – [Enlarge Screen Button] で設定します。 ASSIGN (アサイナブル) 1~ASSIGN (アサイナブル) 11ボタン/FOCUS PUSH AUTOボタンのいずれかに拡大表示を設定できます。

#### ヒント

● フルメニューの [Project] – [Assignable Button] でもアサイナブルボタンに拡大表示を割り当てることができます。

### ご注意

- [Assignable Button] [Enlarge Screen] の割り当てをすべて解除すると、フルメニューの [Maintenance] [常 Accessibility] [Enlarge Screen] [Setting] が [Disable] に変更されます。
- [ 常 Accessibility] [Enlarge Screen] [Setting] を [Enable] に設定すると、 [Assignable Button] [Enlarge Screen] が割り当てられているすべてのアサイナブルボタンの設定が初期値に戻ります。
- [ \* Accessibility] [Enlarge Screen] [Setting] を [Disable] に設定しているときに、 [Assignable Button] でいずれかのボタンに拡大表示を割り当てると、 [Enlarge Screen] [Setting] が [Enable] に変更されます。

### 画面拡大の操作方法

- 拡大表示が割り当てられたボタンを押すことで画面が拡大表示されます。
- 画面拡大中は、マルチセレクターまたはタッチ操作(ドラッグ)で表示する位置を動かすことができます。メニューやメッセージの操作は、マルチファンクションダイヤルで行います。
- 拡大表示が割り当てられたボタンを押すたびに、 [Magnification] で設定した倍率で、拡大していない状態→拡大倍率1→拡大倍率2→…拡大していない状態の順に切り替わります。
- 拡大表示を解除するには、ボタンを繰り返し押して通常の画面表示に戻してください。

TP1001670058

# ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# [User] メニュー

工場出荷状態で設定されている各メニュー項目および対応する機能は以下のとおりです。

# [User]

メニュー項目	内容
[Base Setting]	[Project] - [Base Setting]
[HDR Setting]	[Project] – [HDR Setting]
[Focus]	[Shooting] – [Focus]
[NIGHTSHOT]	[Shooting] - [NIGHTSHOT]
[Auto Framing]	[Project] – [Auto Framing]
[Assignable Button]	[Project] – [Assignable Button]
[Multi Function Dial]	[Project] – [Multi Function Dial]
[All File]	[Project] – [All File]
[LCD Monitor/VF]	[Monitoring] – [LCD Monitor/VF]
[Peaking]	[Monitoring] — [Peaking]
[Delete Clip]	[Thumbnail] - [Delete Clip]
[Copy Clip]	[Thumbnail] – [Copy Clip]
[Transfer Clip]	[Thumbnail] – [Transfer Clip]
[Bluetooth]	[Network] – [Bluetooth]
[Touch Operation]	[Technical] — [Touch Operation]
[Menu Settings]	[Technical] — [Menu Settings]
[Edit User Menu]	[Edit User Menu]

#### ご注意

● [User] メニューは [Edit User Menu] によってメニュー項目の追加や削除ができます。設定できる項目数は20が上限です。

TP1001670059

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# [Edit User Menu] メニュー

[User] - [Edit User Menu] を選択すると、 [Edit User Menu] メニューが第1階層に表示されます。

# [Edit User Menu]

メニュー項目	細目と設定値	内容
[Add Item] [User] メニュー項目の追加	_	[User] メニューに第2階層の項目を追加する。
[Customize Reset] [User] メニュー項目のリセット	_	[User] メニューの登録項目を工場出荷時の状態に戻す。
	[Delete]	[User] メニューに登録した第2階層の項目を削除する。
編集中に選択した第2階層の項 目	[Move]	[User] メニューに登録した項目を並べ替える。
	[Edit Sub Item]	[User] メニューに登録した第3階層の項目に属する細目を編集(登録/削除) する。

TP1001670060

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# [Shooting] メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

# [Shooting] - [ISO/Gain]

ゲインに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設 定値	内容
			ゲイン設定モードを選択する。
[Mode]	[ISO] / [dB]	[dB]	<b>ご注意</b> <ul><li>□グ撮影のときは、本設定は [ISO] に固定されます。</li></ul>
[ISO/Gain <h>]</h>	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 [ISO/Gain] メニューの設定値と初期設定値	_	ゲインのプリセット値 <h>を設定する。</h>
[ISO/Gain <m>]</m>	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 [ISO/Gain] メニューの設定値と初期設定値	_	ゲインのプリセット値 <m>を設定する。</m>
[ISO/Gain <l>]</l>	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 [ISO/Gain] メニューの設定値と初期 設定値	_	ゲインのプリセット値 <l>を設定する。</l>
[Shockless Gain]	[On] / [Off]	[Off]	ショックレスゲインをオン/オフする。

# [Shooting] - [ND Filter]

NDフィルターのプリセット値を設定します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Preset1]	1/4 / 1/8 / 1/16 / 1/32 / 1/64 / 1/128	1/4	NDフィルターのプリセット1の値を設定する。
[Preset2]	1/4 / 1/8 / 1/16 / 1/32 / 1/64 / 1/128	1/16	NDフィルターのプリセット2の値を設定する。
[Preset3]	1/4 / 1/8 / 1/16 / 1/32 / 1/64 / 1/128	1/64	NDフィルターのプリセット3の値を設定する。

# [Shooting] - [Shutter]

電子シャッターの動作を設定します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の 初期設定値	内容
[Mode]	[Speed] / [Angle]	[Speed]	電子シャッターのモードを選択する。 動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合な どに使用する。秒数でシャッター速度を設定 する [Speed] モードと開角度でシャッター 速度を設定する [Angle] モードを選択す る。
[Shutter Speed On/Off]	[On] / [Off]	[Off]	[Speed] モード選択時の露光時間を [Shutter Speed] の設定値に従うか、また はフル露光にするかを設定する。
[Shutter Speed]	64F ~ 1/8000 設定値は、選択されている記録フォーマットのシス テム周波数によって異なります。 119.88P: 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 100P: 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 59.94P: 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 50P: 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 29.97P: 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/30 / 1/40 / 1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 25P: 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/25 / 1/33 / 1/50 / 1/60 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/1000 / 1/2000 / 1/4000 / 1/8000 23.98P: 64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 1/24 / 1/32 / 1/48 / 1/50 / 1/60 / 1/96 / 1/100 / 1/120 / 1/125 / 1/250 / 1/500 / 1/100 / 1/1200 / 1/4000 / 1/8000	119.88P: 1/120 100P: 1/100 59.94P: 1/60 50P: 1/50 29.97P: 1/30 25P: 1/25 23.98P: 1/24	[Speed] モード選択時、シャッタースピードを設定する。 <b>ご注意</b> ■ システム周波数が100Pまたは119.88Pの場合、2F~64Fを選択できません。
[Shutter Angle]	64F / 32F / 16F / 8F / 7F / 6F / 5F / 4F / 3F / 2F / 360.0° / 300.0° / 270.0° / 240.0° / 216.0° / 210.0° / 180.0° / 172.8° / 150.0° / 144.0° / 120.0° / 90.0° / 86.4° / 72.0° / 45.0° / 30.0° / 22.5° / 11.25° / 5.6°	180.0°	<ul><li>[Angle] モード 選択時、開角度を設定する。</li><li>ご注意</li><li>システム周波数が100Pまたは119.88Pの場合、2F~64Fを選択できません。</li></ul>
[ECS On/Off]	[On] / [Off]	[Off]	ECSモードの設定をオン/オフする。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の 初期設定値	内容
[ECS Frequency]	23.99 ~ 8000 設定値は、選択されている記録フォーマットのシス テム周波数によって異なります。	119.88P: 120.0 100P: 100.0 59.94P: 60.00 50P: 50.00 29.97P: 30.00 23.98P: 23.99 25P: 25.02	ECSモード選択時、ECS周波数を設定する。

# [Shooting] - [Auto Exposure]

自動露出調整の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初 期設定値	内容
[Level]	+3.0 / +2.75 / +2.5 / +2.25 / +2.0 / +1.75 / +1.5 / +1.25 / +1.0 / +0.75 / +0.5 / +0.25 / ±0 / -0.25 / -0.5 / -0.75 / -1.0 / -1.25 / -1.5 / -1.75 / -2.0 / -2.25 / -2.5 / -2.75 / -3.0	±0	自動検出した露出に対する明暗レベルを設定する。
[Mode]	[Backlight] / [Standard] / [Spotlight]	[Standard]	自動露出調整の動作モードを設定する。  [Backlight]:中心となる被写体が逆光のとき、黒沈みを軽減するモード [Standard]:標準モード [Spotlight]:中心となる被写体にスポットライトが当たっているとき、白潰れを軽減するモード
[Speed]	<b>−99</b> ~ <b>+99</b>	±0	自動露出調整の調整スピードを設定する。
[AGC]	[On] / [Off]	[Off]	オートゲインコントロールをオン/オ フする。
[AGC Limit]	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 [AGC Limit] の設定値と初期設定値	_	オートゲインコントロールの最大ゲインを設定する。
[AGC Point]	F2.8 / F4 / F5.6	F2.8	[AGC] を [On] に設定している場合に、オートゲインコントロールを動作させ始めるアイリスのF値を設定する。
[Auto Shutter]	[On] / [Off]	[Off]	オートシャッターをオン/オフする。
[A.SHT Limit]	1/100 / 1/150 / 1/200 / 1/250 / 1/2000	1/2000	オートシャッターの最速シャッタース ピードを設定する。
[A.SHT Point]	F5.6 / F8 / F11	F8	[Auto Shutter] を [On] に設定している場合に、オートシャッターを動作させ始めるアイリスのF値を設定する。
[Clip High light]	[On] / [Off]	[Off]	高輝度部の検出を無視して、高輝度に 対する反応を鈍くさせる機能をオン/ オフする。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初 期設定値	内容
[Detect Window]	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / [Custom]	1	被写体の明るさに追従して露出を自動 調整する測光範囲を選択する。 (露出 を手動調整しているときは無効)
[Detect Window Indication]	[On] / [Off]	[Off]	測光範囲の表示をオン/オフする。
[Custom Width]	40 ~ 999	500	測光範囲の幅を設定する。
[Custom Height]	70 ~ 999	500	測光範囲の高さを設定する。
[Custom H Position]	−479 ~ +479	±0	測光範囲の水平位置を設定する。
[Custom V Position]	−464 ~ +464	±0	測光範囲の垂直位置を設定する。

# [Shooting] - [White]

ホワイトバランスの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の 初期設定値	内容
[Preset White]	2000K ~ 15000K	3200K	ホワイトバランスのプリセット値を設定する。
[Color Temp <a>]</a>	2000K ~ 15000K	3200K	メモリーAに保存されたホワイトバランスの色温度を設定する。 ご注意 <ul> <li>[Color Temp] は、 [R Gain] / [B Gain] 調整時に2000Kや15000Kでクリップ されるため、R/Bゲイン値の正確な [Color Temp] 値を表示できない場合がありま す。</li> </ul>
[Tint <a>]</a>	<b>-</b> 99 ∼ +99	±0	メモリーAに保存されたホワイトバランスの [Tint] の値を設定する。 <b>ご注意</b> 「Tint] は、 [R Gain] / [B Gain] 調整時に±99でクリップされるため、R/Bゲイン値の正確な [Tint] 値を表示できない場合があります。
[R Gain <a>]</a>	−99.0 ~ + 99.0	±0.0	メモリーAに保存されたホワイトバランスのRゲイン値を設定する。
[B Gain <a>]</a>	−99.0 ~ + 99.0	±0.0	メモリーAに保存されたホワイトバランスのBゲイン値を設定する。
[Color Temp <b>]</b>	2000K ~ 15000K	3200K	メモリーBに保存されたホワイトバランスの色温度を設定する。 <b>ご注意</b> 「Color Temp] は、 [R Gain] / [B Gain] 調整時に2000Kや15000Kでクリップ されるため、R/Bゲイン値の正確な [Color Temp] 値を表示できない場合があります。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の 初期設定値	内容	
			メモリーBに保存されたホワイトバランスの [Tint] 値を設定する。	
[Tint <b>]</b>	−99 ~ +99	±0	<b>ご注意</b> ■ [Tint] は、 [R Gain] / [B Gain] 調整時に±99でクリップされるため、R/Bゲイン値の正確な [Tint] 値を表示できない場合があります。	
[R Gain <b>]</b>	−99.0 ~ + 99.0	±0.0	メモリーBに保存されたホワイトバランスのRゲイン値を設定する。	
[B Gain <b>]</b>	−99.0 ~ + 99.0	±0.0	メモリーBに保存されたホワイトバランスのBゲイン値を設定する。	

# [Shooting] - [White Setting]

ホワイトバランスの調整を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期 設定値	内容
[Shockless White]	[Off] / 1 / 2 / 3	2	ホワイトバランスモード切り替え時のホワイトバランス変化速度を 設定する。 [Off] : 瞬時に切り替わる。 1~3: 数字が大きいほどゆっくり切り替わる。
[ATW Speed]	1/2/3/4/5	3	オートホワイトモード時の反応速度を設定する。 1:最も反応速度が速い。
[White Switch <b>]</b>	[Memory] / [ATW]	[Memory]	WHT BALスイッチをBに設定したときに選択されるホワイトバランス調整モードを選択する。
			NDフィルターごとにホワイトバランスメモリー領域を設定する機能をオン/オフする。 [On]:NDフィルターごとにホワイトバランスメモリーを設定する。
[Filter White Memory]	[On] / [Off]	[Off]	<b>ヒント</b> プリセットモードのときは [Clear] /1/2/3の4組、バリアブルモードのときは [Clear] と [On] の2組となります。
			[Off] :各NDフィルターでホワイトバランスメモリーは共通。

## [Shooting] - [Offset White]

ホワイトバランスのオフセットの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定 値	工場出荷時の 初期設定値	内容
			メモリーAのホワイトバランスにオフセット値を付加する [On] または付加 しない [Off] を選択する。
[Offset White <a>]</a>	[On] / [Off]	[Off]	ご注意 <ul> <li>撮影モードがログ撮影のときは、本設定は [Off] に固定されます。</li> </ul>
[Offset Color Temp <a>]</a>	−99 ~ + 99	±0	[Offset White <a>] を [On] に設定している場合に、メモリーAのホワイトバランスに付加する色温度方向のオフセットを設定する。</a>

メニュー項目	細目と設定 値	工場出荷時の 初期設定値	内容
[Offset Tint <a>]</a>	−99 ~ + 99	±0	[Offset White <a>] を [On] に設定している場合に、メモリーAのホワイトバランスに付加する [Tint] 方向のオフセットを設定する。</a>
[Offset White <b>]</b>	[On] /	[Off]	メモリーBのホワイトバランスにオフセット値を付加する [On] または付加 しない [Off] を選択する。 <b>ご注意</b>
	[011]		<ul><li>■ 撮影モードがログ撮影のときは、本設定は [Off] に固定されます。</li></ul>
[Offset Color Temp <b>]</b>	−99 ~ + 99	±0	[Offset White <b>] を [On] に設定している場合に、メモリーBのホワイトバランスに付加する色温度方向のオフセットを設定する。</b>
[Offset Tint <b>]</b>	−99 ~ + 99	±0	[Offset White <b>] を [On] に設定している場合に、メモリーBのホワイトバランスに付加する [Tint] 方向のオフセットを設定する。</b>
For the	Fo. 1. (		オートホワイトのホワイトバランスにオフセット値を付加する [On] または付加しない [Off] を選択する。
[Offset White <atw>]</atw>	[On] / [Off]	[Off]	ご注意 ■ 撮影モードがログ撮影のときは、本設定は [Off] に固定されます。
[Offset Color Temp <atw>]</atw>	−99 ~ + 99	±0	[Offset White <atw>] を [On] に設定している場合に、オートホワイトのホワイトバランスに付加する色温度方向のオフセットを設定する。</atw>
[Offset Tint <atw>]</atw>	−99 ~ + 99	±0	[Offset White <atw>] を [On] に設定している場合に、オートホワイトのホワイトバランスに付加する [Tint] 方向のオフセットを設定する。</atw>

# [Shooting] - [Focus]

フォーカスの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設 定値	内容
[AF Transition Speed]	[1(Slow)] / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / [7(Fast)]	5	オートフォーカス中の被写体が移り変わる際のフォ ーカス駆動の速さを設定する。
[AF Subj. Shift Sens.]	[1(Locked On)] / 2 / 3 / 4 / [5(Responsive)]	[5(Responsive)]	オートフォーカス中の被写体の乗り移り感度を設定する。
[Focus Area]	[Wide] / [Zone] / [Flexible Spot]	[Wide]	オートフォーカス、プッシュオートフォーカスの対象とする領域を設定する。 [Wide]:映像全域からフォーカスを合わせる位置を探す。 [Zone]:指定したゾーン内から自動でフォーカスを合わせる点を探す。 [Flexible Spot]:映像の指定した位置にフォーカスを合わせる。
[Subject Recognition AF]	[Human Only AF] / [Human Priority AF] / [Off]	[Human Priority AF]	被写体検出AF機能の動作を設定する。 [Human Only AF]:カメラが被写体(人物)を検出したとき、人物の瞳、顔、頭部、体にフォーカスを合わせる。人物を検出しない間は、オートフォーカスが一時停止する。 [Human Priority AF]:カメラが被写体(人物)を検出したとき、人物の瞳、顔、頭部、体にフォーカスを合わせる。人物を検出しないときはオートフォーカスで動作する。 [Off]:被写体認識AF機能を無効にします。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設 定値	内容
[Touch Function in MF]	[Tracking AF] / [Spot Focus]	[Tracking AF]	マニュアルフォーカス時にタッチ操作の動作を設定する。
[Multi Selector Function]	[Subject Sel. Cursor] / [Pointer]	[Subject Sel. Cursor]	マルチセレクター操作によるオートフォーカス対象の指定方法を設定する。 [Subject Sel. Cursor]:マルチセレクターで被写体認識枠を選ぶことができる。 [Pointer]:マルチセレクターでトラッキングAFポインターを動かして、画面上の被写体を自由に選ぶことができる。
[Pointer Color]	[Orange] / [White] / [Yellow] / [Cyan] / [Green] / [Magenta] / [Red] / [Blue]	[Orange]	フォーカス対象の指定に使用するポインターの色を 設定する。
[Pointer Border]	[On] / [Off]	[On]	フォーカス対象の指定に使用するポインターの縁取 りをオン/オフする。
[AF Assist]	[On] / [Off]	[On]	[On] に設定すると、オートフォーカス時、一時的に手動でフォーカスを合わせることができる。

# [Shooting] - [S&Q Motion]

スロー&クイックモーションモードの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初 期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	スロー&クイックモーションモードをオン/オフする。
		スロー&クイックモーションモード時のフレームレート を設定する。	
[Frame Rate]	1fps ~ 60fps / 100fps / 120fps / 150fps / 180fps / 200fps / 240fps	_	<ul><li>ご注意</li><li>設定値の範囲は、選択されているシステム周波数やコーデック、ビデオフォーマットによって異なります。</li></ul>

# [Shooting] - [LUT On/Off]

LUTの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期 設定値	内容
[ 1 SDI/HDMI]	[LUT On] / [LUT Off]	[LUT Off]	SDIおよびHDMI出力映像にモニターLUTを適用するか 選択する。
(PXW-Z200のみ)			ご注意 <ul><li>□グ撮影のときに設定できます。</li></ul>
[			HDMI出力映像にモニターLUTを適用するか選択する。
[ ¶ HDMI] (HXR-NX800のみ)	[LUT On] / [LUT Off]	[LUT Off]	<ul><li>ご注意</li><li>■ ログ撮影のときに設定できます。</li></ul>

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期 設定値	内容
	[117.0.] / [117.0.]		LCD、VFおよびProxyの出力映像にモニター LUTを適用 するか選択する。
[ 2 LCD/VF/Proxy/Stream]	[LUT On] / [LUT Off]	[LUT Off]	<b>ご注意</b> ■ ログ撮影のときに設定できます。

## [Shooting] - [NIGHTSHOT]

ナイトショットの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設 定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	ナイトショットモードをオン/オフする。
[IR Light]	[On] / [Off]	[On]	ナイトショットモードがオンの場合の赤外線ライトの点灯設定をオン/オフする。
[Image Color]	[White] / [Green]	[White]	ナイトショットモードがオンの場合の撮影色を設定する。

# [Shooting] - [Soft Skin Effect]

美肌効果の設定を行います。

#### ヒント

■ 顔検出時、被写体の肌をなめらかに撮影する効果を設定します。

メニュー項 目	細目と設定値	工場出荷時の初期設 定値	内容	
			美肌効果をオン/オフする。	
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	<b>ご注意</b> ■ [NIGHTSHOT] – [Setting] が [Off] のときのみ美肌効果がオンにできます。	
[Level]	[Low] / [Mid] / [High]	[Mid]	美肌効果の強さを設定する。	

### [Shooting] - [Noise Suppression]

ノイズサプレスの設定を行います。

#### ヒント

[Setting(Custom)] と [Level(Custom)] の設定値はそれぞれ [Target Display] の設定に反映されます。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定 値	内容
			カスタム撮影時のノイズサプレス機能をオン/オフする。
[Setting(Custom)]	[On] / [Off]	[On]	ご注意 ■ ログ撮影のときは、本機能を設定できません。
	[Low] / [Mid] /		カスタム撮影時のノイズサプレスのレベルを設定する。
[Level(Custom)]	[Low] / [Mid] / [High]	[Mid]	ご注意      口グ撮影のときは、本機能を設定できません。
			ログ撮影時のノイズサプレス機能をオン/オフする。
[Setting(Flexible ISO)]	[On] / [Off]	[Off]	ご注意
100,1			<ul><li>カスタム撮影のときは、本機能を設定できません。</li></ul>
			ログ撮影時のノイズサプレスのレベルを設定する。
			ロン販売时のノイスリノレ人のレバンルで設定する。
[Level(Flexible ISO)]	[Low] / [Mid] / [High]	[Mid]	<ul><li>ご注意</li><li>カスタム撮影のときは、本機能を設定できません。</li></ul>

# [Shooting] - [Flicker Reduce]

フリッカー補正の設定を行います。

メニュー項目	ニュー項目 細目と設定値 工場出荷時の初期設定値		内容
[Mode]	[Auto] / [On] / [Off]	[Off]	フリッカー補正モードを設定する。
[Frequency]	[50Hz] / [60Hz]	[60Hz]	フリッカーの原因となる照明の電源周波数を設定する。

# [Shooting] - [SteadyShot]

手ブレ補正の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[Active] / [Standard] / [Off]	[Standard]	手ブレ補正機能を設定する。

TP1001670061

5-060-574-03(1) Copyright 2024 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## [Project] メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

### [Project] - [Base Setting]

基本設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定 値	内容
[Shooting Mode]	[Custom] / [Flexible ISO]	[Custom]	撮影モードを設定する。
[Target Display]	[SDR(BT.709)] / [HDR(HLG)]	[SDR(BT.709)]	カスタム撮影時の記録/出力の映像規格を設定する。

## [Project] - [Rec Format]

記録フォーマットの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の 初期設定値	内容
[Frequency]	119.88 / 100 / 59.94 / 50 / 29.97 / 25 / 23.98	59.94	システム周波数を選択する。
[Codec Category] (PXW-Z200のみ)	[XAVC/MPEG HD(MXF)] / [XAVC (MXF)] / [XAVC S (MP4)]	[XAVC S (MP4)]	コーデックカテゴリーを設定す る。
[Codec]	[XAVC-I] / [XAVC-L] / [MPEG-HD 422] / [XAVC HS-L 422] / [XAVC HS-L 420] / [XAVC S-L 422] / [XAVC S-L 420] / [XAVC S-I]	[XAVC S-L 420]	クリップの記録/再生コーデックを 設定する。 <b>ご注意</b> 「XAVC-I] / [XAVC-L] / [MPEG-HD 422] は、PXW- Z200のみ設定できます。
[Video Format]	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 [Video Format] / [Quality] / [Bit Rate] の設定値	_	録画フォーマットを設定する。
[Quality]	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 [Video Format] / [Quality] / [Bit Rate] の設定値	_	記録ビットレートを設定する。
[Bit Rate]	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 [Video Format] / [Quality] / [Bit Rate] の設定値	_	記録ビットレートを表示する。

### [Project] - [Flexible ISO Setting]

ログ撮影([Flexible ISO])の設定を行います。ログ撮影のときのみ有効です。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Color Gamut]	[S-Gamut3/SLog3] / [S-Gamut3.Cine/SLog3]	[S- Gamut3.Cine/SLog3]	ログ撮影時の色域を設定する。
[Embed LUT File]	[On] / [Off]	[On]	3D LUTファイル(CUBEファイル)のメタ データ記録をオン/オフする。

# [Project] - [HDR Setting]

HDRモードの設定を行います。

#### ご注意

• [Shooting Mode] が [Custom] で、 [Target Display] が [HDR(HLG)] のときのみ設定できます。

メニュー項目	細目と設定 値	工場出荷時の 初期設定値	内容
<u></u>			HDRモード時でガンマ表示アシストが有効なとき、LCDモニター/ビューファインダー映像を簡易的にHDRからSDRに変換した映像で表示する機能をオン/オフする。
[LCD/VF SDR Preview]	[On] / [Off]	[Off]	<b>ヒント</b> • [On] のときはLCDモニター/ビューファインダー映像に [SDR Gain] が適用されます。
[SDR Gain]	0dB ∼ −15dB	−6dB	HDRモード時で [LCD/VF SDR Preview] を [On] に設定している場合に、LCD モニター/ビューファインダーに適用される [SDR Gain] の値を設定する。

## [Project] - [Simul Rec]

同時記録の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定 値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	本線同時記録機能のオン/オフと 記録先メディアを一括設定す る。
[Rec Button Set]	[Rec Button: 風 個 Handle Rec Button: 風 個 ] / [Rec Button: 風 Handle Rec Button: 個 ] / [Rec Button: 個 Handle Rec Button: 圓 ]	[Rec Button: 🗓 🖺 Handle Rec Button:	メモリーカードごとに録画 START/STOPボタンの割り当て を行う。

### [Project] - [Proxy Rec]

プロキシ記録モードの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期 設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	プロキシ記録モードをオン/オフする。
			プロキシファイル用の映像のサイズを設定する。
[Proxy Format]	- ' (9M)  /   AVC 1280P (6M)  /   AVC 1920i   -		<b>ご注意</b> ■ [HEVC 1920P (9M)] は、PXW-Z200で 本線記録がインターレースのときのみ表示 されます。
[Audio Channel]	[CH1/CH2] / [CH3/CH4]	[CH1/CH2]	プロキシデータに記録するオーディオチャン ネルを選択する。
[Chunk]	[30s] / [1min] / [2min]	[30s]	プロキシファイルの分割記録時間を選択する。

# [Project] - [Interval Rec]

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	インターバルレックモードをオン/オフす る。
[Interval Time]	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10/ 15 / 20 / 30 / 40 / 50 (sec) 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10/ 15 / 20 / 30 / 40 / 50 (min) 1 / 2 / 3 / 4 / 6 / 12 / 24 (hour)	1	[Interval Rec] が [On] の場合に、インターバル撮影時の録画間隔(インターバル)を設定する。
[Number of Frames]	記録フレームレートが 100P/119.88Pのとき: [4frames] / [12frames] / [24frames] 記録フレームレートが50P/59.94P のとき: [2frames] / [6frames] / [12frames] 上記以外のとき: [1frame] / [3frames] / [6frames] / [9frames]	記録フレームレートが 100P/119.88Pのとき: [4frames] 記録フレームレートが 50P/59.94Pのとき: [2frames] 上記以外のとき: [1frame]	[Interval Rec]が[On]の場合に、インターバル撮影時の1回の記録フレーム数を設定する。
[Pre- Lighting]	[Off] / 2s/ 5s / 10s	[Off]	プリライティングの時間を設定する。

### [Project] – [Picture Cache Rec] (PXW-Z200のみ)

ピクチャーキャッシュレックモードの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初 期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	ピクチャーキャッシュレックモードをオン/オフする。
[Cache Size]	[Short] / [Medium] / [Long] / [Max]	[Max]	ピクチャーキャッシュメモリーに画像を蓄積する時間 (キャッシュレック開始時にさかのぼる時間) を設定する。
[Cache Rec Time]	-	_	ピクチャーキャッシュメモリーに画像を蓄積する時間 (キャッシュレック開始時にさかのぼる時間) を表示する。

## [Project] – [SDI/HDMI Rec Control] (PXW-Z200のみ)

SDI/HDMI記録制御の設定を行います。

メニュー項 目	細目と設定値	工場出荷時の 初期設定値	内容
[Setting]	[Off] / [SDI/HDMI Remote I/F] / [Parallel Rec]	[Off]	SDI/HDMI出力信号による外部接続機器の記録/停止制御を設定する。 [Off]:リモート制御しない。 [SDI/HDMI Remote I/F]:本機にメディアを挿入していない状態で、外部接続機器の記録/停止制御が可能。本機のメディアとフレーム精度で同期しない。 [Parallel Rec]:本機にメディアを挿入している状態で、外部接続機器の記録/停止制御が可能。本機のメディアとフレーム精度で同期する。   ご注意  HDMI出力信号による制御を行う場合は、フルメニューの [TC/Media] を [On] に設定してください。
			<ul><li>● HDMI出力信号による制御を行う場合は、フルメニューの [TC/Media]</li><li>− [HDMI TC Out] − [Setting] を [On] に設定してください。</li></ul>

# [Project] - [HDMI Rec Control] (HXR-NX800のみ)

HDMI記録制御の設定を行います。

メニュー項 目	細目と設定 値	工場出荷時の初 期設定値	内容
			HDMI出力信号による外部接続機器の記録/停止制御をオン/オフする。
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	<b>ご注意</b> ■ HDMI出力信号による制御を行う場合は、フルメニューの[TC/Media] – [HDMI TC Out] – [Setting]を[On]に設定してください。

## [Project] - [Auto Framing]

オートフレーミングの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初 期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	オートフレーミング機能をオン/オフする。
[Rec/Stream]	[Crop] / [Full]	[Full]	記録される映像とストリーミングで出力される映像 をクロップするかを設定する。
[HDMI]	[Crop] / [Full]	[Crop]	HDMIに出力される映像をクロップするかどうかを 設定する。
[Tracking Start Mode]	[Manual] / [Auto]	[Manual]	オートフレーミングの開始方法を設定する。 [Manual]:タッチ操作などでトラッキングが開始されたら、切り出し領域が被写体の追尾を開始する。 [Auto]:被写体を認識したら自動で切り出し領域が被写体の追尾を開始する。
[Crop Level]	[Large Crop Level] / [Medium Crop Level] / [Small Crop Level]	[Medium Crop Level]	認識した被写体をクロップする範囲の大きさを設定 する。
[Tracking Speed]	[1(Slow)] / 2 / 3 / 4 / [5(Fast)]	3	フレーミングやクロップが被写体に追従する速度を 設定する。
[Production Effect]	[Off] / [15s Zoom In/Out] / [30s Zoom In/Out]	[Off]	オートフレーミングのクロップと全画角を自動で切り替えるかどうかを設定する。 [15s Zoom In/Out] : 15秒ごとにクロップと全画角を切り替える。 [30s Zoom In/Out] : 30秒ごとにクロップと全画角を切り替える。

# [Project] - [Assignable Button]

アサイナブルボタンへの機能割り当て設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	内容
<1> ~ <11>/ [ <push auto="">]</push>	[Off] / [ISO/Gain] / [AGC] / [Push AGC] / [ND Filter Position] / [Auto ND Filter] / [Push Auto ND] / [Auto ris] / [Push Auto ND] / [Push Auto ND] / [Auto Shutter] / [At Level/Mode] / [Backlight] / [Spotlight] / [Preset White Select] / [White Balance] / [ATW] / [ATW Hold] / [AF Speed/Sens.] / [Focus Magnifier x3] / [Digital Extender] / [SSQ Motion] / [LUT On/Off ] ] / [LUT On/Off ] ] / [UIT On/Off ] / [UIT On/Off ] ]	アサイナブルボタンに機能を割り当てる。 [ISO/Gain]: [ISO] / [Gain Mode] / [Value] のダイレクトメニューの操作を開始/終了する。 [AGC]:オートブで切り替える。 [Push AGC]:ボタンを押している間、オートゲーコルを有効にする。 [ND Filter Position]: NDフィルターポジションを押していり替える。 [Auto ND Filter]: オートを即時に切り替える。 [Auto ND Filter]: ボタン・ルターのおいのがである。 [Push Auto Iris]: ボアイリスのオン/オフを押している間、オートを押している間、オートを押している間、オーリスのオン/オフを押している間、オーリスのオン/オフを開始/終了する。 [Auto Shutter]: [Auto Shutter] / [ECS] / [Shutter Value] のダイレクトメニューを開始/終了する。 [AE Level/Mode]: [AE Mode] / [Level] のダイする。 [Backlight]: [Spotlight] / [Standard]を切り替える。 [Spotlight]: [Spotlight] / [Standard]を切り替える。 [Spotlight]: [Spotlight] / [Standard]を切り替える。 [Preset White Select]: ホワイトバランスプランスプランスプランスプランスプランスプランスプランスプランスプランスプ

一カスの場合に、ボタンを押している間はオートフォーカスにいる。 フォーカスモードがオートフォーカスにいる。 フォーカスモードがオートフォーカスになる。 「Focus field」フォーカス モードがオートフォーカスの場合に、ボタンを押している間がスーカスを健康する。 「Focus Magnifler x3) / 「Focus Magnifler x3] /	なる。 フォーカスモードがオーフスーカスの場合に、ポタンを押している間はマニュアルフォーカスにはる。 「Focus Hold! フォーカス にはる。 「Focus Magnifier x3/x6] / 「Focus Magnifier x
オン/オフを切り替える。 [AFR Tracking Stop] : クロ ップ位置を維持したままオート	オン/オフを切り替える。 [AFR Tracking Stop] : クロ

メニュー項 目	細目と設定値	内容
	細目と設定値	内容  る。もう一度押すと再開する。 [AFR Restart] : オートフレーミングが動開いたの場ででは、追尾がある。 [AFR Settings] : オートクにいらやり直す。 [AFR Settings] : オートグル/フレラングの追び速を設定を設定を表して、して、力して、りつりが追求を表して、して、して、力に、力に、して、力に、力に、力に、力に、力に、力に、力に、力に、力に、力に、力に、力に、力に、
		Bit] / [Duration] を切り替える。     [Display] : 画面表示のオン/オフを切り替える。     [Lens Info] : 被写界深度表示を切り替える。     [Video Signal Monitor] : 映像信号モニター(波形モニター
		「LCD/VF Adjust】: LCDモニター/ビューファインダー画面の明るさ調節用レベルバーを表示する。 [Gamma Display Assist]: ガンマ表示アシストを切り替える。 [Peaking]:ピーキングのオン/オフを切り替える。 [Zebra]:ゼブラのオン/オフを切り替える。 [Thumbnail]:サムネイル
		画面を開始/終了する。

メニュー項 目	細目と設定値	内容
		[Touch Operation] : タッチ 操作のオン/オフを切り替え る。 [Handle Zoom] : ハンドル ズーム動作を切り替える。 [Stream] : ストリームのオ ン/オフを切り替える。 [Auto Upload (Proxy)] : プ ロキシファイルの自動転送の [On] / [Off] / [Chunk] を 切り替える。 [Enlarge Screen] : 画面拡 大表示の倍率を切り替える。 [Direct Menu] : ダイレクト メニューを開始/終了する。 [Network Status] : [Network] ステータス画面を 表示する。 [User Menu] : [User] メ ニュー表示を開始/終了する。 [Menu] : フルメニュー表示 を開始/終了する。

# [Project] - [Lens Ring]

レンズリング(フォーカスリング、ズームリング)の設定を行います。

メニュー項 目	細目と設定値	工場出荷時の初 期設定値	内容
[Lens Ring]	[Focus, Zoom] / [Focus, IRIS] / [Zoom, IRIS]	[Focus, Zoom]	レンズリング(フォーカスリング、ズームリング)に機能を割り当てる。 [Focus, Zoom] : フォーカスリングでフォーカスを手動調節する。ズームリングでズームする。 [Focus, IRIS] : フォーカスリングでフォーカスを手動調節する。ズームリングでアイリスを調節する。 [Zoom, IRIS] : フォーカスリングでズームする。ズームリングでアイリスを調節する。

# [Project] - [IRIS Dial]

IRISダイヤルの設定を行います。

メニュー項 目	細目と設定値	工場出荷時の初期 設定値	内容
[IRIS Dial]	[Off] / [ISO/Gain] / [IRIS] / [Auto Exposure Level] / [Audio Input Level]	[IRIS]	IRISダイヤルのデフォルト機能を割り当 てる。 [Off]:IRISダイヤルの操作を無効に する。 [ISO/Gain]:ゲインを調節する。 [IRIS]:アイリスを調節する。 [Auto Exposure Level]:自動露出レ ベルを調節する。 [Audio Input Level]:録音レベルを 調節する。

## [Project] - [Multi Function Dial]

マルチファンクションダイヤルへの機能割り当て設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初 期設定値	内容
[Default Function]	[Off] / [ISO/Gain] / [Auto Exposure Level] / [Audio Input Level]	[Off]	マルチファンクションダイヤルのデフォルト機能を割り当てる。 [Off]:マルチファンクションダイヤルの操作を無効にする。 [ISO/Gain]:ゲインを調節する。 [Auto Exposure Level]:自動露出レベルを調節する。 [Audio Input Level]:録音レベルを調節する。

# [Project] – [User File]

ユーザーファイルの操作に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初 期設定値	内容
[Load from Media(B)]	[Execute] / [Cancel]	_	ユーザーファイルの設定をカードスロットBに挿入したメモリーカードから読み込む。 [Execute] : 実行する。
[Save to Media(B)]	[Execute] / [Cancel]	_	ユーザーファイルの設定をカードスロットBに挿入したメモリーカードに保存する。 [Execute] : 実行する。
[File ID]	_	_	ユーザーファイルのファイルIDの表示と編集を行う画面を表示する。
[Load Customize Data]	[On] / [Off]	[Off]	[Load from Media(B)] の実行時に [User] メニューの構成カスタマイズ情報を読み込むかどうかを設定する。
[Load White Data]	[On] / [Off]	[Off]	[Load from Media(B)] の実行時にホワイトバランス情報を読み込むかどうかを設定する。

# [Project] - [All File]

Allファイルに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初 期設定値	内容
[Load from Media(B)]	[Execute] / [Cancel]	_	Allファイルの設定をカードスロットBに挿入したメモリーカードから読み込む。 [Execute]: 実行する。
[Load from Cloud(Private)]	[Execute] / [Cancel]	_	クラウドサービス「C3 Portal」(個人)にアップロードしたAll ファイルを読み込む。 [Execute] : 実行する。
[Load from Cloud(Share)]	[Execute] / [Cancel]	_	クラウドサービス「C3 Portal」(共通)にアップロードしたAll ファイルを読み込む。 [Execute] : 実行する。
[Save to Media(B)]	[Execute] / [Cancel]	_	Allファイルの設定をカードスロットBに挿入したメモリーカードに保存する。 [Execute]: 実行する。
[Save to Cloud(Private)]	[Execute] / [Cancel]	_	Allファイルの設定をクラウドサービス「C3 Portal」(個人)に 保存する。 [Execute]: 実行する。
[Save to Cloud(Share)]	[Execute] / [Cancel]	_	Allファイルの設定をクラウドサービス「C3 Portal」(共通)に 保存する。 [Execute] : 実行する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初 期設定値	内容
[File ID]	_	_	ファイルに名前を付ける。
[Load Network Data]	[On] / [Off]	[Off]	[Load from Media(B)] の実行時に、 [Network] メニューの 設定情報を読み込むかどうかを設定する。

TP1001670062

5-060-574-03(1) Copyright 2024 Sony Corporation

#### SONY

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## [Paint/Look] メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

### [Paint/Look] - [Scene File]

Sceneファイルに関する設定を行います。

#### ご注意

カスタム撮影のときのみ有効です。

メニュー項目	細目と設定値	内容
[Recall Internal Memory]	_	内蔵メモリーに保存されているSceneファ イルを読み込み、現在の画質設定に適用す る。
[Store Internal Memory]	_	現在の画質設定状態をSceneファイルとし て内蔵メモリーに保存する。
[Delete Internal Memory]	_	内蔵メモリーに保存されているSceneファ イルを削除する。
[Preset Recall]	カスタム撮影で[Target Display] – [SDR(BT.709)]を選択している場合: [S-Cinetone] / [ITU709] / [709tone]カスタム撮影で[Target Display] – [HDR(HLG)]を選択している場合: [HLG Live] / [HLG Mild] / [HLG Natural]	プリセット画質(書き換え不可)を現在の 画質設定に適用する。
[Load from Media(B)]	_	メモリーカードからSceneファイルを内蔵 メモリーに読み込む。
[Save to Media(B)]	_	内蔵メモリーのSceneファイルをメモリー カードに保存する。
[File Name]	_	Sceneファイル名の表示および編集を行う。

### [Paint/Look] - [Base Look]

基本ルックに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Select]	カスタム撮影で [Target Display] - [SDR(BT.709)] を選択している場合: [S-Cinetone] / [ITU709] / [709tone] /User1 ~ User16 カスタム撮影で [Target Display] - [HDR(HLG)] を選択している場合: [HLG Live] / [HLG Mild] / [HLG Natural] /User1 ~ User16 ログ撮影を選択している場合: [s709] / [709(800%)] / [S-Log3] /User1 ~ User16	カスタム撮影で[Target Display] - [SDR(BT.709)]を選択している場合:[ITU709] カスタム撮影で[Target Display] - [HDR(HLG)]を選択している場合:[HLG Mild] ログ撮影を選択している場合: [s709]	基本ルックを選択する。
[Delete]	_	_	選択した基本ルックを削除 する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Delete All]	_	_	すべての基本ルックを削除する。
[Import from Media(B)]	[Execute] / [Cancel]	_	カードスロットBに挿入し たメモリーカードから基本 ルックファイルを読み込 む。 [Execute] : 実行する。
[Import from Cloud(Private)]	[Execute] / [Cancel]	_	クラウドサービス「C3 Portal」(個人)にアップ ロードした基本ルックファ イルを読み込む。 [Execute] : 実行する。
[Import from Cloud(Share)]	[Execute] / [Cancel]	_	クラウドサービス「C3 Portal」(共通)にアップ ロードした基本ルックファ イルを読み込む。 [Execute] : 実行する。
[Input]	[S-Gamut3/SLog3] / [S-Gamut3.Cine/SLog3]	[S-Gamut3.Cine/SLog3]	[Select] で選択している 基本ルックの入力色域を設 定する。
[Output]	[BT.709] / [HLG]	[BT.709]	[Select] で選択している 基本ルックの出力色域を設 定する。
[AE Level Offset]	0EV / 1/3EV / 2/3EV / 1EV / 4/3EV / 5/3EV / 2EV	0EV	[Select] で選択している 基本ルックの露出基準値を 設定する。

### [Paint/Look] - [Reset Paint Settings]

基本ルック以外の[Paint/Look]メニューの設定値をリセットします。

### ご注意

カスタム撮影のときのみ有効です。

メニュー項目	細目と設定値	内容
[Reset without Base	[Execute] /	基本ルック以外の[Paint/Look]メニューの設定値のリセットを実行する。
Look]	[Cancel]	[Execute]:実行する。

## [Paint/Look] - [Black]

ブラックの設定を行います。

#### ご注意

カスタム撮影のときのみ有効です。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Master Black]	−99.0 ~ +99.0	±0.0	マスターブラックレベルを設定する。
[R Black]	−99.0 ~ +99.0	±0.0	Rブラックレベルを設定する。
[B Black]	−99.0 ~ +99.0	±0.0	Bブラックレベルを設定する。

# [Paint/Look] - [Knee]

二一補正の設定を行います。

#### ご注意

カスタム撮影のときのみ有効です。

メニュー項目	細目と設定 値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off] /	[Target Display] – [SDR(BT.709)] を選択している場合: [On] [HDR(HLG)] を選択している場合: [Off]	二一補正をオン/オフする。 <b>ヒント</b> • [Base Look] - [Select] が [ITU709] 、 [709tone] 、 [HLG Live] 、 [HLG Mild] または [HLG Natural] のとき のみ有効です。
[Auto Knee]	[On] / [Off] /	[Target Display] – [SDR(BT.709)] を選択している場合: [On] [HDR(HLG)] を選択している場合: [Off]	オートニーをオン/オフする。 <b>ヒント</b> ■ [Setting] を [On] に設定している場合に、 [Base Look]  – [Select] – [ITU709] / [709tone] のときのみ有効で す。
[Point]	75% ~ 109%	90%	ニーポイントを設定する。
[Slope]	<b>−99</b> ∼ <b>+99</b>	±0	ニースロープを設定する。

# [Paint/Look] - [Detail]

ディテール調整の設定を行います。

#### ご注意

カスタム撮影のときのみ有効です。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期 設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[On]	ディテールをオン/オフする。
[Level]	<b>-7</b> ∼ <b>+</b> 7	±0	ディテールレベルを設定する。
[Manual Setting]	[On] / [Off] /	[Off]	ディテール手動調整をオン/オフする。
[H/V Ratio]	-2 ~ +2	±0	ディテール手動調整時に垂直(V)/水平(H)ディテールのバランスを設定する。
[B/W Balance]	[Type1] / [Type2] / [Type3] / [Type4] / [Type5]	[Type3]	ディテール手動調整時に下側(Black)/上側 (White)ディテールのバランスを設定する。
[Limit]	0 ~ 7	0	ディテール手動調整時にディテールのリミットレベ ルを設定する。
[Crispening]	0 ~ 7	0	ディテール手動調整時にクリスプニングレベルを設 定する。
[High Light Detail]	0 ~ 4	0	ディテール手動調整時に高輝度部分のディテールレ ベルを設定する。

### [Paint/Look] - [Matrix]

マトリクス補正の設定を行います。

#### ご注意

カスタム撮影のときのみ有効です。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[User Matrix]	[On] / [Off]	[Off]	ユーザーマトリクス補正をオン/オフする。
[User Matrix Level]	<b>−99</b> ~ <b>+99</b>	±0	映像全域の色の濃さを調整する。
[User Matrix Phase]	<b>-99</b> ∼ <b>+99</b>	±0	映像全域の色合いを調整する。
[User Matrix R-G]	<b>−99</b> ∼ <b>+99</b>	±0	R-Gのユーザーマトリクスを任意に設定する。
[User Matrix R-B]	<b>−99</b> ∼ <b>+99</b>	±0	R-Bのユーザーマトリクスを任意に設定する。
[User Matrix G-R]	<b>−99</b> ∼ <b>+99</b>	±0	G-Rのユーザーマトリクスを任意に設定する。
[User Matrix G-B]	<b>−99</b> ∼ <b>+99</b>	±0	G-Bのユーザーマトリクスを任意に設定する。
[User Matrix B-R]	<b>−99</b> ~ <b>+99</b>	±0	B-Rのユーザーマトリクスを任意に設定する。
[User Matrix B-G]	−99 ~ +99	±0	B-Gのユーザーマトリクスを任意に設定する。

#### [Paint/Look] - [Multi Matrix]

マルチマトリクス補正の設定を行います。

#### ご注意

- カスタム撮影のときのみ有効です。
- [Area Indication] はすべての映像出力に適用されます。映像出力信号を本線信号として使っている場合などはご注意ください。
- マルチマトリクス補正は、全色相を16分割した色軸毎に色相(ヒュー)と飽和度(サチュレーション)を調節します。調節したい色軸を選択する際に、[Area Indication]をオンにすることで、調節対象の色軸が撮影映像中のどの場所なのかを簡易的に確認できます。場所を確認したら、[Area Indication]をオフにしてから、色相(ヒュー)と飽和度(サチュレーション)を調節してください。
- 記録動作中、 [Area Indication] はオフに固定されます。
- マルチマトリクス補正の設定画面から他に移動すると、 [Area Indication] は自動的にオフになります。
- マルチマトリクス補正の設定中は、DISPLAYボタンは [Area Indication] の切り替えボタンとなります。DISPLAYボタンを押す度に、 [Area Indication] のオン/オフが切り替わります。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の 初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	マルチマトリクス補正をオン/オフする。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の 初期設定値	内容	
			[Axis] で選択した調整対象の色軸に該当する対象領域を見分ける表示機能をオン/オフする。 撮影映像中の対象領域以外の部分をモノトーンで表示する。  ヒント  マルチマトリクス補正の設定画面では、DISPLAYボタンで [Area Indication] のオン/オフを切り替えることができます。	
[Area Indication]	[On] / [Off]	[Off]	● マルチマトリクス補正の設定画面では、DISPLAYボタ ンで [Area Indication] のオン/オフを切り替えるこ	
			ご注意 ■ [Area Indication] はすべての映像出力に適用されます。映像出力信号を本線信号として使っている場合などはご注意ください。	
[Reset]	[Execute] / [Cancel]	_	各色軸の色相(ヒュー)と飽和度(サチュレーション)の設定値をすべて初期値にする。	
[Axis]	B / B+ / MG- / MG / MG+ / R / R+ / YL- / YL / YL+ / G- / G / G+ / CY / CY+ / B-	В	調整対象の色軸を選択する。	
[Hue]	<b>−99</b> ~ <b>+99</b>	±0	[Axis] で選択した調整対象の色軸の色相(ヒュー) を設定する。	
[Saturation]	<b>−99</b> ~ <b>+99</b>	±0	[Axis] で選択した調整対象の色軸の飽和度(サチュレーション)を設定する。	

TP1001670063

5-060-574-03(1) Copyright 2024 Sony Corporation

#### SONY

#### ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

### [TC/Media] メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

### [TC/Media] - [Timecode]

タイムコードの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定 値	内容
[Mode]	[Preset] / [Regen] / [Clock]	[Preset]	タイムコードの歩進モードを設定する。 [Preset]:設定された値から歩進する。 [Regen]:前のクリップのタイムコードに続けて歩進する。 [Clock]:内蔵時計をタイムコードとして使用する。
[Run]	[Rec Run] / [Free Run]	[Rec Run]	[Rec Run] : 撮影時のみ歩進する。 [Free Run] : 撮影時に関係なく常に歩進する。
[Setting]	_	_	タイムコードを任意の値に設定する。 [Set] :確定する。
[Reset]	[Execute] / [Cancel]	_	タイムコードを00:00:00:00にリセットする。 [Execute] : 実行する。
[TC Format]	[DF] / [NDF]	[DF]	タイムコードのフォーマットを設定する。 [DF]: ドロップフレーム [NDF]: ノンドロップフレーム

#### [TC/Media] - [TC Display]

タイムデータ表示の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Display Select]	[Timecode] / [Users Bit] / [Duration]	[Timecode]	タイムデータの表示を切り替える。

### [TC/Media] - [Users Bit]

ユーザービットに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Mode]	[Fix] / [Time]	[Fix]	ユーザービットのモードを設定する。 [Fix] : ユーザービットに任意の固定値を使用する。 [Time] : ユーザービットに現在の時分秒を使用する。
[Setting]	_	_	ユーザービットを任意の値に設定する。

### [TC/Media] - [HDMI TC Out]

HDMI利用時のタイムコード出力に関する設定を行います。

メニュー項 目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定 値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	HDMIを利用して、他の業務用機器にタイムコードを出力するかどうかを設定する。

# [TC/Media] - [Clip Name Format]

クリップ名に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の 初期設定値	内容
[Title Prefix] (PXW-Z200の み)	nnn_ (nnnはシリアル 番号の下3桁) (最大7 文字表示)	nnn	クリップ名のタイトル部分(4~46文字)を設定する。文字列の入力 画面を呼び出す。 <b>ご注意</b> 「Codec Category] が [XAVC/MPEG HD(MXF)] または [XAVC (MXF)] に設定されている場合のみ設定できます。
[Number Set] (PXW-Z200の み)	0001~9999	0001	クリップ名の最後の番号部分(4桁)を設定する。 <b>ご注意</b> 「Codec Category] が [XAVC/MPEG HD(MXF)] または [XAVC (MXF)] に設定されている場合のみ設定できます。
[Clip Number]	[Series] / [Reset]	[Series]	クリップ番号の発番方法を設定する。 [Series]:本機に保持された連番カウンターの番号を起点に発番する方法。ただし、メモリーカード内のクリップのうち一番大きな番号が連番カウンターより大きい番号の場合は、その番号を起点に発番する。 [Reset]:メモリーカード内にあるクリップのうち一番大きな番号を起点に発番する方法。
[Series Counter Reset]	[Execute] / [Cancel]	_	本機に保持された連番カウンターをリセットする。 [Execute]:実行する。 <b>ヒント</b>
[Title Name Settings]	任意の文字を入力する	С	クリップ名のタイトル部分を設定する。 <b>ご注意</b> A

# [TC/Media] - [Update Media]

メモリーカード内の管理ファイルを更新します。

メニュー項目	細目と設定値	内容
[Media(A)]	[Execute] / [Cancel]	カードスロットAのメモリーカード内の管理ファイルを更新する。 [Execute]:実行する。

メニュー項目	細目と設定値	内容
[Media(B)]	[Execute] / [Cancel]	カードスロットBのメモリーカード内の管理ファイルを更新する。 [Execute]:実行する。

## [TC/Media] - [Format Media]

メモリーカードを初期化します。

メニュー項目	細目と設定値	内容
[Media(A)]	[Full Format] / [Quick Format] / [Cancel]	カードスロットAのメモリーカードを初期化する。
[Media(B)]	[Full Format] / [Quick Format] / [Cancel]	カードスロットBのメモリーカードを初期化する。

TP1001670064

5-060-574-03(1) Copyright 2024 Sony Corporation

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## [Monitoring] メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

### [Monitoring] - [Output On/Off]

映像出力の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[SDI] (PXW-Z200のみ)	[On] / [Off]	[On]	SDI出力をオン/オフする。
[HDMI]	[On] / [Off]	[On]	HDMI出力をオン/オフする。

## [Monitoring] – [Output Format]

出力フォーマットの設定を行います。

メニュー項目		細目と設定値	内容
PXW-Z200	[SDI]	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。	
[HDMI]		SDI/HDMI出力端子の出力フォーマット(PXW-Z200のみ)	SDIとHDMI出力の解像度設定をする。
HXR-NX800	[HDMI]	設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 HDMI出力端子の出力フォーマット	

### [Monitoring] - [USB Stream]

USBストリーミングの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設 定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	USBストリーミングをオン/オフする。
[Format]	3840×2160P / 1920×1080P / 1280×720P	1920×1080P	USBストリーミングの解像度を設定する。
[Audio Channel]	[CH1/CH2]	[CH1/CH2]	USBストリーミングのオーディオチャンネルを表示する。 オーディオチャンネルは [CH1/CH2] に固定されています。

### [Monitoring] - [Output Display]

画面表示の出力設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定 値	内容
[SDI] (PXW-Z200の み)	[On] / [Off]	[Off]	SDI出力信号へのメニューやステータスなど、画面表示の重畳を設定する。
[HDMI]	[On] / [Off]	[Off]	HDMI出力信号へのメニューやステータスなど、画面表示の重畳を設定する。

# [Monitoring] - [Display On/Off]

撮影画面または再生画面に表示する項目を選択します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期 設定値	内容
[Network Status]	[On] / [Off]	[On]	撮影画面または再生画面に表示する項
[File Transfer Status]	[On] / [Off]	[On]	目を選択する。
[Stream Status]	[On] / [Off]	[On]	
[USB Stream Status]	[On] / [Off]	[On]	
[Rec/Play Status]	[On] / [Off]	[On]	
[Tally]	[On] / [Off]	[On]	
[Battery Remain]	[On] / [Off]	[On]	
[Focus Mode]	[On] / [Off]	[On]	
[Focus Position]	[On] / [Off]	[On]	
[Focus Area Indicator]	[On] / [Off]	[On]	
[Subject Recognition Frame]	[On] / [Off]	[On]	
[Tracking AF Pointer]	[On] / [Off]	[On]	
[Lens Info]	[On] / [Off]	[Off]	
[Rec Format]	[On] / [Off]	[On]	
[Frame Rate]	[On] / [Off]	[On]	
[Zoom Position]	[On] / [Off]	[On]	-
[Digital Extender]	[On] / [Off]	[On]	-
[UWP RF Level]	[On] / [Off]	[On]	
[SteadyShot]	[On] / [Off]		
[Base Look/Rec Look]	[On] / [Off]	[On]	
[SDI/HDMI Rec Control] (PXW-Z200のみ)	Control] [On] / [Off]		
[HDMI Rec Control] (HXR-NX800のみ)	[On] / [Off]	[On]	
[Monitoring Look]	[On] / [Off]	[On]	
[Proxy Status]	[On] / [Off]	[On]	
[Media Status]	[On] / [Off]	[On]	
[Video Signal Monitor]	[Off] / [Waveform] / [Vector] / [Histogram]	[Off]	
[Network Speed]	[On] / [Off]	[Off]	
[Clip Name]	[On] / [Off]	[On]	
[White Balance]	[On] / [Off]	[On]	
[Scene File]	[On] / [Off]	[On]	
[Auto Exposure Mode]	[On] / [Off]	[On]	
[Auto Exposure Level]	[On] / [Off]	[On]	
[Timecode]	[On] / [Off]	[On]	

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期 設定値	内容
[ND Filter]	[On] / [Off]	[On]	
[Iris]	[On] / [Off]	[On]	
[ISO/Gain]	[On] / [Off]	[On]	
[Shutter]	[On] / [Off]	[On]	
[Level Gauge]	[On] / [Off]	[On]	
[Audio Level Meter]	[On] / [Off]	[On]	
[Video Level Warning]	[On] / [Off]	[On]	
[NIGHTSHOT]	[On] / [Off]	[On]	
[Clip Number]	[On] / [Off]	[On]	
[Notice Message]	[On] / [Off]	[On]	

# [Monitoring] - [Marker]

マーカー表示の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初 期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[On]	すべてのマーカー表示をまとめてオン/オフす る。
[Color]	[White] / [Yellow] / [Cyan] / [Green] / [Magenta] / [Red] / [Blue]	[White]	マーカーの信号色を選択する。
[Center Marker]	1/2/3/4/[Off]	[Off]	センターマーカーを選択する。
[Safety Zone]	[On] / [Off]	[Off]	セーフティーゾーンマーカーをオン/オフす る。
[Safety Area]	80% / 90% / 92.5% / 95%	90%	セーフティーゾーンマーカーの大きさ(画面 全体に対する比率)を選択する。
[Aspect Marker]	[Line] / [Mask] / [Off]	[Off]	アスペクトマーカーの比を選択する。
[Aspect Mask]	0 ~ 15	12	マーカー外側のビデオ信号のレベルを設定する。
[Aspect Safety Zone]	[On] / [Off]	[Off]	アスペクトセーフティーゾーンマーカーをオ ン/オフする。
[Aspect Safety Area]	80% / 90% / 92.5% / 95%	90%	アスペクトセーフティーゾーンマーカーの大 きさ(画面全体に対する比率)を選択する。
[Aspect Select]	1:1 / 4:3 / 13:9 / 14:9 / 15:9 / 17:9 / 1.66:1 / 1.85:1 / 2.35:1 / 2.39:1 / [Custom]	2.39:1	アスペクトマーカーを表示するときのアスペ クト比を設定する。
			アスペクト比を任意の値に設定する。
[Custom Aspect Ratio]	任意の値を入力する	01.00:01.00	<b>ご注意</b> <ul><li>[Aspect Select] を [Custom] に設定した場合に、この設定が有効になります。</li></ul>

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初 期設定値	内容
[Guide Frame]	[On] / [Off]	[Off]	ガイドフレーム表示をオン/オフする。
[100% Marker]	[On] / [Off]	[Off]	100%マーカーをオン/オフする。
[User Box]	[On] / [Off]	[Off]	ユーザーボックスマーカーの表示をオン/オフ する。
[User Box Width]	3 ~ 479	240	ユーザーボックスマーカーの幅(中心から左 右端までの距離)を設定する。
[User Box Height]	3 ~ 269	135	ユーザーボックスマーカーの高さ(中心から 上下端までの距離)を設定する。
[User Box H Position]	−476 ~ +476	0	ユーザーボックスマーカーの中心の水平位置 を設定する。
[User Box V Position]	−266 ~ +266	0	ユーザーボックスマーカーの中心の垂直位置 を設定する。

### [Monitoring] - [LCD Monitor/VF]

LCDモニター/ビューファインダーの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定 値	内容
[LCD Monitor Brightness]	1 ~ 15	8	LCDモニター映像の明るさを調整する。
[LCD Monitor Color Mode]	[Color] / [B&W]	[Color]	E-E表示/記録時のLCDモニターの表示モードを選択する。
[VF Brightness]	1 ~ 3	2	ビューファインダー映像の明るさを調整する。
[VF Color Mode]	[Color] / [B&W]	[Color]	E-E表示/記録時のビューファインダーの表示モードを選択する。

# [Monitoring] - [Gamma Display Assist]

ガンマ表示アシストの設定を行います。

メニュー項 目	細目と設定 値	工場出荷時の初 期設定値	内容
			[Custom] – [Target Display] – [HDR(HLG)]時のガンマ表示アシスト機能を オン/オフする。
[Setting]	[On] / [Off]	[On]	<b>ご注意</b> ■ [Custom] - [Target Display] を [SDR(BT.709)] に設定しているとき、およびログ撮影のときは、本設定は [Off] に固定されます。

# [Monitoring] - [Peaking]

ピーキングの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定 値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	ピーキングをオン/オフする。
[Peaking Level]	[High] / [Mid] / [Low]	[Mid]	カラーピーキングの信号レベルを設定する。
[Color]	[B&W] / [Red] / [Yellow] / [Blue]	[B&W]	カラーピーキングの信号色を選択する。

# [Monitoring] - [Zebra]

ゼブラパターンの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定 値	内容
[Setting]	[Off] / [Zebra1] / [Zebra2]	[Off]	ゼブラ表示の種類を選択する。
[Zebra1 Level]	0% ~ 109%	70%	[Zebra1] を表示するレベルを設定する。
[Zebra1 Aperture Level]	2% ~ 20%	10%	[Zebra1] のアパーチャーレベルを設定す る。
[Zebra2 Level]	0% ~ 109%	100%	[Zebra2] を表示するレベルを設定する。

TP1001670065

5-060-574-03(1) Copyright 2024 Sony Corporation

#### SONY

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## [Audio] メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。 設定項目について、詳細は下記をご覧ください。 ブロックダイヤグラム

## [Audio] - [Audio Input]

音声入力の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定 値	内容
[CH1 Input Select]	[INPUT1] / [INPUT3 (L)] / [Internal MIC] / [Shoe CH1]	[Internal MIC]	CH1に対する入力元を切り替える。
[CH2 Input Select]	[INPUT1] / [INPUT2] / [INPUT3 (R)] / [Internal MIC] / [Shoe CH2]	[Internal MIC]	CH2に対する入力元を切り替える。
[CH3 Input Select]	[Off] / [INPUT1] / [INPUT3 (L)] / [Internal MIC] / [Shoe CH1] / [Shoe CH3]	[Internal MIC]	CH3に対する入力元を切り替える。
[CH4 Input Select]	[Off] / [INPUT1] / [INPUT2] / [INPUT3 (R)] / [Internal MIC] / [Shoe CH2] / [Shoe CH4]	[Internal MIC]	CH4に対する入力元を切り替える。
[INPUT1 MIC Reference]	-80dB / -70dB / -60dB / -50dB / -40dB / -30dB	-50dB	INPUT 1からのXLRマイク入力に対するリファレンスレベルを設定する。
[INPUT2 MIC Reference]	-80dB / -70dB / -60dB / -50dB / -40dB / -30dB	-50dB	INPUT 2からのXLRマイク入力に対するリファレンスレベルを設定する。
[Line Input Reference]	+4dB / 0dB / -3dB / [EBUL]	+4dB	INPUT 1/INPUT 2スイッチの設定がLINEの場合の基準入力レベルを選択する。
[Reference Level]	-20dB / -18dB / -16dB / -12dB / [EBUL]	-20dB	基準入力レベルの1 kHz信号の記録レベルを選択する。
[CH1 Wind Filter]	[On] / [Off]	[Off]	CH1に対する風音低減フィルターを設定する。
[CH2 Wind Filter]	[On] / [Off]	[Off]	CH2に対する風音低減フィルターを設定する。
[CH3 Wind Filter]	[On] / [Off]	[Off]	CH3に対する風音低減フィルターを設定する。
[CH4 Wind Filter]	[On] / [Off]	[Off]	CH4に対する風音低減フィルターを設定する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定 値	内容
[CH3 Level Control]	[Auto] / [Manual]	[Auto]	CH3の音声入力レベル調整を自動にするか、手動にするかを設定する。  ご注意  [CH3 Input Select] / [CH4 Input Select] がどちらも [Internal MIC] に設定されている場合は、本設定に連動してCH4の自動/手動も切り替わります。
[CH4 Level Control]	[Auto] / [Manual]	[Auto]	CH4の音声入力レベル調整を自動にするか、手動にするかを設定する。  ご注意  「CH3 Input Select] / [CH4 Input Select] がどちらも [Internal MIC] に設定されている場合は、[CH3 Level Control] の設定に連動してCH4の自動/手動も切り替わります。
[CH3 Input Level]	0 ~ 99	49	CH3の入力レベルを設定する。
[CH4 Input Level]	0 ~ 99	49	CH4の入力レベルを設定する。
[Audio Input Level]	0 ~ 99	99	音声入力レベルを設定する。 [CH1 Level] ~ [CH4 Level] の設定に従って、マ スターボリュームとして使用できます。
[Limiter Mode]	[Off] / -6dB / -9dB / -12dB / -15dB / -17dB	[Off]	オーディオ入力レベルの手動調節時の大きな信号に対 するリミッター特性を選択する。
[CH1&2 AGC Mode]	[Mono] / [Stereo]	[Stereo]	CH1とCH2の自動レベル調整モードを設定する。 [Stereo] に設定しているときは、チャンネル間で オートゲインコントロールが連動する。
[CH3&4 AGC Mode]	[Mono] / [Stereo]	[Stereo]	CH3とCH4の自動レベル調整モードを設定する。 [Stereo] に設定しているときは、チャンネル間で オートゲインコントロールが連動する。
[AGC Spec]	-6dB / -9dB / -12dB / -15dB / -17dB	-6dB	オートゲインコントロール特性を選択する。
[1kHz Tone on Color Bars]	[On] / [Off]	[Off]	カラーバー表示中の1 kHzの基準音声信号をオン/オフする。 <b>ご注意</b> [On] に設定すると、[CH3 Input Select] / [CH4 Input Select] を [Off] に設定している場合でも、1 kHzの基準音声信号をCH3/CH4に乗せます。
[CH1 Level]	XLRアダプター入力なし: [Audio Input Level] / [Side] / [Level+Side] XLRアダプター入力あり: [Audio Input Level] / [Through]	XLRアダプター入力な し:[Level+Side] XLRアダプター入力あ り:[Audio Input Level]	CH1の音声入力レベル調整の組み合わせを設定する。  ご注意  「Side] は本機側面のAUDIO LEVEL (CH1) ダイヤルを指します。 [Level+Side] を設定したときは [Audio Input Level] 設定の割合とダイヤル設定の割合を掛け合わせた割合が録音レベルになります。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定 値	内容
[CH2 Level]	XLRアダプター入力なし: [Audio Input Level] / [Side] / [Level+Side] XLRアダプター入力あり: [Audio Input Level] / [Through]	XLRアダプター入力な し: [Level+Side] XLRアダプター入力あ り: [Audio Input Level]	CH2の音声入力レベル調整の組み合わせを設定する。  ご注意  「Side] は本機側面のAUDIO LEVEL (CH2) ダイヤルを指します。 [Level+Side] を設定したときは [Audio Input Level] 設定の割合とダイヤル設定の割合を掛け合わせた割合が録音レベルになります。
[CH3 Level]	XLRアダプター入力なし: [Audio Input Level] / [CH3 Input Level] / [Level+CH3 Input Level] XLRアダプター入力あり: [Audio Input Level] / [Through]	XLRアダプター入力な し:[Level+CH3 Input Level] XLRアダプター入力あ り:[Audio Input Level]	CH3の音声入力レベル調整の組み合わせを設定する。
[CH4 Level]	XLRアダプター入力なし: [Audio Input Level] / [CH4 Input Level] / [Level+CH4 Input Level] XLRアダプター入力あり: [Audio Input Level] / [Through]	XLRアダプター入力な し: [Level+CH4 Input Level] XLRアダプター入力あ り: [Audio Input Level]	CH4の音声入力レベル調整の組み合わせを設定する。

# [Audio] - [Audio Output]

音声出力の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期 設定値	内容
		[CH1/CH2]	ヘッドホン端子および内蔵スピーカーに出力する音 声チャンネルを選択する。
[Monitor CH]	[CH1/CH2] / [CH3/CH4] / [MIX ALL] / [CH1] / [CH2] / [CH3] / [CH4]		ご注意
			<ul><li>複数チャンネルの音声を同時出力する設定値を選択 した場合は、音割れしないように各チャンネルの出 カレベルを下げて音声が出力されます。</li></ul>
[Headphone Out]	[Mono] / [Stereo]	[Stereo]	ヘッドホン端子をモノラル出力にするか、ステレオ 出力にするかを選択する。
[Alarm Level]	0 ~ 7	4	警告音の音量を調整する。
[HDMI Output CH]	[CH1/CH2] / [CH3/CH4]	[CH1/CH2]	HDMIに出力される音声チャンネルの組み合わせを設 定する。

TP1001670066

5-060-574-03(1) Copyright 2024 Sony Corporation

#### ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

### [Thumbnail] メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

#### [Thumbnail]

メニュー項目	内容
[Display Clip Properties]	クリップ詳細情報画面を開く。

### [Thumbnail] - [Set Clip Flag]

クリップフラグの編集を行います。

メニュー項目	内容
[Add OK]	[OK] フラグを付ける。
[Add NG]	[NG] フラグを付ける。
[Add KEEP]	[KEEP] フラグを付ける。
[Delete Clip Flag]	すべてのフラグを外す。

### [Thumbnail] - [Lock/Unlock Clip]

クリップの保護設定を行います。

メニュー項目	内容
[Select Clip]	保護/保護を解除するクリップを選択して実行する。
[Lock All Clips]	すべてのクリップを保護する。
[Unlock All Clips]	すべてのクリップの保護を解除する。

### [Thumbnail] - [Delete Clip]

クリップを削除します。

メニュー項目	内容
[Select Clip]	任意のクリップを削除する。
[All Clips]	クリップを一括削除する。

#### [Thumbnail] - [Copy Clip]

クリップをコピーします。

メニュー項目	内容
[Select Clip]	任意のクリップをコピーする。
[All Clips]	クリップを一括コピーする。

### [Thumbnail] - [Transfer Clip]

### ご注意

[Network] - [Network Setup] - [Edit Authentication] - [Input Password] でパスワードを設定していない場合、 [Transfer Clip] は設定できません。

メニュー項目	内容	
[Select Clip]	任意のクリップを転送する。	
	クリップを一括転送する。	
[All Clips]	<b>ご注意</b> ■ 転送できるクリップの上限は200件です。	

# [Thumbnail] - [Transfer Clip (Proxy)]

プロキシクリップを転送します。

### ご注意

● [Network] – [Network Setup] – [Edit Authentication] – [Input Password] でパスワードを設定していない場合、 [Transfer Clip (Proxy)] は設定できません。

メニュー項目	内容	
[Select Clip]	任意のクリップに対応しているプロキシクリップを転送する。	
	クリップに対応するプロキシクリップを一括転送する。	
[All Clips]	<b>ご注意</b> ■ 転送できるクリップの上限は200件です。	

# [Thumbnail] - [Filter Clips]

表示するクリップの設定を行います。

メニュー項目	内容
[OK]	[OK] フラグのついたクリップのみを表示する。
[NG]	[NG] フラグのついたクリップのみを表示する。
[KEEP]	[KEEP] フラグのついたクリップのみを表示する。
[None]	フラグのついていないクリップのみを表示する。
[AII]	フラグのありなしによらず、すべてのクリップを表示する。

## [Thumbnail] - [Customize View]

サムネイル画面の表示を切り替えます。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期 設定値	内容
[Thumbnail Caption]	[Date Time] / [Time Code] / [Duration] / [Sequential Number]	[Time Code]	サムネイル画像直下の表示内容 を切り替える。

### ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

### [Technical] メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

### [Technical] - [Color Bars]

カラーバーの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	カラーバーをオン/オフする。
[Type]	ARIB / 100% / 75% / SMPTE	ARIB	カラーバーの種類を選択する。

## [Technical] - [ND Dial]

ND VARIABLEダイヤルの操作に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期 設定値	内容
[CLEAR with Dial]	[On] / [Off]	[On]	ND VARIABLEダイヤルの操作でNDフィルターの状態遷移 [Clear] ⇔ [On] を可能にするかどうか設定する。

## [Technical] - [Tally]

記録/タリーランプの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Front Tally Lamp]	[On] / [Off]	[On]	記録/タリーランプ(フロント)をオン/オフする。
[Rear Tally Lamp]	[On] / [Off]	[On]	記録/タリーランプ(リア)をオン/オフする。

## [Technical] - [Touch Operation]

タッチ操作に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[On]	タッチ操作をオン/オフする。

### [Technical] - [Rec Review]

レックレビューの設定を行います。

メニュー項 目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定 値	内容
[Setting]	[3s] / [10s] / [Clip]	[3s]	レックレビューで直前に記録したクリップを再生する時間を選択する。

### [Technical] - [Zoom]

ズームの設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期 設定値	内容
[Zoom Type]	[Optical Zoom Only] / [On(Clear Image Zoom)]	[Optical Zoom Only]	ズームの種類を設定する。 [Optical Zoom Only] : レンズを動かすことにより 光学的なズームを行う。 [On(Clear Image Zoom)] : 画質劣化が少ない電子 的なズームを行う。

# [Technical] - [Handle Zoom]

ハンドルズームの設定を行います。

メニュー項 目	細目と設定値	工場出荷時の初期 設定値	内容
[Setting]	[Off] / [Low] / [High] / [Variable]	[Variable]	ハンドルズームスピードを設定する。
[High]	1 ~ 8	8	[Setting] を [High] に設定している場合に、ハンドルズームレ バーを押したときのズームスピードを設定する。
			[Setting] を [Low] に設定している場合に、ハンドルズームレ バーを押したときのズームスピードを設定する。
[Low]	1 ~ 8	3	<ul><li>ご注意</li><li>■ ズームスピードが低速のときにズーミングにむらが出ることがあります。</li></ul>

# [Technical] - [Speed Zoom]

高速ズーム機能の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	高速ズーム機能をオン/オフする。

# [Technical] - [Menu Settings]

メニューに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時 の初期設定 値	内容
[User Menu Only]	[On] / [Off]	[Off]	メニューを表示したときに、 [User] メニューだけを表示するか、メニュー リストを表示するかを設定する。 [On]: [User] メニューだけを表 示する。 [Off]: メニューリストを表示する。
[Menu Page On/Off]	[ ♠♠ Camera] / [ ♠️ Project] / [ ♠️ Monitoring] / [ ♠️ Assignable Button] / [ ♠️ Battery] / [ ♠️ Media] / [ ♠️ Network] / [ ♠️ Stream] / [ ♠️ File Transfer]	_	ステータス画面の表示をオン/オフす る。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時 の初期設定 値	内容
			メニュー表示にロックをかけて、 [User] メニューだけの表示にするか を設定する。
[User Menu with Lock]	[On] / [Off]	[Off]	<ul><li>ご注意</li><li>● 通常のメニュー表示操作では表示されません。</li></ul>

# [Technical] - [Fan Control]

ファン制御モードの設定を行います。

メニュー項 目	細目と設定値	工場出荷時の初期 設定値	内容
[Setting]	[Auto] / [Minimum] / [Off in Rec]	[Auto]	ファン制御モードを設定する。  ご注意  「Off in Rec」に設定していても、本機の内部温度が一定温度を超えるとファンが回転します。

# [Technical] - [Lens]

レンズに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設 定値	内容
[Auto FB Adjust]	[Execute] / [Cancel] / [Reset]	_	レンズのフランジバックの自動調整・調整値を初 期化する。 [Execute] : 実行する。 [Reset] : 調整値を工場出社状態に戻す。
[Distance Display]	[Meter] / [Feet]	[Meter]	レンズ情報とフォーカスポジションの表示単位を 設定する。
[Zoom Position Display]	[Number] / [Bar]	[Number]	ズーム位置の表示形式を設定する。

# [Technical] - [Video Light Set]

ビデオライトの点灯方式を設定します。HVL-LBPC(別売)使用時のみ有効な設定です。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初 期設定値	内容
[Video Light Set]	[Power Link] / [Rec Link] / [Rec Link + Stby]	[Power Link]	マルチインターフェースシューに取り付けるビデオライトの 点灯方式を設定する。 [Power Link] :本機の電源のオン/オフに連動してビデオ ライトが点灯/消灯する。 [Rec Link] :本機の撮影開始/終了に連動してビデオライ トが点灯/消灯する。 [Rec Link + Stby] :本機の撮影開始/終了に連動してビ デオライトが点灯/スタンバイ点灯する。

# [Technical] – [Camera Battery Alarm]

バッテリーの電圧低下警告の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設 定値	内容
[Low Battery]	5% / 10% / 15% / / 45% / 50%	10%	バッテリー電圧低下警告を表示する残量を設定する (5%刻み)。
[Battery Empty]	3% ~ 7%	3%	バッテリー切れ警告を表示する残量を設定する。

# [Technical] - [Camera DC IN Alarm]

入力電圧警告の設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[DC Low Voltage1]	16.0V ~ 19.0V	16.5V	DC INへの入力電圧の低下警告を表示する電圧を設定する。
[DC Low Voltage2]	15.5V ~ 18.5V	15.5V	DC INへの入力電圧の不足警告を表示する電圧を設定する。

TP1001670068

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## [Network] メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

## [Network] - [Network Setup]

ネットワーク設定支援ツールを実行します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時 の初期設定 値	内容
[Setup for Mobile App]	_	_	ネットワーク設定支援ツールを起動する。
[LAN Type Select]	[Wireless LAN AP 2.4G] / [Wireless LAN AP 5G] / [Wireless LAN ST] / [Wired LAN] / [Off]	[Off]	LANの接続方法を設定する。
			アクセス認証のユーザー名とパスワードをテキストと QRコードで表示する。
[Show Authentication]	_	_	<ul><li>ご注意</li><li>■ ユーザー名やパスワードは、お買い上げ時にカメラが 自動で生成し設定されます。任意のユーザー名とパス ワードを設定する際は、他者に盗み見られないようご 注意ください。</li></ul>
			アクセス認証のためのユーザー名を設定する。
	[User Name]	_	ご注意     入力可能文字数は16文字以下の文字列です。 また、入力可能な文字は、以下です。    英字(大文字・小文字)、数字、記号(! % + , = -)
[Edit Authentication]	[Input Password]	_	アクセス認証のためのパスワードを設定する。  ご注意  入力可能文字数は、英数字/記号で英字と数字の両方を含む8文字以上16文字以下の文字列です。また、入力可能な文字は以下です。 英字(大文字・小文字)、数字、記号(! % + , = -)
	[Generate Password] – [Execute] / [Cancel]	_	アクセス認証のためのパスワードを自動生成する。 [Execute] :実行する。

## [Network] - [Wireless LAN]

無線LANに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時 の初期設定 値	内容
[Setting]	[Access Point (2.4GHz)] / [Access Point (5GHz)] / [Station Mode] / [Off]	[Off]	無線LAN接続の動作モードを選択する。  ご注意  本機は、無線LANと有線LANを同時に使用できません。
[Channel]	_	_	無線LANのチャンネルを表示する。 (アクセスポイントモードのみ)
[Camera SSID & Password]	-	_	本機のSSIDとパスワードを表示する。 (アクセスポイントモードのみ)
[Regenerate Password]	-	_	アクセスポイントモードのパスワードを再生成する。 (アクセスポイントモードのみ)
[Camera Remote Control]	_	_	ステーションモードで本機と無線LAN接続されているモバイル機器からのリモートコントロールを許可するかどうかの設定が表示される。 (ステーションモードのみ)
[Connected Network]	_	_	接続中の無線LANネットワークのアクセスポイントを表示 する。 (ステーションモードのみ)
[Scan Networks]	-	_	無線LANネットワークのアクセスポイントを検出し、リスト表示する。 (ステーションモードのみ)
[WPS]	[Execute] / [Cancel]	_	WPS(Wi-Fi Protected Setup)による接続設定を開始する。 [Execute]:実行する。 (ステーションモードのみ)  ご注意  セキュリティ設定されていない機器とWPSで接続設定することはできません。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時 の初期設定 値	内容
[Manual Register]	_	_	接続する無線LANネットワークのアクセスポイントを設定する。 (ステーションモードのみ)
	[SSID]	_	接続先アクセスポイントのSSIDを設定する。 <b>ご注意</b> 入力可能文字数は1文字~32文字以下です。また、入力可能な文字は以下です。     英字 (大文字・小文字)、数字、記号(@_()!"#\$%&'*+,/:;<=>?[\]^`{ }^`( }~)
	[Security]	_	接続先アクセスポイントのセキュリティ種別を設定する。
	[Password]	_	接続先アクセスポイントのパスワードを設定する。 <b>ヒント</b> • セキュリティが [WPA2] または [WPA3] の場合は「*******」、セキュリティが [None] の場合は空欄となります。 <b>ご注意</b> • 入力可能文字数は以下です。  - [WPA2] の場合:8文字以上63文字以下 - [WPA3] の場合:8文字以上128文字以下 - [None] の場合:0文字  また、入力可能な文字は以下です。 英字(大文字、小文字)・数字・記号(@_()!"#\$%&'*+,/:;<=>?[\]^`{ }~)
	[DHCP]	_	DHCPのオン/オフを設定する。
	[IP Address]	_	[DHCP] を [Off] に設定している場合に、本機のIPアドレスを設定する。 <b>ご注意</b> ■ ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から 255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
	[Subnet Mask]	-	[DHCP] を [Off] に設定している場合に、本機のサブネットマスクを設定する。 <b>ご注意</b> ■ ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から 255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
	[Gateway]	-	<ul> <li>[DHCP] を [Off] に設定している場合に、本機のデフォルトゲートウェイを設定する。</li> <li>ご注意</li> <li>▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。</li> </ul>

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時 の初期設定 値	内容
	[DNS Auto]	_	[DHCP] を [On] に設定している場合に、DNS自動取得のオン/オフを設定する。
			[DNS Auto] を [Off] に設定している場合に、本機のプライマリー DNSサーバーを設定する。
	[Primary DNS Server]	_	<b>ご注意</b> <ul><li>▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から 255.255.255.255までのアドレスを入力できます。</li></ul>
			[DNS Auto] を [Off] に設定している場合に、本機のセカンダリー DNSサーバーを設定する。
	[Secondary DNS Server]	_	<b>ご注意</b> <ul><li>▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から 255.255.255.255までのアドレスを入力できます。</li></ul>
[IP Address]	_	_	本機のIPアドレスを表示する。
[Subnet Mask]	-	_	本機のサブネットマスクを表示する。
[MAC Address]	-	_	本機の無線LANインターフェースのMACアドレスを表示する。

## [Network] - [Wired LAN]

有線LANに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期 設定値	内容
			有線LANをオン/オフする。
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	ご注意 ■ 本機は、無線LANと有線LANを同時に使用できません。
[Camera Remote Control]	[Enable] / [Disable]	[Disable]	本機と有線LANで接続されているデバイスからのリモートコントロールを許可するかどうかを設定する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期 設定値	内容
	_	-	有線LANの詳細設定を行う。
	[DHCP]	_	DHCPのオン/オフを設定する。
	[IP Address]	_	<ul> <li>[DHCP] を [Off] に設定している場合に、本機のIPアドレスを設定する。</li> <li>ご注意         <ul> <li>▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から255.255.255.255までのアドレスを入力できます。</li> </ul> </li> </ul>
	[Subnet Mask]	_	[DHCP] を [Off] に設定している場合に、本機のサブネットマスクを設定する。 <b>ご注意</b> ■ ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から 255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
[Detail Settings]	[Gateway]	_	[DHCP] を [Off] に設定している場合に、本機のデフォルトゲートウェイを設定する。 <b>ご注意</b> ■ ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から 255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
	[DNS Auto]	_	[DHCP] を [On] に設定している場合に、DNS自動取得の オン/オフを設定する。
	[Primary DNS Server]	_	[DNS Auto] を [Off] に設定している場合に、本機のプライマリーDNSサーバーを設定する。 <b>ご注意</b> ■ ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から 255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
	[Secondary DNS Server]	-	[DNS Auto] を [Off] に設定している場合に、本機のセカンダリーDNSサーバーを設定する。  ご注意  ■ ▲/▼ボタンを操作して、各セグメントに0.0.0.0から 255.255.255.255までのアドレスを入力できます。
[IP Address]	_	_	本機のIPアドレスを表示する。
[Subnet Mask]	_	_	本機のサブネットマスクを表示する。
[MAC Address]	_	_	本機のMACアドレスを表示する。
[AP Mode Type]	[Type1 (Standard)] / [Type2]	[Type1 (Standard)]	_

# [Network] - [USB Tethering]

USBテザリングの使用に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初 期設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	本機のUSBテザリング機能を有効/無効にする。
[Camera Remote Control]	[Enable] / [Disable]	[Disable]	モバイル機器のアプリケーション「Monitor & Control」や「Creators' App for enterprise」など、USBテザリング経由でのリモートコントロールの有効/無効を設定する。
[IP Address]	_	_	本機のIPアドレスを表示する。
[Subnet Mask]	_	_	本機のサブネットマスクを表示する。

# [Network] - [Bluetooth]

Bluetoothの使用に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定 値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	Bluetooth機能をオン/オフする。
[Pairing]	[Execute] / [Cancel]	_	本機とBluetooth機器をペアリングする。 [Execute] : 実行する。
[Manage Paired Device]	-	_	ペアリングしたBluetooth機器を表示/削除する。
[Device Address]	_	_	本機のBluetoothアドレスを表示する。

# [Network] - [File Transfer]

ファイルの転送に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初 期設定値	内容
[Auto Upload]	[On] / [Off]	[Off]	オリジナルクリップの自動転送をオン/オフする。 <b>ご注意</b> ■ [Project] – [Simul Rec] – [Setting] を [On] に設定している場合は、カードスロットBのメモリーカードに記録されるクリップは、自動転送の対象にはなりません。
[Auto Upload (Proxy)]	[On] / [Off] / [Chunk]	[Off]	[On]:プロキシクリップの自動転送を有効にする。 [Off]:プロキシクリップの自動転送を無効にする。 [Chunk]:プロキシクリップを分割記録して記録終了まで待たずに自動で転送する。
[Default Upload Server]	_	-	ファイルの転送先サーバーを選択する。ここで選択したサーバーは、オリジナルクリップやプロキシクリップの自動転送先、およびサムネイル画面からのクリップ転送先のサーバーになる。 [Server Settings1] ~ [Server Settings3] で設定した [Display Name] の設定を表示する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初 期設定値	内容
[Clear Completed Jobs]	[Execute] / [Cancel]	_	転送完了済みのジョブをジョブリストから消去する。 [Execute]:実行する。
[Clear All Jobs]	[Execute] / [Cancel]	_	すべての転送ジョブをジョブリストから消去する。 [Execute] : 実行する。
[View Job List]	_	_	転送ジョブの一覧を表示する。
	[Display Name]	_	転送先設定の表示名を設定する。
	[Service] - [FTP]	[FTP]	サーバーの種類を表示する。
	[Host Name]	_	転送先サーバーのホスト名を設定する。
	[Port] (1 ~ 65535)	21	転送先サーバーのポート番号を設定する。
	[User Name]	_	転送先サーバー接続の認証用ユーザー名を設定する。
	[Password]	_	転送先サーバー接続の認証パスワードを設定する。
	[Passive Mode] – [On] / [Off (Active Mode)]	[Off (Active Mode)]	パッシブモードをオン/オフする。
	[Destination Directory]	_	転送先のディレクトリー名を設定する。
[Server Settings1]	[Using Secure Protocol] – [On] / [Off]	[Off]	セキュアなFTP転送(FTPES)を行う [On] または行わない [Off] を設定する。
			セキュアなFTP転送のためのルート証明書の読み込み、削除を設定する。
	[Root Certificate] — [Load] / [Clear] / [None]	[None]	ご注意 ■ 証明書はメモリーカードのルートディレクトリに書き込んでください。ファイル名は以下に設定してください。 certification.pem(PEM形式) 読み込める証明書サイズは1証明書辺り最大1MBです。
	[Root Certificate Status] – [Loaded] / [No Certificate]	[No Certificate]	セキュアなFTP転送のためのルート証明書の読み込み状態を表示する。
	[Reset] – [Execute] / [Cancel]	_	[Server Settings1] の設定を初期値に戻す。 [Execute] : 実行する。
[Server Settings2]	[Server Settings1] と 同じ	_	-
[Server Settings3]	[Server Settings1] と 同じ	-	_

# [Network] - [Stream]

ストリーミングに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期 設定値	内容
[Setting]	[On] / [Off]	[Off]	ストリーミングをオン/オフする。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期 設定値	内容
[Destination Select]	_	-	ストリーミングの接続先を選択する。 [RTMP/RTMPS 1] ~ [RTMP/RTMPS 3] 、 [SRT- Caller 1] ~ [SRT-Caller 3] で設定した [Display Name] を表示する。
	_	_	RTMP/RTMPSストリーミングの接続設定をする。
	[Display Name]	_	[Destination Select] の表示名を入力する。
	[Codec]	[H.264/AVC]	ストリーミングする映像のコーデックを表示する。
	[Resolution] - 3840×2160P / 1920×1080P / 1280×720P	1920×1080P	ストリーミングする映像の解像度を設定する。
	[Bit Rate]	[9Mbps]	ストリーミングする映像のビットレートを設定する。
	[Destination URL]	_	接続するサーバーのURLを設定する。
	[Stream Key]	_	ストリーミングで使用するストリームキーを設定する。
[RTMP/RTMPS 1]	[RTMPS Certificate] — [Load] / [Clear] / [None]	[None]	既定証明書の読み込みや消去を行う。 <b>ご注意</b> ■ 証明書はメモリーカードのルートディレクトリに書き込んでください。ファイル名は以下に設定してください。RTMPS_certification.pem(PEM形式)読み込める証明書サイズは1証明書辺り最大1MBです。
	[RTMPS Certificate Status] – [Loaded] / [Default]	[Default]	RTMPS接続用の証明書の読み込み状態を表示する。
	[Reset] – [Execute] / [Cancel]	_	設定を初期値に戻す。 [Execute]:実行する。
[RTMP/RTMPS 2]	[RTMP/RTMPS 1] と同じ	_	_
[RTMP/RTMPS 3]	[RTMP/RTMPS 1] と同じ	_	-
[RTMPS Default	[Replace] – [Execute] / [Cancel]	_	既定証明書をカードスロットBのメモリーカードから読み 込む。 [Execute]:実行する。
Certificates]	[Reset] – [Execute] / [Cancel]	_	既定証明書群の設定を初期化する。 [Execute]:実行する。
	[Status]	[Preinstall]	既定証明書群の状態を表示する。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期 設定値	内容
	_	_	SRTストリーミングの接続設定をする。
	[Display Name]	_	[Destination Select] の表示名を入力する。
	[Codec]	[H.264/AVC]	ストリーミングする映像のコーデックを表示する。
	[Resolution] - 1920×1080P / 1280×720P	1920×1080P	ストリーミングする映像の解像度を設定する。
	[Bit Rate]	[9Mbps]	ストリーミングのビットレートを設定する。
	[Destination URL]	_	接続するサーバーのURLを設定する。
	[Port] (1 ~ 65535)	7001	ストリーミングの送信先のポートを設定する。
[SRT-Caller 1]	[Latency] (20ms $\sim$ 8000ms)	[120 ms]	ストリーミングの配信遅延時間を設定する。
	[TTL] (1 ~ 255)	[64 times]	ストリーミングのTTL値を設定する。
	[Encryption] - [None] / [AES-128] / [AES-256]	[None]	ストリーミングの暗号化方式を設定する。
	[Passphrase]	_	ストリーミングの暗号化に使用するパスフレーズを設定する。
	[ARC] - [On] / [Off]	[On]	ストリーミング時のARCを有効にするか無効にするか設 定する。
	[Reset] – [Execute] / [Cancel]	_	設定を初期値に戻す。 [Execute]:実行する。
[SRT-Caller 2]	[SRT-Caller 1] と同じ	_	-
[SRT-Caller 3]	[SRT-Caller 1] と同じ	_	_

# [Network] - [Network Reset]

ネットワークの設定をリセットします。

メニュー項目	細目と設定値	内容	
[Reset]	[Execute] / [Cancel]	ネットワークの設定をリセットする。 [Execute]:実行する。	

TP1001670069

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## [Maintenance] メニュー

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。

## [Maintenance] - [Language]

表示する言語を設定します。

メニュー項目	内容
[Select]	表示する言語を設定する。 [Set] :確定する。

# [Maintenance] - [ Accessibility]

音声読み上げ機能、画面拡大機能に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設 定値	内容
	_	_	音声読み上げの設定を行う。
	[Setting] - [On] / [Off]	[Off]	音声読み上げをオン/オフする。
[Screen	[Speed] - [Fast 4] / [Fast 3] / [Fast 2] / [Fast 1] / [Standard] / [Slow 1] / [Slow 2]	[Standard]	音声読み上げの速度を設定する。
Reader]	[Volume] $-1\sim15$	7	音声読み上げの音量を設定する。
	[Read Out when Power On] — [Enable] / [Disable]	[Enable]	MENUボタンを押しながら本機の電源を オンにしたときに、音声読み上げをオン にするかを設定する。
	_	_	画面拡大表示の設定を行う。
	[Setting] - [Enable] / [Disable]	[Disable]	拡大表示をオン/オフする。
[Enlarge Screen]	[Magnification] -x1.5 / x2.0 / x2.5 / x3.0	_	拡大表示の拡大倍率を設定する。
	[Enlarge Screen Button] $-$ [Assignable Button $<1>$ ] $\sim$ [Assignable Button $<11>$ ] $/$ [ $<$ PUSH AUTO $>$ ]	[Assignable Button <11>]	拡大表示に使うボタンを設定する。

## [Maintenance] - [Clock Set]

内蔵時計に関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Time Zone]	[UTC -12:00] ~ [UTC +14:00]	_	UTCからの時差を30分単位で設定する。
[Date Mode]	[YYMMDD] / [MMDDYY] / [DDMMYY]	[YYMMDD]	年月日の表示方式を選択する。 [YYMMDD] : 年月日の順 [MMDDYY] : 月日年の順 [DDMMYY] : 日月年の順
[12h/24h]	[12h] / [24h]	[24h]	時刻の表示形式を選択する。 [12h]: 12時間表示 [24h]: 24時間表示

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Date]	_	_	現在の日付を設定する。 [Set] :確定する。
[Time]	_	_	現在の時刻を設定する。 [Set] :確定する。

## [Maintenance] - [All Reset]

工場出荷時の状態にリセットします。

メニュー項目	細目と設定値	内容		
		工場出荷時の状態にリセットする。 [Execute]:実行する。		
[Reset] [Execute] / [Cancel]		<b>ご注意</b> ■ [Paint/Look] - [Base Look] - [Import from Media(B)] / [Import from Cloud(Private)] / [Import from Cloud(Share)] でインボートした3D LUTファイルは削除されません。インボートした3D LUTファイルをすべて削除する場合は、 [Paint/Look] - [Base Look] - [Delete All] を実行してください。		
[Reset without Network]	[Execute] / [Cancel]	[Network] メニュー以下の設定を除いたメニュー設定値を工場出荷状態にリセットする。		
[Reset to Factory Defaults]	[Execute] / [Cancel]	すべての設定やシーンファイル、ユーザーの基本ルックの値、レンズのフランジバックの値、ルート証明書(RTMPS、クラウド、FTP)、アクセスポイント情報、アクセス認証情FTPサーバー設定、クラウド接続情報、ネットワークストリーミング接続情報を削除し、可様状態に戻す。		

## [Maintenance] - [Hours Meter]

積算時間を表示します。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Hours(System)]	_	_	積算使用時間 (リセット不可) を表示する。
[Hours(Reset)]	_	_	積算使用時間 (リセット可) を表示する。
[Reset]	[Execute] / [Cancel]	_	[Hours(Reset)] を0にリセットする。 [Execute] : 実行する。

# [Maintenance] – [License Options] (PXW-Z200のみ)

[MPEG HD] のソフトウェアライセンスオプションに関する操作を行います。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初 期設定値	内容
[Install from Media(B)]	[Execute] / [Cancel]	_	ソフトウェアオプションのインストールを実行する。 [Execute]:実行する。
[Uninstall License]	[All] - [Execute] / [Cancel] [MPEG HD] - [Execute] / [Cancel]	_	[AII] : ソフトウェアオプションのアンインストールを実行する。 [MPEG HD] : ソフトウェアオプションのアンインストールを実行する。 [Execute] : 実行する。
[MPEG HD]	-	_	ソフトウェアオプションのインストール状態を表示す る。

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初 期設定値	内容
[Serial Number]	_	_	シリアルナンバーを表示する。

## [Maintenance] - [Device Information]

認証マークを表示します。

メニュー項目	内容	
[Certification Logo]	認証マークを表示する。	

# [Maintenance] - [Version]

バージョンを表示します。

バージョンアップ対象のファイルがあるとき、以下のメニュー項目の先頭に「●」が表示されます。

[Maintenance]

[Version]

[Version Up]

メニュー項目	細目と設定値	工場出荷時の初期設定値	内容
[Version Number]	Vx.xx	_	本機のソフトウェアバージョンを表示する。
[Version Up]	[Execute] / [Cancel]	-	本機のソフトウェアをバージョンアップする。

TP1001670070

### ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# [ISO/Gain] メニューの設定値と初期設定値

[Mode] / [Target Display] / [Base Look] – [Select] の設定によって、 [ISO/Gain] メニューの設定範囲と初期設定値が異なります。

### [Mode] を [ISO] に設定している場合

### カスタム撮影

✓:設定可能×:設定不可

[Target Display]	[SDR(BT.709)]	[HDR(HLG)]	[SDR(BT.709)] および [HDR(HLG)]
[Base Look] - [Select]	Preset Base Look	Preset Base Look	User Base Look
ISO 250	✓([ISO/Gain <l>]初期設定 値)</l>	×	×
ISO 320	V	×	×
ISO 400	V	×	×
ISO 500	✓([ISO/Gain <m>]初期設 定値)</m>	×	×
ISO 640	V	×	×
ISO 800	V	×	×
ISO 1000	✓([ISO/Gain <h>]初期設定 値)</h>	×	×
ISO 1250	V	×	×
ISO 1600	V	v([ISO/Gain <l>]初期設定 値)</l>	マ([ISO/Gain <l>]初期設定 値)</l>
ISO 2000	V	V	V
ISO 2500	V	V	V
ISO 3200	V	v([ISO/Gain <m>]初期設 定値)</m>	マ([ISO/Gain <m>]初期設定 値)</m>
ISO 4000	V	V	V
ISO 5000	V	V	V
ISO 6400	V	v([ISO/Gain <h>]初期設定 値)</h>	∨([ISO/Gain <h>]初期設定 値)</h>
ISO 8000	V	V	V
ISO 10000	V	V	V
ISO 12800	V	V	V
ISO 16000	V	×	×

## ログ撮影

✓:設定可能×:設定不可

設定範囲				
ISO 1600	✓([ISO/Gain <l>]初期設定値)</l>			
ISO 2000	V			
ISO 2500	V			
ISO 3200	∨([ISO/Gain <m>]初期設定値)</m>			
ISO 4000	V			
ISO 5000	V			
ISO 6400	v([ISO/Gain <h>]初期設定値)</h>			
ISO 8000	V			
ISO 10000	V			
ISO 12800	V			

## [Mode] を [dB] に設定している場合

✓:設定可能×:設定不可

[Target Display]	[SDR(BT.709)]	[HDR(HLG)]	[SDR(BT.709)] および [HDR(HLG)]
[Base Look] - [Select]	Preset Base Look	Preset Base Look	User Base Look
-3dB	V	V	V
-2dB	V	V	V
-1dB	V	V	V
0dB	✓([ISO/Gain <l>]初期設定 値)</l>	✓([ISO/Gain <l>]初期設定 値)</l>	v([ISO/Gain <l>]初期設定 値)</l>
1dB	V	V	V
2dB	V	V	V
3dB	V	V	V
4dB	V	V	V
5dB	V	V	V
6dB	✓([ISO/Gain <m>]初期設 定値)</m>	v([ISO/Gain <m>]初期設 定値)</m>	∨([ISO/Gain <m>]初期設定 値)</m>
7dB	V	V	V
8dB	V	V	V
9dB	V	V	V
10dB	V	V	V
11dB	V	V	V
12dB	✓([ISO/Gain <h>]初期設定 値)</h>	v([ISO/Gain <h>]初期設定 値)</h>	v([ISO/Gain <h>]初期設定 値)</h>
13dB	V	V	V
14dB	V	V	V

[Target Display]	[SDR(BT.709)]	[HDR(HLG)]	[SDR(BT.709)] および [HDR(HLG)]
[Base Look] - [Select]	Preset Base Look	Preset Base Look	User Base Look
15dB	V	V	V
16dB	V	V	V
17dB	V	V	V
18dB	V	V	V
19dB	V	×	×
20dB	V	×	×
21dB	V	×	×
22dB	V	×	×
23dB	V	×	×
24dB	V	×	×
25dB	V	×	×
26dB	V	×	×
27dB	V	×	×
28dB	V	×	×
29dB	V	×	×
30dB	V	×	×
31dB	V	×	×
32dB	V	×	×
33dB	V	×	×
34dB	V	×	×
35dB	V	×	×
36dB	V	×	×

### ご注意

■ スロー&クイックモーションのHFR(ハイフレームレート)撮影時やシステム周波数が119.88P/100P時の最低値は0dBとなります。

TP1001670071

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

### [AGC Limit] の設定値と初期設定値

[Mode] / [Target Display] / [Base Look] – [Select] の設定によって、 [AGC Limit] メニューの設定範囲と初期設定値が異なります。

### [Mode] を [ISO] に設定している場合

### カスタム撮影

✓:設定可能×:設定不可

[Target Display]	[SDR(BT.709)]	[HDR(HLG)]	[SDR(BT.709)] および [HDR(HLG)]
[Base Look] - [Select]	Preset Base Look	Preset Base Look	User Base Look
ISO 320	V	×	×
ISO 400	V	×	×
ISO 500	V	×	×
ISO 640	V	×	×
ISO 800	V	×	×
ISO 1000	V	×	×
ISO 1250	V	×	×
ISO 1600	V	×	×
ISO 2000	V	V	V
ISO 2500	V	V	V
ISO 3200	V	V	V
ISO 4000	V	V	V
ISO 5000	V	V	V
ISO 6400	V	∨ (初期設定値)	✓ (初期設定値)
ISO 8000	✓ (初期設定値)	V	V
ISO 12800	V	V	V
ISO 16000	V	×	×

### ログ撮影

✓:設定可能 ×:設定不可

設定範囲			
ISO 2000	V		
ISO 2500	V		
ISO 3200	V		
ISO 4000	V		
ISO 5000	V		

設定範囲				
ISO 6400	✓ (初期設定値)			
ISO 8000	V			
ISO 10000	V			
ISO 12800	V			

## [Mode] を [dB] に設定している場合

✓:設定可能×:設定不可

[Target Display]	[SDR(BT.709)]	[HDR(HLG)]	[SDR(BT.709)] および [HDR(HLG)]
[Base Look] - [Select]	Preset Base Look	Preset Base Look	User Base Look
3dB	V	V	V
6dB	V	V	V
9dB	V	V	V
12dB	V	V	V
15dB	V	V	V
18dB	V	∨(初期設定値)	✓ (初期設定値)
21dB	V	×	×
24dB	V	×	×
27dB	V	×	×
30dB	ン (初期設定値)	×	×
33dB	V	×	×
36dB	V	×	×

TP1001670072

# [Video Format] / [Quality] / [Bit Rate] の設定値

[Frequency] / [Codec] の設定によって、 [Video Format] / [Quality] / [Bit Rate] メニューの設定範囲が異なります。

### ■MP4フォーマット時

[Frequency]	[Codec]	[Video Format]	[Quality]		
[Frequency]		[video Format]	[High]	[Mid]	[Low]
	XAVC HS-L 422	3840×2160P	280	280	280
	XAVC HS-L 420	3840×2160P	200	200	200
119.88	XAVC S-L 422	3840×2160P	280	280	280
	VAVC C 1 420	3840×2160P	200	200	200
	XAVC S-L 420	1920×1080P	100	60	60
	XAVC HS-L 422	3840×2160P	280	280	280
	XAVC HS-L 420	3840×2160P	200	200	200
100	XAVC S-L 422	3840×2160P	280	280	280
	VANC C 1 420	3840×2160P	200	200	200
	XAVC S-L 420	1920×1080P	100	60	60
	XAVC HS-L 422	3840×2160P	200	100	100
	XAVC HS-L 420	3840×2160P	150	75	45
	XAVC S-L 422	3840×2160P	200	200	200
59.94		1920×1080P	50	50	50
39.94	XAVC S-L 420	3840×2160P	150	150	150
		1920×1080P	50	25	25
	XAVC S-I	3840×2160P	600	600	600
	XAVC S-I	1920×1080P	222	222	222
	XAVC HS-L 422	3840×2160P	200	100	100
	XAVC HS-L 420	3840×2160P	150	75	45
	VAN / 0 0 1 400	3840×2160P	200	200	200
FO	XAVC S-L 422	1920×1080P	50	50	50
50	XAVC S-L 420	3840×2160P	150	150	150
		1920×1080P	50	25	25
	XAVC S-I	3840×2160P	500	500	500
		1920×1080P	185	185	185

[Frequency]	[Codec]	[Video Format]	[Quality]		
			[High]	[Mid]	[Low]
	XAVC S-L 422	3840×2160P	140	140	140
		1920×1080P	50	50	50
29.97	XAVC S-L 420	3840×2160P	100	60	60
29.97	XAVC 3-L 420	1920×1080P	50	16	16
	XAVC S-I	3840×2160P	300	300	300
	AAVC 3-1	1920×1080P	111	111	111
	XAVC S-L 422	3840×2160P	140	140	140
	XAVC 5-L 422	1920×1080P	50	50	50
25	XAVC S-L 420	3840×2160P	100	60	60
25		1920×1080P	50	16	16
	XAVC S-I	3840×2160P	250	250	250
		1920×1080P	93	93	93
	XAVC HS-L 422	3840×2160P	100	50	50
23.98	XAVC HS-L 420	3840×2160P	100	50	30
	XAVC S-L 422	3840×2160P	100	100	100
		1920×1080P	50	50	50
	XAVC S-L 420	3840×2160P	100	60	60
		1920×1080P	50	50	50
	XAVC S-I	3840×2160P	240	240	240
		1920×1080P	89	89	89

# ■MXFフォーマット時(PXW-Z200のみ)

[Frequency]	[Codec]	[Video Format]	[Quality]		
			[High]	[Mid]	[Low]
	XAVC-L 422 XAVC-L 420	1920×1080	50	35	35
		1920×1080i	50	35	25
		1280×720	50	50	50
		3840×2160	150	150	150
59.94	XAVC-I 422	3840×2160	600	600	600
		1920×1080	222	222	222
		1920×1080i	111	111	111
		1280×720	111	111	111
	MPEG-HD 422	1920×1080i	50	50	50
		1280×720	50	50	50

[Frequency]	[Codec]	[Video Format]	[Quality]		
[Frequency]		[video Format]	[High]	[Mid]	[Low]
		1920×1080	50	35	35
	XAVC-L 422	1920×1080i	50	35	25
		1280×720	50	50	50
	XAVC-L 420	3840×2160	150	150	150
50		3840×2160	500	500	500
50	XAVC-I 422	1920×1080	223	223	223
	XAVC-1 422	1920×1080i	112	112	112
		1280×720	112	112	112
	MDEC-HD 422	1920×1080i	50	50	50
	MPEG-HD 422	1280×720	50	50	50
	XAVC-L 422	1920×1080	50	35	35
	XAVC-L 420	3840×2160	100	100	100
29.97	XAVC-I 422	3840×2160	300	300	300
		1920×1080	111	111	111
	MPEG-HD 422	1920×1080	50	50	50
	XAVC-L 422	1920×1080	50	35	35
	XAVC-L 420	3840×2160	100	100	100
25	XAVC-I 422	3840×2160	250	250	250
		1920×1080	112	112	112
	MPEG-HD 422	1920×1080	50	50	50
	XAVC-L 422	1920×1080	50	35	35
	XAVC-L 420	3840×2160	100	100	100
23.98	XAVC-I 422	3840×2160	240	240	240
		1920×1080	89	89	89
	MPEG-HD 422	1920×1080	50	50	50

TP1001670073

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

### 撮影モードごとの画質に関する設定状態の保存について

画質に関する設定項目は、以下の撮影モードごとに現在の設定状態が保持されます。撮影モードを切り替えると、切り替え後の撮影モードが保持する設定状態が適用されます。

- [Custom] [SDR(BT.709)]
- [Custom] [HDR(HLG)]
- [Flexible ISO]

画質に関する各設定状態は撮影モードごとに以下のように保存されます。

✓: 保存されますx: 保存されません

設定項目			撮影モード			
			[Cust	[Custom]		
			[SDR(BT.709)]	[HDR(HLG)]	ISO]	
	[ISO/Gain]		√¹)	v <sup>1)</sup>		
	[White]	[Preset White]	V		V	
	[Willice]	上記以外	V			
	[White Setting]		V			
[Shooting] メ ニュー	[Offset White]		V		X	
	[LUT On/Off]		×		V	
	[Noise Suppression]	[Setting(Custom)] / [Level(Custom)]	V	V	х	
		[Setting(Flexible ISO)] / [Level(Flexible ISO)]	x	x		
	[Base Look]	[Select]	V	V	V	
		[Input] <sup>2)</sup>	V	V		
		[Output] <sup>2)</sup>	V	V		
		[AE Level Offset] <sup>2)</sup>	V	V		
[Paint] メニュ	[Black]		V	V	х	
	[Knee]	[Auto Knee]	V	х	x	
	[KIICC]	上記以外	V	V	х	
	[Detail]		V	V	x	
	[Matrix]		V	V	x	
[Multi Matrix]			V	<b>V</b>	х	

<sup>1)</sup> ISO感度については、 [Custom] - [SDR(BT.709)] / [HDR(HLG)] で設定値が個別に保存される場合があります。

<sup>2)</sup> 設定値は [Base Look] ごとに保持されており、各撮影モードには依存しません。

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

### 設定内容をファイルに保存する

フルメニューの設定内容を、本機のカードスロットBに挿入したメモリーカードに保存することができます。また、Allファイルをクラウドサービスに保存することができます。このデータを使って適切なセットアップ状態をすばやく再現できます。 設定データは、次のように分類されて保存されます。

#### ユーザーファイル

カスタマイズした [User] メニューの設定項目と設定データを保存します。

メモリーカードに64個まで保存することができます。

このファイルを本機のメモリーに読み込むことにより、 [User] メニューをカスタマイズした状態にセットアップすることができます。

#### Allファイル

全メニューの設定データを保存します。メモリーカードに64個まで保存することができます。「C3 Portal」(クラウドサービス)には、個人60個までと共通60個までの計120個まで保存することができます。

### ご注意

Allファイルに保存される内容について、詳細は下記をご覧ください。 ファイルに保存される項目

### メモリーカードに保存する

ユーザーファイル/Allファイルをメモリーカードに保存します。

- 1. メモリーカードをカードスロットBに差し込む。
- 2. ユーザーファイルの場合は、フルメニューの [Project] [User File] [Save to Media(B)] で [Execute] を選択する。All ファイルの場合は、フルメニューの [Project] [All File] [Save to Media(B)] で [Execute] を選択する。 ファイルの保存先画面が表示されます。
- 3. 保存先画面の [No File] の行を選択する。

[File ID] が記載されている行を選択すると、そのファイルに上書きされます。 保存する際に付けられる [File ID] はメニューで変更できます。

4. 確認画面の [Execute] を選択する。

### |AIIファイルをクラウドサービスに保存する

Allファイルをクラウドサービスに保存します。

1. 本機とスマートフォンアプリ「Creators' App for enterprise」を接続する。

詳細は下記をご覧ください。

「C3 Portal」 ヘファイルを転送する

2. フルメニューの[Project] – [All File] – [Save to Cloud(Private)] / [Save to Cloud(Share)] で [Execute] を選択する。

ファイルの保存先画面が表示されます。

3. 保存先画面の [No File] の行を選択する。

[File ID] が記載されている行を選択すると、そのファイルに上書きされます。 保存する際に付けられる [File ID] はメニューで変更できます。

4. 確認画面の [Execute] を選択する。

### メモリーカードから読み込む

ユーザーファイル/Allファイルをメモリーカードから読み込みます。

- 1. ファイルを保存したメモリーカードをカードスロットBに差し込む。
- 2. ユーザーファイルの場合は、フルメニューの [Project] [User File] [Load from Media(B)] で [Execute] を選択する。Allファイルの場合は、フルメニューの [Project] [All File] [Load from Media(B)] で [Execute] を選択する。ファイルの一覧画面が表示されます。

3. 読み込むファイルを選択する。

確認画面が表示されます。

4. [Execute] を選択する。

#### ご注意

- 設定データを読み込むと、本機は自動的に再起動されます。
- フルメニューの [Project] [All File] [Load Network Data] を [Off] に設定している場合は、 [Network] メニューの設定項目を除いた Allファイルを読み込みます。

### AIIファイルをクラウドサービスから読み込む

Allファイルをクラウドサービスから読み込みます。

1. 本機とスマートフォンアプリ「Creators' App for enterprise」を接続する。

詳細は下記をご覧ください。

「C3 Portal」 ヘファイルを転送する

2. フルメニューの [Project] – [All File] – [Load from Cloud(Private)] / [Load from Cloud(Share)] で [Execute] を 選択する。

ファイルの一覧画面が表示されます。

3. 読み込むファイルを選択する。

確認画面が表示されます。

4. 確認画面の [Execute] を選択する。

#### ご注意

- 設定データを読み込むと、本機は自動的に再起動されます。
- フルメニューの [Project] [All File] [Load Network Data] を [Off] に設定している場合は、 [Network] メニューの設定項目を除いた Allファイルを読み込みます。

### ファイルIDを変更するには

ユーザーファイル/AllファイルのファイルIDを変更します。

- 1. ユーザーファイルの場合は、フルメニューの [Project] [User File] [File ID] を選択する。Allファイルの場合は、フルメニューの [Project] [All File] [File ID] を選択する。 ファイルIDの編集画面が表示されます。
- **2. タッチ操作、またはマルチファンクションダイヤルやマルチセレクターで文字タイプや文字を選択し、入力する。** 詳しくは「文字列を入力する」をご覧ください。
- 3. 文字の入力が終了したら、[Done]を選択する。

### 関連項目

● 文字列を入力する

TP1001670284

### ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

### 外部モニター/レコーダーを接続するための準備をする

撮影/再生映像を外部モニターに表示させることができます。また、外部レコーダーを接続して、本機の出力信号を記録することもできます。

撮影/再生映像を外部モニターに表示させるときは、本機の出力信号を選択し、接続するモニターに応じた接続ケーブルを使用してください。

外部モニターにLCDモニター/ビューファインダーと同様の各種ステータス情報やメニューなどを表示させることができます。モニターと接続する端子に応じて、 [Monitoring] ステータス – [Info. Disp.] – [On] またはフルメニューの [Monitoring] – [Output Display] を [On] に設定してください。

#### ご注意

- 本機に外部モニターや記録装置などを接続する際には次のことにご注意ください。これらを守らないと、本機の内部回路に大電流が流れ、電気部品が破壊することがあります。
- 1. DCケーブルについて

外部モニターや記録装置などに接続するDCケーブルは、GND線のインピーダンスが低いものを使用してください。

2. 電位差の確認について

事前にすべての接続機器と本機に電位差がないことを確認してください。

(1) 外部モニターや記録装置などすべての接続機器と本機の接続がない状態にする。

75Ω同軸ケーブルやHDMIケーブルなどは接続しない状態で確認してください。

- (2) すべての接続機器と本機のDCケーブルを接続し、各接続機器および本機の電源をオンにする。
- (3) 本機と各接続機器との間に電位差がないことをテスターなどで確認する。

もし電位差があった場合はいずれかのDCケーブルのGND線のインピーダンスが高いことが考えられます。GND線のインピーダンスが低いケーブルに交換するなどして電位差がなくなるようにしてください。

3. 接続と電源オンの順番について

各ケーブル接続と電源オンは次の順番で行ってください。

- (1) 本機と外部モニターや記録装置などの電源をすべてオフにする。
- (2) 初めにすべての機器のDCケーブルを接続する。
- (3) 75Ω同軸ケーブル、HDMIケーブルなどを接続する。
- (4) すべての接続機器と本機の電源をオンにする。

詳しくはソニーサービス窓口にご相談ください。

TP1001670076

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

### SDI出力の外部機器と接続する(PXW-Z200のみ)

[Monitoring] ステータスで、出力のオン/オフや出力フォーマットを設定します。接続には市販の75Ω同軸ケーブルを使用してください。

### 本機と同時に外部機器で記録を開始するには

SDI信号出力時は、フルメニューの[Project] – [SDI/HDMI Rec Control] – [Setting]を[SDI/HDMI Remote I/F]/[Parallel Rec]に設定すると、SDI OUT端子に接続した外部機器にRECトリガー信号を出力することによって、本機と同期した記録が可能になります。

### ご注意

- 接続した外部機器がRECトリガー信号に対応していない場合は動作しません。
- [SDI/HDMI Remote I/F] に設定した場合、メモリーカードが挿入されていないときは、RECトリガー信号のみ出力されます。

TP1001670077

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

### HDMI出力の外部機器と接続する

[Monitoring] ステータスで、出力のオン/オフや出力フォーマットを設定します。

### 本機と同時に外部機器で記録を開始するには

HDMI信号出力時は、フルメニューの[TC/Media] - [HDMI TC Out] - [Setting] を [On] に設定して、以下のように設定すると、HDMI出力端子に接続した外部機器にRECトリガー信号を出力することによって、本機と同期した記録が可能になります。 PXW-Z200の場合: [Project] - [SDI/HDMI Rec Control] - [Setting] - [SDI/HDMI Remote I/F] / [Parallel Rec] HXR-NX800の場合: [Project] - [HDMI Rec Control] - [Setting] - [On]

### ご注意

- 接続した外部機器がRECトリガー信号に対応していない場合は動作しません。
- [SDI/HDMI Remote I/F] に設定した場合、メモリーカードが挿入されていないときは、RECトリガー信号のみ出力されます。

TP1001670078

### ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

### タイムコードを外部機器と合わせる(PXW-Z200のみ)

本機のタイムコードを外部機器に合わせることができます。

### 他機のタイムコードにロックさせる

- 1. タイムコード供給源となる外部機器をタイムコード出力が更新されるモードに設定する。
- 2. フルメニューの [TC/Media] [Timecode] を次のように設定する。

[Mode] - [Preset]

[Run] - [Free Run]

- 3. [DURATION/TC/U-BIT] が割り当てられたアサイナブルボタンを押して、画面にタイムコードを表示させる。
- 4. TC IN/OUTスイッチがINになっていることを確認し、TC IN/OUT端子に、本機のシステム周波数に同期した基準タイムコードを供給する。

本機のタイムコードジェネレーターが基準タイムコードにロックされ、画面に「EXT-LK」と表示されます。

ロックしてから約10秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続を外しても、外部ロック状態は保たれます。

#### ご注意

- タイムコードをロックすると、本機のタイムコードは瞬時に外部機器のタイムコードにロックし、外部機器のタイムコードの値と同じ値がタイムコード表示部に出ますが、タイムコードジェネレーターが安定するまでの数秒間は、撮影を開始しないでください。
- 基準タイムコードの周波数と本機のフレーム周波数が同じでないと、正しくロックできず、本機が正常に動作できません。この場合、タイムコード も外部のタイムコードに正しくロックできません。
- 基準タイムコードに対し1時間で1フレームずれる場合があります。

### タイムコードのロックを解除するには

フルメニューの [TC/Media] - [Timecode] の設定を変更してください。

システム周波数を変更した場合や、スロー&クイックモーションモードでの撮影を開始した場合も、タイムコードのロックは解除されます。

### 本機のタイムコードに他機のタイムコードを合わせる

タイムコード供給源となる機器は、タイムコード出力が更新されるモード([Free Run] や [Clock]) に設定してください。

- 1. フルメニューの [TC/Media] [Timecode] で本機のタイムコードを設定する。
- 2. TC IN/OUTスイッチがOUT側になっていることを確認し、TC IN/OUT端子を、同期させたい機器のタイムコード入力端子に接続する。

TP1001670079

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

### モバイル機器やLANCリモコンを使う

モバイル機器のアプリケーション/LANCリモコンを使って本機をリモート操作できます。

### 「Monitor & Control」アプリケーション

本機とモバイル機器との接続方法や「Monitor & Control」アプリケーションの操作については、「Monitor & Control」アプリケーションのヘルプガイドをご覧ください。

### LANCリモコン

LANCリモコン (RM-30BPなど) は、LANC規格に準拠したリモートコントローラーです。

LANC通信により、フォーカス/アイリス/NDフィルター/ズーム/ホワイトバランス/シャッタースピード/ゲインなどの本機の機能をリモート操作できます。

LANCリモコンを本機のREMOTE端子に接続して使用します。

1台のLANCリモコンを複数のカメラに接続してリモート操作できます。また、デイジーチェーン接続が可能で、1台のカメラを2台のLANCリモコンから操作することもできます。

TP1001670080

### ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## Bluetoothリモコンを使う

Bluetoothリモコン(別売)を使って本機をリモート操作できます。本機対応のBluetoothリモコンについては専用サポートサイトでご確認ください。

https://www.sony.jp/support/digitalcamera/connect/

#### 本機をBluetoothリモコンとペアリングする

- 1. フルメニューの [Network] [Bluetooth] [Setting] を [On] に設定する。
- フルメニューの [Network] [Pairing] で [Execute] を選択する。
   ペアリング待機画面が表示されます。
- 3. Bluetoothリモコンでペアリング操作を行う。

詳しい操作方法は、Bluetoothリモコンの取扱説明書をご覧ください。 ペアリングが正常に完了すると、本機にペアリング完了画面が表示されます。

#### 4. 「OK】を選択する。

Bluetoothリモコンで本機を操作できます。2回目以降は[Bluetooth] – [Setting] を [On] に設定するだけで、本機とBluetooth リモコンを接続できるようになります。

### ヒント

- Bluetoothリモコンは、Bluetoothリモコンから本機を操作している間のみBluetooth接続されます。
- 正しく動作しないときは以下に従い、再度ペアリング操作を行ってください。
  - 本機が他の機器とBluetooth接続中でないことを確認する。
  - ■フルメニューの [Network] [Network Reset] [Reset] を実行する。

#### ご注意

- 本機を初期化するとペアリング情報も削除されます。Bluetoothリモコンを使用する場合は、もう一度ペアリングしてください。
- Bluetooth通信が不安定な場合は、本機とBluetoothリモコンの間に人体や金属などの障害物がない状態で使用してください。
- 無線LANの2.4GHz帯を使用してストリーミングなど大量の通信を行っている場合、Bluetoothリモコンの動作が不安定になることがあります。この場合は、有線LANの使用をご検討ください。
- Bluetooth接続を行う際は、信頼できるデバイスとのみペアリングしてください。身に覚えのないペアリング要求や不明なデバイスとの接続は避けてください。
- Bluetoothリモコンを使用しないときは、Bluetooth機能をオフにしてください。
- ペアリング済みのデバイスを定期的に確認し、不要なデバイスは削除してください。
- スマートフォンからカメラのペアリング情報を削除したときは、 [Manage Paired Device] からスマートフォンのペアリング情報を削除してください。

### ペアリング済みのBluetoothリモコンを確認する

フルメニューの [Network] – [Bluetooth] – [Manage Paired Device] を選択すると、ペアリング済みのBluetoothリモコンが表示されます。

#### ペアリング済みのBluetoothリモコンを削除する

- 1. フルメニューの [Network] [Bluetooth] [Manage Paired Device] を選択する。
- 2. 削除するBluetoothリモコンを選択する。
- 3. [Execute] を選択する。

TP1001670081

## ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# コンピューターにUSBでカメラの映像を送る

コンピューターなどのUVC(USB Video Class)入力対応機器に、USBケーブルで本機を接続してカメラの映像を送ることができます。 (USBストリーミング)

#### ご注意

- USB3.0 (Super Speed) で接続してください。USB2.0で使用できるのは、システム周波数が29.97Hzまたは25Hzで [USB Stream] [Format] が1280×720Pのときに限られます。
- 1. 本機の電源を入れる。
- 2. MENUボタンを押して [Monitoring] ステータスを開く。
- 3. **[IP/USB] [Signal] を [USB Stream] に設定する。** USBストリーミングがオンになります。
- 4. USBケーブルで本機とコンピューターなどのUVC入力対応機器を接続する。

撮影画面上部に「IC>USB」が点滅します。

以降はUVC入力対応機器での操作となります。本機がカメラとして認識されていることをご確認ください。本機が映像を送出している間は「**庫**▶USB」の表示が点灯します。

#### ヒント

- [USB Tethering] と [USB Stream] の両方が [Off] のときに、本機とコンピューターなどをUSBケーブルで接続すると、有効にするUSB機能を 選択する画面が表示されます。この場合は、ドロップダウンリストボックスで [USB Stream] を選択し、 [Execute] を選択すると、USBストリ ーミングがオンになります。
- [Network] ステータスの [USB] [Setting] でUSBストリーミングのオン/オフを切り替えることもできます。
- フルメニューの [Monitoring] [USB Stream] [Setting] でUSBストリーミングのオン/オフを切り替えることもできます。
- フルメニューの [Monitoring] [USB Stream] [Format] でUSBストリーミングの解像度を設定できます。
- USBストリーミングのオーディオチャンネルは [CH1/CH2] に固定されています。

## ご注意

- [USB Stream] がオンの場合、以下の機能は設定できません。また、再生機能は使用できません。
  - [Project] [Base Setting] [Shooting Mode] [Flexible ISO]
  - [Project] [Rec Format] [Frequency] 119.88/100/23.98
  - [Project] [Base Setting] [Target Display] [HDR(HLG)]
  - [Network] [Wired LAN] [Setting] [On]
  - [Network] [Wireless LAN] [Setting] [On]
  - [Network] [Bluetooth] [Setting] [On]
  - [Network] [USB Tethering] [Setting] [On]
  - [Network] [Stream] [Setting] [On]
- [USB Stream] をオンにすると、プロキシ記録やピクチャーキャッシュレック、インターバルレック、スロー&クイックモーションなどの記録機能は [Off] になります。
- ullet 録画中に [USB Stream] の [Setting] や [Format] を設定することはできません。録画を開始する前に設定してください。

TP1002005416

#### ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# コンピューターでクリップを管理/編集する

カードリーダー(別売)や本機のマスストレージモードを使うと、コンピューターにクリップを取り込んで、コンピューター上でクリップを管理したり、ノンリニア編集システムを使ってクリップを編集したりすることができます。

#### カードリーダー(別売)を使う

コンピューターにCFexpress Type AカードリーダーまたはSDカードリーダーをUSBケーブルで接続すると、カードリーダーのスロット に装着されたメモリーカードがコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。なお、対応したコンピューターの場合、本機のマスストレージモードを使用するよりも高速に、クリップを取り込むことができます。

#### マスストレージモードを使う

本機とコンピューターを接続してマスストレージモードを使うと、本機のカードスロットA/Bに装着されたメモリーカードがコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。

- 1, USB-C端子とコンピューターをUSBケーブルで接続する。
- 2. 本機の電源をオンにする。

[USB Tethering] と [USB Stream] の両方が [Off] の場合は、有効にするUSB機能を選択する画面が表示されます。ドロップダウンリストボックスで [Mass Storage (MSC)] を選択します。

#### ご注意

- [Network] ステータス [USB] [Setting] を [USB Tethering] または [USB Stream] に設定している場合は、マスストレージモードを使うことができません。 [Setting] を [Off] に設定してください。
- メモリーカードの初期化や修復などのメッセージが表示されている間は、USB接続の確認メッセージは表示されません。初期化や修復などの実行が終了後に表示されます。またクリップの詳細情報表示中もUSB接続の確認メッセージは表示されません。処理が終了するか、サムネイル画面に戻ると表示されます。
- 3. マルチファンクションダイヤルを回して [Execute] を選ぶ。
- 4. Windowsの場合、「マイコンピュータ」にリムーバブルディスクとして追加されていることを確認する。
  Macの場合、デスクトップに「NO NAME」または「Untitled」フォルダー(フォルダー名は任意に変更可)が作成されていることを確認する。

### ご注意

- アクセスランプが赤く点灯しているときは、次の操作をしないでください。
  - 電源をオフにする
  - 雷源コードを抜く
  - ーメモリーカードを抜く
  - USBケーブルを抜く
- すべてのコンピューターについて、動作を保証するものではありません。

#### ノンリニア編集システムを使う

ノンリニア編集システムには、本機で記録したフォーマットに対応した編集ソフトウェア(別売)が必要です。 専用アプリケーションソフトウェアを使って、あらかじめコンピューターのHDDに編集したいクリップを保存しておきます。

TP1001670082

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# SDI/HDMI出力端子の出力フォーマット (PXW-Z200のみ)

出力フォーマットの解像度は、 [Project] ステータスの [Frequency/Scan] / [Video Format] 、またはフルメニューの [Project] – [Rec Format] – [Frequency] / [Video Format] の設定によって制限されます。再生映像の解像度より大きな解像度が設定されている場合、映像は出力されません。

PXW-Z200のSDI/HDMI出力端子の出力フォーマットは以下のとおりです。

[Project] - [Rec Format]		[Monitoring] - [Output Format]		
[Frequency]	[Video Format]	[SDI]	[HDMI]	
		3840×2160P	1920×1080P	
		3840×2160P	1920×1080i	
		(出力停止)	3840×2160P	
	3840×2160	1920×1080P Level A(初期設定値)	1920×1080P(初期設定値)	
		1920×1080P Level A	1920×1080i	
100/119.88Hz		1920×1080P Level B	1920×1080P	
		1920×1080P Level B	1920×1080i	
		1920×1080i	1920×1080i	
	1920×1080	1920×1080P Level A(初期設定値)	1920×1080P(初期設定値)	
		1920×1080P Level A	1920×1080i	
		1920×1080P Level B	1920×1080P	
		1920×1080P Level B	1920×1080i	
		1920×1080i	1920×1080i	

[Project] - [Rec Format]		[Monitoring] - [Output Format]		
[Frequency]	[Video Format]	[SDI]	[HDMI]	
		3840×2160P	3840×2160P	
		3840×2160P	1920×1080P	
		3840×2160P	1920×1080i	
	3840×2160	1920×1080P Level A(初期設定値)	1920×1080P(初期設定値)	
	3640 \ 2100	1920×1080P Level A	1920×1080i	
		1920×1080P Level B	1920×1080P	
		1920×1080P Level B	1920×1080i	
		1920×1080i	1920×1080i	
50/59.94Hz		1920×1080P Level A(初期設定値)	1920×1080P(初期設定値)	
		1920×1080P Level A	1920×1080i	
		1920×1080P Level B	1920×1080P	
	1920×1080	1920×1080P Level B	1920×1080i	
		1920×1080i	1920×1080i	
		(出力停止)	720×480P <sup>1) 3)</sup>	
			720×576P <sup>2) 3)</sup>	
	1920×1080i	1920×1080i	1920x1080i	
	1280x720P	1280x720P	1280x720P	
		3840×2160P	3840×2160P	
	2040, 2160	3840×2160P	1920×1080P	
25/20 0747	3840×2160	1920×1080P	1920×1080P	
25/29.97Hz		1920×1080PsF(初期設定値)	1920×1080i(初期設定値)	
	1920×1080	1920×1080P	1920×1080P	
	1920×1080	1920×1080PsF(初期設定値)	1920×1080i(初期設定値)	
		3840×2160P	3840×2160P	
	2040,424.60	3840×2160P	1920×1080P	
23.98Hz	3840×2160	1920×1080P(初期設定値)	1920×1080P(初期設定値)	
23.3007		1920×1080PsF	1920×1080P	
	1920×1080	1920×1080P(初期設定値)	1920×1080P(初期設定値)	
	1720~1000	1920×1080PsF	1920×1080P	

<sup>1)</sup> システム周波数が59.94の場合

TP1001670083

<sup>2)</sup> システム周波数が50の場合3) 画面表示の重畳はできません。

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# HDMI出力端子の出力フォーマット

出力フォーマットの解像度は、 [Project] ステータスの [Frequency/Scan] / [Video Format] 、またはフルメニューの [Project] – [Rec Format] – [Frequency] / [Video Format] の設定によって制限されます。再生映像の解像度より大きな解像度が設定されている場合、映像は出力されません。

HXR-NX800のHDMI出力端子の出力フォーマットは以下のとおりです。

[Project] -	[Rec Format]	[Monitoring] – [Output Format]	
[Frequency] [Video Format]		[HDMI]	
		3840×2160P	
	3840×2160	1920×1080P(初期設定値)	
100/119.88Hz		1920×1080i	
	1920×1080	1920×1080P(初期設定値)	
	1920×1000	1920×1080i	
		3840×2160P	
	3840×2160	1920×1080P(初期設定値)	
		1920×1080i	
50/59.94Hz		1920×1080P(初期設定値)	
	1920×1080	1920×1080i	
		720×480P <sup>1) 3)</sup>	
		720×576P <sup>2) 3)</sup>	
		3840×2160P	
	3840×2160	1920×1080P	
25/29.97Hz		1920×1080i(初期設定値)	
	1920×1080	1920×1080P	
	1920×1000	1920×1080i(初期設定値)	
	3840×2160	3840×2160P	
23.98Hz	307072100	1920×1080P(初期設定値)	
	1920×1080	1920×1080P(初期設定値)	

<sup>1)</sup> システム周波数が59.94の場合

TP1001670084

<sup>2)</sup> システム周波数が50の場合

<sup>3)</sup> 画面表示の重畳はできません。

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# トラブル時の対処

トラブルが発生したときは、以下の内容を確認して対処してください。

# 電源

症状	原因	対策
電源が入らない。	バッテリーパックからの電源、DC IN電源のどちらも供給されていない。	バッテリーパックを取り付けるか、ACアダプターを使用してAC電源に接続する。
电源が入りない。	バッテリーパックが完全に消耗してい る。	充電済みのバッテリーパックと交換する。
電源が途中で切れる。	バッテリーパックが消耗している。	充電済みのバッテリーパックと交換する。
バッテリーパックが	温度が極端に低いところで使用している。	バッテリーパックの特性によるもので、故障ではありません。
すぐ消耗する。	充電が不充分。	バッテリーパックをもう一度充電し直す。 フル充電してもすぐに消耗する場合は、バッテリーパックの寿命 です。新しいバッテリーパックに交換してください。

# 記録/再生

症状	原因	対策
録画START/STOPボタンを押 しても記録が始まらない。	メモリーカードの容量がいっぱい になっている。	充分な空き容量のあるメモリーカードに交換する。
音声が記録できない。	AUDIO LEVELダイヤル (CH1/CH2) が最小の位置にな っている。	AUDIO LEVELダイヤル(CH1/CH2)を調節する。
記録した音声がひずんでいる。	音声レベルが高すぎる。	AUDIO LEVELダイヤル(CH1/CH2)を調節する。
雑音が多い。 音声レベルが低すぎる。		AUDIO LEVELダイヤル(CH1/CH2)を調節する。 外部マイク選択時は、フルメニューの[Audio] – [Audio Input] – [INPUT1 MIC Reference] / [INPUT2 MIC Reference] の設定値も調節する。
クリップを再生できない。	クリップが編集されている。	コンピューターでフォルダーやファイル名を変更したり、クリップを加工したりすると、再生できない場合があります。故障ではありません。
フラックを母生できない。	クリップが他機で記録されてい る。	他機で記録したクリップは、再生できなかったり、正しいサイズ で表示されなかったりすることがあります。故障ではありませ ん。

# 外部機器

症状	対策
	USBテザリングをオフにしてから本機とコンピューターをつなぎなおす。
本機がコンピューターに認識され	コンピューターからUSBケーブルを抜き、もう一度しっかりと差し込む。
ない。	コンピューターからUSBケーブルを抜き、コンピューターを再起動してから正しい手順でもう一度 コンピューターと本機をつなぐ。
	本機からUSBケーブルを抜き、もう一度しっかりと差し込む。
クリップがコンピューターに取り	コンピューターからUSBケーブルを抜き、本機の電源を入れてから、もう一度つなぐ。
込めない。	クリップをコンピューターに取り込むにはアプリケーションソフトウェアのダウンロードが必要です。

# 無線LAN使用時

#### ご注意

本機と無線LANルーターまたはモバイル機器との間の障害物や電波状況、壁の材質など、周囲の環境によって通信可能距離が短くなったり、接続できなくなったりすることがあります。本機の場所を移動するなど、本機と無線ルーターまたはモバイル機器の距離を近づけて、接続/通信状態を確認してください。

症状	対策
モバイル機器から本機にアク セスできない	<ul><li>無線LANルーターの接続(IPアドレスなど)を確認してください。</li><li>アクセスポイントのクライアント間の通信設定が無効になっている可能性があります。詳しくは、 無線LANルーターの取扱説明書をご覧ください。</li></ul>
ログインできない	登録したユーザー名、パスワードが正しいか確認してください。

併せて「「Monitor & Control」と接続する」「無線LANでインターネットに接続する」をご覧ください。

# インターネット接続

症状	対策
ファイル転送が失敗する	サーバーのユーザー名/パスワードが間違っている可能性があります。 正しい値を入力してください。
ファイル転送ができない	電波状態が悪い可能性があります。 移動して再度試してください。

併せて「無線LANでインターネットに接続する」「USBテザリングでインターネットに接続する」「有線LANでインターネットに接続する」をご覧ください。

## 関連項目

- 「Monitor & Control」と接続する
- 無線LANでインターネットに接続する
- USBテザリングでインターネットに接続する
- 有線LANでインターネットに接続する

TP1001670085

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# エラー/警告表示

本機では警告/注意/動作確認などが必要な状況では、LCDモニター/ビューファインダー画面のメッセージ表示や記録/タリーランプの点滅、および警告音で対応します。

警告音は、ヘッドホン端子に接続したヘッドホンに出力します。

# エラー表示

次のような表示が出た場合は、本機は動作を停止します。

エラー表示	警告音	記録/タリ ーランプ	原因と対策
E+エラー コード	連続音	高速点滅	本体の異常の可能性があります。画面に [ ● Rec] と表示されていても記録は止まっています。 電源を切り、接続している機器やケーブル類、メモリーカードに異常がないか確認してください。これらに異常がないときは、再度電源を入れ、エラーが継続する場合はソニーのサービス窓口にご連絡ください。 (電源スイッチを() (スタンバイ) にしても電源が切れない場合は、バッテリーパックやACアダプターも外してください。) 本機の状況によっては、エラー表示や警告音が出ない可能性があります。

# 警告表示

次のような表示が出た場合は、メッセージに従って対策してください。

警告表示	警告音	記録/タリー ランプ	原因と対策
[Battery Near End]	断続音	点滅	バッテリーパックの残量が少なくなっています。 早い機会に充電してください。
[Battery End]	連続音	高速点滅	バッテリーパックが消耗しました。記録はできません。 一旦操作を中止し、バッテリーパックを交換してください。
[Temperature High]	断続音	点滅	内部温度が上昇しました。 一旦電源を切り、温度が下がるまで使用を中止してください。
[Media Temperature High]	断続 音	点滅	CFexpressカードの温度が上昇しました。 カードを交換するか、温度が下がるまでカードの使用を中止してください。
[Voltage Low]	断続音	点滅	DC IN電圧が低くなっています(段階1)。供給電源を確認してください。
[Insufficient Voltage]	連続音	高速点滅	DC IN電圧が低すぎます(段階2)。記録はできません。 他の電源に接続し直してください。
[Media Near Full]	断続 音	点滅	メモリーカードの残量が少なくなっています。 早い機会に交換してください。
[Media Full]	連続音	高速点滅	メモリーカードの残量がないため、記録、コピーはできません。 交換してください。
[Clips Near Full]	断続音	点滅	メモリーカードに記録できる残りのクリップ数が少なくなっています。 早い機会に交換してください。
[Clips Full]	連続音	高速点滅	メモリーカードに記録できるクリップ数の上限に達しました。 これ以上記録やコピーはできません。交換してください。
[Last Clip Recording]	断続音	点滅	記録中のクリップの記録を完了すると、記録可能なクリップ数の上限に達します。 新しいメモリーカードをご用意ください。

警告表示	警告音	記録/タリー ランプ	原因と対策
[Media(A) Life Near End] <sup>1)</sup>	断続音	点滅	メモリーカードの寿命が僅かです。早めに交換してください。
[Media(A) Life End] 1)	連続音	高速点滅	メモリーカードの寿命がきました。交換してください。
[Media(A) Near Full]	断続音	点滅	同時記録機能使用時
[Media(A) Full] <sup>1)</sup>	連続音	高速点滅	同時記録機能使用時
[Media(A) Clips Near Full] <sup>1)</sup>	断続音	点滅	同時記録機能使用時
[Media(A) Clips Full]	連続音	高速点滅	同時記録機能使用時
[Media(A) Last Clip Rec] <sup>1)</sup>	断続音	点滅	同時記録機能使用時
[Transfer Jobs Near Full]	_	_	FTPファイル転送ジョブ登録可能数が少なくなっています。
[Transfer Jobs Full]	_	_	FTPファイル転送ジョブ登録可能数が上限に達しました。ジョブを追加したい場合は、不要なジョブを削除してください。 <sup>2)</sup>

# 注意/動作確認表示

画面中央部分に次のような注意/動作確認表示が現れることがあります。この場合は次表に従って対処してください。

表示内容	原因と対策
[Battery Error] [Please Change Battery]	バッテリーパックに異常が検出されました。 正常なバッテリーパックに交換してください。
[Backup Battery End] [Please Change]	バックアップ電池の残量が不足しています。 バックアップ電池を充電してください。
[Unknown Media(A)] [Please Change] 1)	パーティションが切られているメモリーカードや、本機で扱えるクリップ数を超えて記録されたメモリーカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換してください。
[Cannot Use Media(A)] [Unsupported File System] 1)	ファイルシステムの異なるカードまたはフォーマットされていないカードが 挿入されました。 本機では使用できませんので、交換または本機でフォーマットしてくださ い。
[Media Error] [Media(A) Needs to be Restored] 1)	メモリーカードに異常が発生し、修復が必要な状態になりました。 メモリーカードの修復を行ってください。
[Media Error] [Media(A) Error] [Media(B) Error]	メモリーカードが故障して、記録ができなくなりました。 再生は可能ですので、コピーをとるなどして、新しいメモリーカードに交換 することをお勧めします。
[Media Error] [Cannot Use Media(A)] <sup>1)</sup>	メモリーカードが故障して記録も再生もできなくなりました。 本機では扱えませんので、他のカードに交換してください。
[Media(A) Error] [Recording Halted] [Playback Halted] <sup>1)</sup>	メモリーカードに異常が発生したため、記録または再生が停止しました。 頻繁に起きる場合には、メモリーカードを交換してください。

<sup>1)</sup> カードスロットBに入れたメモリーカードの場合は(B) 2) フルメニューの [Network] - [File Transfer] - [View Job List] からジョブを選んで削除することができます。または、Monitor & Controlのジョブリストか らジョブを削除することができます。

表示内容	原因と対策
[Media(A) Life End] <sup>1)</sup> [Change Media(A)] <sup>1)</sup>	メモリーカードの寿命がきました。 バックアップをとり、速やかに交換してください。継続して使用すると、正常に記録/再生できない可能性があります。 詳しくは、メモリーカードの取扱説明書を参照してください。
[The specified address is invalid.]	指定したアドレスが間違っています。 正しく設定しているか確認してください。
[Cannot Use Specified Port Number]	指定したポート番号が間違っています。 正しく設定しているか確認してください。
[Fan Stopped]	本体内のファンが停止しています。 高温下での使用を避け、電源を切ってソニーのサービス担当者に連絡してく ださい。
[Failed]	[DHCP] を [On] に設定していてアドレスが割り当てられない場合、本エラーが出る可能性があります。 DHCPサーバーの設定を確認してください。
[Addition of auto upload job failed.]	転送ジョブの数が上限に達しています。 不要なジョブをクリアしてください。また、オリジナルファイルまたはプロキシファイルの自動転送先設定が間違っている可能性があります。正しく設定しているか確認してください。
[Not found.]	指定したSSIDのネットワーク(アクセスポイント)が見つかりません。 正しく設定しているか確認してください。
[Authentication Failed]	指定したSSIDのネットワーク(アクセスポイント)の接続認証に失敗しました。 パスワードなどを正しく設定しているか確認してください。
[An IP address conflict has occurred. Please check the network settings.]	無線LANまたは有線LANと、USBテザリングのネットワークアドレスが衝突しています。 アドレスを手動で変更するか、お使いのネットワークルーターの設定を変更してください。
[The IP address of the Wireless LAN Access Point Mode has been changed due to an IP address conflict.]	無線LANアクセスポイントモードまたは有線LANと、USBテザリングのネットワークアドレスが衝突したため、無線LANアクセスポイントモードのIPアドレスを変更しました。 新たなIPアドレスを確認してください。

<sup>1)</sup> カードスロットBに入れたメモリーカードの場合は(B)

TP1001670086

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# ファイルに保存される項目

Allファイル/Sceneファイルに保存されるフルメニューの項目は以下のとおりです。

∨:ファイルに保存されます

×:ファイルに保存されません

一:ファイルに保存されません(一時的動作メニュー)

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
[Shooting]		[Mode]	V	×
		[ISO/Gain <h>]</h>	V	×
	[ISO/Gain]	[ISO/Gain <m>]</m>	V	×
		[ISO/Gain <l>]</l>	V	×
		[Shockless Gain]	V	×
		[Preset1]	V	×
	[ND Filter]	[Preset2]	V	×
		[Preset3]	V	×
		[Mode]	V	×
		[Shutter Speed On/Off]	V	×
	[Ch. Han]	[Shutter Speed]	V	×
	[Shutter]	[Shutter Angle]	V	×
		[ECS On/Off]	V	×
		[ECS Frequency]	V	×
		[Level]	V	×
		[Mode]	V	×
		[Speed]	V	×
		[AGC]	V	×
		[AGC Limit]	V	×
		[AGC Point]	V	×
		[Auto Shutter]	V	×
	[Auto Famonico]	[A.SHT Limit]	V	×
	[Auto Exposure]	[A.SHT Point]	V	×
		[Clip High light]	V	×
		[Detect Window]	V	×
		[Detect Window Indication]	V	×
		[Custom Width]	V	×
		[Custom Height]	V	×
		[Custom H Position]	V	×
		[Custom V Position]	V	×

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
		[Preset White]	V	×
		[Color Temp <a>]</a>	V	×
		[Tint <a>]</a>	V	×
		[R Gain <a>]</a>	V	×
	[White]	[B Gain <a>]</a>	V	×
		[Color Temp <b>]</b>	V	×
		[Tint <b>]</b>	V	×
		[R Gain <b>]</b>	V	×
		[B Gain <b>]</b>	V	×
		[Shockless White]	V	×
		[ATW Speed]	V	×
	[White Setting]	[White Switch <b>]</b>	V	×
		[Filter White Memory]	V	×
		[Offset White <a>]</a>	V	×
		[Offset Color Temp <a>]</a>	V	×
		[Offset Tint <a>]</a>	V	×
		[Offset White <b>]</b>	V	×
	[Offset White]	[Offset Color Temp <b>]</b>	V	×
		[Offset Tint <b>]</b>	V	×
		[Offset White <atw>]</atw>	V	×
		[Offset Color Temp <atw>]</atw>	V	×
		[Offset Tint <atw>]</atw>	V	×
		[AF Transition Speed]	V	×
		[AF Subj. Shift Sens.]	V	×
		[Focus Area]	V	×
		[Subject Recognition AF]	V	×
	[Focus]	[Touch Function in MF]	V	×
		[Multi Selector Function]	V	×
		[Pointer Color]	V	×
		[Pointer Border]	V	×
		[AF Assist]	V	×
	[S&Q Motion]	[Setting]	V	×
	Face Horion]	[Frame Rate]	V	×
		[ T SDI/HDMI]	V	×
	[LUT On/Off]	[ T HDMI]	V	×
		[ 2 LCD/VF/Proxy/Stream]	V	×

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
		[Setting]	V	×
	[NIGHTSHOT]	[IR Light]	V	×
		[Image Color]	V	×
	[Soft Skin Effect]	[Setting]	V	×
	[SOIT SKIII EHECT]	[Level]	V	×
		[Setting(Custom)]	V	×
	[Noise Suppression]	[Level(Custom)]	V	×
		[Setting(Flexible ISO)]	V	×
		[Level(Flexible ISO)]	V	×
	[Flicker Reduce]	[Mode]	V	×
	[I lickel veduce]	[Frequency]	V	×
	[SteadyShot]	[Setting]	V	×

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
[Project]	[Base Setting]	[Shooting Mode]	V	_
	[base Setting]	[Target Display]	~	_
		[Frequency]	~	×
		[Codec Category]	~	×
	[Rec Format]	[Codec]	~	×
	[Rec Format]	[Video Format]	~	×
		[Quality]	~	×
		[Bit Rate]	_	
	[Flexible ISO Setting]	[Color Gamut]	~	
	[Flexible 150 Setting]	[Embed LUT File]	~	×
	[HDR Setting]	[LCD/VF SDR Preview]	~	×
	[HDR Setting]	[SDR Gain]	V	×
	[Cimul Doo]	[Setting]	~	×
	[Simul Rec]	[Rec Button Set]	~	×
	[Proxy Rec]	[Setting]	~	×
		[Proxy Format]	V	×
		[Audio Channel]	~	×
		[Chunk]	~	×
		[Setting]	×	×
	[Interval Rec]	[Interval Time]	~	×
		[Number of Frames]	~	×
		[Pre-Lighting]	V	×
		[Setting]	V	×
	[Picture Cache Rec]	[Cache Size]	~	×
		[Cache Rec Time]	_	_
	[SDI/HDMI Rec Control]	[Setting]	~	×
	[HDMI Rec Control]	[Setting]	~	×
		[Setting]	x	×
		[Rec/Stream]	~	×
		[HDMI]	~	×
	[Auto Framing]	[Tracking Start Mode]	V	×
		[Crop Level]	V	×
		[Tracking Speed]	V	×
		[Production Effect]	V	_

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
		<1>	V	×
	_	<2>	V	×
		<3>	V	×
		<4>	V	×
		<5>	V	×
	[Accionable Button]	<6>	V	×
	[Assignable Button]	<7>	V	×
		<8>	V	×
		<9>	~	×
		<10>	V	×
		<11>	~	×
		[ <push auto="">]</push>	~	×
	[Lens Ring]	[Lens Ring]	V	×
	[IRIS Dial]	[IRIS Dial]	V	×
	[Multi Function Dial]	[Default Function]	V	×
		[Load from Media(B)]	_	_
		[Save to Media(B)]	_	_
	[User File]	[File ID]	×	×
		[Load Customize Data]	V	×
		[Load White Data]	V	×
		[Load from Media(B)]	_	_
		[Load from Cloud(Private)]	_	_
		[Load from Cloud(Share)]	_	_
	[All File]	[Save to Media(B)]	_	_
	[VII I IIC]	[Save to Cloud(Private)]	_	_
		[Save to Cloud(Share)]	_	_
		[File ID]	V	×
		[Load Network Data]	×	×

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
[Paint/Look]		[Recall Internal Memory]	_	_
		[Store Internal Memory]	_	_
		[Delete]	_	_
	[Scene File]	[Preset Recall]	_	_
		[Load from Media(B)]	_	_
		[Save to Media(B)]	_	_
		[File Name]	_	_
		[Select]	V	V
		[Delete]	_	_
		[Delete All]	_	_
		[Import from Media(B)]	_	_
	[Base Look]	[Import from Cloud(Private)]	_	_
		[Import from Cloud(Share)]	_	_
		[Input]	V	×
		[Output]	V	×
		[AE Level Offset]	V	×
	[Reset Paint Settings]	[Reset without Base Look]	_	_
	[Black]	[Master Black]	V	V
		[R Black]	V	V
		[B Black]	V	V
		[Setting]	V	V
		[Auto Knee]	V	V
	[Knee]	[Point]	V	V
		[Slope]	V	V
		[Setting]	V	V
		[Level]	V	V
		[Manual Setting]	V	V
	[Dotail]	[H/V Ratio]	V	V
	[Detail]	[B/W Balance]	V	V
		[Limit]	V	V
		[Crispening]	V	V
		[High Light Detail]	V	V

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
		[User Matrix]	V	V
		[User Matrix Level]	V	V
		[User Matrix Phase]	V	V
		[User Matrix R-G]	V	V
	[Matrix]	[User Matrix R-B]	V	V
		[User Matrix G-R]	V	V
		[User Matrix G-B]	V	V
		[User Matrix B-R]	V	V
		[User Matrix B-G]	V	V
		[Setting]	V	V
		[Area Indication]	х	х
	[M. Iti Matuiv]	[Reset]	_	_
	[Multi Matrix]	[Axis]	×	×
		[Hue]	V	V
		[Saturation]	V	V
	[Timecode]	[Mode]	V	×
		[Run]	V	×
		[Setting]	×	×
		[Reset]	_	_
		[TC Format]	V	×
	[TC Display]	[Display Select]	V	×
	[Heere Dit]	[Mode]	V	×
	[Users Bit]	[Setting]	×	×
[TC/Media]	[HDMI TC Out]	[Setting]	V	×
[TC/Media]		[Title Prefix]	V	×
		[Number Set]	×	×
	[Clip Name Format]	[Clip Number]	V	×
		[Series Counter Reset]		_
		[Title Name Settings]	V	×
	[Update Media]	[Media(A)]	_	_
	[Opuate Media]	[Media(B)]	_	_
	[Format Media]	[Media(A)]	_	_
	[i offiliat Media]	[Media(B)]	_	_

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
[Monitoring]	[Output On/Off]	[SDI]	V	×
	[Output On/On]	[HDMI]	V	×
	[Output Format]	[SDI]	V	×
	[Output Format]	[HDMI]	V	×
	[USB Stream]	[Setting]	V	×
		[Format]	V	×
		[Audio Channel]	_	_
	[Output Display]	[SDI]	V	×
		[HDMI]	V	×

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
	[Display On/Off]	[Network Status]	V	×
		[File Transfer Status]	V	×
		[Stream Status]	V	×
		[Rec/Play Status]	V	×
		[Tally]	V	×
		[Battery Remain]	V	×
		[Focus Mode]	V	×
		[Focus Position]	V	×
		[Focus Area Indicator]	V	×
		[Subject Recognition Frame]	V	×
		[Tracking AF Pointer]	V	×
		[Lens Info]	V	×
		[Rec Format]	V	×
		[Frame Rate]	V	×
		[Zoom Position]	V	×
		[UWP RF Level]	V	×
		[SteadyShot]	V	×
		[Base Look/Rec Look]	V	×
		[SDI/HDMI Rec Control]	V	×
		[HDMI Rec Control]	V	×
		[Monitoring Look]	V	×
		[Proxy Status]	V	×
		[Media Status]	V	×
		[Video Signal Monitor]	V	×
		[Clip Name]	V	×
		[White Balance]	V	×
		[Scene File]	V	×
		[Auto Exposure Mode]	V	×
		[Auto Exposure Level]	V	×
		[Timecode]	V	×
		[ND Filter]	V	×
		[Iris]	V	×
		[ISO/Gain]	V	×
		[Shutter]	V	×
		[Level Gauge]	V	×
		[Audio Level Meter]	V	×

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
		[Video Level Warning]	V	×
		[NIGHTSHOT]	V	×
		[Clip Number]	V	×
		[Notice Message]	V	×
		[Setting]	~	×
		[Color]	V	×
		[Center Marker]	V	×
		[Safety Zone]	V	×
		[Safety Area]	V	×
		[Aspect Marker]	V	×
		[Aspect Mask]	V	×
		[Aspect Safety Zone]	V	×
	[n. 1 ]	[Aspect Safety Area]	V	×
	[Marker]	[Aspect Select]	~	×
		[Custom Aspect Ratio]	V	×
		[Guide Frame]	V	×
		[100% Marker]	V	×
		[User Box]	V	×
		[User Box Width]	V	×
		[User Box Height]	V	×
		[User Box H Position]	V	×
		[User Box V Position]	V	×
		[LCD Monitor Brightness]	~	×
	[LCD Manitor/\/F]	[LCD Monitor Color Mode]	V	×
	[LCD Monitor/VF]	[VF Brightness]	V	×
		[VF Color Mode]	V	×
	[Gamma Display Assist]	[Setting]	V	×
		[Setting]	V	×
	[Peaking]	[Peaking Level]	V	×
		[Color]	V	×
		[Setting]	V	×
	[7abra]	[Zebra1 Level]	V	×
	[Zebra]	[Zebra1 Aperture Level]	V	×
		[Zebra2 Level]	V	×

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
		[CH1 Input Select]	V	×
		[CH2 Input Select]	V	×
		[CH3 Input Select]	V	×
		[CH4 Input Select]	V	×
		[INPUT1 MIC Reference]	V	×
		[INPUT2 MIC Reference]	V	×
		[Line Input Reference]	V	×
		[Reference Level]	V	×
		[CH1 Wind Filter]	V	×
		[CH2 Wind Filter]	V	×
		[CH3 Wind Filter]	V	×
	[Audio Input]	[CH4 Wind Filter]	V	×
		[CH3 Level Control]	V	×
		[CH4 Level Control]	V	×
[Audio]		[CH3 Input Level]	V	×
[Audio]		[CH4 Input Level]	V	×
		[Audio Input Level]	V	×
		[Limiter Mode]	V	×
		[CH1&2 AGC Mode]	V	×
		[CH3&4 AGC Mode]	V	×
		[AGC Spec]	V	×
		[1kHz Tone on Color Bars]	V	×
		[CH1 Level]	V	×
		[CH2 Level]	V	×
		[CH3 Level]	V	×
		[CH4 Level]	V	×
		[Monitor CH]	V	×
	[Audio Output]	[Headphone Out]	V	×
	[Addio Odthat]	[Alarm Level]	V	×
		[HDMI Output CH]	V	×

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
	[Display Clip Properties]		_	_
		[Add OK]	_	_
	[Set Clip Flag]	[Add NG]	_	_
	[Set Clip Flag]	[Add KEEP]	_	_
		[Delete Clip Flag]	_	_
		[Select Clip]	_	_
	[Lock/Unlock Clip]	[Lock All Clips]	_	_
	[Delete Clip]	[Unlock All Clips]	_	_
		[Select Clip]	_	_
	[Delete Clip]	[All Clips]	_	
[Thumbnail]	[Copy Clip]	[Select Clip]	_	_
[Thumbhall]		[All Clips]	_	_
	[Transfer Clin]	[Select Clip]	_	_
	[Transfer Clip]	[All Clips]	_	_
	[Transfer Clip (Proxy)]	[Select Clip]	_	_
	[Transfer Clip (Proxy)]	[All Clips]	_	_
		[OK]	_	_
	[Filter Clips]	[NG]	_	_
		[KEEP]	_	_
		[None]	_	_
		[AII]	_	_
	[Customize View]	[Thumbnail Caption]	V	_

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
	[Color Dave]	[Setting]	Х	×
	[Color Bars]	[Type]	V	×
	[ND Dial]	[CLEAR with Dial]	V	×
	[T=U.1	[Front Tally Lamp]	V	×
	[Tally]	[Rear Tally Lamp]	V	×
	[Touch Operation]	[Setting]	V	×
	[Rec Review]	[Setting]	V	×
	[Zoom]	[Zoom Type]	V	×
		[Setting]	V	×
	[Handle Zoom]	[High]	V	×
		[Low]	V	×
[Technical]	[Speed Zoom]	[Setting]	V	×
[ recnnical]	[Menu Settings]	[User Menu Only]	V	×
		[Menu Page On/Off]	V	×
		[User Menu with Lock]	х	×
	[Fan Control]	[Setting]	V	×
	[Lens]	[Auto FB Adjust]	_	_
		[Distance Display]	V	×
		[Zoom Position Display]	V	×
	[Video Light Set]	[Video Light Set]	V	×
	[Company Dotton Alexand	[Low Battery]	V	×
	[Camera Battery Alarm]	[Battery Empty]	V	×
	[Company DC INI Alexand	[DC Low Voltage1]	V	×
	[Camera DC IN Alarm]	[DC Low Voltage2]	V	×

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
[Network]		[Setup for Mobile App]	_	_
		[LAN Type Select]	V	×
		[Show Authentication]	_	_
	[Network Setup]	[Edit Authentication]		
		[User Name]	×	×
		[Input Password]	×	×
		[Generate Password]	×	×
		[Setting]	V	×
		[Channel]	_	_
		[Camera SSID & Password]	_	_
		[Regenerate Password]	_	_
		[Camera Remote Control]	_	_
		[Connected Network]	_	_
		[Scan Networks]	_	_
		[WPS]	_	_
		[Manual Register]		
		[SSID]		_
		[Security]	_	_
	[Wireless LAN]	[Password]	_	_
		[DHCP]	_	-
		[IP Address]	_	_
		[Subnet Mask]	_	x x x x x
		[Gateway]	_	_
		[DNS Auto]		_
		[Primary DNS Server]	-	_
		[Secondary DNS Server]	_	_
		[IP Address]	_	_
		[Subnet Mask]	_	_
		[MAC Address]	_	_

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
		[Setting]	V	×
		[Camera Remote Control]	V	×
		[Detail Settings]		
		[DHCP]	V	×
		[IP Address]	V	×
		[Subnet Mask]	V	×
	[Wired LAN]	[Gateway]	V	×
		[DNS Auto]	V	×
		[Primary DNS Server]	V	×
		[Secondary DNS Server]	V	
		[IP Address]	_	_
		[Subnet Mask]	_	_
		[MAC Address]	_	_
		[Setting]	V	×
	[LICE Tothering]	[Camera Remote Control]	V	×
	[USB Tethering]	[IP Address]	_	_
		[Subnet Mask]	_	_
		[Setting]	V	×  ×  ×  ×  ×  ×  ×  ×  ×  ×  ×
	[Bluetooth]	[Pairing]	_	_
		[Manage Paired Device]	×	×
		[Device Address]	_	_

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]	
		[Auto Upload]	V	×	
		[Auto Upload (Proxy)]	V	×	
		[Default Upload Server]	V	×	
		[Clear Completed Jobs]	_	_	
		[Clear All Jobs]	_	_	
		[View Job List]	_	_	
		[Server Settings1] / [Server Se	ttings2] / [Server Settings3]		
		[Display Name]	V	×	
	[File Transfer]	[Service]	V	×	
		[Host Name]	V	×	
		[Port]	V	×	
		[User Name]	×	×	
		[Password]	×	×	
		[Passive Mode]	V	×	
		[Destination Directory]	V	×	
		[Using Secure Protocol]	V	×	
		[Root Certificate]	_	_	
		[Root Certificate Status]	_	_	
		[Reset]	_	_	

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]
		[Setting]	×	×
		[Destination Select]	V	×
		[RTMP/RTMPS 1] / [RTMP/RTM	PS 2] / [RTM	P/RTMPS 3]
		[Display Name]	V	×
		[Codec]	_	_
		[Resolution]	V	×
		[Bit Rate]	V	×
		[Destination URL]	×	×
		[Stream Key]	×	×
		[RTMPS Certificate]	_	_
		[RTMPS Certificate Status]	_	_
		[Reset]	_	_
		[RTMPS Default Certificates]		
		[Replace]	_	_
	[Stream]	[Reset]	_	_
		[Status]	_	_
		[SRT-Caller 1] / [SRT-Caller 2]	/ [SRT-Caller	3]
		[Display Name]	V	×
		[Codec]	V	×
		[Resolution]	V	×
		[Bit Rate]	V	×
		[Destination URL]	×	×
		[Port]	V	×
		[Latency]	V	×
		[TTL]	V	×
		[Encryption]	×	×
		[Passphrase]	×	×
		[ARC]	V	×
		[Reset]	_	_
	[Network Reset]	[Reset]	_	_

レベル1	レベル2	レベル3	[All File]	[Scene File]	
	[Language]	[Select]	~	×	
		[Screen Reader]			
		[Setting]	V	×	
	[	[Speed]	V	×	
		[Volume]	V	×	
		[Read Out when Power On]	V	×	
		[Enlarge Screen]	[Enlarge Screen]		
		[Setting]	V	×	
		[Magnification]	V	×	
		[Enlarge Screen Button]	V	×	
		[Time Zone]	V	×	
	[Clock Set]	[Date Mode]	V	×	
		[12h/24h]	V	×	
[Maintonanaa]		[Date]	×	×	
[Maintenance]		[Time]	× ×	×	
	[All Reset]	[Reset]	_	_	
		[Reset without Network]	_	_	
		[Reset to Factory Defaults]	_	_	
	[Hours Meter]	[Hours(System)]	_	_	
		[Hours(Reset)]	_	_	
		[Reset]	_	_	
	[License Options]	[Install from Media(B)]	_	_	
		[Uninstall License]	_	_	
		[MPEG HD]	_	_	
		[Serial Number]	_	_	
	[Device Information]	[Certification Logo]	_	_	
	[Vorsion]	[Version Number]	_	_	
	[Version]	[Version Up]	_	_	

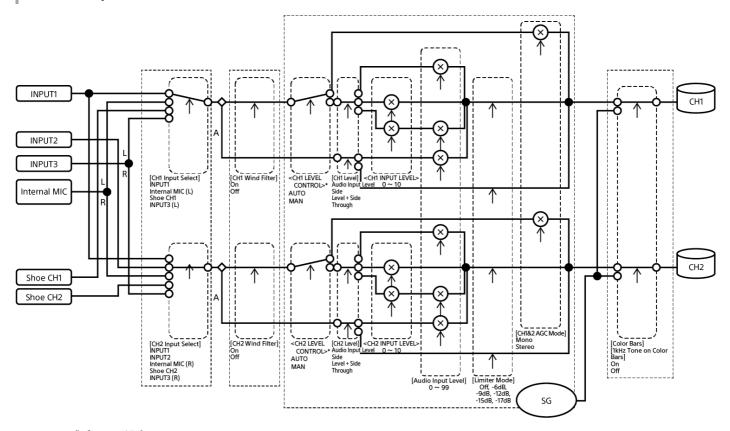
TP1001670087

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# ブロックダイヤグラム

音声や [Audio] メニューに関連するブロックダイヤグラムです。

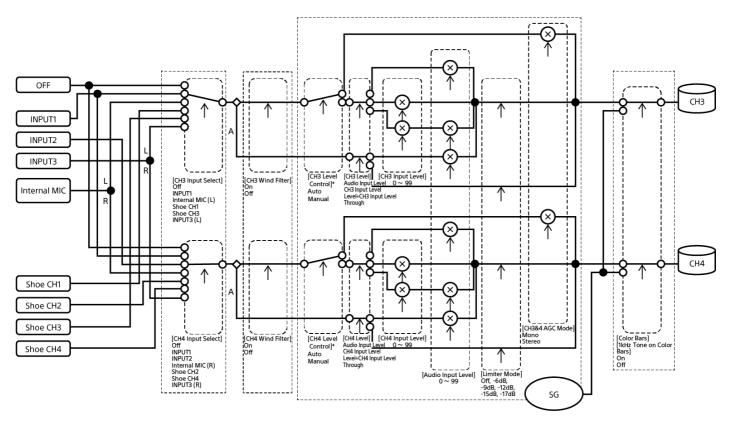
# [Audio Input] (CH1&CH2)



A:XLRアダプターの場合

\* XLRアダプターからの音声入力があるときは [Audio] ステータス – [Audio Input] – [CH1 Level Control] ~ [CH4 Level Control] の設定項目となります。

# [Audio Input] (CH3&CH4)



# A:XLRアダプターの場合

\* XLRアダプターからの音声入力があるときは [Audio] ステータス – [Audio Input] – [CH1 Level Control] ~ [CH4 Level Control] の設定項目となります。

TP1001670088

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

## ライセンスについて

### MPEG-4 AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、MPEG LA, LLCがライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIO LICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています:

- (i) 消費者が個人的または他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号(以下、AVC VIDEOといいます)にエンコードすること。
- (ii) AVC VIDEO (消費者が個人的または他の報酬を受けていない目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます)をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

# GPL/LGPL適用ソフトウェアの入手について

本製品はGPL/LGPL適用のソフトウェアを使用しており、お客様には、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。

これらのソースコードはインターネットのサーバーからダウンロードすることが可能です。以下のURLにアクセスすれば、具体的なダウンロードの方法がわかるようになっています。

https://oss.sony.net/Products/Linux/

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンス内容(英文)に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。

本機とパソコンをマスストレージ接続し、「PMHOME」-「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

## **END USER LICENSE AGREEMENT**

お客様による本製品の使用開始をもって、お客様がソフトウェア使用許諾契約書の内容にご同意いただけたものとさせていただきます。 お客様と弊社との間のソフトウェ ア使用許諾契約書は、弊社ウェブサイト(https://rd1.sony.net/help/di/el23/h\_zz/)でご覧いただけます。

# オープンソースソフトウェアのライセンスについて

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されています。 当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。 ライセンス内容(英文)に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。 本機とパソコンをマスストレージ接続し、「PMHOME」-「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

## Apple iAP2のライセンスについて

本製品には、弊社がApple Inc.とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されています。 当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。 ライセンス内容(英文)に関しては、本機の内蔵メモリー内に記録されています。 本機とパソコンをマスストレージ接続し、「PMHOME」-「LICENSE」内にあるファイルをご一読ください。

TP1001670089

## ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# 保証書とアフターサービス

# 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

# アフターサービス

#### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

#### それでも具合が悪いときは

お買い上げの店、またはソニーの相談窓口にご相談ください。

## 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

#### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有料修理させていただきます。

TP1001670090

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ソリッドステートメモリーカムコーダー PXW-Z200/HXR-NX800

# 仕様

## 一般

## 質量

PXW-Z200

約1.96 kg (本体のみ)

約2.4 kg(レンズフード、バッテリー(BP-U35)、LCDフード、マイクホルダー、アイカップを含む)

HXR-NX800

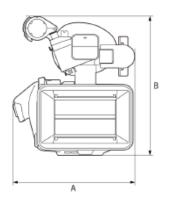
約1.93 kg (本体のみ)

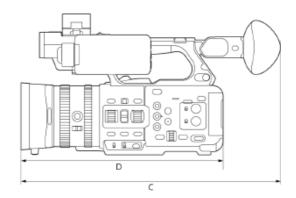
約2.38 kg(レンズフード、バッテリー(BP-U35)、LCDフード、マイクホルダー、アイカップを含む)

#### 外形寸法(幅×高さ×奥行き)

約175.6 mm(A)×201.3 mm(B)×371.1 mm(C)

D:約289.2 mm





#### 電源電圧

DC 19.5 V (18.0 V~20.5 V)

#### 消費電力

PXW-Z200

標準消費電力:約20 W(本体、XAVC S-L 420、QFHD 59.94P、CFexpress Type Aメモリーカード記録時、LCDモニター/ビューファインダー点灯(デフォルト)、周辺接続機器なし)

最大消費電力:約37 W(本体 XAVC S-I、QFHD 59.94P(S&Q 120fps)、CFexpress Type Aメモリーカード記録時(2枚同時記録)、LCDモニター/ビューファインダー点灯(最大)、周辺接続機器(SDI、HDMI、USB、無線機器)あり)

HXR-NX800

標準消費電力:約16 W (本体、XAVC S-L 420、QFHD 59.94P、CFexpress Type Aメモリーカード記録時、LCDモニター/ビューファインダー点灯(デフォルト)、周辺接続機器なし)

最大消費電力:約32 W(本体 XAVC S-I、QFHD 59.94P(S&Q 120fps)、CFexpress Type Aメモリーカード記録時(2枚同時記録)、LCDモニター/ビューファインダー点灯(最大)、周辺接続機器(HDMI、USB、無線機器)あり)

#### 動作温度

0 ℃~40 ℃

#### 保存温度

-20 ℃~+60 ℃

#### 連続動作時間

PXW-Z200

約90分(BP-U35使用時、標準消費電力時)

HXR-NX800

約120分(BP-U35使用時、標準消費電力時)

# 記録フォーマット(ビデオ)

MP4フォーマット時:

- XAVC HS Long 422/420
- XAVC S Long 422/420

XAVC S-I Intra

#### MXFフォーマット時(PXW-Z200のみ):

- XAVC Long 422/420
- XAVC I Intra
- MPEG HD 422 (ライセンス必須)

## 記録フォーマット(オーディオ)

LPCM 24ビット、48 kHz、4チャンネル

#### 記録フレームレート

MP4フォーマット時:

- XAVC HS Long 422/4203840×2160P/119.88P\*、100P\*、59.94P、50P、23.98P
- XAVC S Long 422

3840×2160P/119.88P\*、100P\*、59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P 1920×1080P/59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P

XAVC S Long 420

3840×2160P/119.88P\*、100P\*、59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P 1920×1080P/119.88P\*、100P\*、59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P

XAVC S Intra

3840×2160P/59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P 1920×1080P/59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P

\*スロー&クイックモーションがオンのとき、119.88P、100Pは使用できません。

### MXFフォーマット時(PXW-Z200のみ):

XAVC Long 422

1920×1080P/59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P

1920×1080i/59.94i、50i

1280×720P/59.94P、50P

XAVC Long 420

3840×2160P/59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P

XAVC Intra

3840×2160P/59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P

1920×1080P/59.94P、50P、29.97P、25P、23.98P

1920×1080i/59.94i、50i

1280×720P/59.94P、50P

MPEG HD

1920×1080P/29.97P、25P、23.98P

1920×1080i/59.94i、50i

1280×720P/59.94P、50P

## 記録/再生時間

XAVC HS Long 420

3840×2160P/59.94P

約100分(CEA-G160T使用時)

XAVC S Long 420 / XAVC Long 420

3840×2160P/59.94P

約100分 (CEA-G160T使用時)

1920×1080P/59.94P

約270分(CEA-G160T使用時)

XAVC S Intra / XAVC Intra

3840×2160P/59.94P

約25分(CEA-G160T使用時)

1920×1080P/59.94P

約75分 (CEA-G160T使用時)

■ MPEG-HD 422 (PXW-Z200のみ)

1280×720p/59.94P

約280分 (CEA-G160T使用時)

### ご注意

記録再生時間は、使用条件やメモリーの特性などにより、多少の誤差が生じる場合があります。また、記録/再生時間は、1クリップとして連続記録したときの時間です。記録するクリップ数によっては記載の時間より短くなる場合があります。

# カメラ部

#### 撮像素子

1.0型積層型CMOSイメージセンサー

#### 画素数

20.9M (Total)

14.0M (effective)

撮影モード、設定によって有効画素数が変化します。

#### オートフォーカス

検出方式:位相差検出方式/コントラスト検出方式

# 内蔵NDフィルター

[Clear]: NDなし

1:1/4ND

2:1/16ND

3:1/64ND

リニア可変ND: 1/4ND ~ 1/128ND

#### シャッタースピード

64F ~ 1/8000秒 (23.98P時)

#### シャッターアングル

 $5.6^{\circ} \sim 360^{\circ}$ ,  $2\sim 64$  frame

#### スロー&クイックモーション

XAVC S QFHD : 1  $\sim$  120 fps XAVC S HD : 1  $\sim$  240 fps

#### ホワイトバランス

2000 K  $\sim$  15000 K

#### ゲイン

-3 dB ~ +36 dB (1 dB単位、SDR ITU709時)

#### 基本ルック

[S-Cinetone] / [ITU709] / [709tone] / [s709] / [709(800%)] / [S-Log3] / [HLG Live] / [HLG Mild] / [HLG Natural]

# レンズ部

光学ズーム比:20、電動

焦点距離:f=7.71~154.21 mm、24~480 mm(35mm 換算)

絞り:開放絞り(F値) F2.8~F4.5、最小絞り(F値) F11、クローズ(オート/マニュアル切り替え)

フォーカス: AF/MF切替え

フォーカス範囲:10 mm~∞ (ワイド端)、1000 mm~∞ (テレ端)

手ブレ補正形式:光学式 フィルター径:72 mm

# |オーディオ部

#### サンプリング周波数

48 kHz

#### 量子化特性

24ビット

### 周波数特性

本体XLR入力MICモード時: 20 Hz~20 kHz(±3 dB以内) 本体XLR入力LINEモード時: 20 Hz~20 kHz(±3 dB以内)

### ダイナミックレンジ

本体XLR入力MICモード時:80 dB (Typical) 本体XLR入力LINEモード時:90 dB (Typical)

#### ひずみ率

本体XLR入力MICモード時: 0.08%以下(入力レベル-40 dBu時) 本体XLR入力LINEモード時: 0.08%以下(入力レベル+14 dBu時)

# 内蔵スピーカー

モノラル

### 内蔵マイク

無指向性ステレオエレクトレットコンデンサーマイク

### 入出力部

#### 入力

INPUT 1/2: XLR型、3ピン、凹 LINE / MIC / MIC+48V切り替え可能 MIC: Reference -30 dBu~-80 dBu

INPUT3端子:ステレオミニジャック、プラグインパワー対応

Reference -66 dBu

TC IN (PXW-Z200のみ): BNC型

出力

SDI OUT(PXW-Z200のみ): BNC型、12G-SDI、6G-SDI、3G-SDI(Level A/B)、HD-SDI

ヘッドホン(ステレオミニジャック): -16 dBu(基準レベル出力、モニターボリューム最大、16  $\Omega$ 負荷時)

HDMI: TypeA、19ピン

TC OUT (PXW-Z200のみ): BNC型

その他

DC IN: EIAJ標準、DC 18 V~20.5 V マルチインターフェースシュー: 専用21ピン

REMOTE: 2.5φ3極ミニミニタイプ

USB-C: USB3.2 Gen1

#### 表示部

#### LCDモニター

画面サイズ:対角8.8 cm (3.5型)

アスペクト比:16:9

画素数:1280(H)×720(V)

#### ビューファインダー

総表示エリア

画面サイズ:対角1.0 cm(0.39型)

アスペクト比:4:3

画素数:1024(H)×768(V)

有効表示エリア

画面サイズ:対角0.92 cm (0.36型)

アスペクト比:16:9

画素数:1024(H)×576(V)

## **|メディアスロット部**

CFexpress Type A/SDカードスロット(2)

## 有線LAN

RJ45型

1000BASE-T、100BASE-TX、10BASE-T

# 無線LAN

WW634937\*/WW447862\*モデル

## 対応規格

IEEE 802.11a/b/g/n/ac

## 使用周波数带

2.4 GHz帯/5 GHz帯

## セキュリティ

WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)

#### 接続方式

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) /マニュアル

#### アクセス方式

インフラストラクチャーモード

WW593605\*/WW208017\*モデル

#### 対応規格

IEEE 802.11b/g/n

### 使用周波数带

2.4 GHz帯

## セキュリティ

WPA2-PSK/WPA3-SAE (AES)

# 接続方式

Wi-Fi Protected Setup™ (WPS) /マニュアル

# アクセス方式

インフラストラクチャーモード

<sup>\*</sup>WWxxxxはモデル名です。モデル名は本機底面にある機銘版で確認してください。

## 対応iPhone

iPhone 15 Pro Max / iPhone 15 Pro / iPhone 15 Plus / iPhone 15 / iPhone 14 Pro Max / iPhone 14 Pro / iPhone 14 Plus / iPhone 14 / iPhone 13 Pro Max / iPhone 13 Pro / iPhone 13 / iPhone 13 mini (2024年6月現在)

# 付属品

```
ACアダプター(1)
電源コード(1)
LCDフード(1)
レンズフード(1)
アイカップ(1)
マイクホルダー(1)
コールドシューキット(1)
(コールドシュー(1)、シューバネ(1)、ビス(4))
ご使用になる前に(1)
```

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

## 商標について

• 保証書(1)

- "XAVC"および XAVC はソニー株式会社の登録商標です。
- Apple、iPhoneおよびiPadは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、macOSはApple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- "Catalyst Browse"はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- IOSは、米国シスコの商標もしくは登録商標です。
- Android、Google PlayはGoogle Inc.の登録商標または商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fi□ゴ、Wi-Fi PROTECTED SETUPはWi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- SDXCロゴはSD-3C,LLCの商標です。
- CFexpress Type A□ゴ、CFexpressはCompactFlash Associationの商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- USB Type-C™およびUSB-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- 「Made for Apple」バッジは、アクセサリが本バッジに記載されたアップル製品専用に接続するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしていることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。



● その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

TP1001670091